臺灣時報

四月號

新教育令の精神
華盛頓會議の批判
時報（臺灣時事）
Taiwan no Sake
世界的植民政策の革新と我新教育令
本島の監獄制度
錫崙島の近狀
香港の貿易
交趾支那の糖業
臺灣地方自治法令研究
海外重要記事

殖産局出陳ポスター

內容目錄記入濟
南滿洲鐵道株式會社東亞經濟調查局
APR 28 1922
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO., LIMITED.

臺灣時報發行所
大正十一年四月十日發行　第三十三號

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す（發行規定第一條）

◎臺灣時報發行所役員

△評議員長　賀來佐賀太郎

△評議員（以下イロハ順）

池田常吉　池田幸甚　石坂莊作　市來中次郎　今井周三郎　新元鹿之助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　宮島元治　宮地近思　陳鴻鳴　陳中和　李景盛　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹醇一郎

農學博士 大島金太郎　大越大藏　奥田重榮　大川盛行　大賀基作　渡部英太郎　川崎卓吉　片山秀太郎　川崎軍治　川中子安次郎　簡朗山　簡阿牛　顏雲年　菅野善三郎　吉田平吾　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝

高田元治郎　高田富藏　工學博士 高橋辰次郎　立川連　田村武七　田村藤四郎　法學博士 谷野格　島山仰　瀧田傳吉　常吉德壽　津田毅一　津久井誠一郎　永田隼之輔　中村啓次郎　内藤正太郎　武藤針五郎　野呂寧　草鹿砥祐吉　山移定政　松岡富雄　牧山清砂　藤野幹　稻留喜之助　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　枝德二　江口貞三郎　江崎眞澄　鄭拱辰

△編纂委員

石井光次郎　生駒高常　服部武彦　法水了禪

鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　相賀照鄉　阿部滂　麻生誠之　荒卷鐵之助　淺田知定　青池諒　近江時五郎　佐藤勳　坂本素魯哉　佐々木紀綱　齋藤愛二　横瀬軍之佐　佐藤小次郎　皿谷廣次　蔡蓮舫　木村匡　木村久太郎　許廷光　北村吉之助　三村三平　三好德三郎　下瀬謙太郎　徐杰夫　森俊六郎　平山寅次郎　平山午介　末松偕一郎　角源泉　鈴木重臣　諏訪國次郎

農學博士 豐田勝藏　東鄉實　宮田松彥　奥秋雅則

△常務員

和田一次　鎌田正威　樫光吉規　東忠藏　淺野安吉　赤松寅七　水越幸一　三浦碌郎　島田潮市　本山文平

深川繁治　古山榮三郎　田阪千助　堤一馬　岡本佃　中瀬拙夫　中村寮太郎　宇都宗一　前田稔靖　稻與平三郎

編輯係　窪取田一郎
同　高橋惇
同　拓大雄
同　中野順三郎
同　小森德治
囑託　秋澤次郎
同　池田壯太郎
同　蜂谷彬

囑託　大槻綱彦
同　池田忠吉
同　橫尾善夫
同　眞倉民治
同　志田潔之
同　杉山秀
庶務及會計係　伊藤儀之助

大正十一年四月八日印刷（毎月一回）
大正十一年四月十日發行（一日發行）
（定價一冊郵稅共金三十錢）
（廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府內　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺北第二〇七〇番
電話總督府內第八九番

編輯兼發行人　臺北市兒玉町四丁目四十八番地　中野順三郎

印刷人　臺北市大和町三丁目二番地　澤田照基

印刷所　臺北市大和町三丁目二番地　臺北印刷株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社

臺灣銀行

(臺北)

支店出張所

臺灣

基隆　臺中　嘉義　臺南　高雄

宜蘭　淡水　桃園　新竹　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那

上海　九江　漢口　福州

厦門　汕頭　香港　廣東

其他

新嘉坡　盤谷　スラバヤ　スマラン

バタビヤ　孟買　倫敦　紐育

內地

神戸　大阪　横濱　東京　門司

臺灣時報大正十一年四月號　目次

（第三三號）

□□□□□□□□□□□□□□□□□

口繪▼田總督閣下題字

新教育令の精神（卷頭言）……一

時報……二

臺灣教育令施行▼各州豫算決定▼平和博臺灣館出品數▼臺北市の町名改正▼藥友會の野外供覽會

新教育令實施に關する田總督の諭告……四

世界的植民政策の革新と我が新教育令……末松偕一郎……六

クラーク先生と精神教育（可行子）……一四

華盛頓會議の批判……加藤直士……一六

Taiwan no Sake……Nakazawa Ryodi……三一

征蕃私記（前長官水野遵氏纂述）……三七

本島監獄制度に就て……和田一次……四一

錫崙島の近狀……田原天南……四八

香港の貿易……井出季和太……五三

交趾支那の糖業的價値附補遺……眞室幸敎……七七

スマトラ東海岸の輸出貿易……總督官房調査課……九一

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

布哇人の教育及人種問題と日本人……智念昌永譯 一〇四

攝政宮殿下御盛德の一端（大每記者加藤直士君講演の一節）□□□□□□□□□□□□□□……一〇九

島情……一一〇

本島經濟界の概況▼金融概況▼臺灣商況

征臺史上に顯はれし山縣公の外征三策……蕉鹿夢 一一三

瑯璚……仙俗居士 一二五

盤谷所見……田澤震五 一二七

長江感慨ぼつり〲……GS生 一三一

臺灣地方自治法令研究□□□□□□□□□□□□□□……内務局内同研究會 一四〇

南支南洋其他海外重要記事……總督官房調査課 一四四

詞苑……一五〇

雜報……一五二

臺灣日誌▼人事消息▼任命▼寄贈書目□□□□□□□□□□□□□□……一五四

漢文▼世界的植民政策之革新與我新教育令（内務局長末松偕一郎）……一五七

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日支合辦

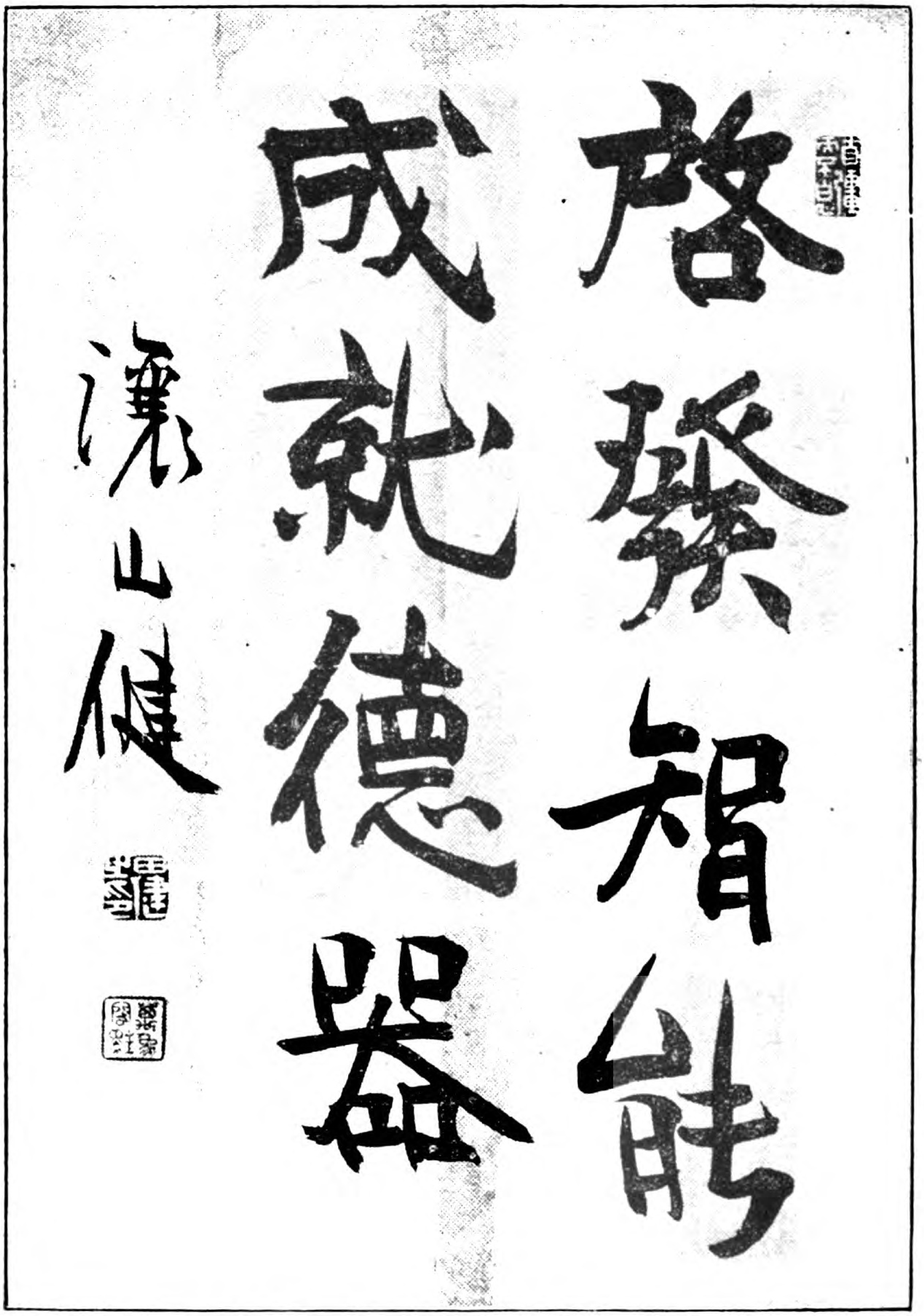
一資本金壹千萬圓

臺灣臺北

株式會社 華南銀行

總理 林熊徵

支店及出張所 東京 廣東 海防 西貢
新嘉坡 スマラン ラングン



田總督の新教育令實施記念として本誌に寄せられたるもの

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

巻頭言

新教育令の精神

本月一日を以て施行された臺灣教育令は、律文として內臺人の共學を原則とし、精神として從來の差別的教育を撤廢せるもので、新領地の制度としては實に破天荒に屬し、戰後の文化的施設として洵に絢爛を極めたものである。

凡そ東洋に於ける世界植民國の教育は果して如何。其の典章施爲は多く備はるも、其の實際の遂に弛緩を免れざるは果して何に因る乎。況んや黃白の溝渠の遂に除き難きに於てをや。之を臺灣教育の光明赫奕たるに比して果して如何。

然れども法の精神を無視すれば法なきに如かず。差別撤廢は即ち相愛均遇であるが、苟くも內臺人にして此の心なくんば、教育令は終に蹂躪せられ、其の精神は全く亡失せられる。然らば則ち實效擧否の責任は、一に懸つて內臺人の双肩に在ると謂はねばならぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

新教育令實施と田總督諭告

內地人臺灣人の共學を原則とする臺灣教育令が本年二月一日勅令第二十號を以て新たに公布せられ其の施行期日は府令を以て定めらるべき旨は本誌前號既に之を報じたが右は本年四月一日より施行すべく同時に舊令は廢止せらるべき旨三月九日府令第十八號を以て公布された。右實施に就て田總督が特に別項の如き諭告を下されたのは大いに注目すべきことである、尙ほ別項末松內務局長の「世界的植民政策の革新と我が新教育令」と題する一文は新教育令の精神並に立法の徑路を闡明したものであるから是非參照せられたい。

各州豫算決定

各州大正十一年度豫算は去月六日愈々決裁を經て七日各地方廳へ向け夫々指令を發送した其の總額は一千二百七十一萬八千七百七十七圓で前年度に比較して七十萬餘圓の減少である其の內臺北州は三百四十五萬一千二百十七圓、新竹州は百四十三萬二千九百二十八圓、臺中州は二百五十五萬二千五百四十一圓、臺南州は三百九萬六千七百八十一圓、高雄州は二百十八萬五千三百十圓、臺中州が市區改正に對する補助金其の他の爲め增額した外は孰れも減額で大體の方針として緊縮に出でたが總督府としては地方廳の意思を尊重する意味に於て毫も削減修正を加へず唯々實行豫算として幾分手加減を爲すべく各項目に就て意見を附したるに止まると又同年度地方費は歲入歲出とも其總額百二十三萬九千六百九十八圓と發表された。

平和博臺灣館出品數

平和記念東京博覽會々場內臺灣館の概況及出品概數は本誌二月號に於て既報を經たが右出品には全島著名の物產を網羅したもので總督府殖產局で取扱つた其の總數は三千七百七十三點の多きに達し其內譯は農業品九二四林業品一五九、鑛業品三三五、水產品八八、工業品二一〇二六七、飲食物二一六、衞生品四三、敎育品三四となつて居るが出品は官廳側最も多く其の數、農業八四〇、林業九一、工業一〇八一八、水產六六等で民間出品では臺北州管內が四三九、新竹が三二一、臺中一五五、臺南一一九、高雄六八一、臺東二五、花蓮港二六で各地とも工業品最も多く飲食物・農業品之に次ぎ水產は臺北・高雄の外は孰れも少數であり林業に於て臺中の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六六、鑛業に於て臺北の二七は最多とせられてある尙は右三千七百七十三點は殖産局に於て取扱ひ送付したもの、總數であるが此外に出品人から直接送付したものも多少はあるとのことである。

臺北市の町名改正

久しい問題であつた臺北市の町名改正は種々官民の意見もあつたが愈々三月二十四日府令第二十四號を以て改正を公布された之に依ると內地風の町名に改めたものに壽町、本町、京町、大和町、榮町等があり前總督の姓を以て名けたものに、樺山町、乃木町、兒玉町、佐久間町明石町等があり舊名を用ひたものに大龍峒町、建成町、書院町、文武町、古亭町、龍口町等があり舊名に因んだものに三橋町、上奎府町、下奎府町、御成町等があり又た地理に由るものに港町、水道町、東門町、南門町、川端町等があるが概して內地風に改正されたものが多數である本令は四月一日よりの施行で同時に府令を以て市の區域中、番子溝の一部を七星郡に編入し又た海山郡中、中和庄の一部を市の區域內に編入した。

藥友會の野外供覽會

昨年臺北新公園で藥事衞生展覽會を催して非常の好評を博した臺灣藥友會は去月五日北投に野外供覽會なるものを催して復亦た意外の効績を收めた元來此の野外供覽會（アウト、ドア、デモンストレーション）は日本では未だ曾て試みられざる新しい企てゞ畢竟講堂のレクチュアに對する臨牀實驗卽ちデモンストレーションを野外に於てする意味に外ならぬが右藥友會の催しは主として藥學上の見地から當日々曜の一日を北投に遊ぶ人をして逍遙行樂の間に其の自然界に散在する草木竹石等に就き通俗的な科學上の知識を得しめんが爲め一木一草に對し一々藥用的効能など面白く趣味ある說明を附記したペンキ塗り錻力の小札を立て一般公衆に之を紹介せんとしたものであつたが其の場所は新北投驛前面一帶を初め公共浴場前道路から地獄谷、星の湯、養生館下、偕行社から松濤園に至る馬蹄形の沿道附近一帶に亙り所在百數十種の草木に就き有益にして興味ある說明を施し尙は當日午後一時から水道事務所で、中山、田代、森原、半澤など斯道諸士の面白い科學的通俗講演があつた爲に此の計劃は日前より大いに世人の注意を惹き當日雨上りの北投に杖を曳くもの意外に多く同會の此の試みは有益な社會奉仕として確かに其の効果を收め尙ほ右の說明札は後の遊覽者の便益に供せんとて其の儘存置されてある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新教育令實施に關する田總督の諭告

諭告第一號

本總督　大命ヲ拜シ茲土ニ莅ムヤ統治ノ方針ヲ宣明シ臺灣ハ帝國ヲ構成スル領土ノ一部ナリトシ之カ實施ニ關シ緩急ヲ謬ラサラムコトヲ期セリ爾來我カ　朝廷一視同仁ノ　聖旨ト蒼生撫育ノ精神トヲ奉シ又深ク世運ノ進轉ト本島民衆ノ實情ニ鑑ミ教育普及ノ急務ナルヲ察シ曩ニ一部共學制ノ試練ヲ經テ茲ニ教育令ヲ改正シ內臺人間ノ差別教育ヲ撤去シ教育上全ク均等ナル地步ニ達セシメ得タルハ本總督ノ洵ニ欣快トスル所ナリ若夫レ初等教育ニ於ケル小公學校ノ區別ノ如キハ本島民衆ノ大部カ國語ヲ常用セサルニ因ル一時ノ權宜ニシテ文運ノ進步教化ノ普及ニシテ能ク其ノ效果ヲ見ルニ至ラハ當然混一ニ歸スヘキモノナリト信ス

恭ク惟ルニ
明治大帝敎育勅語ヲ宣布シ以テ學制ノ根本義ヲ示シ給ヘリ眞ニ千古不磨ノ聖訓ニシテ帝國ノ臣民タル者其レ孰カ之ヲ服膺セサラム本島民衆深ク思ヲ此ニ效シ文敎ノ大義ヲ忽ル毋カレ
抑均等ト云ヒ無差別ト云フモ雜然トシテ個々相對峙スルノ謂ニ非ス社會ノ秩序ヲ維持シ國家社會ニ對シ共存ノ公道ニ從ヒ能ク其ノ義務ヲ盡スニ在リ
惟フニ本總督去歲地方制度ノ革新ヲ行フヤ普ク民衆ニ告クルニ私ヲ捐テ公ニ殉シ小ニシテハ隣保相佑ケ大ニシテハ義勇公ニ奉セムコトヲ以テセリ今本令實施ニ當リ再ヒ此ノ言ヲ以テ民衆ニ望ム要ハ一致協力國運ノ發展ニ資スルニ在リ庶幾クハ克ク此ノ精神ヲ體得シ各其ノ分ニ應シ子弟ヲシテ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ母國ノ文明ト與ニ渾然融化セシムルヲ得ハ本令發布ノ趣旨空シカラサルナリ

大正十一年四月一日

臺灣總督　男爵　田健治郎

世界的植民政策の革新と我新教育令

内務局長　末松偕一郎

〔本篇の要旨〕　新臺灣教育令の實施は臺灣統治史上の一新紀元にして一昨年の地方制度改定こ共に文化政策の双壁こ謂ふべきものである。「土人教育は其智識を高むるに從ひ其種族の獨立自治を自覺し征服者に對して反抗を圖るに至る」こ云ふクローマー卿の言に鑑み、植民地人には成るべく教育を進めざるの政策は植民政策の秘訣こ考へた時代もあつたやうであるが、之は實際に於ても失敗に歸し、且つ正義人道主義の高調こ共に斯る政策は排斥せらるゝに至り、世界の植民政策に革新の氣運を促し、眞に一視同仁の政策を必要こするに至つた。我新教育令は徹底的に一視同仁の聖旨を奉體し、內臺人無差別主義に依る世界に誇るべき植民政策の實現である。

一

本年二月四日を以て新たに公布された臺灣教育令は愈々四月一日から實施されることゝなつた。新教育令の精神は從來本島に於ける差別的教育の撤廢に在るので、謂ゆる內地延長主義を文化施設の上に徹底的に行つたものである。其の田總督の一大英斷に歸すべきや勿論である。由來一昨年の地方制度革新は臺灣統治史上に一新紀元を劃すべき文化政策の實行であつて、內地延長主義が之に由つて明確に制度の上に認められた

ことは、洵に臺灣統治の一進展と謂ふべきであるが、今回の新教育令は之と相對して新時代を表徴すべき文化政策の双璧たりと謂ふことが出來やう。新教育令の趣旨は内臺人の共學を原則とし、内地臺灣の學制を統一して其の聯絡を圖つたもので、其の立法の由來は全く戰後に於ける文化生活の世界的欲求に鑑み、時勢に順應せるものであつて、斯の如き機會に斯の如き改正を斷行されたことは、洵に當局の明斷善謀に由るものであると謂はざるを得ない。

二

由來、新領土に於ける教育方針は、西洋の植民國に於ても最も苦心せる所である。彼の佛國の植民學者ジョセフ、シャイエ氏が「植民地人の教育問題ほど重大で困難で且つ煩累なるものは無い、是れ實に本國人の利益と良心との衝突を包含する問題なればなり」と言ふた如く、世界植民史の教ふる所は、植民地人教育の結果は本國人との融和同化を致さずして、反つて本國人の利益と相背馳し、遂には本國人の統治を危殆ならしめるといふことである。之が爲めに西洋の植民國に於ては植民地人の教育に於て深甚の注意を拂ひ、從來種々の政策を採つて居る。米國は比島人を化して米國流の自主自由の民たらしめんとし、教育を以て其の政策の要綱とした。其結果比島の文化は今日の進歩を來したが、獨立運動其他政治問題では幾多紛糾

内務局出陳ポスター

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生じた爲め、成るべく實業教育を奬勵する傾きになり、其後比島の歲入減收に因り教育費に大削減を加へた等の事實もある。和蘭は東印度に對して自由政策を執り、土人教育に盡力しつゝあるが如きも、其實土人教育の如きは頗る振はず、當局は之に對し極めて冷淡にして更に注意を拂はざるものゝ如くである。クローマー卿は「土人教育は其智識を高むるに從ひ、其種族の獨立自治を自覺し、征服者に對して反抗を圖るに至る」と言ふたが、卿が二十五年間、埃及に於ける治績は實に赫々たるものなりしに似ず、獨り教育に就ては何等の施設する所なく、之を土人舊來の教育方法に放任して顧みざりしもゝ如くであつた。英國の印度に於ける又た佛國の佛領印度に於ける、其土人教育が相當の歲月を以てして尙ほ見るべきものなきは、蓋し之と大同小異の理由によつて然るものである。

要するに本國本位主義、非同化主義の植民政策に於ては、植民地の住民をして由らしむべし知らしむべからず主義を採ることが最無難である。又便利である。故に陰に陽に種々の口實を設けて教育を進めざることが植民政策の秘訣であると考へて居つた。前に述べた先進植民國も多くは此の思想に基く植民政策を採つたやうである。之は植民地のみではない。本國に於ても文明の程度低き國に於ては、人民を愚にして由らしむべし知らしむべからず主義を政治の秘訣の樣に考へる人が少くない。世界の大勢を嘲り、學者の唱導する眞理を誹謗し、淺薄なる自己の智識に基く獨斷を以て眼前の政局を糊塗し、國家の前途を誤るの徒が多いのである。併しながら人道に反し誠意を缺き、權謀術數を以て民を愚にする政策が結局成效すべき道理はない。非教育主義に依り思想問題に付小康を得たる植民地も、住民の智識進步せざるが爲めに產業は振興せず、收入は增加せず寧ろ斯る政策は損得相償はざるを感ずるに至つた。特に智識慾は到底之を抑壓することは出來ない。少しく教育を受けて自ら覺醒すれば、植民地人は誠意なかりし本國の政策を認識して、永久的怨恨の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情を以て本國に反抗する動機となるのである。近時世界の植民地に於て種々の紛爭を見るは、斯る原因に由るものも少くない。之は本國に對しては永遠の禍根となるのである。隨つて近來教育を爲さざることに依り、植民地住民の自覺を防ぎ、本國の利益を擁護せむとするが如き政策は、到底實行し難きのみならず、結局非常に不得策であることを悟るに至つた。加之歐州大戰後世界の輿論は正義人道を高調し、小弱國及小弱民族の權利々益を保護する傾向になつた。恐らく將來は植民地住民の福利を犧牲にする本國本位の政策は、如何なる口實の下に於ても實行困難になるであらう。又最後の不利益を招くであらう。文化の程度に大差あり、而して遠隔の地に散在し、到底本國に同化し難き植民地を有する歐米先進植民國は、將來植民地を有する爲めに蒙る煩累は蓋し多大であらうと思ふ。幸ひ我國は一視同仁の御聖旨に基き、同化政策即ち内地延長主義を標榜して居る。我が臺灣の如き未だ嘗て内地人及本島人間に於て融和同化を困難ならしむる原因を見ない。統治宜しきを得、誠意を以て新附の民に臨めば、融和同化の實を擧ぐることは不可能でないと思ふ。勿論從來歐米諸國に於ては異民族の植民地が全く本國と融和同化したる實例は無い。又是等の先例を主とする立論に基く學者の説に於ても、多くは異民族の同化を不可能と認めて居る。併し植民地人の母國に對する融和同化の可能不可能といふ事は、兩者の人種、文明の差異の程度、歷史的關係等に由る事であつて、西洋の植民地と日本の新領地とは其の間事情の大いに異るものがあり、臺灣の如きは、其の人種と云ひ、文明程度と云ひ、文化の歷史と云ひ、何れも皆な融和同化に就ては可能的の資質を有して居ることは前に述べた通りであるから、吾々は一意專心、此の同化政策の爲めに努力すべきである。其達成は國家の爲めにも本島人の爲めにも永遠の幸福である。併し其達成は一部の人の考ふる如く容易ではない。將來種々の困難に遭遇することを覺悟せねばならぬ。少くとも當局者は世界的思潮の變遷と民族向背史との概要位は研究知得せねばならぬ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

が、要は一視同仁の聖旨を奉體して誠意を以て新附の民を指導啓發することに在る。宥恕の精神を披瀝して彼等を心服せしむるに在る。予は印度旅行中數回「吾々は一視同仁の詔勅は屢々拜受した、併し政府の不條理なる差別的待遇は殆ど聖旨の實を見ることが出來ぬ、又在印度英人官民の傲慢不遜なる態度を見ては、教育ある氣慨ある印度人は到底現狀に滿足することは出來ぬ」と憤慨する印度人の言を聞いた。之は固より不平家の激語ではあらうが、植民地に臨む本國人には大いに參考となるべき植民地人の心理狀態である。

同化政策實現の根底は、植民地人の文化を開發して成るべく速かに本國と同一の制度の下に、兩住民の融和結合を謀るに在る。是れ卽ち教育の普及を急務とする所以である。特に今回改正せられたる臺灣教育令の如きは、徹底的に一視同仁の趣旨を發現したるもので、內臺人の間に寸毫の差別的待遇を認めざるのみならず、當分學力に差異あるべき小公學校の卒業生に同一資格を與ふるが如きは不條理なる無差別主義なりと非難する者もあるかも知れぬ。併し同化政策實現の手段としては、各種文化的施設は常に進步したる誘導啓發主義を必要とするのである。以上の諸點を觀察し、教育問題に關する從來の植民政策に鑑みるときは、今回の改正教育令は眞に一代の盛事であつて、其の一視同仁の善政は亦以て世界に誇るべきものであらうと思ふ。

三

抑も新教育令立法の徑路は、大正三年の高等普通學校設立の際に其の端を發して居る。當時高等普通學校の設立に就ては、佐久間總督は熱心に內地の中學校と同程度のものたらしめんと希望せられたが、遂に其の目的を達する事が出來なかつた。初め中部臺灣に中學校を設置せんとするの請願を本島有力者より總督に致し、同總督は其の請ひを容れて內地同樣の中學校を中部に置かんことに努められた。然るに中央政府には種々の議論があり、特に朝鮮教育令との權衡上、俄かに內地同樣の學制を敷くを得ざる事情があつて、現今の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

如き高等普通學校が置かれたのである。總督府は其後引續いて敎育令の制定に力めたが、矢張り朝鮮敎育令との關係上、大體に於て內臺人差別敎育主義に依る舊敎育令が大正八年一月に發布されたのである。斯くて舊法に於ける高等普通學校の卒業者は中學卒業者と同一資格を得る能はず、又た公學校卒業生は小學校卒業生と同樣の資格を認められざるが爲に、苟も進んで高等敎育を受けんことを希望する本島人は、舊法の下に於ては學校間の聯絡を得る能はざるより、遙々と內地に子弟を送つて小學校に入れ、中學校に入れ、更に大學に進ましめる、といふ不便に置かれたので頗る氣の毒な境涯に在つたのである。故に之が救濟に就ては督府に於ても大いに研究する所あり、現總督は殊に此點を憂慮されて其の救濟法として舊法の下に共學の試みを實行することになつたが。然し本來制度其のものが內地と箇々別々である以上は、如何に彌縫策を講じた處が根本的に敎育令を改正して差別敎育主義を撤廢するに非るよりは、倒底完全に目的を達する事の不可能なるを感ぜしめた。是れ即ち昨年以來督府に於て敎育令改正の議起りて調査の步を進めたる所以である。偶々昨夏朝鮮敎育令の改正案が內閣に提出されたる爲め、同案の審議に際しては必然臺灣敎育令に波及する所あるべしとの法制局の注意により、至急臺灣敎育令の改正案を提出することになつたのである。其結果、大體臺灣敎育令は其案の如く小學校公學校

內務局出陳ポスター

は別な制度の下に教育するの外、其他の學校に就ては內地と同制度の下に差別的教育を撤廢するの主義により、倘ほ小公學校を分つは民族に依り待遇を異にする如き感あるを以て、右に該當する條文中「內地人」とあるを「國語を常用する者」と改め、又た「臺灣人」とあるを「國語を常用せざる者」と修正した丈けで新教育令案は全部通過したのである。

四

右の如く新教育令は內地人及臺灣人に就て無差別になつたので、國語を常用するもの、普通初等教育は小學校に於てし、國語を常用せざるもの、同教育は公學校に於てする規定であるが、本島人子弟と雖も國語を常用する者は小學校に入るを得べく、又た內地人子弟と雖も國語を常用せざる者は公學校に入るべき法意である。最も邊陬の地にして公學校のみの外なき場合には內地人子弟も之を公學校に收容し、又た國語の常用者に非らざるも幾分國語を話す者は從來の共學同樣、便宜小學校に入らしむる等、此の如き特別の事情ある場合は臺灣總督の定むる所に依り敍上便宜の處置を取るのである。玆に注意すべきは小公學校卒業生に對し、上級學校の入學に關し兩者同一の資格を認むる理由は、元來公學校生は學力に於て小學生に劣るべきは當然ならんも、公學校生にても其の各家庭に國語の普及するに從ひ漸次進步の傾向を來すべく、殊に優秀なる公學生は劣等なる小學生に比して學力充分なるものもあるべし、故に制度としては兩校卒業生に同一資格を與へ、只實際に於ては上級學校の入學に關し、當分公學卒業生に對し公學校高等科又は補習科を入學準備の爲に利用せしむべきことである。隨つて本島人子弟の父兄に注意すべきは、小公學校卒業生に同一の資格を與ふるも、上級學校の入學に就ては更に高等科の一年か二年、又は補習科を修業せざれば、公學校卒業生は小學校卒業生に比して試驗に合格することの困難なるべきことの覺悟である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

師範教育に就ては內地の制度とは少しく變つた所がある。即ち師範學校に小學師範及び公學師範を置き、特別の事情ある時は小學師範部又は公學師範部のみを置く事が出來る。右の小學師範部では小學校教員たるべき者を教育し、公學師範部では公學教員たるべき者を教育する。而して師範學校の修業年限は、男子部に在つては六箇年、即ち普通科五年、演習科一年とし、女子部は當分これを置かざるも、規定としては普通科に於て一年を短縮して修業年限五箇年とするのである。師範學校普通科に入學し得るものは尋常小學科を卒業したる者又は臺灣總督の定むる所に依り之と同等以上の學力ありと認められたる者とし、演習科に入り得る者は普通科を修了したる者又は中學校若くは修業年限四年の高等女學校を卒業したる者又は之と同等以上の學力ありと認めたる者等である。女子教員の養成は女子高等普通學校の上に師範科一年を置きしと同じく、高等女學校と改正したる後も演習科一年を置いて教育するのである。又た師範學校に女子部を置く場合には高等女學校四年の卒業生は其の演習科に入るを得べく、何れの場合に於ても內臺人の別を以て資格に差異ある如き事は全然無い。尙ほ前記の師範教育に對して、內地に於ては高等小學から接續する爲めに尋常小學校卒業後七年間の教育を受けて始めて師範學校卒業者となるので、此の點に於ては臺灣の方は一年短縮されて居るが、臺灣の師範卒業生の內地に於て教員資格を得べき件に就ては目下中央政府と交涉中に屬する。

五

學校聯絡問題に就ては、各學校卒業生は內地の之に相當する卒業生と同一資格を得しむる爲に目下文部省と交涉中に屬するが、大體に於て同省も之に同意すべき見込である。又た本令實施の結果として、從前本島人の爲に立てられた各種學校は之に相當する內地人の爲の各種學校と同一名稱となり、同一程度の教育を施し、其の卒業生に同一の待遇を與へる、といふ事が新教育令の顯著なる特色である。（十六頁に續く）

クラーク先生と精神教育

可行子

自分は教育問題の起る毎に轉た一人格者の追憶を禁ずることを得ない。それは外でも無い、ウイリヤム、クラーク先生の事である。先生は實に札幌農學校の建設者として數十年の今日まで、其の偉大なる精神的教育の遺訓を後昆に傳へた人格者であるが、初め黒田開拓使長官が彼の荒涼たる北海道開拓の基礎を建てるには、何うしても此處に特殊な高等教育機關を置かればならぬことを看取せられた結果明治九年に札幌農學校が設立されると同時に、伯は日本に於ける最初の農學校を建設するには、北海道の自然の條件から察して其の人を北米利加に求むることの適切なるべきを感せられたのである。而して個々其の選に當つたのが即ちクラーク先生であつた。先生は元來植物學者であるが、南北戰爭には義勇兵として北軍に從軍し、屢々戰功を樹てゝ陸軍大佐に累進せる經歷を有し、當時マサチユーセツト農科大學長の職の在り、學者で而して偉大な人格者であつたが、我が開拓使の聘により在官の儘、往復一箇年の任期を以て遙々と札幌へ來られたのである。

先生は此短かい任期の間に於て、非常に興味多い話を遺した人であつたが、當時聘せられて日本に來り、横濱から汽船玄武丸に搭じて北海に向つた途上、同行の黒田伯は一日先生に對して、あなたは日本の學生の精神教育を何に據つて授けて異れますか、と質した所が先生は言下に、夫れはバイブルに由つて授けるの外は無いと答へられた、當時維新草創後間も無い時分のことであつたので、流石の豪傑黒田伯も其の破天荒な意見には痛く驚いてバイブル教育の國情に副はざる旨を述べられた、先生は曰く、自分はバイブルを基礎として精神教育を與へるの外に方法を有せない。若し夫れが出來ぬとすれば、結局農學の教育は出來るが精神教育は出來ぬ譯になるが、抑も自分が北海農學の基礎樹をつべく聘せられて來たのは、農學の教育と共に是非とも精神教育を施さればならぬといふ考であつたのであるから、單に農學教育の事だけならば御免を蒙りたい。ドーカ早速此の船を横濱に戻して下さい。北海道へはモー行かぬと言ひ出した。

黒田伯も先生の强固な操志には大いに當てられたが、遉がに雄懐落々たる伯の事とて、マア〳〵と言ふ譯で無理やりに北海道まで伴れて行つて、扨て一日徐かに先生を呼んで、バイブルを學生に讀ます事は私として許可する譯には行かぬが、然し先生が自分で夫れを利用せらるゝことは御勝手たるべし、と申渡した。所が米國を立つ時分聖書類を十分行李に收めて用意した先生は、直ちにそれを學生に讀ますことに仕たのである。然るに今度は學生の方で聖書を讀むことに一大反對を唱へ出したが、先生は諄々として、聖書を讀んだからとてクリスチヤンになれとは申さぬ。唯々聖書の中に存在する言ふべからざる一大眞理を會得すれば夫れで宜しい。といふ譯で學生に之を熱心に勸められた結果、誰れ讀むとなく讀む者が出來た處が、段々進むに伴れて成る程聖書の中には善い事があるといふので、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

バイブル研究が終に學生間に行はるゝに至つたと云ふ話がある。

隨つて先生の學生を指導薫育するのは、近時世に行はれる學問の切賣りや形式教育のやうなもので無く、謂ゆる一つの偉大なる人格の感化を以て教へたのである。現に開校式に於ける黒田長官の式辭は勿論、又た先生の演説にも、名は農學校であつても農學教育に就ては何等言及する所なく、主として國家有要の人物を養成することが高唱されてあつた。開拓使の方針此の如く、先生の方針も亦た此の如し。其教育の主眼が「人間」を作るに在りしは勿論である。從つて先生の教育の實際は常に此精神を以て實踐躬行されたのである。斯くて先生の在任は僅かに九箇月に過ぎなかつたが、第一期の學生に直接與へられた先生の感化は、次から次へと學生の間に承け繼かれて行つて終に四十餘年後の今日まで其の生きた遺訓が悠久に傳つて居るのは、全く偉大なる先生の德に歸せなければならぬ。

丁度先生の任期が滿ちて亞米利加へ歸還せらるゝ時の事であつた、當時は尙ほ未だ汽車の便も無かつたので、先生は札幌から室蘭まで馬上で出發されたのであつたが、學生は皆な別を惜んで札幌から五里程の松島驛まで先生を送つて來た。そして其處でいざ別れると云ふ時分に先生は馬上ながら次の言葉を學生に遺された。

Boys be Ambitious!

即ち「青年！志は大なれ」といふ唯々一語であつた。先生は高唱一番、學生共を激勵し、忽ち一鞭を馬腹に加へて室蘭さして驅つたのであつた。爾來此の Boys be Ambitious なる一語は、札幌農校のモットーとなり、數十年後の今日まで先生の遺訓として傳はり、今日尙ほ學生間に此の標語を唱へつゝ何となく先生が非常に慕はしく感ぜられるのである。

先生は歸來、再びマサチューセット大學に盡す所も多かつたが、先生臨終の日、人に告げて曰く、自分は植物學者として相當の貢獻を爲し、又た南北戰爭にも正義人道の爲に戈を執つて起つたが、然し是等の事は敢て誇るに足るべき事でも無い。唯々一事自分の誇りとするのは、日の出づる國の最初の農科大學の基礎を作り、其處に一つの剛健な學風を植ゑ付けたことである、と言はれて先生は心地よげに微笑しつゝ靜かに永き眠に就かれたといふことである。嗚呼何ぞ先生の人格の大且つ高きやと言ひたい。

吾々にとりては先生は外國人である。加之も數十年前の日本—其日本は米國人たる先生から觀たなら非常な幼稚なものであつたらう。然るに其の先生が僅かに九箇月の訓育に依つて、百年牢乎として拔くべからざる一種の學風を、日本の北の果てに植ゑ付けて行かれたことは、全く先生の偉大なる人格の賜ものであると謂はざるを得ない。吾々は常に教育家は人格に由つて學生を訓育するので無ければならぬことを感ずる。唯々一遍の學問を授けるのを以て能事とする位ならば、それは一箇の機關、一臺の蓄音機と何等選ぶ所は無い。斯くして學生を教育せんことは到底望むべからざる所である。況んや新附の民衆を教育せんとするに於てをや、其の場合に最も必要なるは人格で無くてはならぬ。教育家の偉大なる人格は悠久な生命を持つ。制度は畢竟死物である。制度の精神を生かすとも殺すとも、幵は全く局に當る其の人の人格如何に在るのである。自分は今回臺灣に於ける新教育令の發布を祝福すると同時に、クラーク先生が數十年前、我が北海の果てに試みられたやうな、偉大なる教育的精神を以て事に當られんことを此の南島に於ける教育當路の諸士に深く希望して已まざるものである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を要するに新教育令は本島人文の上に於ける一大革新で、新時代の要求に適應せる最も卓絶せる文化的施設であつて、之が實施は臺灣の教育界は勿論、臺灣統治上國家の爲め慶賀せざるを得ない。予は法制局以來斯る教育令の實施を主張したる關係上、個人としても實に欣喜に堪へないのである。併し之をして圓滿なる發達を遂げしめ、法令の眞精神を貫徹せしめんには、一に内臺人の相互扶助に俟たなくてはならぬ。我が母國人及本島人は念ひを是に致して世界に稀なる斯の制度の眞義を發揚し、同化主義内地延長主義の完全なる好果を收むるに力めんことを切望して已まざる次第である。

華盛頓會議の批判

大阪毎日新聞記者　加藤直士

此の一篇は加藤氏が東洋南洋兩協會支部及臺灣教育會の爲め去る二月二十七日城南小學大講堂に於て講演せるものゝ速記録なり

一　奇蹟的な華盛頓會議

是より華盛頓會議の批判と題して所感を申し述べたいと存します。諸君、科學の進歩せる文明の世の中に於て奇蹟と云ふことは最早や其の跡を絶つたと言はれて居るのであるが、私は今回の華盛頓會議なるものは二十世に於ける一大奇蹟の一つであると信ずるのである。是れ迄種々なる國際會議が催されたが、例へば一八九九年の第一回ヘーグ會議の如き、一九〇七年の第二回ヘーグ會議の如き、何れも世界平和を目的として催されたる大國際會議であつたが、其の席上に於て議し了つた所のものは僅かに戰時課税の一部を改正するに過ぎなかつた。軍備縮小の問題の如きは到底議題にもならなかつたのである。又其後起つた國際聯盟にも

軍備縮小委員會なるものがあつて軍備縮小に就て種々調査を遂げ、夫々事務は進捗して今日に至つたのであるが、今日に至る迄國際聯盟の力を以てしても尚以て具體的軍備を縮小することは不可能だと締められて居る有様である。然るに今回米國が提議した華盛頓軍備縮小會議なるものは世人の豫想外に出でて、現に列國協定の下に海軍主力艦隊の撤回及縮小が議し了られ、之に對して列國の全權が調印を爲し終つたのである。斯う云ふ一見奇蹟の如き大變化は何れの所より原因をなして居るか、之を考へると一には經濟、二には人道、種々なる原因が符合致して事変に至つたと云ふことを發見するのである。

二　人類の歷史上未曾有の大戰

懸賞應募ポスター

御承知の通り一九一三年より一八年に亘る所の四箇年半の歐洲戰爭は人類の國家あつて以來未だ曾て無かつた大仕掛けのものである。彼のナポレオン戰爭と云ひ、三十年戰爭と云ひ、何れも長期の大戰であつたに相違ないが、然し其の規模に於て國民的の戰爭であつたと云ふ點から申すと、過般の歐洲大戰爭に優る戰爭は無論無いのである。當時私は妙な機會で戰爭の勃發當時より休戰條約調印の其の時迄、引續いて歐羅巴に居りまして、親しく當時の戰爭の實況を經驗して居る一人で、戰時の從軍記者として敵地に掛けて相當な武裝を致して稍や冒險なことも致したのである。今回の戰爭はどう云ふ種類のものであるかと申すと、單に大袈裟の殺戮其のものである。是

れ迄の觀戰記者は小高い山で望遠鏡を出して千軍萬馬の入り亂れる所を觀るので、全く相互に一種の美觀が在つたのであるが、今回の戰は敵は何處に居るか分らない。敵は僅かに二三百米突の彼方の塹壕に逼入つて居る。聲は聞くが頭は見えない。頭を出すと狙撃する。直射は出來ぬから上から打ち下ろす。塹壕は死屍を以て埋まる。タンクが出來て敵の矢彈を物ともせず敵の塹壕に跨る。横腹から速射を打出す。機關銃を打出す。一分間に六百發の機關銃の威力で塹壕全部の者を殺戮することが出來る。上には飛行機が爆彈を以て擲げつける。飛行機と飛行機とは蜻蛉の如く空中で戰ふ。倫敦には敵の飛行機が隊を成して白晝堂々と四千尺の上を飛んで目拔の場所に爆彈を投下する。私の家の附近に一つの大きな永久下宿屋があつた。石造の五階屋であつたが其の上に一箇の爆彈が命中し、擲彈が上から下迄貫けて下のベーブメントで破裂した。さうして其の家は粉微塵に飛んで影も形も無く、七十人許りの下宿人は骨一つ拾ふことが出來なかつた。さう云ふ威力のある爆彈を陸上には投下し、海には又た潜航艇が暴威を逞ふし、或る時には港口にズッと潜ぐつて潜伏して居る。出る船這入る船は夫れが爲にボン／＼とやられる。一箇月に二百萬噸の英國の商船が沈没した。さう云ふことが一年も續くと英國全體の商船は皆な海中に沈む譯である。私共も軈てやられると思つた。或は獨逸の陸軍が東海岸に上陸するかも知れない。其の場合に日本人はどうするか。逃げるか戰ふか。ピストルなどを生意氣に買つたのは其の時の事である。さう云ふ風に有らる機械、文明の科學を利用して此の人生の最も悲慘なる戰爭を四箇年と五箇月もやつた。始め人々は此の戰爭は中々一年も續くまい。軈て六箇月位で濟むだらうと思つたが、中々此の戰爭は時日を要する。單に勇氣或は戰略と云ふやうなことのみで片附かない。耐久力の續くものが捷つので、卽ち國民と國民との戰ひで、單に軍隊と軍隊の戰でないと考へて、私は人が一年と云ふときに二年說を唱へ、人が二年と云ふときに四年說を唱へたのである。然るに續くこと四年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

五箇月、遂に聯合軍の全勝に歸した。當時聯合軍のフォッシュ元帥は、敵が投降せんとして休戰條約を提議した時に慨然として人に語つて曰く、生れて斯んなに殘念な目に逢つたことは無い。若し我に假すに二週間を以てせば、聽て四百萬の大軍を捕虜にし、若くはライン河に押し寄せて擊退し、生きて還へるもの僅かに三人と云ふやうに數學的にチャンと決つて居る。そこ迄忍耐し餘力を養つて、一氣呵成に擊退することになつて居つたが、敵は早くも叶はじと見切をつけてどう〳〵降參した。さうなれば人道の手前、武士の情止むを得ず擊つこともならず、實際捕つた鳥を逃かしたやうなものである。とホッシ元帥が憤慨したと云ふことを私は直接に其の副官より聽いたのである。

三　戰爭の齎した悲慘事

斯くして聯合軍は捷つたが、偖て其の結果はどうだ。負けた獨逸及墺太利は殆ど社稷が倒れたやうなもので、僅かに國家の體面を殘した計りであるが、併し乍ら其の國力は悉く枯渇し、莫大な償金を負擔させられたので獨逸はどのやうに働いても燒石に水の如く、如何に儲け出しても殆んど全部取られる。僅かに餘命を繫ぐだけの外全部聯合國に持つてゐかれる。去りとて聯合國は獨逸を倒す譯にはゐかない。所謂負債者を破產せしめればそれ丈けである。唯々僅かに商賣をさせて置くと云ふやうな譯であるが、そこには多少意見の衝突がある。例へば佛蘭西の如きは徹底的に獨逸をやつけやうとする。英國は左迄感ぜぬから稍や寬大である。米國は獨逸國民と戰つたのでないと云ふ立場から獨逸を庇はうと云ふ風がある。要するにヴェルサイユ條約で決めた償金は可能の程度に於て之を無理にも取る。さう仕なければ佛蘭西の財政は持てない。佛蘭西の大藏大臣は年々の豫算を編成することが出來ない。佛蘭西の取るべきものは獨逸から寄越さなければ歲出歲入の「バランス」を取ることが出來ない。さう云ふことになつて居るのである。そこで勝つた所の聯合國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も其の損害は甚だしいもので、其の國力を枯渇せしめない程度に於て負けた程度は、人命の上から先づ四年五箇月の間に死傷無慮三千萬人を出して居る。私共小學時代に日本の人口三千五百萬と覺えて居るが、其の三千萬卽ち當時の日本人口の全體位の死傷者を出したので、それが卽ち男盛りの次の時代を生み出すべき大切な國民の中樞の人間を失つたと云ふことになる。單に三千萬とは申すが其の次代のことを考へると六千萬にも七千萬にも當る。而して軍費の點は統計に由つては夫れ〳〵違うが約五千億と言はれてゐる。夫れ丈け費して而かも約五年間何等生産的の事を爲さず、破壞的の事業に從事したのである。故に歐羅巴の社會は戰前に比すると殆んど根柢的に其の秩序を亂されて居る。生活狀態の不安及經濟上の凡ての原則が全然一變して、戰の前には想像も出來なかつたことが今日は殆んど普通となつて居る。爲替は亂調となり商賣は出來ず、「麻克」は暴落し、海外貿易は出來ず、歐羅巴全體の經濟狀態が混沌たるときは、如何に捷つた英國でも其の損害を受ける程度は、或は寧ろ負けた國より多いかも知れない。是に於て勞働問題なるものが非常な勢で勃發して來た。元來今囘の戰爭は大多數勞働者の戰爭である。英國の募兵は全國で七百萬とあるが、其の大多數は勞働者である。其勞働者が國家の爲に國家的觀念を以て愛國心を振ひ起して戰爭を續けたが、戰爭に捷つた揚句が勞資狀態は果して善くなつたか。果して勞働者の生活が安定されたか。向上したか。生産を怠つた國家であるから善くする意思が在つても實行は之に伴はない。故に勞働問題は益々險惡になり、物價の昂騰に伴ふ困難、賃銀の値增、勞働時間の問題などが後から〳〵と出る。遂に華盛頓に國際勞働會議を開くに至つたが、これは幾分か世界の勞働狀態に緩和の途を執つたに過ぎぬ。決して經濟狀態は之が爲に安定を得たと云ふことは出來ないのである。

四　戰爭の危害を防止せんとする世界的要望とノルマン、エンゼルの學説

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯く考へると嘗て英國の經濟學者ノルマン、エンゼルの唱へた如く、將來は經濟上の理由に由つて大戰爭は起り得ないものである。なぜなれば、昔は他の國から貢物を取り或は人民を奴隷にして利益を母國に納めたが、今後の世界は夫れが出來ない。領土を取つても領土の人民の文化生活を滿足せしむるやうにするのが取つた國の義務である。矢張り捷つた國も損をする。負けた國は無論損をする。故に稍や悧巧の者は軈て大戰爭は仕ないやうになるだらうとノルマン、エンゼルが唱へた。此の豫想は今回の戰爭に由つて全く外づれた。即ち參戰各國は孰れも國家の體面獨立を重んずるが爲に、利害を超越した一種の敵愾心からして干戈相見ゆるに至つたのである。然るに一旦開戰となるや、勝つた國も負けた國も戰爭すれば損をする。今後の戰爭は單に兵力の如何では決まらない。持久力の問題、國力の問題である。如何に名將勇卒が居つても手取り早いことは出來ない。機械の戰爭、金力の戰爭になるから、戰爭をすればする程それが互に國力を疲弊せしめ、さうして人民の生活は疑惑に陷る。此の原則はノルマン、エンゼルの唱へたこの說に由りて、戰後の歐羅巴に於て立派に證明されて居る。是に於て懲り〴〵した歐羅巴の人心は、何とかして將來戰爭の危害を絕滅せぬ迄も之を最少限度まで局限したいといふ事になり、其の方法を案出せねば止まぬといふ一種の要望が世界の人類の頭に深く萌したのである。戰爭の當時より既に平和運動なるものは識者に依つて唱へられて居たが、戰爭中はそんなことは言つて居られない。國が滅べばどんな運動も效を奏せぬ。故に先づ勝たなければならぬ、と云ふ所から平和論者の氣運の爲に全力を盡すことが出來ぬ。然し干戈一度び收まつて稍や眞面目に落著いて來ると、靜かに文明の前途、人類の將來を思ふの念が何處となしに切になつて來たのである。

五　軍備縮少と華盛頓會議の由來

一方經濟上から謂へば曩きに申した通り非常な金を使つたから猶更ら今後の軍備に莫大な國帑を費すの餘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

力がない。英國の富を以てしても英國は一九一八年以來、是れ迄世界の最大海軍國の名譽を一擲してフード級の三つの船があつたに拘はらず、其の工事を廢棄して主力艦隊の建造を全然罷めたのである。これは非常な果斷であつて、是れ迄英國の誇りであり生命である海軍を他國に譲らずに自ら棄てた。此の勇斷に對して英國の國論は一濟に之を歡迎した。扨て米國は戰勝の餘威を以て、即ち世界列國が傷手を負ふて居るときに一人後から戰爭に這入つて。其の損害を受けない米國から歐羅巴に貸出して居る金が取れないにしても、戰爭中の米國の國富は實に驚くべきもので、或は殆んど損害の無いものは米國と而して極東の日本あるのみ、日本は寔に渺いのであるが戰爭中に二十億の半ばを失はなければならぬが、米國は規模が違ふ。富はあるが米國にも亦た平和要望の聲が戰後著しき勢を以て起つて參つた。近く例を擧ぐれば去年の五月市俄古に於て米國中の宗教家が大會を催ふして決議をした。其の決議を「ハーヂング」氏に齎らして示したのである。其の話を親しく聞く所に依れば當時の宗教家の大會は實に空前の盛會で、全國三十一の宗派の團體が集つて大學教授或は商業會議所の人々を交じへて有力な決議を爲した。それは大米國をして軍備縮少の運動をせしむることを勸告することであつた。其の決議は六月の四日であるが、米國大統領が非公式に華府會議の交渉を仕たのは六月の十一日である。其の間僅かに一週間である。恐らくは「ハーヂング」氏が華府會議を開くべき最後の決心をしたのは此の輿論の聲に聽いたのでありませう。如何に米國富めりと雖も、財政に餘裕ありと雖も、年々歲々不必要なる海軍を無制限に擴張しなければならぬと云ふ理由はない。若しありとすれば何せ其の理由を取調べない。矢張り文化的施設の要求が非常に起るにも拘はらず。あの強大なる國土でありながら財政上無制限に海軍を擴張する事情を許さない點がある。更に翻つて日本が八八艦隊の完成を期して居ることに想到すると、國民と政府は實に努力して居つたが、併し日本の八八艦隊の爲に要する金高は非常に富める國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ならば左程苦痛はあるまいが、國力の二十分の一も無い所の米國に比して此の日本國民の負擔として是程の大なる苦痛は有り得ないのである。日本の租税の全部は軍事費である。國防費である。歳入の四割八分六厘は現に大正十年度に於て海陸軍費に使はれて居る。之も仕方がない。必要である以上は之でなければ國家が立たない。國防の爲には或はどんな巨額な金を費しても決して吝まない。然し唯一方が増すから此方も増す、所謂無制限に原因が結果となり結果が原因となることは果して必要であるか、と云ふことを日本の識者は疾くに考へ、又た國家の前途を憂へるものは何とかして此の莫大なる負擔を免れないといふ考が始終念頭に浮びつゝあつたのである。而して此の世界的軍備縮小の一種の要望に具體的實現を與へた所のものは米國大統領の「ハーヂング」氏と國務卿の「ヒユーズ」氏である。

六　華盛頓會議促進の眞個の動機＝ロイドジョーヂの暗示

尤も華盛頓會議の本當の動機は何處にあるかと云へば、單に米國自身の財政上の都合が唯一の理由かと云ふとさうでは無い。是には英國と云ふ中々利害の觀念の強い悧巧な、外交的に巧みなる國家の潜勢力がある。昨年の五月に英國で開かれた英帝國會議、これは植民地の首相が寄つて「ロイドヂョージ」氏が主腦となり英帝國全體の利害の問題を考へてやるので、其の時の問題となつたのは日英同盟の繼續如何であつた。今日は之をお話する暇を持たぬが、兎に角英本國は日英同盟を今罷める意思は無かつた。併し植民地は之を嫌つたのである。其の嫌つた一つの理由は、米國が日英同盟の繼續に對して危惧の念を抱いて反對の意思を持つて居るからである。世界の三大海軍國は自分と英國と日本である。此の日英の二つが攻守同盟を續ければ、如何に英米の間が親類同士であつても決して枕を高ふして眠むる譯にゐかない。成るべくは三大國が離れるか或は一緒になるとも日英同盟の繼續は米國民に取つて決して氣持がよくない。そこで植民地は米國の機嫌を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

取らなければならぬ狀態になつて居る。歐羅巴は又或る意味に於ては日本に對して最も恐るべきものがあるから、此の米國の機嫌を損せずして日英同盟を繼續することが出來れば、「ロイド、チョーヂ」氏も相互に是に由つて利益した日英同盟を今更ムザ〳〵廢棄すると云ふ考は無かつたのである。如何せん英帝國の會議に反對の意見があり、又た佛國米國の意嚮は何とかして日本の感情を傷けず又た英國の利益を犧牲にせずして日英同盟を廢棄する機會もがなと說つて居たのである。そこで竊かに「ロイド、ヂョーヂ」氏が駐英米大使に暗示を與へて、どうだ君の國で一つ一種の國際會議を催ふしては何うか、英國は喜んで參加する。其の席上では大統領が平和問題を議し、併せて軍備縮少を論究したらば洵に幸ひである。英帝國は喜んで出るが何うか、と云ふ暗示を米大使を通じて大統領の「ハーヂング」氏に之を致したのである。

七　華盛頓會議促進の他の動機＝ハーヂング大統領の野心

此の暗示を得た米國は渡りに船であります。何か米國が一つ大國際運動を惹き起したい觀念が新らたに大統領の「ハーヂング」氏に鬱勃として居つた。そこで「ロイド、ヂョーヂ」氏の暗示を取り容れて、さうして豫め日英米に案內狀を出して意嚮を探つた。御承知の通りベルサイユ會議に於ては國際聯盟が成立した。併し國際聯盟は米國の批准を得なかつた。實に他の聯盟國は馬鹿を見た。「ウイルソン」自らが巴里に來て唱へた無理やりの國際聯盟に米國自ら外づれた。實に我儘氣儘も此の上ないことであるが、然し米國民に取つて觀ると其處に理由がある。何せならば「ウイルソン」氏は餘りに橫暴である。私も親しく屢々氏の演說にも風貌にも接したが、非常な理想家で又た自信の非常に强い人である。自分の信じて居る主義綱領は一步も抂げない。彼は大なるデモクラットである。併し其の行動は極めて專制的である。自分が提議をして他人が夫れに反對すると、彼は憮然として怒つて、私の提議に反對する程それ程、非デモクラシーであるかと云ふやうな人で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

即ち理想家であり思想家であるが政治的手腕は無い。そこで氏は自分の提案たる國際聯盟の箇條を携へて佛蘭西に乘り込んだときは實に帝王の如き有樣であつた。平和會議は六十六名の全權が列席し、彼は首相の「クレマンソー」の著く椅子より一段高い椅子に坐はつて居つた。所が能く考へると尤もな譯である。何せなれば彼は大統領であり、六十六名の使臣は何れも外務大臣か首相である。矢張り其の元首たる彼の位に對して一段の敬意を表したのである。斯の如く彼の勢力は强かつたが、彼が無理やりに拵へた其の國際聯盟は、家に還へれば上院の反對に逢つて脆くも破れた。若し彼に政治的手腕が在つて、反對黨のものを使臣の中に容れ、そこに調知の途を講じつて内を省みつ、外に向へば成效したのである。之を爲さなかつたから矢張り反對黨多數の上院は「ウイルソン」の提案に反對し、米國は國際聯盟に這入らぬことになつた。それは寔に不都合なものである。恰度大株主が無い會社のやうで、決議をしても無效である。例へば軍備縮少の如きことを如何に國際の委員會がゼネバで協議して名案が出來ても、大軍備を持つて居る米國が除外されて居るから其の決議は殆んど無效である。國際聯盟の無力を人が叫ぶが、國際聯盟の組織は無力でないが、其の中に米國の這入つて居らぬことが國際聯盟をして大なる弱點を致さしめる。それで除外されて居る米國も餘り氣持が好くない。始終國際大會が開かれて列國が參加して案を出す。所が米國は其の圏外に居るから傍聽の位置で議決權を持たない。參考人のやうな風で參加するが決議には入れない。謂はゞ米國は國際的の地位を失つて居る。國際的の合法的の發言權を失つて居る。無力の國ならばそれでも好いが、米國の如き有力な國で國際大會議に自ら參加することの出來ないことは決して快いことでは無い。此の地位を挽回したいと云ふのが「ハーチング」氏の大なる野心である。前大統領の「ウイルソン」が國民をして斯かる矛盾せる地位に立たしめたのであるが、「ハーチング」は「ウイルソン」の失敗を拭ふ「ウイルソン」の失策を玆に補充すると云ふ一種の義務

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

がある。そこで何か國際會議を催ふし、世界の耳目を聳動せしめやうとする彼の希望に、偶然適合したものが卽ち右に述べた「ロイド、ヂョージ」氏の暗示である。

八　華盛頓會議に於て各國の全權を驚かしたヒユーズの提案

そこで渡りに船と申しましたが、米國の心理狀態は確かにそれであつたのである。始め日本は米國の提議に對して稍や躊躇した。これは一種の國難であるか知れない。東洋に於ける日本を叩き着ける日本苛めの會であると考へた人もないでは無い。政府は數回の回章を發して其の審議及議事の範圍を確める手續を取つた。固より左もあるべきことで、愈々會議が十一月十二日を以て華盛頓に開かれて見ると、何國の全權でも驚きの眼を睜らないものは一人も無かつた。實に秘密に秘密を期して居つた「ヒユーズ」氏の提案は、全世界の代表及新聞記者をしてアッと言はせた。實に思ひ切つた實に徹底せる案を出した。其の案は米國の海軍力の數十萬噸を葬むる動議で、英國も廢棄する、日本も拋棄する。さうして來たらんとする十年間は絕對に船を造らない。十一年目からは或る率に從つて補充する、といふのである。一體自分の國のことを下げる增すは勝手であるが、人の國の事迄立入つて提案を出すと云ふことは何んたる大膽のことであらうか。併し物は相談で、私の國では斯う云ふ案を作つたから之を原案として提出した。諸君が之に御贊同になれば世界の平和の爲に喜ぶべきことである。若し御贊成がなければ米國は考がある。其の考はどんな擴張でもするといふ事が言葉の蔭に意味して居るのである。さうして一定の小じんまりした海軍力を自ら持ち、英國も持ち、日本も六割を持つといふ原案である。私が惟ふに恐らくは日本の海軍省から加藤全權が齎らした訓令は將來の擴張を打ち切る、卽ち八八艦隊の完成を斷念するといふことで、現在の今の船を廢棄しても良いと云ふ訓令は決して持つて行かなかつたらう。又た加藤海相自らも想像しなかつたと思ふ。これは稍や根據のある想像の積りで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。然るに事意外に出でゝ米國の提案は所謂思ふ通り大膽不敵なる徹底せる提案なるが故に、英國日本其他佛伊の全權は吃驚仰天して直ちに本國に訓電を請ふたことゝ思ふ。

九　日本の讓歩と他の平和的協約

一體日本の海軍全權は七割說を至當として主張したとある。或る說には必ずしも主張したのではないが、現在の勢力が七割位になるから米國の六割は不當と云理由を述べたのである。然し七割が至當と云ふのは實際主張したのである。そこで七割と云ふのは何處から出たか、六割ならば完全でないと云ふ絕對の規則は無い。加藤憲政會總裁が言つたやうに、本當に安全と云ふ點は十割でなければならぬ。これは地形の關係海岸線の關係など色々の理由はあるが、眞の絕對の安全は六割七割だから安全でないと云ふ區別は立たない。然し安全不安全と云ふ議論は廢さうぢやないか。戰爭は仕ないと云ふ理會の下に相互に軍備を縮少しやうじやないか。一割の差で會議の成功を期せるぢやないかと云ふのが米國の主張で夫れを英國も援助したのである。斯う云ふ風に出ると、日本も何處迄も一割を主張してそれが出來ない爲に旗を捲いて還へる譯にはゐかない。加藤全權は思慮深く事理に明晰な人であるが、同全權が茲に適當と認めて訓令を得て之に調印をした。私は七割を讓歩して六割にしたことを責める人の有ることを驚く。若しさうでなければ非常に危險だといふなればそれで好いが、他の條項に四國協約なるものが成立した。卽ち太平洋の防備撤退若くは現狀維持と云ふ約束が出來たのである。又飛行機母艦にも制限が出來た。不幸にして潛水艇には制限が出來ない。又た驅逐艦、巡洋艦、補助艦には不幸にして制限が出來なかつた。然し主力艦隊と云ふ攻擊の武器に制限が出來て、而かも防備に制限が出來、航空母艦にも制限が出來たので、無論完全では無いが、然し此の狀態では米國が日本に來ることも、日本が米國に行くことも出來ず。況んや英國が日本に來ることをやである。先づ相互に縛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて武器を小さくする。今迄の三尺の秋水は三寸か二寸の海軍小刀になる。武器が小さければ小さい程戰爭の可能性は減るのである。歐洲の大戰爭は何故に勃發したか、獨逸が餘りに多くの陸海軍を持つたからである。持つて居るものは使用すると云ふのが心理狀態である。金のある人は使ひたい、好い衣物を著たい。是れは人情の然らしむる所で、平和的武裝であるが實は武裝をすればする程衝突が生じ危害が多くなる。そこで相互に軍備を縮少して幾らか安心をしやうぢやないかといふのである。絕對的安全は相互に軍備を爲さゝるに限る若し軍備が多く出來れば戰爭は減らない。故に若し戰爭せぬと決すれば私は日本に取つて六割は寧ろ多きに過ぎると思ふ。日本のやうに困りに困つて文化の設備も出來ず、各般の事に於て財政上の困難を來たして居る國は此の際に於てこそ肩休めをしたい。卽ち他の條件が平和を保證すれば五割でも良い。さうして剩つた金を以て國力を養ひ。或は商工業に長足を展ばせば日本をして國民的に强くなる仕事が出來る。過大なる負擔を軍備の爲に荷ふた日本は、斯う云ふ平和の氣分が兎に角列國間に萠した場合に於て所謂民力を休養し、且つ遲れて居る文化制度の設備をすると云ふ機會を大いに利用しなければならぬと信じて居るのである。

十　軍備縮少より文化的施設へ

臺灣のことは詳しく調査もせぬが、譬へば日本に於て軍艦一般を造るに八千萬圓掛かる。けれども幸ひ今切り捨てることの出來る軍艦一般の八千萬圓を以て大學や中學高等學校は幾つも出來る。年々の經費は別問題として恐くは高等學校の十位は出來やう。大學の三つ位、中學の如きは數十、小學校は百も出來る。今日内地に於て最も悲慘なる一の事實は十三四の兒童が小學校を卒業して中學に這入れない狀態で、親の身になつて實に悲慘なるものである。彼等は少年時代の最も樂しい時期に居りながら小學校を卒業して中學に這入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る苦心は中々並み大抵でない。私の甥などは殆んど夜眠らないで勉强して居る。さうして其の入學の率は寔に少い。中學校から高等學校に入る率は更に少い。斯ういふ風ではのんびりした大きい國民性は決して出來ない。何處の國に斯の如き不釣合な敎育機關を持つて居る國はありませう。私は知らない。小學校の小供の時から入學試驗に靑くならなければならぬと云ふ國は何處にも無い。これはその一端である。其他種々なる社會制度、或は貿易、或は工業の促進發達と施設改善を要するものは多々ある。洵に必要なるものは資金で、其の資金の大部分は多くは軍備に費されて居る。私の敬愛し尊敬する我が海軍々人諸君の此處に居らるゝことを承知して居る。けれども私は甞て東郷元帥にお目に懸つた。其の時に種々なるお物語の裡に、東郷元帥は武と云ふ字は戈を止むると書くので、本當の武人の理想は平和にある、と云ふことを詳しく字を書いて私に示されたことを記憶して居る。又兵は凶器なり成るべく用ゐないと云ふことが軍人の本職であると云ふことを懇々と說かれたことを記憶して居る。是は卽ち忠勇なる海軍々人諸君の日常の御方針であらうと思ふ。往々稍や遺憾に思ふことは、主力艦隊が制限されたが補助艦隊が制限されないから、今迄補助艦隊が手薄であつたのを此際補助艦隊をウンと造りたい、と云ふやうな言葉が海軍將官の人々の口から新聞紙上に發表されて居ることである。成る程今日迄のやうに補助艦が少なくては釣合が著かない。若し然らば今日迄主力艦隊にのみ競爭して居つたのは役に立たぬ大海軍を繼續して居つたと云ふ譏を免かれない。財政上の都合で主力艦隊のみに全力を盡して居つたと說明されて居るが、これは海軍の當局として其の當を得たものであるか疑はざるを得ない。若し今日の狀態でも海軍の威力を保つことが出來れば、此際强いて大部分の補助艦隊に折角の縮少費を擧げて軍備を維持すると云ふやうな方針を執らるゝことは、吾々國民として稍や心外と言はざるを得ないのである。是には種々の議論がありましやう。殊に專門の人の議論は立つかも知れない。然し此際節減し得らるゝ費用を成るべく多く文化事業に捧げて精神的なり物質的文明の方面を充實發展せしむることを要望する權利が吾々にあると信じて居るのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一　華盛頓會議の批判＝空前の成功、二十世紀の奇蹟

日本の全權諸君が華盛頓會議に於て盡された成績は、私は腹藏なく申せば、巴里に於ける西園寺公爵以下當時の全權の成績よりは餘程手際が好かつたと思ふ。然し政府反對黨の如きは、議會に於て失敗呼ばはりをして居る。日本が非常な不利益の位置に立つたかの如くに宣傳するが、公平に考へて日本の執るべき途はあの外に無かつた。若し強ひて七割を主張してあの會議に破裂を生ぜしむれば、其の大なる責任は日本が負はねばならぬ。世界の空氣、人類の輿論に協調し順應して、世界の大勢に逆行しなかつた所の政府竝に全權の態度は、私共國民として大いに感謝して然るべきことゝ思ふのである。强ひて謂へば寧ろ七割などを主張せずに、大きく出て日本の襟度を示し、日本の誤解を一掃し、最難事を全然爲さしむるやうな一段上の態度に出づれば申分がないと思ふ。これは然し餘りに多くを望むことになるかも知れない。私共茲に批判するならば、會議其のものが空前の成效であり、殆んど二十世紀の奇蹟と稱すべき性質のものであると云ふことを斷定するに憚らない。又た米國の執れる態度、英國の執れる態度、我が日本の執れる態度等も、夫々其の國の立場から申して最善の手段を盡したものである。亦何人から觀ても大いに苦情を挾むべき餘地の無いものであると云ふことに歸著しはしないかと思ふ。私は何れかと言ふと、今度の華盛頓會議を非常に歡迎し、又た其の結果を非常に喜ぶ一人である。恐らくは此の次に開かるゝ所のゼノア會議の如きも、あの華盛頓會議に於て示された氣分を以て列國が茲に會商すれば、經濟上其他の事により善き議決を見るに至り、其の結果としては世界の不景氣も稍や安定し、生活難の聲も緩和され、對獨交渉の問題も英佛間の問題も稍や調和を見るに至りはしないか、是に於て始めて戰後の歐羅巴の改造の一歩に著く譯である。今の所では混沌たるものが漸く光明を與へ出して、列國が不安を免かれて我が國も此の同じ恩惠に浴して此の與へられたる機會に於て眞に國力の基礎を固く致したいものと思ふのである。（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Taiwan no Sake ni tuite

Nôgakuhakusi Nakazawa-Ryôdi

Sake no Senbaihô ga okonaware yô to site oru konniti, Taiwan no Sake wa donna monoka to iu koto wo kaite miru nomo Muda no Koto dewa nai to omotte kore wo kaita.

Seiban no Sake   Seiban to hitokutini itte mo Syurui ga aru node torimatomete kaku koto ga dekinai. Tada hitotuhutatu watakusi ga omosiroi to omotta Sake no Tukurikata ni tuite nobete mimasyô.

Kome wo kande Sake wo tukuru.   Kore wa Nippon no Oomukasi ni atta, Kome wo Kuti de kande Sake wo tukutta to iu Koto to omoiawasete, nakanaka Kyômi no hukai mono de aru. Ari-san no Banzin ga zissai yatte oru nowo 4-5 nen mae ni watakusi ga mita Hanasi de aru.

Genryô wa Urutimai matawa Awa wo tukau. Genryô wo madu Midu ni tukete oite, Koroai wo mihakaratte Midu kara dasite, Tô de tukutta Kago no nakani irete Midu wo kiri, Isiusu de tuite, arai Kona ni site, kore ni Midu wo kuwaete Oogame no naka de nite, tekitô no Ondo ni sameta toki oozeino Ningen ga atumatte Yubi de sukutte wa Kuti no nakani irete kamu, yokukande wa hakidasi, mata kande wa hakidasu, kayôni site zentai ga amai dorodoro no Eki ni naru made kamu.

Kono kanda Eki wo seiketu ni sita Kame no nakani sikomu, sono Hôhô wa Usu de tuita bakari no mada nite nai Mono 2/3 to, kanda Mono 1/3 tono Wariai de maze, sore ni zentai no Ryô to onazi Ryô no Midu wo irete Kame no Kuti wo ookii Kusa no Ha de oote oku. Sikoude kara Dai 3 nitime ni natte, mata mae to onazi yôni kudaita Kome 2/3 to kanda Kome 1/3 to wo kuwae, yoku mazete mata Kusa no Ha de Huta wo site oku. Sorekara Natu nara ba 1 tyûya, Huyu naraba 2 tyûya de Hakkô ga sakanni naru, kore wo Tô de tukutta Zaru de kosite nomu node aru.

Digitized by Google   Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Kono Sake wa siroku nigotte otte, mada Namagome ga nokotte ori, suppai keredomo iyana Adi wa naku, Sibumi ya Nigami wa sukosimo wakaranai, Denpun ga takusan nokotte oru node kore wo nomu to Hara ga haru to Seiban wa itte oru. Arukôrubun wa 10 % gurai de aru.

Musya no Seisban no Sake no tukurikata Musya to iu nowa Horisya no oku Higasi yaku 5 ri no Tokoro ni aru node atte, sokono Seiban wa Taiyaru ni zokusuru node aru.

Genryô to site wa Moti-awa wo tukau Kôdi wa Awa wo musite Tana no ue no Zaru ni hirogete, sono ueni Kusa no Ha wo kabuse te oku, sôsuruto 4-5 niti de Momoiro no kabi (Monilia sitophila) ga tuki, tugini Kusairo no Kabi (Aspergillus no Syurui) ga haeru. Mata Kôdi wo tukuru noni tokitosite wa Sake no Kasu wo musita Awani mazete tukuru koto mo aru.

Sikomi niwa Kame wo tukatte Awa 7 syô, Kôdi 2 syô, Midu 15 syô gurai no Wariai ni mazete, Kame no Kuti ni Kusa no Ha wo kabusete oku, hobo 5 ka de Hakkô ga sakanni naru, Hakkôga yaya Owari ni natta toki sibotte sugu nomu node aru.

Sake no Seisitu ya Arukôru no Hukumi kata wa Arisan no mono ni hobo nite oru.

Nao, Hakubutukwan no Mori-Usinosuke Udi no Hanasi ni yoreba: Bunun-zoku (Nanto, Akô, Kwarenkô, Taitô nado no takai tokoro no mono), Tuou-zoku (Arisan no Minami to Kita), Paiwan-zoku (Heitô yori Minami, Taitô yori Minami) no mono wa, Awa nari Kome nari wo kande Sake wo tukuru node atte, mata Taiyaru-zoku no Yama-oku no mono ni kono Koto ga nokotte ori, mata Ami-zoku (Taitô), Taiyaru-zoku (Nanto) no mono wa Koyû no Hakkôso (Kôdi) wo tukuru Hôtô ga aru to iu koto de aru.

Hontôzin no Sake Hontôzin no Sake wa oowake ni site miru to 3 no Syurui ga aru: 1. Zyôzôsyu, 2. Zyôryûsyu, 3. Saiseisyu.

Korera no Sake no tukurikata wo setumei suru mae ni, Sake wo tukuru noni hituyôna Kôdirui sunawati Pêkâ, Anka, no koto w

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

setumei site oku.

Pêkâ: Sake no Genryô ga Satô wo hukunde oru mono de aru toki wa Kôbo to iu mono de hakkô saseru. Sikasinagara Genryô ga Denpun wo hukunde oru mono de wa, madu sono Denpun wo Satô ni naosite kara hakkô sasenakereba naranai. Kono Denpun wo Satô ni naosu tameni Kabi wo tukau. Kono Kabi to Kôbo to wo hukunde oru mono ga Pêkâ de aru. Pêkâ wa Kome no Kona to Nuka to wo maze, kore ni Tane-Pêkâ wo irete Midu de nette, Dango ni site Muro no naka ni irete hakkô sasete tukutte, kawakasita Dango de aru. Kore no naka niwa Saccharomyces to iu Kôbo to Mucor, Rhizopus nado no Kabi ga haitte oru.

Ankâ: Ankâ to iu nowa akai Kôdi de atte Kometubu ni Monascus purpuveus to iu Kabi wo hayasita mono de aru.

1. Zyôzôsyu   Zyôzôsyu wa moto kara no Taiwanzin wa amari tukutte oranakatta rasii, tada Sina no Syôkôsyu no mane wo site tukutte oru mono ga waduka aru bakari de aru. Sono Tukuridaka mo waduka 4-500 koku gurai de aru ga, hotondo Mondai niwa naranai no de aru.

Syôkôsyu   Kore no Tukurikata (1) wo goku kantanni itte miru to Motigome wo musite koreni Pêkâ no Kona wo mazete Anka to Midu towo mazete oki, mainiti kore wo kakimazeru. 60-90 niti no noti kore wo sibotte, Hiire wo yatte, Tyozôgame ni irete, Kame no Huta wo Doro de Menuri wo site oite, sukunakumo 3 kagetu tyozô site uridasu.

(1) Syôkôsyu no Tukurikata wa Sina no sore towa kawatte oru tokoro ga aru.

2. Zyôryûsyu   Zyôryûsyu to iu nowa Genryô wo hakkôsasete dekita Moromi wo zyôryû site totta Sake no koto de atte, sono Genryô to site wa Kome, Tômitu, Kôryô (Takakibi) nado wo tukau node atte, dekita mono wa sorezore Biityû (米酒) Tonmiityû, (糖蜜酒) Kaoryantyû (高粱酒) to itte oru.

(a) Biityû   Genryô to site wa Uruti-gome, mata wa Uruti-gome no kudaketa mono wo tukau, ooku wa Hakumai wo tukau ga

mata Genmai wo tukau mono mo aru.

Genryô wo musite, kore wo 35 do gurai ni samasi, Kome 1 koku ni taisite 400 me no Pêkâ wo Kona ni sita mono wo hurikakete yokumaze, kore wo Kame ni ireru. Yaku 1 tyûya tatuto kono Kome ga Pêkâ no Kabi no tame ni sono Denpun ga Sâtô ni natte amai Siru ga dekiru; sono Teido wo mihakaratte Midu wo ireru, sono noti Hakkô no Teido wo mihakaratte 2 kwai Midu wo kuwaeru Hazime kara kanzyôsite 8-10 ka de Hakkô ga owaru.

Hakkô no owatta mono wo Zyôryû suru node aru.

Zyôryûki wa kabutogamasiki de atte, zenbu Suzu de dekite oru, kore wa Gôtyûtan to iu.

Dekita Sake wa 20-25 % no Arukôru wo hukunde ite, sugu Nomimono nimo tukausi, mata Saiseisyu no Genryô nimo tukau.

(b) Tômitusyu Satô wo tukuru Tokoro no Sutarimono de aru Tômitu no naka niwa ooyoso 50 % no Satô ga aru node, sore wo hakkô sasete Nomimono wo tukuri, kore wo Tômitusyu to iu node aru.

Tômitu wo hakkôsaseru noni (1) Pêkâ we tukaumono (2) Awamori Kôdi wo tukau mono (3) Seisyukôdi wo tukau mono (4) Zyunsui Kôbo wo tukau mono no 4 no Keisiki ga aru. Sikasi iduremo tada hakkôsaseru nomi de atte betuni tori tatete iu hodono koto wa nai.

Zyôryûki wa maeni itta Gôtyûtan wo tukatte oru. Dekita Sake wa yahari Biityû to onaziku 20-25 % no Arukôru wo hukunde oru.

(c) Kôryôsyu Kore wa Takakibi wo Genryô to suru node atte Mansyû de yatte oru mono to hobo onazi Hôhô de tukuru node aru.

Taiwan dewa sono Dekidaka mo amari ooku wa naku, tada Rokkô de yatte oru bakari de aru ga, sono Hakkôhô ga medurasii kara kokoni kantanni kaite miru.

Genryô ni tukau Kôryô wa Kara wo totta bakari de, Kawa no muite nai mono wo tukau. Kôryô wo musite, sore wo samasi, 30 do gurai ni natta toki ni, Pêkâ no Kona wo hurikakete yoku maze,

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

4-5 sun no Takasa ni tunde, kore ni Nuno, Musiro nado wo kakete oku. Yaku 1 tyûya no noti Sikomi-Oke ni utusu. Sikomi-Oke no nakani Kôryô wo yoku ositukete, sono ueni Momigara wo 7-8 bu siite, sarani sono ueni Nebatuti wo 2 bu gurai no Atusa ni nutte mattaku toditte simau. 12-17 niti mo tatu utini, kono Nebatuti no Men ga dandan sagaru, Nebatuti no Oke ni tuite oru Tokoro matawa Nebatuti ni Wareme ga dekita toki wa kore wo mata Nebatuti de nuritubusite oku.

Moromi ga zyukusita ka dôka to iu koto wa, Nebatuti no ueni deru Nioi matawa Nebatuti ni tokubetuni Ana wo akete sono Nioi wo sirabete miru, karai Nioi ga suru toki wa zyukusita Syôko de aru.

Kono zyukusita Kôryô wo Seirô no yôna mono de musinagara zyôryû suru.

Dekita Sake wa Arukôru 40 % yori ue de aru, kore wa sugu nimo nomusi mata nagaku Kame no nakani takuwaete okuto dandan Hûmi ga yoku naruto itte oru.

3. Saiseisyu   Saiseisyu to iu nowa itido Sake ni tukutta, Biityû nari Tômitusyu nari wo Genryô ni site tukutta Sake de atte, Hutatabi tukutta Sake to iu Imi de aru. Antyû wa sono 1 syu de atte, mata Biityu ni iroirono Kusa no Ne ya Ki no Kawa nado mata Satô wo irete Nioi ya Adi wo tukete tukuru mono mo aru. Kusa no Ne ya ki no Kawa nado wo ireru mono wa sorera ga Kanpô no Kusuri de aru kara sorera no Sake wo Iotyû (Kusuri-Sake) to itte oru.

Ima Saiseisyu no Uti de sono omona mono de aru Antyû ni tuite noberu.

Antyû   Motigome wo Midu ni tukete kara musi, tekitôni hiyasite kara Ankâ wo mazete, sugu Kame no nakani irete Midu wo kuwaeru. Sorekara mainiti kakimazete 1 syûkan no noti Genryô-Biityû (Arukôru 20-25 % no mono) wo maze, sono noti 1 syûkan de sibotte, dekita Sake wo Kuti no tiisai Kame no nakani irete, sono Kuti wo Mebari wo site Kura no nakani takuwaete oki, 2-3 nen no noti Kura kara dasite Oribiki wo site uridasu. Kono hurui

Digitized by Google   Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

mono wo Rô Antyû to iu.

Arukôru-bun wa 18-22 % gurai de, atarasii mono wa Beni no yôni akai ga Rô-Antyû to naruto Seisyu no yôna Iro ni natte naka naka yoi Adiwai no mono de aru, mata Rô-Antyû wa kanari takusan nonde mo Hutukayoi wo sinai to iwarete oru.

Korera no Sake ga Taiwan de dekiru omona mono de aru ga, sono Dekidaka wo agereba, Taisyô 8 nen niwa.

Syôkôsyu	550 koku	Kôryôsyu	400 koku
Biityû	64,000 koku	Antyû	39,000 koku
Tômitusyu	54,000 koku		

de atte sono hoka Nippon kara kuru mono wo agereba,

Seisyu	18,500 koku	Budôsyu	700 koku
Biiru	14,900 koku	Sono hoka no Yôsyu	1,900 koku

de aru.

Ima korera no Sake no uti de Kome wo Genryô ni tukau mono ga Kome 1 koku kara ikura Sake ga toreru ka wo kanzyôsite miru to tugi no tôri de aru.

	Kokusû	Arukôrudosû	Arukôrukosû (1)	Seisyu tono wariai
Seisyu	1,428	13	18,564	100
Syôkôsyu (2)	1,463	15	21,945	113
Biityû	1,400	20	28,000	150
Antyu (2)(3)	1,085	22	23,870	128

(1) Arukôrukosû to iu nowa Zyunsui-Arukôru 1 syô wo 1 ko to iu.

(2) Ankâ 1 koku wo Kome 1 koku to suru.

(3) Biityû wa Kome 1 koku ni tuite 28 ko no mono 24% Arukôru no mono wo tukatta to site kanzyô sita.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

征番私記

大路主人　水野遵氏纂述

此書は臺灣に於ける初代の長官（民政局長）故水野遵氏が明治七年の征番及それ以前の臺灣視察に關する事情を編纂したもので、該書は水野氏の實歷、當時の往復文書及び關與者の談話等に據り其の事變後、明治十二年中、水野氏自ら東京に於て記述されたものであるから、征番事歷に就ては有力な史料であると思はれる。

第一回　生番殺人縣官訴冤

明治天皇即位の四年辛未十月琉球屬島八重山宮古島の漂民臺灣生番の毒手に斃れ方に纔に虎口を脫よる者十二人其の翌明治五年六月清國福建を歷て那覇港へ航歸し其の顛末を當時の在島日本官吏に訴へければ大山鹿兒島縣參事之を、朝廷に奏上し島民の爲めに其の冤屈を雪がむことを請へり其の奏文に

大山綱良謹白琉球國昔より本邦に服屬し甚恭順を盡す。然れども其の國遠く南海の内に在り其の俗固陋を免れず。皇朝一新の時に至りても其風化及び難きを以て今春縣下士族伊知地壯之丞其の他二名に命じ諭すに、朝廷の意を以てし陋習を變革せしむ國王亦能く其の意を奉體し日々開化に赴く然るに琉球屬島宮古島人去冬臺灣に漂流す舟中六十人の中別紙報告の如く暴殺さる殘虐の罪暫くも容す可からず。因つて今伊地知壯之丞に命じ入朝して詳かに其の事を奏聞せしむ。伏て願くは綱良、皇威に仗り問罪の師を興し彼を征せむと欲す。故に謹で軍艦を借り直に彼が巢窟を指し其の渠魁を殲し上には、皇威を海外に張り下には島民の怨魂を慰せむと欲す。伏て願ふ其の乞を許されむ事を壬申七月二十八日鹿兒島縣參事

大山綱良頓首

（別紙報告）

宮古島六十九人の船臺灣へ漂着十二人生殘り福州府へ護送せられ隋唐船へ乘付き那覇著右十二人の内宮古人仲本筑登之（チクトシ）島袋筑登之よりの聞書

辛未十月十八日宮古島八重山島の船二艘つゝ那覇港出帆計羅間島（那覇より七里）へ潮掛り同二十九日同處出帆翌十一月朔日晝後遙かに宮古島を見掛けたれども亥子の風に轉じ港を執ること能はず風に任せて漂流す。

八重山船一艘は臺灣の支那支配内に漂著府城へ送らる一艘は今に行衞相知れず宮古船一艘は後に生島へ順著一艘は仲本等の乘組し船なり。

同五日臺灣の外山を見付けたり。六日地方近くなりぬれば端舟に四十人計乘込上陸す。舟小に波高くして三人は溺死せり。又端舟を歸し殘りの人々を迎送す。本船は間もなく破壞せり。六十六人陸に上り人家を求めて徘徊す。支那人兩名に逢ひ人家の有無を問ふに兩名の曰く西方に行けば大耳の人ありて頭を斬る可

し。南方に行く可しと教へ兩人案内にて南方に向ひ行けり。

兩人六十六人の携へたる衣服類は已が持てる限りは奪取り餘は山中に投入れ標木を格護す同類多からむと思ひ畏縮して手向ひせざりし

日既に暮むとす。兩人路傍の石穴を指て曰く人家猶遠し今夜は此の洞中に一宿す可しと六十餘人宿す可き程の穴にもあらざれば皆能はずと答ふ。兩人之を強ふれども承諾せず。兩人の曰く我が言を用ゐざれば何も構はずと言ひて激怒す。皆思惟らく此の兩人は盜賊の類にして南方へ行く可しと教へしも詐なる可しと此より兩人に別れ西に轉じて行く。夜も已に更けぬれば此の夜は路傍の小山に宿す。此日の朝船中にて食せしまゝ何も食せず。七日南方に當りて人家ありげに見請ければ之を目的にして行くこと三里餘果して茅屋十五六軒あり。耳大に肩まで埀る者あり。身の長さは並の人なる男女住居す。暫くありて小器に飯を盛り六十六人に與ふ。初更頃唐芋に米を雜ぜ二桶焚き位の鍋に焚きて二鍋を與ふ。支那人兩人の奪ひ殘りの品は此の家の者皆奪ひ取る此の家に投宿の所夜半頃一人左の手に松明を握り右に長さ柄ごみ三尺許なる片刄の刀を携ふ。戸を押し開き入り來り二人の肌著を剝取り去る。八日朝男五六人各鐵砲を携へ宮古人に向つて曰く我等獵に行かむとす。歸るまでは必ず滯留す可しと皆口を揃へて曰く此より他に轉じて行かむと謝す。餘の土人も強て之を止む。宮古人益疑惑を生じ二人三人宛散り〲に逃げ出し又一處に合して一里二三合程行けば小川あり此處に休息す。男三四人女四人追ひ來れり。依つて川を渉り又逃げ行き路傍に人家五六軒あり。此の内を窺へば一人の老翁（七十三歳）出迎へ琉球なる可し。首里か那覇かと言ふ。此の詞を手寄に恐れ〲翁の家に憩ふ。翁の子（三十歳）曰く姓名を記さば府城に送る可しと。仲本等筆紙を乞ひ姓名を書かむとす。先に追ひ來りし者共追々萬み三十餘人に及び各刀を携へ庭中に立し宮古人の帶及び衣服を剝取り一二人づゝ引連れ門外に出で僅に二十二三人殘れり。一人裸體にて門外より馳せ歸り皆殺さるゝと言ふ。仲本、島袋等さてもと思ひ立出で窺へば刀を以て首を刎ねたり。

兩人の話に人肉を食ふと言ふ說もあり又腦髓を取り藥用にすると言ふ說もあり其の人を殺すと云ふ譯分明ならず。

因て驚き騷ぎ各四方に散亂す。仲本、島袋外七人は翁の家に潜居（兩人の言に翁の家は土人支那管轄の境目信ならず）此の夜翁の家に宿す。九日午前翁の壻來りて曰く此の地甚だ危し。我が家に行かむと九人を誘ひ壻の家に到る（路程三里程山川あり又處々に人家もあり）兩日過ぎ三人翁の教により壻の家に來る。三人曰く餘人は皆山中に於て殺されたると。此の家に滯留する事四十日餘り。殺さるゝ者都合五十四人なり。

此の地支那管轄にて人家三十五六軒あり支那の書を讀み支那の字を學ぶ。滯留の内日に飯を二度宛出す野菜、漬物、醬油等あり。唐芋を米に入れ炊て出すこともあり。毎々近隣より招請酒肴鷄豚の設あり酒は支那老酒

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又燒酎に類せるものあり氣候暑く十一二月單衣一枚にて寒からざりし。

十二月二十二日增同伴にて出立陸行行程三里山路なれごら坂はなし夫より小舟に乘り五六里行き又陸行夜三更頃增知人の家に投ず滯留二日千餘の人家あり村名はしらず

二十五日逆旅主人駕籠より案内す陸行九里餘郊原の路にて山はなし處々村落あり旧畠あり增は前宿の所より辭し歸れり

著の日は粥を出し翌日より朝は八椀の菜にて飯を出す十二人へ木綿々入一枚つゝを與ふ。

滯在二日數千の人家あり支那より兩官人詰居たり又西北に向ひ來りし故稍寒冷を覺ゆ二十八日陸より護送されて一大村に宿す行程六里處々に村落あり隨分繁華の地なり二十九日護送人相付き發程臺灣府城へ著す行程八里村落田畠あり滯留中日二度づゝの賄八椀の料理なり

八重山の漂流人は護送せられて早既に此の地に著し居たりき。壬申正月十日八重山人と同じく火輪船の臺灣府の官船に乘じ福州川口に二日碇泊の後琉球館に入る六月二日琉球に歸る唐船に乘付き同所出帆同七日那覇港へ著船す。

○

大里間切郡與那原村住居謝數筑登親雲上十二反帆馬艦船宮古島年貢爲運送人數六十九人内四十八人宮古島役に主從乘組去年十月十八日那覇川出帆追風不相續慶良間島溯掛り同二十九日同所出帆致候處暴風積荷物打捨風儘に流れ行き檣檣とも切捨段々難儀に及び十一月六日臺灣の内生蕃と申處へ漂著乘組人數陸へ卸し人家遠し翌日尋出何れも差寄相救呉度手樣にて相願候に付粥抔相與へ安心致居候處存外持參の諸道具衣裳等被奪取候に付驚入逃去候ところ四五人武具を持ち追ひ來れり一同一里五合餘小庄の陵老先と申者の家内へ參り候處生蕃の者多人數追集り同所にて又以て著衣剝き取り五十四人は殺害に逢ひ十二人は逃延、内十一人は右陵老先竝保力庄楊友旺と申者の家内へ相隱れ一人は山中へ逃走生蕃の者共に捕出され候を右楊友旺竝同庄の楊阿和楊阿二宋國隆と申者四人聞き及び早速役所へ差越へ番錢四十五枚布六反牛一匹右の者共へ相與へ救ひ出され右楊友旺家内へ召連れ歸り十二人一所に留宿せしめ鳳山縣竝臺灣府本に被送屆猶又火輪船より被差送當正月十六日福州到著海防官より琉球館へ引渡され候に付在留請取堅く取締方申渡し介抱いたし七人は此節接貢船より歸帆致候に付人數荷物相改別條無之候

附

一、乘組人の内三人は本船傳問より陸へ漕ぎ渡る半途波に打沈められ溺死いたし候由

一、楊友旺家内にて毎日茶烟草灯油相付三度の食物結構に被給の上袴無之者共へ是亦一つ宛被給鳳山縣にても前條同斷被給の上綿入衣裳一枚づゝ被給府本迄屆の上も賄方竝胴衣袴一通づゝ錢百五十文づゝ被給候に付錢は處々にて細遣ひ爲仕候由

西村平安山筑登之親雲上十二反帆馬艦船八重山島年貢爲運送人數四十六人内二十六人八重山島役に主從乘組去年十月二十九日頃那覇川出帆のところ風波荒立候に付荷物相捋候上檣共切捨風儘に流れゆき同十二日には何地と

も不相知島相見へ追て同所へ流著早速處の樣子爲尋方兩人差遣候ところ此處の者共に被取込間もなく數十人船へ乘付き濱邊へ引入候砌鳳山縣の内打狗港の李成忠と申者船近く乘り寄せ當所は臺灣の内生番と申處にて心持不宜段手樣等を以て被相達候に付本船打ち捨て何れも右船へ乘り移り打狗港著船火輪船より臺灣府へ被送屆且又生番にて陸卸致し候兩人事處の者五六十人弓鐵砲刀杯持ち被打圍既に殺害の難逃ひ同處へ致中宿候郭潜と申者早集の内へ憚り段々相談いたし兩人とも引取彼宿へ隱し置き翌日未叫尤魁と申者家内二里程相離り候處へ引移の半途にて二十人程武具を持ち追ひ來り又候致相談候へ共不聞入頻に殺害の體相見へ候に付目樣を以て早速逃去らせ兩人とも行先人家へ走り入り候處幸右の尤魁家内にて厠に押隱し自分は外へ走行右郭潜兩人にて可塚に介抱いたし格護候上折々府本への便を求め成行被差遣候ところ折角府本にて總人數より探方の願申出被差出候使者其段被承早速被差越右尤魁親子相合守護いたし一同出立二里程にて一行小舟へ乘付候折又候武具を持ち追ひ付き打圍候に付三人とも差憚り段々致相談候へ共不聞入殺害の模樣相見え候を右使者より番錢十五枚竝白布十反相送候に付被差許臺灣府本へ到著前條人數一同福州へ被差送琉球館へ被引渡候に付在留請取介抱致し十九人は接貢船へ乘合歸帆候に付前條同斷相改別條無之候

附

打狗港著船滯留中右船主より飯米竝烟草灯油相付候上錢千文被給且府本より胴衣、袴、綿入、衣裳一通づゝ竝頭立候兩人へば錢千文づゝ餘の人數は同五百文づゝ被給出帆前總人數へ同七千九百文被給候に付錢は處々にて細遣爲仕候由右人數の内八重山男の者一人は臺灣府にて拖痛相煩ひ養生不相叶死去致候に付棺材衣服等被給其處へ葬方燒香等取計爲有之且同島の者十人福州へ到來の上拖痛相煩ひ養生不相叶致死去候由

右兩艘の人數福州到著以來右政府より根銀被給候に付存留請取介抱料に召遣候由

右者其本船相失ひ身すがら相成候上段々及心苦候に付爲恤銀總督撫院より一人に付銀四十目づゝ被給候由

右兩艘乘組の内二十一人は接貢船へ乘合難成滯在中付候由

漂著の次第在唐在留申越候間書付二冊於役許人數改帳一冊差越申候

右之通御屆申上候間宜被申上候　以上

申六月十五日　川平親方

龜川親方

宜野灣親方

與那城親方

里村藤太夫殿

鞭見城親方

池城親方

調査研究

本島の監獄制度に就て

法務部長　和田一次

一　沿革

本島の監獄事務は明治二十八年十一月臺灣監獄令及監獄假規則の制定を以て創まつたのである、當時軍務匆忙の際であつたので一時警察署若くは憲兵隊の留置場を以て獄舍に代へ、警察官をして行刑の事務を掌らしむる等の便法を執つたのであるが、翌二十九年四月民政施行に當り初めて臺北、新竹、宜蘭、臺中、苗栗、鹿港、埔里社、雲林、臺南、鳳山、嘉義、恒春及澎湖島の十三箇所に監獄を設置し、又一面多數の看守長、看守を內地より募集し、茲に輪廓の整つた本然の行刑事務を見るに至つたのである、其の後屢々廢置分合を行ひ、越えて三十二年二月臺灣監獄則が施行された、而して從來監獄は地方廳の管轄に屬して居たのであるが、三十三年九月總督府監獄官制の公布せらるゝに及んで遂に全島の監獄を總督の直轄に移され今日に至つて居る、現在の監獄は臺北、臺中、臺南に各本監ありて其他宜蘭支監、新竹及嘉義の二出張所である。

二　獄舍

領臺當初に於ては清國時代の廳舍、廟宇若くは倉庫等を假用して居たのであるが、檢束、衞生、作業等の設備が不完全であつたので囚徒の病死、逃走等頻出したのである、是に於て臺北、臺中、臺南三監獄新營の計畫を樹て明治三十二年度より多數の囚徒

を使役して工事を起し、五箇年の歳月と工費八十萬圓を費し三十七年三月に至つて悉く竣功したのである、而して其の設計は歐米の最新式に則り監房は煉瓦又は石造とし扇面狀に排列し分房制及雜居制の折衷主義を採用し檢束、衞生、作業等に最も適應した考案に成つて居る。

又嘉義出張所は大正八年度より工費十二萬圓の豫算を以て是亦囚徒を使役して新營に著手したのであるが、十年度中には竣功の豫定である、規模は前三者に比し小さいが監房工場は素より其の他の建物も大部分煉瓦造であり就中獨居房の多數なるは其の特色とする所で收容豫定人員約三百人である。

新竹出張所も亦工費三十萬圓三箇年繼續事業として監獄直營の下に十年度より起工すべく目下設計中である、竣功の上は前數者に優る結構を有し囚徒約五百人を收容するに足るであらう。

三　執行機關

典獄三人各監獄の長となり監獄事務全般を掌理し所屬員として典獄補二人、看守長三十五人、通譯四人、監獄醫十人、敎誨師八人、敎師一人、看守五百五十五人、女監取締十七人、雇員六人、授業手十九人、事務傭十八人、押丁三十六人典獄とも計七百十四人が獄務に鞅掌して居るのである。尙ほ支監長は典獄補又は看守長を以て充て、出張所主任には看守又は看守長を以て充てゝ居る。

事務の分掌は行刑、敎務、作業、醫務、庶務、會計、用度及領置の各係に岐れ、看守長、監獄醫、敎誨師が主任となつて其の下に看守長以下の前記職員が分屬して居るのである。

尙行刑事務は取り分け各分掌事務の連絡統一を圖る必要と在監者處遇に關する異動決定に就き廣く意見を徵する必要上、每日各主任を會同して會議を開き監獄長の諮問に答ふる組織になつて居る。此の點は他官衙に多く見ざる特色であらう。

獄務の成績は職員の能力に繫るもの多きは勿論であるが、就中看守長及看守は其の中堅となつて居るので其の人物の優劣は直に行刑の效果に影響するのである、而して其の養成方法は內地に於ては看守長は特別任用を主とし、看守に對しては各監獄に於て二箇月間の敎習を經て實務に就かしめて居るのであるが、本島に於ては警察官及司獄官練習所を設け、警部、巡査、看守長、看守を養成することになつて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

居る。即ち看守長は看守中の優良者を拔擢し之に一箇年の特別敎育を施して一般文官の任用資格を得せしめ、看守は四箇月間の敎習を施した上補職するのであつて、看守長の特別任用は成るべく避けて居る、又毎年三名乃至四名宛看守長、敎誨師又は看守中材幹ある者を選拔して内地監獄協會設立に係る監獄官練習所に入所せしむる等、人物養成に努めて居るのである。

四　在監人

改隷以來明治三十六年に至る迄は在監人員逐年増加し一日平均四千人を超えたのであるが三十七年以降漸次減少して四十年以來は一日平均三千二百人内外となつた、之が主因は犯罪即決例並罰金及笞刑處分例施行の結果であらう、其の後大正元年以來は相次で恩赦を行はせられたので非常に減少し、一時二千三百人に降つたが大正三、四年匪徒事件の爲め俄に約一千人を増し、爾來増加して大正九年頃には三千六百人を超ゆるに至つた、然るに其の後著しく減少し大正十年當初は三百人を下り益々遞減の傾向に在つたが、同年五月罰金及笞刑處分例が廢止された結果増加し來り、同年末に於て三千二百四十四人を收容して居る、其の十年末現在の內譯は刑事被告人三百五十六人、受刑者二千八百四十二人、留置者四十六人で內內地人三百三十八人、本島人二千八百十七人、支那人八十九人、其の體性別は男三千百三十二人、女百十二人である。

罪質は大正八年の新受刑者に就て見れば、其の主要なるものは竊盜四三%弱で第一位を占め、詐欺橫領一五%强、阿片違犯九%强、賭博富籤九%弱、傷害八%强である、然るに內地に於ては竊盜三八%弱詐欺橫領一五%强、賭博富籤一四%强、傷害五%弱となつて居る、即ち本島は竊盜に於て五%多く詐欺橫領に異りなく、賭博富籤は五%少く、傷害は三%多いことになつて居る、又本島に於て特に目立つて居るのは姦通であつて內地〇〇・五%弱に對し本島は五%弱であるから十倍の多數に上つて居ることゝなる、又注意に値するのは本島人に墮胎罪の殆んど絕無であると云ふことである、即ち以上の說明に依つて彼是人情風俗文化一端を窺知するに足るであらう。

犯數は大正八年以前三箇年の新受刑者中、初犯者七二%强、累犯者二八%弱となつて居るが、內地は初犯者六七%弱、累犯者三三%强である、即ち本島

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は内地に比し累犯者五%丈け少ないことになつて居る。

五　處　遇

行刑の根本法規としては臺灣監獄令を以て監獄法に依ることゝし、監獄令施行規則も亦殆ど内地同樣の内容を有して居るのである、只本島人の舊慣を尊重して辮髮と纏足とを許して居るが、數年前より殆ど是等の影を止めざるに至つた、本島監獄の在監人は前述の如く本島人が約十分の九を占めて居るのであるが、其の處遇の大方針は内地延長主義に則り同化を主眼とし、只敍上の辮髮纏足を許し、被服の制式を本島の製に依ることにして居る位のもので、其の他内臺一視同仁、些の區別を設けざ仁慈なる皇化に均霑せしめて居る。

處遇の方式は所謂箇別主義に依り、拘禁、戒護、作業、敎誨、敎育等彼等箇性の異なる所に應じ夫れ〳〵適當なる處遇を爲し以て行刑の效果を期すべく階級處遇制を採用して居る、即ち箇性の相異に依り受刑者を數種に分類し之に對し作業、紀律、被服臥具、食料、書信、書籍、監房、工場の別分を異にし寬嚴の度を異にするのである、而して其の運用は受刑の初期は嚴重なる威嚇刑の執行に因りて國法の威力を痛感せしめ、中期に至り漸次寬和して感化刑を加味し、後期に至りては主として感化刑の執行に依りて社會生活適應性の助長に努め、終期に至りては社會生活に近接せしめて境遇の激變に因る反動を防止せむとする幾階級の上に働くものである。

次に本島人が多數を占むるので人情風俗就中言語の相異は内地監獄に比し處遇上困難なる點であり、又長期刑の匪徒囚多數なる爲め職員には土語の習熟を極力獎勵して居り又戒護上非常の注意を拂つて居るのであるが、囚情は極めて平穩で反則も内地に比して非常に少なく逃走は十數年の中先年一件を出したのみである。

六　作　業

作業は衞生と經濟に適し又出獄後の生計を慮り成るべく其の地方にて就職し得べき業種を選擇して居る、其の賦課に當つては刑期、健康、技能、職業、將來の生計等を斟酌し各箇人に適當せる業種を配して授職の目的に副はむことを期し、其の督勵に因り勞働慣習に馴致せむことを計つて居るのである、目下作業は官司業三分の二、受負業三分の一の割合で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あるが內地は官司業五分の一、受負業五分の四で彼是反對の現象を呈して居る、業種は約四十類、之を細別すれば百種に垂んとして居るのである、其の業種の主なるものは指物、籐細工、麻裏草履工、洋服裁縫工、農業等である、而して其の製品は堅牢に傾き優美高尚の點に缺くる批難があつたが、當事者の活動と優良なる授業手を聘し鋭意改善に努めた結果近年高評を招き需用に應じ切れざる盛況を呈して居る、作業收入は明治三十一年度約一萬八千圓の所、二十餘年を隔てた大正九年度は約二十七萬圓即ち約十五倍に達して居る、尙大正九年度の作業費の支出は十四萬四千餘圓で收入超過約十二萬六千圓である

七　教誨教育

教誨師は眞宗の僧侶を招聘し奏任、又は判任官の待遇を與へられて居る、又時に本島人の名望家に囑託することもあるのである、教誨の種別は總囚、分類、箇人の三つに大別される、總囚教誨は在監人の殆ど全部に對し、分類教誨は箇性の類似するものを集め孰れも日曜日又は晝食後の休憩時に於て爲して居るのである、箇人教誨は收監、釋放、懲罰、書信、接見、獨居房の訪問等適當の機會を捉へて臨機の教誨を爲し常に惡性の陶冶德性の涵養に努めて居る、其の他監獄としての出獄後の保護に關する事務を取扱つて居る。

教育に關しては未成年囚の教育は臺北監獄に未丁年監を特設して各監獄より集禁し、教師は公學校教師の資格ある者を採用して一日四時間以內公學校又は小學校の制に準し普通教育を施して居る、其の他の成年囚の一部の者にも各監獄に於て主として國語を教授して居る、書籍は監獄の紀律に害なきものに限る各本人の購入差入を許し監獄に於ても官本として多數備付け看讀せしめ教化を助成して居るのである。

八　衞生

狹少の地域に多數を集禁して居るのであるから空氣の溷濁と刑の苦痛より來たる心身の障碍は免かれ難い所である、從つて換氣、採光、濕潤防遏、下水の設備等非常の注意を爲して居り、又食物、被服の給與、作業の賦課には監獄醫の意見を採用し其の他時々健康診斷を行ひ患者は病監に收容して殆ど普通病院に劣らざるの取扱を爲して居る、又刑の執行に堪へざる疾病に罹れば刑の執行停止を爲し親屬故舊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に引渡し又自費を以て病院に入院治療することも出來ることになつて居る。

在監者の患者は近年在監者百人に付患者二人强、死亡は患者百人に付約十人の割合である、此の外休養せざる輕症の者在監者百人に付約五人である、病種は肺結核、感冒、氣管技病、胃腸病、マラリア阿片癮が主要のものであるが阿片癮は其の全部其の他の疾病も大半は入監時に携有したものである。

九　指　紋

犯罪人の箇人異同識別の方法として指紋法とベルチョン式人身測定法とを採用し明治四十五年七月より本島に實施した、本事務は法務部を中央機關とし監獄の入監者全部に就き指紋原紙と氏名索引（人身測定法併用）を作成せしめ之を法務部と監獄とに保管して再度入監の際又は犯罪現場に遺留せる指紋の痕跡と之と對照し彼是の異同を識別する作用を爲すので卽ち前科、僞名の發見、犯罪捜査の效用を爲すのである、創始以來殆と毎年監獄、警察の職員を法務部に召集し講習會を開き又は地方廳の講習會の招聘に應じ或は警察官及司獄官練習所の學課目に加ふる等該智識及技術の普及と熟達を計つて居る、爲に近年前科發見の數增加し來り犯罪捜査に利用するの風頗る盛になつた事は喜ばしき現象である、創始以來既に十年を經過したる大正十年末法務部保存の指紋原紙五萬二千百六十七枚氏名索引（人身測定法併用）五萬九千五百二十枚の多數に達して居る、又指紋に依る前科發見は一千六十八件、現場指紋に依る犯人其の他發見七十七件と云ふ成績を擧げて居る。

一〇　出獄人保護事業

本島に於ける免囚の保護は明治三十一年臺北新起街に白羽窮民救養所なるものを設け出獄人を保護したるが端緒である、然るに其の規模極めて微々として基礎薄弱であつた爲め幾干もなく廢止した、翌三十二年有志相謀つて臺北小南門街に臺北感化保護院を設立し、臺北監獄の出獄者中内地人九人、本島人六人を收容したのであるが、失敗に歸し廢止するに至つた、然るに後數年を經て愈々免囚保護の必要に迫り明治三十八年臺南監獄の職員が私財を投じて出獄者の保護を試みたのが今日の三成協會の起つた端緒である、其の組織略々成るに及んで之を累功舍と稱した、越えて四十年臺北に一新舍成り臺中に再生舍が起つた、是等は孰れも皆監獄職員中公務の餘暇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を割いて爲す事業で其の間幾多の困難に遭遇し、殊に資金の窮乏に苦しんだのであるが幸ひ臺灣婦人慈善會及民間より土地と家屋の寄附を受け、臺灣總督府に於てもまた斯業の喫緊なるを認め明治四十一年度より年々三千圓を補助することゝなり茲に初めて基礎確立し其の成績亦見るに足るべきものあるに至つたのであるが、尙ほ益々事業の發展を期せむが爲め大正四年九月臺北、臺中、臺南の三保護場を一團となし組織を變更し財團法人臺灣三成協會となし事業を統一し今日に及んで居る。

當時本島保護事業は三成協會の外宜蘭に宜蘭保護場、嘉義に龍華會、高雄に洗心舍がある、孰れも民間有志の經營で最近の設立に係るのである。

保護の成績は明治三十八年開始以來大正九年末に至るまで保護したる人員一千五百二十五人其の中保護の成績良好にして獨立生計の途立ち又は父兄等に引取られたる者一千二百四十一人、無斷退舍其の他成績不良の者百七十六人、保護の成績良否不明の者百八人中死亡者其の他六十一人、現在者四十七人である（以上は保護場に入舍した者のみで金錢衣類の給與等一時的保護は頗る多數に上つて居るが之は省略する）。

一一　結　言

以上只本島監獄の沿革と現在の狀態の梗概を紹介するに止むる、內地監獄との比較論評も面白いことゝ思ふが他日に讓ることゝする、最も今日の本島監獄は勿論觀る人に依つて各々觀察を異にするであらうが少くとも大なる遜色はあるまいと信ずるのである、併しながら未だ決して完全なものではない、監獄の設立、在監者の種類に依る分類集禁、內地に於て頻りに問題とされて居る所の不良少年の取扱、作業問題又は免囚保護事業の擴張其の他監獄改良問題は眼前に山積して居るのである、是等は財政と相俟つて漸次改善され展開されることゝ思ふるが其の詳細に亙つては今日彼是言明するを憚らざるを得ない次第である（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錫崙島の近狀、

田原天南

一、人口

●●錫崙が千八百十六年英領となてから玆に一百年利源の開發、産業の振興實に著しきものあり、葡萄牙時代、和蘭時代に比すれば、其の榮枯天淵の差がある。面積は六萬五千九百九十六平方粁、政治上に於て印度帝國に屬せず、英國の王領地として島民の自治權を認めず、パルク海峽により印度と隔離し居るも文化上密接の關係を有する事は言ふ迄もない、北部は平坦、南部は山岳、富源は勿論南部にある。人口は千九百十一年の末に四百十萬八千三百七十、千九百十九年の末には四百七十五萬七千五百九十八人であつた、千九百十九年末の人口中

シンハレーゼン	二、九八九、三八二	（六二、八パーセント）
タミーレン	一、四二四、六四九	（二九、九同）
マウレン	二七六、六三一	（五、八同）
ブルゲルス	二九、三三六	（〇、六同）
馬來人	一四、一〇五	
歐洲人	七、三四九	
其他	一六、一四六	

シンハレーゼンは南部に住し、タミレンは北部に住するが、此等土人の外にウエダと稱する太古民族があるけれども其數は極めて少ない。

●●繁殖力は比較的强く千九百十九年の調査によれば人口一千に對し三四、二で、前年の一九一八年の三九、二や一九〇九—一八年十年間の平均三八に比すれば稍や減じて居る。錫崙の三大都市はコロンボ。ポイント、ド、ガイル。ジヤフナで、都市の人口繁殖は一九一九年二五、四。一九一八年は二七であつた。死亡率は一九一九年頗る高く人口一千に對し三五、六で、一九一八年の三一、九。一九〇九—一九一八年の十年平均二九、五に比すれば頗る多いが、是れは一九一九年彼の惡性感冒流行の結果と解釋される。前記三大都市の死亡率は一九一八年三一、五。一九一九年二九、七で、死亡率の最も多いのは哺乳兒であるが一千の産兒中第一年に死亡した數は一九一九年二二三。一九〇九年—一九一八年の十年平均一九三

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

でゐる、此の兒童死亡率の高いのは社會組織の不完全な結果で、營養の不良、保護の不充分等が與かつて力ある。熱帶地の常として馬剌里亞及胃腸病等多く、重なる死亡因を爲して居るが、植物は人類に比し繁殖力強く、枯死の度も低いのを見れば高度なる文化生活の影響が半開民や自然民を衰亡に導く主たる原因たる事を認むべきである。

二 産業

錫崙島の重なる產業は熱帶的農業で、二千米突の高地までの植物界は熱帶的で、それ以上には溫帶的の植物が繁茂する。茶樹栽培は千八百米突までの高地に適し、低地にはカカオが栽培されて居る、護謨樹栽培は島の南西に適して其の發達著しく、近年まで茶の輸出が錫崙貿易の第一位なりしが、今は護謨の輸出が首位を占めて居る、椰子の栽培には西部諸州最も適し、北西部州の南部にも近年栽培される、穀物及穀物生產は甚だ振はず、大部分は外國よりの輸入を仰いで居る、其の理由は外國資本家が他の有利な植物栽培に放資するも轉作物に放資するを欲せず、土人の耕作法は甚だ幼稚で、其の發達毫も認められないからである。

三 貿易

護謨樹栽培は一方中央部のマタレ區より南西海岸に達し、他方ウウア州のバヅラ區に盛んである、護謨の輸出は千九百十三年二十二萬六千四百九十一ツエントネル(英量)なりしもの、千九百十六年には四十八萬六千六百九十ツエントネル千九百十七年には六十四萬五千七百九十七ツエントネルに增加した千九百十八年は船腹缺乏の結果輸出は減じて四十一萬三千三百三ツエントネルとなつたるも、千九百十九年には九十萬百九十八ツエントネルの巨額に達したのである。

茶樹の栽培は南西部地方に盛んにして、中央部最も發達し、ナウアラ。エリヤ。キヤンチーの三區頗る隆盛である、之に隣接したサバラガムウア州のラトナプラ區とケガレ區ウウア州の中央バダラ區にも盛んである、南部州に於ても茶の栽培が可なり行はれて居るが、西部諸州は比較的僅少である、千九百十二年乃至千九百十九年に錫崙より輸出された茶と千八百九十六年の輸出高を對照すれば(單位ポンド)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	茶輸出高	一八九六年以來の増加百分率
一九一二	一八六、六三三、〇〇〇	六九
一九一三	一九七、四一九、〇〇〇	七九
一九一四	一九一、八三九、〇〇〇	七四
一九一五	二一四、九〇〇、〇〇〇	九五
一九一六	二〇八、〇九〇、〇〇〇	八九
一九一七	一九五、二三三、〇〇〇	七七
一九一八	一八〇、八一八、〇〇〇	六四
一九一九	二〇八、五六一、〇〇〇	八九

錫崙茶の大得意は英國、英領殖民地及北米合衆國であるが、英領への輸出中少なくも三分の二は再び輸出されて居る、今千九百十八年、十九年の錫崙茶輸出先を檢するに（單位百萬ポンド）

	一九一九	一九一八	増減
英國	一四〇・六	九四・四	（＋）四六・二
加奈陀	七・八	二・三	（＋）五・五
埃及	二・二	八・一	（－）五・九
濠洲及ニュージーランド	一七・一	三五・二	（－）一八・一
米國	一七・五	九・〇	（＋）八・五
其他	二三・四	三一・八	（－）八・四
計	二〇八・六	一八〇・八	（＋）二七・七

●椰子●實輸出は一九一四－一六年は、二十萬乃至三十五萬ツェントネルの間を上下し居たるも、一九一八年は船腹缺乏の結果二十萬三千三百六十六ツェントネルに減じたるが一九一九年には一躍六十七萬五千ツェントネルとなつたコプラ輸出は

一九一四年	一、四一一、九四七	ツェントネル
一九一七年	一、〇七八、七〇四	同
一九一八年	一、二七二、三二一	同
一九一九年	一、七五九、五二五	同

椰子油の輸出は、一九一四年及一五年は五十萬ツェントネル、一九一六年は三十二萬三千ツェントネル、一九一七年は四十三萬五千、一九一八年は五十二萬七千、一九一九年は六十七萬六千ツェントネルである輸出先は英國及米國であつた。

●外國●貿易は開戰以來の統計左の如し（單位ルピー）

	輸入	輸出	計
一九一四年	一七二、三一七、五四九	二一八、三六三、八四六	三九〇、六八一、三九五
一九一五年	一六三、六三七、七五八	二七三、三七五、九八七	四三七、〇一三、七四五
一九一六年	二一一、五〇〇、七五三	二九七、五〇五、九〇五	五〇九、〇〇六、六五八
一九一七年	一八四、一〇三、九八六	三〇四、一六〇、四九七	四八八、二六四、四八三
一九一八年	一七七、一六六、七六五	二一一、八七五、三三二	三八九、〇四二、〇九七
一九一九年	二三九、三二三、七三一	三六七、〇五四、七七九	六〇六、三七八、五一〇

貿易額の増加は、數量の増加よりも物價騰貴の結果なれども、錫崙の輸出は今後益々増加すべく、若し船腹の缺乏と政廳の輸出禁止とが無かつたなら、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もう一層增加したであらう、但し貿易の二大障碍たる船腹問題も解決して今や却つて過剩に苦しみ、又輸出禁止令も廢止されたので、今後の貿易は多々增加すべきを疑はない。

總貿易額中英國及愛蘭は三分の一を占め（一九一九年三一、四%）英領殖民地は、三三、六%、其他の外國は三五%である、一九一八年は外國の割合は二〇三%に減じたが、一九一七年には再び三二、三%となつた。更に仕向地別百分率を示せば

（甲）輸入

	一九一七	一九一八	一九一九
英國	一八・三三	一六・七一	一四・五一
英領殖民地	六六・〇一	六七・〇四	六三・四三
其他	一五・六七	一五・八九	二二・〇六
計	一〇〇	一〇〇	一〇〇

（乙）輸出

	一九一七	一九一八	一九一九
英國	三九・九四	四三・〇七	四二・一三
英領殖民地	一八・〇九	三三・一四	一四・六二
其他	四一・九七	二三・七九	四三・二五
計	一〇〇	一〇〇	一〇〇

輸入品の重なるものは食料品小麥、米、砂糖、煙草、葉煙草、綿糸布、石油、車輛、自働車、及金屬類である。輸出品に就ては上文既記の通りであるが更に略示すれば（十萬ルピー）

	一九一七	一九一八	一九一九
護謨	一、三二〇	六三三	一、三三二
茶	九九七	八九二	一、一六五
コプラ	一三二	一三七	三三三
椰子油	一〇一	一六七	二九七
椰子實	九四	五二	二四九
肉桂	一〇	一三	三七
檳榔子實	三〇	六八	三〇
カカオ	一八	三五	三一
ココスパスト	四	九	一七

船舶の出入は一九一八年の入港三千七百六隻五百六十七萬噸、一九一九年は四千百三十隻九百九十八萬八千噸で、外國船中一九一八年二百九十二隻八十一萬四千噸一九一九年七百七十一隻二百二十八萬八千噸入港し、內國帆走船は一九一八年九萬六千噸一九一九年十萬三千噸入港した。コロンボ港だけに入港した船舶は一九一九年八百六十萬四千噸である西部海岸の二港卽ちコロンボ（人口十五萬八千）及ポイント、ド、ガル（人口三萬七千）は共に隆盛なる商港なるも之に反して東部海岸のトリンコマリー港は

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

港内廣く且つ眺望に富み、リオ、デ、ヤネーロやシドニー港に匹敵して居るが、經濟的商港としては餘り價値を認め得ない。

四　鐵道其他

●●鐵道　の延長は一千百七十二粁で、幹線は一方コロンボ港よりボルガフベラ經由ヤフナ及カンケサッライに向ひ、他方南東のバンテラベラに向ふ、此の幹線からペラデンヤ驛でキャンヂー經由マタレへの支線が分岐する、猶はコロンボ港より南西岸マタレへの線もあり、一九一九年の旅客八百六十四萬四千九百三十五人、貨物九十九萬五千九百七噸（一九一八年は百十一萬一千三百四十九噸）を輸送して居る。土木事業としては道路の延長六千百五十粁乘馬道四百三十粁に達して居る。

●●鑛業　として錫崙は鐵、錫、銅、水銀、石炭、寶石、（ルビー、猫眼石、サヒヤ、トパス、グラナートベリル）等を産出する、殊に寶石の産出が多い、世界戰以來、鑛産物は痛く制限せられ、眞珠採收は一九一九年全然中止された。

●●生産　事業數は一九一九年一千二百六十六で、此中一千百四十八は護謨、茶及椰子實の製造に從事して居る、其他の四十四は製材所、二十二は飲用鑛泉の製造所で、家庭工業は土人專ら之を營み、綿織物、陶器類、編物、金銀銅細工等であるが、政廳が此等の職業奬勵の爲め保護して居る職業學校數は三十で木工、衣服裁縫、レース、園藝及刺物細工等を敎へて居る。

五　錫崙と日本

余の錫崙を訪ふこと前後三回、明治四十三年七月大正八年五月、同九年十一月であるが、訪問毎に何時も我日本勢力の加はりつゝある事を認め歡喜の情に堪えなかつた、明治四十三年の訪問にコロンボ港に我商人宮松米次郎なる人の雜貨店一戶ありしに過ぎず、キャンヂーのクインスホテル内にボンベイに本店を有する本丸商店が日本美術販賣部を設けて居たのみであつた、外に怪しげなる日本飲食店あり四五の賣笑婦ありと云ふも、當時の日本勢力は微々として言ふに足らなかつたが、十年後の一昨々年の再訪には、我名譽領事、三井物產出張所、日本郵船代理店、東鄕、三矢等の商店あり、我々の乘船對馬丸の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

コロンボ港に入港せし時は大阪商船の爪哇丸、國際汽船の東福丸外一隻、三井所有船一隻と對馬丸を合せて五隻居つたので、其の發展に驚いたのであるが、兩國の貿易が未だ隆盛の運に至らぬを遺憾に思つた一年六億ルピーに達する錫崙の貿易に關與する所の甚だ少なきを遺憾としたのである。錫崙島人口の過半はシンハリス人であるが、彼等は非常の親日主義で、明治四十三年コロンボ港に寄港した時同船の黒須龍太郎氏等と同地のシンハリス土人學校を視察したが、校内の上壇に高く我兩陛下の御尊影を揭げて居たのに思はず襟を正しくすると同時に、シンハリス人の日本親善の熱の高きを感じた、彼等の用ひて居た暦を見ると是れにも我兩　陛下の御宸影を印刷して居り益々因緣の深きを感じたのである。日本と錫崙とが共に佛教國として親善の可能性あり、キヤンヂーに於ける佛跡や靈鷲山に於ける靈地の宗教的關係以外に、今後は更に進んで、經濟的通商的關係を密接にしたいと思ふこと切である。

香港の貿易

稅關事務官　井出季利太

(目次)一、總說。二、貿易概觀。
三、國別貿易、第一、英國、第二、印度、第三、海峽殖民地及馬來聯合國、第四、濠洲、第五、英領ボルネオ、第六、緬甸及其他英領、第八、佛領印度支那、第九、蘭領東印度、第十、暹羅、第十一、比律賓、第十二、米合衆國、第十三、佛國其他、第十四、支那、第十五、日本。
四、重要輸出入品、一、米、二、砂糖、三、綿絲、四、綿織物、五、石炭、六、金物類、七、油類、八、麥粉、九、海產物、十、燐寸、十一、包席、十二、ガンニー袋、十三、(セメント)、十四、阿片。
五、對支貿易と香港の地位。六、海運。

一　總　說

香港は自由貿易地帶であると同時に仲繼港であるから香港自體が一種の保稅倉庫の作用をなし又香港には實際の倉庫が多數完備して居る。而して香港の地

位は歐米と東南洋との貨物の積替地であると共に南洋と東洋との接續地であり由來燃料の不足地代の高騰等よりして工業の發達せざる爲に貨物を集めて再び散するの情勢で加工貿易の隆盛を見ないのである。乃ち香港に於ては砂糖煙草「セメント」其他二三の製品を輸出するの外は大部同一輸入品の輸出に係り、又船舶燃料用炭•造船材料等が同地に消費せらるゝものを除き輸入品の大部は其儘再輸出せらるのである。自ら其のバランスの差異は同地消費を指すものでなく多くは持越在荷を以て占め終局は輸出さるゝのである。故に香港貿易の輸出入を合計するも其の內容價値は他の工業地に於ける貿易と自ら異る所あるは注意すべき現象である。又香港貿易の一特色は名は積替貿易と稱すれども一旦香港に輸入したる貨物は、英國領土故に悉く英國商品に資格を變更するを以て英國日本其の他諸國の對支貿易上に重大なる影響を及ぼすのである。卽ち英國印度其他を合したる香港に對する貿易高は近年平均二十一•二「パーセント」英本國の對支貿易は最近九「パーセント」餘に過ぎないが、支那日本等の貨物の香港輸入を包容し英國貨として多額に支那に再輸出する結果英國の對支貿易は列國中首位に在るのである。而して日本の香港に對する輸出は近年約一億萬圓見當であり其の內約七•八割は支那諸港に再輸出せらるゝが故に、日本は對支貿易上二重の損失を蒙つて居る。特に英國は其の地位を利用して自國の貿易を熾盛ならしむるのみならず、之に依て支那海關總稅務司の地位に對する英人任命の特約を保障しつゝあるの點は看過することの出來ぬ情態である。

香港貿易の發達は近年迄自由貿易策及對支貿易上の優勝權擁護の手段よりして精確なる統計を公表せざりし結果、其の經過を說明するに苦しむも只船舶の入出港數並に噸量の增進狀況に依つて外國貿易の大體を判斷する指針となすことが出來る。例へば南京條約後一八四四年の入出港汽船五百三十八隻十八萬八千二百五十七噸が約二十箇年後の一八六三年には三千六百五十七隻百八十萬六千八百八十一噸卽ち約十倍し、其の後四十箇年を經過したる一九〇三年には一萬四千四百八十九隻千九百一萬八千四百十一噸となり、噸數に於ては卽十倍以上に達し之を前記一八四四年に比すれば五十箇年間に於て船舶數は約二十七倍噸數は約百倍に增進したのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の後一九〇七年より船舶噸量二千萬噸を突破し、船舶數は戰前一九一二年以降二萬隻を上り、一九一三年には二萬一千八百六十七隻最高二千二百九十三萬九千百三十四噸、一九一四年には最高二萬三千七百四十隻二千二百六萬九千百三十四噸となり、戰時の反響に依り其の後漸次減退し、一九一八年には最低一萬九千九百九十七隻一千三百九十八萬二千九百六十六噸に下りしが、平和後英米其他外國船の增進に依り戰前狀態に恢復し來り、一九一九年には二萬一千二百七十五隻一千八百四十七萬四千九百九十六噸となり、一九二〇年には二萬一千四百九十八隻二千百五十七萬六千二百三十九噸に達した。

外國貿易額も船舶入出港の狀況と殆んど平行し、戰爭前年には著しく減退し、後年には我國の對支及對南洋貿易發達の結果、英國其の他貿易の不振及獨墺貿易の杜絕を補塡する所があつた。而して昨一九二〇年には同じく英米其他貿易の恢復に依り又物價騰貴を主因とし著しく其の額を增加し、一九一九年の一億九千四百萬磅臺が一九二〇年には二億八千九百萬磅臺に上り、九千五百餘萬磅卽約五十「パーセント」を增加した。然れども實際上同港の貿易高は十數箇年前と大差なく一九一三年には戎克貿易の入出港を加算して最高四萬七千三百餘隻二千五百八十餘萬噸を示したるが、一九二〇年には四萬三千三百餘隻二千四百十九萬餘噸にして尙下位に在るのである。要之香港の貿易は平和期に入りたる後を以て平均程度と推定して急激には增加著しからざるべきも英米の東洋市場活躍の程度如何に依り尙向後漸進する傾向はある。但し香港は東西及南洋の仲繼地として港灣設備を完成し世界航洋汽船を吞吐し、同港を起點又終點とし又は寄港地とし競爭港たる上海●神戶●新嘉坡又は馬尼剌等を壓し來たつたが今後米國其他海運政策の發展に依つて香港を仲繼地とせず是等諸地に漸次貿易の中心を移す曉には香港今日の盛觀を持續することは困難となる。殊に上海築港馬尼剌自由港計畫等を始めとして我國神戶其の他の設備擴張あり、延ゐては臺灣基隆高雄築港等の進捗しつゝあるを顧みるときは思ひ半ばに過ぐるものがある。現に一九二一年初頭物價下落の上に仲繼貿易減退したること著しきものがある又今日迄の經驗に徵すれば香港自體は狹隘の地域である上に石材其の他僅少の農產物を除き工業原料石炭及鐵等の生產なき

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が爲に造船材料「セメント」製綱煙草砂糖製造等の外工業の勃興を見なかつた。然れども香港は英國が數十年の努力に依つて牢固たる地盤を建設し、九龍及廣大の新植民地を獲得した上に天然の資源に富む廣東省其他支那奥地を脊域とするが故に、將來鐵道及鑛山の開設に依り支那大陸及南洋の原料を利用し大工業の勃興を計り現在の如き過渡的積替港場を脱し永久的の加工貿易港に進まば二十世紀に於ける香港の新使命を全くすることが出來る。從來不斷に英國が廣東に著目し其地位人民及資源を利用せんとして居るは此の邊の消息を洩らすに足る。又香港在住英國人も從來同意見を持つて居るのである。

(註一)香港は從來酒・煙草及阿片に關するものを除き一般貨物の統計なく又輸出入監督局の擴張と同時に一九一六、七年之が作製に著手したれど、實際公表の運に至らなかつたが一九一八年同局より漸く毎四半期及一箇年の貿易統計を發表するに至り一般の便益に供するに至つた。而して其の以前に於ては香港商業會議所又は個人に依り一般的に作製せられたものがあつたが重要商品に限つて居た。

輸出入監督局は統計作製に就ては香港商業會議所特別委員會(Special commite of the Hongkong chamber of commerce)の諮詢を經て、輸出入條例の新細則等の規定をなし商人の便宜を計ると同時に統計上の數字は逐次有力なる商人其他の意見を徴し校訂する所あつた。

輸出入の統計は統計課に廻附する許可申請書の副本に依つて作製するのである有税品は檢査すれど無税品は檢査せずに計上し、貨物の價格は輸出品にはf. o. b. 價格を用ゐ輸入品には c. i. f. 價格を用ゆ而して英貨に換算する香港弗の換算は毎月平均に依る。香港輸出入表には除外項目が多く通船荷證券に依る積替貨物の外に政廳及陸海軍用品郵便物、旅客手荷物船用品及「バンカーコール」汕頭以南の支那諸港竝に澳門より輸入した粗鑛及煙草以外の貨物又は汕頭厦門及福州(中支)諸港より輸入する一部の貨物其の他がある。

(註二)香港大學教授シー、エー、ミッドルトン、スミス、氏は香港の將來に就て左の如く述べて居る。

廣東人はピナン、新嘉坡バダビヤ及香港等の諸地に於て優勝なる能力を發揮して居る。南支には米・糖・絹・茶・煙草・竹其他多くの果實又は蔬菜があり、鑛物としては石炭・銀・鐵・銅・鉛・錫及其の他諸礦物がある。此等は西江流域及「デルタ」に豐富に産出するが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

如く他に同省程鑛物の種類に富む處はない。將來生産の増加を計るべきものは機械及鑛業である。船舶の世界各地より香港に集中し來るが將來天然資源の開發と大關係を有し殊に低廉なる石炭及鐵の供給は香港工業の隆盛期に入るべき唯一の階梯である。(Special Supplement, Hongkong Daily Press 1858-1917)

(註三)一九二一年香港經濟資源調査委員會の報告中には左記注意すべき事項がある。

當地工業は歐洲人經營のもの、み支那人經營のもの百四十二に達し、其資本額前者五十五萬弗、後者一千七百五十萬弗を算す(但し支那造船所を含まず)其建言中には當地には、從來勞働の需供關係は幸に權衡を得來りしが將來供給の潤澤を期し難く勞働殊に熟練勞働者の賃銀昂騰は己むを得ざるべし。又當地の地代は頗る高價にして工業發達の大障害たり。反之廣東に於ては勞銀地代家賃共に低廉にして同地に鞏固なる政府確立し秩序全く回復せんか工業勃興し當地工業を壓倒すべく當地政廳は將來に於ける廣東の狀況は特に細心の注意を要す。

鑛業に關しては九龍租借地には銅・銀・鉛・錫「ウォルフラム」及鐵等の鑛物存在し、就中鐵鑛脈は擴大なる區域に亙り其價甚だ優良にして他日當地無限の財源たるや論を俟たずと雖も其の他の鑛物は左程有望なるものにあらざるもの、如し。政廳は速に當地鑛業法を改訂し採掘を奬勵し採掘權には何等の負擔を課せず鑛地の地代を輕減し且つ鑛物稅を全廢又は輕減すべく尙地質學者をして地質檢査を行はしむべし。

(註四)從來英國は香港の競爭港として廣東を眼中に置き現に孫逸仙の大廣東築港論中にも言へるが如に民國の建設以來支那國民が覺醒し廣東を海港として設備せんとする諸計畫を開始するや香港政廳は少からず恐怖を抱き極力該運動を阻害し其の恢復を事前に防ぎたるの事實がある。又最近に至り英國は北方威海衞が今日軍港として重要を失ひ、又開港としての價値少きの際南方九龍より黃埔に至る一帶の地域を租借し英國自ら之を開埠し香港の地位を確保し其の勢力を擴張するの目的を以て既に一九二一年五月初頃香港總督スタツブ氏を北京に派して交涉する所あつたと言つて居る。其後米國が黃埔の築港問題に干與しつゝあるを知り暗中飛躍中である。

二　貿易概觀

香港貿易は戰後の恢復期に入り殊に一九二〇年は爲替相場の激變、貨物引渡の不能又は市價の暴騰等の不況原因ありたれど前年に對して元より價格增加に依るも亦其數量をも增加したることは事實である。輸出入總額に於て貨幣及金銀を除き前年に比して五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

千六百餘萬磅を增加し輸入三千五百八十餘萬磅輸出二千餘萬磅を超え、就中綿製品の如きは一千萬磅以上棉絲は約四百五十萬磅を增加し、其他重要品中碎米・石油・粗糖等を除く外は大部增加したのである。而して國別に在つて顯著なるものは英國及其植民地とし、獨り英本國のみにして前年に比し約九百六十九萬磅餘の增額を來し、印度及濠洲に對しても亦相當增進を呈し、米國に對しては其前半期の輸入額が前年同期に比して約百五十萬磅、輸出額が約六百二十五萬磅增加し、反之後半期に於ては他の諸國と同じく多く減退を見たが、一箇年を通せば輸出額は前年に比して約六百萬磅を超過した。日本に對しては其の前半期に於ては前年同期に比して不況であつたが、後半期の輸入が好況であつた爲め同年の輸入額は終局約二百五十萬磅を增加した。而して後半期の輸出貿易が不振の結果日本品購入の爲に香港爲替で決濟せぬ分として外國貨幣を約四百餘萬磅輸送したのである。一九二〇年香港の工業界は著目すべきものがあり、例へば造船業は相當繁忙を極め船舶噸量約一萬二千噸を進水し、煙草の製造高は葉卷一千八百十八萬五千本、紙卷二十四億六千四百七十七萬本、支那刻一百七萬三千九百二十一封度であつた。之を前年に比せば、葉卷は二〇・八「パーセント」、支那刻は七・三「パーセント」を減じ、紙卷は一〇・九「パーセント」を增し、消費高は紙卷は二一・五「パーセント」增し、支那刻は前年の八十四萬一千餘封度に對し七十二萬八千二百餘封度に下つた。製糖業は同年最も熾盛を極め、糖價は原料共に著しく昂騰し、例へば前年の精糖輸出高三百十五萬二千餘擔八百二十餘萬磅に對して三百十萬九千九百餘擔、一千四百二十餘萬磅を示したのである。輸入の場合を見るに殆んど總て各國よりの貿易は農工業の恢復に從て噸量の增加を來し、前年に超過すること著しきものあり。既に一月より三月迄の四半期に於ては、前年同期の一千五百二十五萬磅に對し約三千四百萬磅に達し卽ち約一千九百萬磅の增進を示し、第二四半期に於ては多少緩和し八百萬磅の增加を呈したれど後半期には更に減退し、第三四半期及第四四半期には生產費騰貴の爲に各月百四萬四千餘磅及十三萬五千五百餘磅の增加を見たのであつた。

輸入增加の大宗は綿製品及棉絲である。殊に綿製品中最も好況に在りしものは一般の生金巾及雲齋布、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

晒金布及雲齋布「イタリア」及「ヴイネシア」等で就中英國及日本品の輸入が大部を占め、而して北支より來る多數の棉布は日本の製品である。其の他輸入品中増加したるものを列記せば左の如し。

品名	一九一九年 數量	一九一九年 價額	一九二〇年 數量	一九二〇年 價額
「アニリン」染料	千擔 —	千兩 七三	千擔 —	千兩 二四七
人造ゴム	—	一七	六	一〇三
小麥粉	七六五	一、二〇九	一、〇八九	一、九六八
粗糖	五、六八五	不明	二、四六五	一〇、二二一
精糖	一九一	不明	四七四	一、九六九
鐵釘	七六	一八三	一三三	三四八
錫板	一八九	五六一	二一七	七四九
機械油	千瓦 一、四八二	二九五	千瓦 一、七六〇	三九二
生金布	千疋 二六六	四一四	千疋 三七一	一、二五九
生「シーチング」	七七三	一三	四九	一〇七
天竺及「メキシカン」	千碼 六九	一三三	千碼 二六八	三六五
雲齋布（白）	千疋 一、三四一	八四	千疋 二、六七八	二四六
晒金布	千碼 三八四	八三九	一、二六一	三、六〇五
ライトコットン「アンシー」	四、〇八六	二〇九	一八、四三八	一、一一〇
「イタリアン」	一、三〇五	九八	二、二六七	九九六
「ポプリン」	六〇二	六九	三、二〇〇	四〇六
「ヴネシアン」	一、二三七	一六七	四七四七	七一三
更紗	二、三九五	一三三	八、六二六	四八六
「ブランケット」（毛）	千封度 四九七	一三一	千封度 九〇二	二六七
「フランネル」	千碼 七八	一五	千碼 七一九	一二五
服地「スコッチ」（毛）	七八	四九	三一五	一七四
「ガンニー」袋	千個 九、一八七	五六九	千疋 一七、三六四	一、一六七
棉絲	千擔 五五七	九三四三	千擔 三五九	一三、六〇〇

更に重要國の生産品中輸入高を増進したるものを掲ぐれば左の如し。（單位千磅）

品名	英本國 一九一九年	英本國 一九二〇年	濠洲 同	濠洲 同	印度 同	印度 同	北支 同	北支 同
グラス板類	千封 三六	一九一	—	—	—	—	—	—
小麥粉	—	—	—	—	—	—	四七〇	一、〇三〇
白米	—	—	—	—	—	—	二三四	四六九
酢酒	千瓦 一五九	二四九	二	七	—	—	二一三	二四五
鐵釘	四	三〇	—	—	—	—	—	—
鐵針金	八	八〇	—	—	—	—	—	—
落花生	—	—	—	—	—	—	七五	九一六
落花生油	—	—	—	—	—	—	一九九	六四四
絹製品	—	—	—	—	—	—	九七〇	一、五六二
綿絲	—	—	—	—	六、八一三	七、三二一	二八五	一、二五二
「アニリン」染料	—	三	—	—	—	—	[illegible]	一九
人造護謨	—	—	—	—	—	—	七	二
肥料	八	六六	—	—	—	—	—	—
ガンニー袋	—	—	—	—	三六七	一、〇七六	—	—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭印	同	—	—	—	一六二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	同	—	—	—	七七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佛印度	同	—	—	八四九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	同	—	—	二、七四二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本	同	—	—	—	—	四〇	—	—	一	四五	二、〇一九	四	—	—	—
	同	—	二	—	—	三一	—	—	四	四八	三、五八二	二九	二	六	—
米合衆國	同	八	三	—	五五	一六四	五二	—	—	—	七〇	九九	一〇	—	—
	同	一六	五六八	—	二	二六七	一九〇	—	—	—	六四	一三七	五九	—	—
白國	同	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	同	六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七	—	—	—
其他歐州	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	—	—	—
	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三八	一七	—	—

次て昨年輸入を著しく減退したものは例へば碎米は前年三百二十九萬餘擔三百三十二萬餘磅に對して百三十四萬八千餘擔百三十八萬三千餘磅に減じ、白米は前年の五百六十三萬三千餘擔に對し五百二十六萬五千餘擔に減じたれど、價額に於ては八百八十四萬九千餘磅に對し一千二百三十七萬八千餘磅に增加し、石油は前年の三千五百二十八萬七千餘瓦四百三十二萬七千餘磅に對して二千八百六十六萬八千餘瓦四百二十八萬五十餘磅に減じ、錫錠及塊は前年の二十一萬三千七百餘擔三百二十五萬五千餘磅に對して十八萬一千餘擔三百六萬餘磅に減じ、粗糖は前年の五百五十八萬五千餘擔に對して二百四十六萬五千餘擔に減じたるも糖價暴騰したるを以て價格に於ては減額少しと思ふ。又產地別に輸入減退の顯著なる例を掲ぐれば左の如し。（單位千位）

品名產地	一九一九年 數量	一九一九年 價額	一九二〇年 數量	一九二〇年 價額
小麥粉濠洲	千擔 三九四	千弗 六二五	千擔 二〇五	千弗 三八一
胡椒	四二	二二	四〇	二〇五
同海峽殖民地	二、九六〇	一〇八	—	二
果（白）印度支那	一、〇九七	一、七二三	六四	七〇
同（碎）暹羅	一、二三八	一、四七八	一、〇六四	一、三九七
同（同）暹羅	二、〇一三	一、七九九	一七九	一四六
同（カーゴー）海峽殖民地	二	一	—	—
同（同）印度支那	二四八	二二四	四七	六六
同（同）暹羅	一六八	一二三	—	—
糯米北支那	四	六	—	一〇七
同暹羅	一七	二	—	—

石炭	印度	一〇	三六	—	—
「ケロシン」油	米合衆國	二三、六八〇千瓦	三、〇一六	一八、〇六五千瓦	二、七九一

一九二〇年の輸出貿易を見るに年初は極めて好況であつて第一四半期には約三千五百萬磅即ち前年同期の價額以上に達したが後半期には不況に在り。例へば第三四半期には前年同期に比して減退したるものがあつたので一箇年を通じて前年に比して約二千萬磅を增加したのみである。尙又爲替の變動に依て貿易を阻碍し大體同年は好況でなかつた。但し價格の騰貴は香港貿易を利し例へば同年平均輸出額は前年に比して二九・四二「パーセント」餘を超過して居つた。重要品として輸出を增加したるは例へば綿製品は前年の五百七十餘萬磅に對し七百五十一萬磅に、絹製品は百九十二萬餘磅に對し二百四十三萬餘磅に

「ガンニー」袋は七十六萬九千餘磅に對し百三萬八千餘磅に、錫錠及塊は十一萬三千餘擔百七十六萬餘磅に對し二十二萬八千餘擔二百八十五萬六千餘磅に增加し、其の他魚類及魚製品・靴皮・漢藥類等も相當增進することがあつた。反之輸出を減退したるものは、例へば碎米は前年の二百三十九萬餘擔二百十四萬六千餘磅に對し百一萬三千餘擔九十九萬擔五千餘磅に、石油は二千九百九十一萬餘瓦三百六十八萬餘磅に對し二千三百三十八萬餘瓦三百五十餘萬磅に下つて居る。但し價格騰貴の結果數量は減少しても總價額が增加したものがある。例へば白米は前年の五百三十四萬七千餘擔一千三十六萬三千餘磅に對し四百四十六萬七千餘擔一千八十七萬餘磅、粗糖は百六十八萬三千餘擔二百九十七萬三千餘磅に對し百四十四萬六千擔四百四十九萬六千餘磅、精糖は三百十五萬二千餘擔八百二十一萬餘磅に對し三百十萬餘擔一千四百二十餘萬磅、棉絲は五十六萬一千餘擔九百二十四萬四千餘磅に對し五十五萬二千餘擔一千三十七萬餘磅となつて居る。

更に國別より見れば英國に對しては前年の二百六十九萬八千餘磅に對し二百十九萬二千餘擔即ち約五十餘萬磅を減少し、英領植民地を合したるものは前年の一千一百五十餘萬磅に對し一千二百餘萬磅即ち約四十四萬九千磅を增加し、支那に對しては棉製品・棉絲・魚類・煙草等の輸出增加の結果前年の四千五百二十一萬六千磅に對し五千三百十八萬四千餘磅即ち約七百九十六萬餘磅を越え、日本に對しては主として米穀類の輸出減退の結果前年の九百八十三萬七千餘

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

磅に對して四百五十八萬餘磅即二分の一以下に減少し、貨幣四百二十五萬餘磅を輸出しても尙前年に及ばず。而して其の他諸國の分は前年の一千八百四十七萬五千餘磅に對し三千六百三十四萬八千餘磅即ち約倍額に達し、貨幣金銀を加へば十二割以上を增加して居る。其の顯著なる事例は米合衆國・比島及佛領印度に對するもので、米國に對しては主として砂糖を輸出し、又錫・穀類其の他の取引好況の爲に前年の四百八十七萬餘磅に對し一千五十二萬餘磅即ち倍額以上に增加し、貨幣金銀を加へば三倍半以上に達し、比島に對しては砂類・「セメント」・豚脂・鳥卵等の輸出多き爲に前年の百五十四萬八千餘磅に對して四百一萬五千餘磅即ち約三十八割を增加し、佛領印度に對しては金屬類・煙草・「セメント」・漢藥・精糖・茶等の輸出旺盛なりしが故に前年の六百四十四萬五千餘磅に對し九百二十五萬五千餘磅に增加した。

次に一九二〇年の海運に於ては前年に比して著しく入出港船を增したものは一に英米二國であるが、日本は多少減退した。今航洋汽船の入港のみを見るに、前年の四千五百七十一隻七百二十三萬餘噸に對し四千八百七隻八百八十萬餘噸に增加し、英國船は前年の千九百三十八隻三百四十三萬六千餘噸に對して二千九十隻四百十八萬四千餘噸に增加し、米國船は前年の百五十隻四十一萬五千八百餘噸に對し二百八十六隻九十五萬三千餘噸に超過し、其の他諾威船は前年の九十六隻九萬九千六百餘噸に對し百三十一隻十三萬六千餘噸に增進し、其の他和蘭船・露國船・暹羅船・丁抹船・瑞典船等多少增加し、伊太利船の如きは數年來形跡を止めなかつたが今年始めて十四隻五萬四千五百餘噸の入港を見、又支那船も前年の八百五十四隻五十八萬五千九百餘噸に對し九百十二隻五十九萬五千餘噸に增加した。反之日本船は前年の一千百四十八隻二百十一萬一千餘噸に對し九百二十五隻二百五萬九千七百餘噸に減退し、其他佛蘭船の如きは前年の百五十九隻に對して百五十六隻に減退したるが、噸數は增加し前年の二十萬四千四百餘噸に對して二十七萬六千餘噸に增進した。而して航河船・戎克貿易船・其の他の帆船及入出港總數に就ては別表に揭ぐる通りである。

米國汽船の噸數に就いては前記の如くで、又其の平均の船型は前年に比して二十「パーセント」を增加した。而して米國及歐洲に對する貨物の運賃は同年中

變動を見なかつたが、一九二一年中には低減の傾向がある。尙又歐洲に對する貨物輸送に關しては船腹の不足を告げざりしが米國に對しては時々致命的のものがあつた。然し旅客運送に就いては歐米兩航路共に尙繁忙を極め、乘船契約は數箇月前の申込を要し、船會社は歐洲の復航を保證することをしない樣の狀況であつた。自ら大會社は其運賃を宣明し從前に比して二一・六「パーセント」を增率し、一九一四年の初頭に比して一一四・四「パーセント」に增額した。沿海航路に於ける貨物輸送情態は好況でなり、既に一九一九年中戰時用の支那船の歸航を見、貨物の運賃は一九二〇年初頭より低落し來り同年末に至り或る方面に於ては戰前と同一程度に達したものがあつた。要するに船腹は比較的豐富であつたが一般に地方事業界は同年中主として暹羅の米穀輸出禁止及海防に於ける米穀の定期輸出を中止した結果、不活潑の情勢を馴致し、船舶は常に需要を超過した。海防より香港に至る一擔の米の運賃は前年の最高限六十二仙に對し三十二仙を示し、其の最低率は五月中僅かに七仙に過ぎなかつた。概して定期航路沿海船は豐富であつたが運賃は前年に比して凡そ三三「パーセント」低率であつた。殊に同年中特筆すべき事項は、玖瑪及米合衆國に於て船積を拒絕した爲に米穀商人が受けた打擊である。同年中米價の暴落を豫想せず爲に多數商人は生產費以下に米の賣拂をする杯の悲境に陷つたことであつた。

□第一表

□重要輸出入對照表（單位千位）

品名 ＼ 年次		一九一九年 輸出	一九一九年 輸入	一九一九年 計	一九二〇年 輸入	一九二〇年 輸出	一九二〇年 計
白米	擔	五、三四七	五、六三三	一〇、九八〇	四、四六七	五、二六五	九、七三二
	磅	一〇、三六四	八、八四九	一九、二一三	一〇、八七〇	三、五七八	二一、二四八
碎米	同	二、五九一	三、〇九五	五、六八六	一、〇一五	一、五四八	二、五六一
	同	五、一四六	五、四三〇	[illegible]	九九五	一、三八五	一、四七八
粗糖	同	一、六八五	五、五八五	七、二六八	一、四六六	二、四四五	三、九一一
	同	二、九四五	—	二、九七五	四、四九六	一〇、二一一	一四、七〇七
精糖	同	五、一五二	一六一	五、三一三	五、一〇九	四七二	五、五八一
	同	八、二一〇	—	八、二一〇	一三、二〇六	一、九六九	一六、一七五
石炭	噸	二三四	九二〇	一、一五四	二六〇	一、〇一八	一、二七八
	同	六二一	五、一一九	五、七四〇	三五八	四、五四〇	四、八九八
石油（ケロシン）	瓦	二六、九二五	三〇、二八〇	五七、二〇五	三四、三五三	五八、六九八	九三、〇五一
	同	五、六六一	四、四三七	一〇、〇九八	三、七二二	四、二六八	七、九九〇
綿製品		—	—	—	—	—	—
	同	五、一〇九	四、二九八	九、四〇七	七、三七八	一三、四六一	二〇、八三九
綿絲	擔	五六一	五六七	一、一二八	三五二	七五九	一、一一一
	同	九、二三四	九、二四五	一八、四七九	一〇、五五五	五、六七〇	一六、二二五
絹製品	同	—	—	—	—	—	—
	同	一、八五七	一、〇六一	二、九一八	二、四五五	一、七六一	四、二一六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

錫錠及塊	擔	一二五	二一五	三三六	三二八	一八一	四〇八
	同	一、七六一	五、三五五	五、〇一七	五、八六六	五、〇六〇	六、九一六
ガンニー袋	個	一五、二九一	九、一八七	三二、四八〇	一六、三七〇	一七、五六四	五四、八五三
	同	七六八	五六八	一、五五九	一、〇五八	一、一六七	二、五〇五
靴皮(上下)		—	—	—	—	—	—
	同	一、〇八六	八八八	二、〇四〇	一、四七五	一、五八二	三、五六七
漢藥		—	—	—	—	—	—
	同	二、三八五	二、九七五	五、三六八	二、五九一	五、五一〇	五、九〇五
海産物	擔	六七五	四六八	一、一〇八	五七七	六四〇	一、四二七
	同	二、〇二一	一、八二四	五、八八五	二、五五六	四、五八六	五、五四六

(註一)前記重要品は貿易總額の約三分の二を占む

(註二)一九一九年の輸入糖の價格不明なるか爲に著しく同年の實際數額と大差あるこべきものとす

□第二表各國別總額對照

(一)輸入表(單位千磅)

地名/年次	一九一九年 正貨以外の價額	一九一九年 正貨	一九一九年 合計	一九二〇年 正貨以外の價額	一九二〇年 正貨	一九二〇年 合計
英國	五、一一三	五	五、一一八	一三、二二五	五九三	一三、八一八
濠洲	一、二五五	九八二	二、二三七	一、五四七	三〇五	一、八五二
カナダ	一七三	二四六	四一九	二五二	五五一	八〇三
印度	七、八五八	—	七、八五八	九、二八八	一六一	九、四四九
緬甸	四八七	—	四八七	六六五	—	六六五
海峽殖民地	五、二〇六	一一三	五、三一九	二、九八五	九八九	三、九七四
英領ボルネオ	二六二	—	二六二	四五二	—	四五二
其他	五七	—	五七	一一九	—	一一九
合計	一五、二七九	一、九四五	一七、二二四	一五、一八七	一、八〇九	一六、九九六
支那 北支	八、八四一	五、三四〇	一四、一八一	一四、一六一	一二、一〇八	二六、二六九
中支	三二六	二六	三五二	四〇七	三五	四四二
南支	四六	—	四六	九七	—	九七
合計	九、二一二	五、三六八	一四、五八〇	一四、六六七	一二、二三四	二六、九〇一
其他外國 日本(朝鮮及臺灣を含む)	九、六五七	—	九六五	一三、〇六八	—	一三、〇六八
蘭印	二、九六四	—	二、九六四	一二、〇八一	—	一二、〇八一
佛印支	一五、四五二	一〇五	一五、五五七	一九、三〇八	一四〇	一九、四四八
暹羅	七、七六五	一九	七、七八四	一、二七四	四五	[illegible]
比律賓	六一九	—	六一九	一、六二四	—	一、六二四
米國	八、六九〇	九、一二八	一七、八一八	一〇、一四〇	一六、七五六	二六、八九六
佛國	一五一	—	一五一	二二五	一五	二四〇
諾威	六四	—	六四	五五	—	五五
瑞典	一五	—	一五	一二一	—	一二一
和蘭	二一	—	二一	五三一	—	五三一
白國	五	—	五	一八四	—	一八四
獨逸	—	—	—	五四	—	五四
其他	三〇、七八四	一七、八七四	四八、六五八	四六、七八五	一七、一二五	六三、九一〇
總計	六八、〇四八	三二、五五三	一〇〇、六〇一	一〇五、九二五	三一、五五四	一三七、四七九

(註)南支の分は一九一九は鑛石、飲料及煙草のみ一九二〇年は鑛石及煙草のみを掲く

（二）輸出表

地名＼年次	一九一九年 正貨以外の價額	一九一九年 正貨	一九一九年 計	一九二〇年 正貨以外の價額	一九二〇年 正貨	一九二〇年 計
英領植民地 英國	五、六六八	—	五、六六八	五、一三五	—	五、一三五
濠洲	四六一	—	四六一	四〇八	—	四〇八
カナダ	四八一	—	四八一	一、〇五八	—	一、〇五八
印度	三、二〇三	一四〇	三、三四三	三、六五五	二〇〇	三、八五五
セイロン	六一	一八	七九	六五	一、五六五	一、六三〇
緬甸	三〇七	—	三〇七	四〇四	四	四〇八
海峽植民地	四、〇〇八	四、六五〇	八、六五八	五六一	一〇、一五三	一〇、七一四
埃及	五五	—	五五	八九	—	八九
其他	五、三一九	四	五、三二三	八〇	五	八五
計	二一、四〇八	五、一五七	二六、五六五	一五、〇五五	一二、七八二	二七、八三七
北支	一四、四二六	一、五三一	一五、九五七	一七、一七七	五、六六一	二二、八三八
中支	五、六五四	四八一	六、一三五	六、三三一	一、六八一	七、五一二
同（戎克に依る）	一五〇	一一	一六一	一〇〇	七一	一七一
南支	一六、一二二	五、四〇八	二一、五三〇	二一、三〇九	五、四〇六	二六、七一六
同（戎克による）	七、四〇〇	四四七	七、八四七	七、三〇六	五〇〇	七、八〇六
同（鐵道による）	三一一	四四	三五五	三〇八	四四	三五二
合計	四五、二二八	七、五五五	五二、八二三	五三、一八四	一八、二一七	七一、三三三
日本（朝、臺、含む）	九、八〇七	—	九、八〇七	四、三五八	四、二三五	八、六〇三
蘭領印度	二、三一八	四三	二、三五四	一、八〇四	八〇五	二、六〇九
佛領印支	六、四三五	三、三〇〇	八、四三七	九、二三五	二、八五八	一二、〇九三
暹羅	一、五九八	五六	二、三五三	一、八〇九	八八	二、六九一
比律賓	一、三四八	一	一、三五〇	四、〇三三	五八	四、〇九一
米合衆國	四、八八六	—	四、八八六	一〇、五二八	六、五五七	一七、〇八五
玖馬	—	—	—	三、〇五五	—	三、〇五五
佛國	三二〇	—	三二〇	四六八	—	四六八
其他	一、二四〇	—	一、二四〇	二、二六〇	—	二、二六〇
合計	一八、四三五	五、四三三	二四、六五〇	三六、四四八	一一、一二九	四七、四六八
總計	八〇、七六五	一六、一〇九	一〇七、二〇三	一〇六、五六九	四五、〇六五	一五一、六六五

三　國別貿易

從來對香港貿易に於ける主要國は支那英國竝に其植民地米國及日本等である。今一九二〇年に於ける貿易額を見るに正貨を含めたる總額二億八千九百餘萬磅中支那は九千八百餘萬磅（總額の約三割四分）英國及屬領は五千九百三十餘萬磅（約總額の二割）で英本國は一千八百五十餘萬磅、海峽植民地は一千九百四十八萬餘磅、印度は一千二百三十六萬餘磅を占め、米合衆國は四千四百餘萬磅（總額の一割五分）佛領印度支那は三千百五十餘萬磅（總額の約一割一分）日本（朝鮮及臺灣を含むは）二千九百餘萬磅（總額の約七分）である。而して貨物の純輸入に於ては總額一億三百九十餘萬磅中英國及屬領は三千四十餘萬磅（總輸入高の約三割弱）で英本國は一千五百四十七萬餘磅、印度は九百二十八萬餘磅、海峽植民地は二百九

十八萬餘磅を占め佛領印度支那は一千九百三十餘萬磅(總額の約一割八分弱)支那は一千四百六十餘萬磅(同一割四分餘)蘭領印度は一千三百八萬磅(同約一割一分弱)日本(朝鮮及臺灣を含む)は一千二百餘萬磅(同一割强)米合衆國は一千十九萬餘磅(同一割强)である次に純輸出に在つては總額一億八百三十六萬九千餘磅中支那は五千三百十八萬餘磅(同約四割二分)英國及屬領は一千四百二十四萬餘磅(同一割三分)米國は一千五十餘萬磅(同一割弱)佛領印度は九百二十五萬餘磅(同八分五厘餘)日本へ四百五十八萬八千餘磅(同四分二厘)である。而して重要國の多くは一九一九年に比して增加したれど、例外として英國の正貨外の輸出、海峽植民地正貨外の輸入、日本の輸出、暹羅の正貨外の輸入又は佛國の輸出等は減退したのである。而して支那は總額に於て三割四分、輸出に於ては四割二分の多額を占むるに、其輸入に於ては僅に一割四分餘に過ぎないのは、前に述べた通り香港政廳の統計中には一部貨物の外中南支よりの輸入數量を計上せぬが爲めである。今便宜一九一九年の例に徵するに支那に對する貨物の輸出額四千五百二十餘萬磅に比し其の輸入は僅に九百六十五萬七千餘磅を揭ぐるに過ぎぬが、同年の支那海關統計に依り支那各港より香港に對する輸入を見るに一億三千百四十九萬餘兩に達して居る。之を概略英貨に換算して香港統計と對照すれば約三千七百餘萬磅の差增があるのである。又日本の貿易に關しては、其の香港に對する直接輸入の外に上海よりの輸出綿製品綿絲等其他各港よりの間接の輸入には日本品多量に達することに注意すべきである。

以下重要諸國の貿易を逐次說明することゝす。

(第一)英國　英國に對する昨年の重要輸出品は錫・羽毛・精糖・獸皮其他農產品及鑛物等にて前年に比し錫・羽毛の如きは著しく增加したれど、精糖・獸皮其他の輸出が不況であつた爲め總額に於て五十萬磅を減退した。反之輸入品には綿製品・金屬類の如き大宗貨物が著しく好況であつた結果、總額に於ては一千萬磅以上を增加した。左に重要輸出入貨物の兩年の對照を示す。(單位千磅)

輸出品	一九一九年	一九二〇年
精糖	千擔 四四四 (一六八、一一三)	千擔 三一七 (三二、二五六)
錫錠及塊	三八	九五五
羽毛	八一	一四九
獸皮	二四二	一二七

輸入品	一九一二年	一九二〇年
傘及附屬品	二三	二〇
「コンデンス、ミルク」	二五五	二四八
金屬類	九四五	一、七三二
鐵釘針金子等	八二	一五六
綿製品	一、九四一	八、九二四
毛製品	二六九	一、〇三九
棉絲	三〇	二〇〇
硝子板	二五	一四二
化學藥品	一三四	一三一
植物油	四八	八五
塗料	一五二	一六六

(第二)印度● 英領印度に對する重要輸出品は精糖及絹類で、精糖は前年の百餘萬磅に對して昨年は八十七萬七千餘磅に減退したるが、絹製品が前年の六十六萬八千餘磅に對して八十萬七千餘磅、生絲が二十二萬八千磅に對して三十九萬四千餘磅に達した爲に總額に於て二十萬磅以上を增加した。輸入重要品は棉絲・「ガンニー」袋・錫・海產物又は漢藥等があり、其他產物としては黄麻・骨粉・油類・「ヘッシアン」、「クロース」油糟・硝石・藍靛等がある。而して前年に比して其の輸入は皆著しく好況であつた結果、總額に於て約百萬磅を增加した。其の各品の對照は左の如し。(單位千磅)

	一九一九年	一九二〇年
漢藥類	九九	一六八
海產物	一五三	三三
錫錠及塊	一、九四〇	二、八〇九
棉絲	六、八二二 (四五五、七〇五擔)	七二一 (三五九、五五六擔)
ガンニー袋	三六七	一、〇七六

阿片は重要輸入品の一なれど別節に說明することゝす

(第三)海峽植民地及馬來聯合國 海峽植民地及馬來聯合國に對する貿易は重要なる關係を有し殊に最近新嘉坡の發達と共に香港と競爭上の地位にあるを以て注意を喚起し來りたるものとす。而して貿易は主として新嘉坡及卑南兩港を仲繼として行はる。輸出重要品中には煙草・綿製品・燐寸・豆類・牛皮・製粉・「セメント」其の他があり、前年に比して增加したるものは綿製品・製粉・落花生油・紙製品・素麵・燐寸・牛皮等の大部とし、減退したるものは就中「セメント」・豆類・煙草に止りしが爲に總額に於ては增進を示して居る。輸入重要品は錫・靴皮・「ガンニー」袋・胡椒・染料・籐で其他產物としては香料・護謨・「コプラ」・「タピオカ」・落花生等がある。輸入を增加したるものは籐・靴底皮・製粉・石油等に過ぎないで、大宗貨物たる

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錫を始め大部不況になつた結果、總額に於て二十萬餘磅を減退した。其の對照左の如し。（單位千磅）

輸出品	一九一九年	一九二〇年
棉製品	擔二五五、三三九	擔三一九
セメント	二六九	一八八
豆類	三五五	二七九
製粉	一〇八	二六一
落花生油	一三〇	一五一
煙草	一、〇二三	一、〇一五
紙製品	一〇三	一一八
素麺	一九七	二〇五
燐寸	五四	一〇八
牛皮	二一六	三二一
爆竹	八九	一三四
輸入品	**一九一九年**	**一九二〇年**
錫	擔二一九	擔一六八
靴底皮	六〇三	八三三
漢薬	三一	六六
染料	一六一	一三五
製粉	七八	一一一
錫錠及塊	七六六	一一五
胡椒	二三三	二〇五
「ケロシン」油	一一八	一八三
「ガンニー」袋	一六六	八二

粗糖	擔四八、七六九	擔三〇、七七二	一〇九
精糖	九三、四五〇	一六、七七七	一六八

（第四）濠洲　同地に對する輸出重要品としては米穀を大宗とし、其他茶・生絲等がある。穀類の輸出は前年の十六萬餘磅に對し二十萬九千餘磅に增加し、總額に於て約十八萬餘磅の增進を示した。

輸入重要品は檀香木、(Sandal wood)・小麥粉・「バター」・「コンデンスミルク」等で其の他產物としては銅・石炭・羊毛・眞珠・肉類・海產物等を主として居る。殊に檀香木は濠洲より香港に對する特別輸入品で宗敎祭祀用として支那人の需要著しく、又總て濠洲より之を供給して居る。

今年の輸入は總額に於て約二十萬磅を增加したるが如くに各重要品の輸入に對照すれば左の如し。（單位千磅）

	一九一九年	一九二〇年
「サンダル、ウード」	一九八	二九〇
鉛	二四	九〇
海產物	九六	一一八
小麥粉	六一五	三八一
「バター」	八一	一三五
「コンデンスミルク」	一二三	一四七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(第五)英領加奈陀　同地に對する重要輸出品は米穀を大宗とし、其の他海産物•藥材•酒類•食糧品等である。就中一九二〇年の米穀の輸出高は前年の十九萬四千餘磅に對して六十六萬三千八百餘磅に達したるが如く、總額に於て約五十八萬餘磅を增加した。輸入重要品は海産物及木材を首として其他酒類紙類等があり、就中木材及海産物は同年各自五六萬磅の輸入があつた。總額に於て前年の十七萬三千餘磅に對して二十五萬餘磅に達した。

(第五)英領北ボルネオ　同地に對しては他の東洋諸國に對すると同じく綿絲布•燐寸•海産物其他支那人使用の雜貨類を輸出して居る。輸入重要品中には堅木•海産物を主とし、護謨•胡椒•石炭•燕巣•獸皮•眞珠等がある。就中堅木の輸入は前年の十一萬一千餘磅に對して十三萬餘磅に增加し、海産物は三萬餘磅に對して四萬二千餘磅に增加し、たるが如く、總額に於て七萬餘磅の增進を示した。

(第七)緬甸及其の他英領　英領緬甸に對する重要輸出品には「セメント」•藥材•海産物•綿布•食糧品•紙類•爆竹等があり、重要輸入品には米穀•煙草•硬玉•鉛等がある。就中米穀は前年の二十六萬七千餘磅に對して十二萬餘磅に減退したが、煙草•鉛•硬玉等は左記の如く各自增進を呈した。故に總額に於て二十七萬六千餘磅を增加した。(單位千磅)

	一九一九年	一九二〇年
米穀	二六七	一二〇
煙草	四九	一四八
鉛	一三	九七
硬玉	二五	一〇六
綿花	—	二〇

其の他英領に於て特記すべきことは、挨及に對し同年小麥粉二十四萬餘磅及豆類を輸出したのである。其の他屬領中には東西及中部亞弗利加•南阿弗利加聯邦•アデン•ジブラルタル•マルタ•モーリシアス•ニユージーランド等あれど茲に掲ぐべきものがない。

(第八)佛領印度支那　同植民地に對する重要輸出品は雲南行の綿絲布を大宗とし、漢藥•茶•絹製品•小麥粉•紙製品•煙草等にて多くは輸出を增加した爲に總額に於て約二百八十萬磅の超過を呈した。輸入重要品中には雲南産の錫•石炭•米穀•製粉•海産物•粗糖•獸皮•漢藥等があり、東京灣の開港たる海防より輸出し、又海南島よりは豚•獸皮•山繭絲等を輸出する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同年は各品の輸入好況を極めたか故に總額に於て約五百萬磅の増進を示した。其の對照左の如し。（單位千磅）

	一九一九年	一九二〇年
輸出品		
鑛油	一六七	一五七
金屬類	二一六	三八八
爆竹	五八	一〇八
紙製品	二二九	二五九
漢藥	三六五	四二〇
小麥粉	二八〇	三八三
精糖	九六	一三六
綿絲	一,九〇七	二,六九九
綿製品	三二二	六二九
絹製品	五〇七	七四九
茶	二〇四	二六一
素麪	七〇	一一三
煙草	一八三	二二七
ガンニー袋	一三九	八一
輸入品	一九一九年	一九二〇年
漢藥	二九三	二九七
海產物	三八八	四〇七
製粉	三八〇	六四九
穀類	八,五六五	一三,〇四五
粗糖	一四九	一〇一
石炭	二九八	—
錫	一,九四〇	二,八〇九
獸皮	四三二	二四四

（第九）蘭領東印度　同地に對する重要輸出品は綿製品及米穀を首とし、其の他絹製品•「セメント」•煙草等があり前年に比し獨り米穀の輸出を著しく減退したれど、其の他諸品の輸出は極めて好況を呈した爲め總額に於て五十萬磅以上を增加した。輸入重要品としては其の特產品たる砂糖の大宗とし「ケロシン」油•錫•籐等之に亞ぎ、其の他產物としては從來茶•藍靛•幾那•煙草•護謨•石炭•檀香木等がある。同年の輸入貿易は精糖及錫製品に就て例外ありたれど他は一般に好況であつた爲に總額に於ては約一千萬磅餘の增進を示した。

左に重要輸出入品貿易の對照を示さん。（單位千磅）

輸出品	一九一九年	一九二〇年
綿製品	三二	五三二
セメント	五五	三〇〇
米穀	八,〇九九	一四七
煙草	一六二	二九一
落花生油	一三〇	一五一
爆竹	七二	一三六
絹製品	一三	一六八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輸入品	一九一九年	一九二〇年
海産物	九五	一〇八
粗糖	千擔 二三六	千擔 一、九一九
	—	八、五九九
精糖	一五六	二九七
	—	一、〇〇九
液體燃料	三三五	四八七
酒精	一六一	一一七
錫錠及塊	五〇七	一一五
ケロシン油	一、一九二	一、三一〇
豚	八九	一八五

(第十)暹羅●● 同地に對する重要輸出品は鑛油●烟草●燐寸等で前年に比して好況で總額に於て約二十萬磅餘の增加を示し、重要輸入品中には米穀●海産物●砂糖●木材等大部を占めて居るが、米穀を始めとして前年に比して著しく不況にあつた爲め總額に於て約三百三十餘萬磅を減退じた。其の對照左の如し。(單位千磅)

輸出品	一九一九年	一九二〇年
烟草	一八九	一九三
鑛油	一六一	二〇二
燐寸	一五〇	一六五

輸入品	一九一九年	一九二〇年
海産物	一八四	二一四
米穀	三六五	二一六

	一九一九年	一九二〇年
「ライスシール」	一五五	—
木材	一四六	一四六
粗糖	千擔 三一	千擔 六四
	—	一七八
精糖	—	二六
	—	二三

(第十一)比律賓●●● 同島に對する重要輸出品は米穀●綿製品●「セメント」●鷄卵●鑛油●豚脂等で同年の輸出は極めて好況にあつた爲め總額に於て約三百五十餘萬磅の增進を示した。輸入重要品は同島の生産物たる砂糖烟草を主とし、前年の粗糖八十五萬餘擔に對し二十九萬二千餘擔に減退し、又烟草も十五萬一千七百餘磅に對し百萬餘磅に減退したれど、精糖は二萬餘擔に對して八萬二千七百餘擔に增加し、殊に前年の統計には砂糖の價額を記載せぬが爲めに總額に於ては表面上約百萬磅の增加を來して居る。左に重要輸出品の對照を掲ぐ。(單位千磅)

輸出品	一九一九年	一九二〇年
綿製品	八二	六八
米穀	二一六	一、四三三
セメント	二六	八九
鑛油	二四〇	一三一
豚脂	一一六	一七〇

	一九一九年	一九二〇年
鷄卵	一七六千擔	二三八千擔
粗糖	四九	一五六
精糖	六	二五

（第十二）米合衆國（布哇を含む）　最近米國船が東南洋の航路を擴張すると同時に英米の太平洋に於ける貿易戰は漸く刮目に價するものがある。自ら香港に對する米國の輸出入益々好況にあつて米國に對する貿易を促進し其の輸出に於ては五百八十餘萬磅、輸入に於ては百五十六萬餘磅の增加を來したのである。從來輸出品には廣東產の絹布•生絲•米穀•筵•陶器及植物油（桐油及落花生油）等ありたれど、最近に於ける重要輸出品としては米穀を大宗とし錫•藥材•植物油•樟腦等である。輸入重要品としては小麥粉•石油•人參•金屬類及機械類を始めとし、砂糖•煙草•染料•紙類等の種類が多い左に重要輸出入品の對照を揭ぐ

（單位千磅）

輸出品	一九一九年	一九二〇年
米穀	一、八九八	二、〇七二
樟腦	四九〇	三三九
漢藥	二一三	二六七
錫錠及塊	一二八	一、五九〇
植物油	五三三	七八三
竹及製品	二六	一三九
毛髮	五一	一三〇
籐及製品	一三〇	四八〇

輸入品	一九一九年	一九二〇年
鑛油	三、三二六	三、〇八〇
金屬類	一、七三三	一、六〇五
機械	二七三	二一九
鐵道材料	四四七	二六九
海產物	六〇	一七三
コンデンストミルク	二九九	二四八
錨釘針金等	二八二	三三〇
アニリン染料	九九	一三七
其他染料	九八	二〇二
棉製品	一一九	一三三
棉絲	七〇	六四七
液體燃料	四六	三二八
煙草	四四七	二六九
紙類	一六六	二六八
小麥粉	三三	五六八
粗糖	—	—

（第十三）佛蘭西其他　其の他の諸國中支那及日本を除かば輸出入高に於て特筆すべきものがない。獨り佛國は輸出が一九一九年の十五萬一千餘磅に對して一九二〇年二十五萬五千餘磅に增加し、輸入は五十五萬餘磅に對して四十四萬九千餘磅に減退して居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。一九二〇年の輸出重要品としては樟腦（約十萬磅以上）白米（約四萬五千磅）生絲（約八萬二千五百磅）藥材等を首とし、輸入重要品中には綿布・酒精・小間物・裝飾品・食糧品等多くの種類がある。

和蘭の輸入貿易額は前年の二萬一千九百餘磅に對して同年三十二萬餘磅に增進し、其の重要品には人造護謨・綿布アニリン染料・鐵類等あれど輸出に於ては特記すべきものがない。玖瑪の如きは獨り輸出貿易に於て見るべきものがある。前年白米七十七萬八千五百餘擔百六十一萬二千八百餘磅に對して同年百三十五萬餘擔四百八十六萬六千九百餘磅に達し尚同年は絹製品三萬九千餘磅を輸出して居る。

（第十四）支那　香港の對支貿易は前に述べた通り總輸出に於て四割以上を占め、輸入に在つても中南支の分を加算せば恐らくは同じく四割以上に達すべきであらう。

支那に對する輸出貿易の系統は從來北支（香港靑書に於ける福州を除く其以北）即ち上海以北及長江沿岸に對しては砂糖・檀香木又は東京米其の他を輸出し、中南支（香港靑書に於ける福州以南）に對しては北支の產物の外は各國よりの貨物を悉く轉輸し、即ち其の主たるものは綿絲布・毛織物・燐寸・石炭・石油・錫・鉛・鐵材・鐵製品・製粉・海產物・食糧品・藥材・肥料等を以て占む今最近の砂糖・綿絲布・製粉・煙草・海產物等の輸出高を示せば左の如し。（單位千磅）

		一九一九年	一九二〇年
北支	綿製品	一、〇〇九	一、〇〇〇
	綿絲	二〇四	一四四
	粗糖	一、六六四（一、一二九）千擔	一、六九一（一、一九〇）千擔
	精糖	四、三二二（一、六一八）	七、九一九（一、八一七）
中支	綿製品	一、〇〇四	一、一一九
	綿絲	一、六六五	一、〇四〇
	煙草	一四五	一三六
	粗糖	九一（七八）千擔	八〇（二〇）千擔
	精糖	二六九（一四）	九三三（一一四）
南支	綿製品	二、五三七	三、三一九
	綿絲	九、二七〇	八、一三三
	煙草	一七九	七四八
	海產物	一、一六七	一、六六六
	米穀	一、四七九	九八四
	麥粉	一、〇九八	一、一六八
	粗糖	三一六（二六九）千擔	二一六（一〇〇）千擔
	精糖	九八一（一〇三）	九三三（一四〇）
	糖蜜	九〇（一〇一）	九〇（一九〇）

輸入貿易の狀態は由來北支各港よりは豆類・素麵・文

那酒・豆油・獸皮・果物・生牛・支那織物等、南支よりは煙草・砂糖・麻・泥藍・紙類・果物等を主として輸送して居つた。最近に於ける重要輸入品として北支よりの分は例へば豆類・麥粉・綿絲布・藥材・絹製品・石炭・支那索麵・海產物等であつて、兩年を對照すれば左の如し。（單位千磅）

	一九一九年	一九二〇年
豆類	七一七	六〇七
漢藥	一、五七四	一、九八七
海產物	七〇	一七六
小麥粉	七四〇	一、〇三〇
白米	二三四 擔	四六九
精糖	（二、八〇七）	二一五 （四二、九一二）擔
索麵	九二三	七二四
石炭	四八四 （一三八、四五九）噸	七三六 （二〇八、五八七）噸
上酒	一〇四	二三〇
落花生	七三五	九二六
同油	一九九	六四四
棉製品	四四九	九九二
絹製品	九七四	一、五六五
煙草	二九二	三一〇
食鹽	二四	一四五
棉絲	二八五	一、一五二

前表に依れば輸出に於ては北支に對する棉絲布、中支の綿絲及煙草、南支の米穀が例外として前年に比して減退を見たるが、其の他總ての輸出及北支に對する一般の輸入は著しく好況になつたが爲め輸出入共に增進を來したのである。

中南支よりの輸入重要品の統計は香港青書の不備に依つて暫く知ることが出來ざるが故に海關統計に依るべきである。

（第十五）日本（朝鮮及臺灣を含む） 日本の直接の對香港貿易は日本の對支貿易と異り其の「パーセンテージ」は前に述べた通り比較的少額であるが、支那諸港より轉送せられて香港を經由するもの多額に上り、卽ち日本貨物が市場に散在する比例は比較的多いのである。換言すれば日本商人の勢力程度と日本の貿易額と一致せないのみならず、日本の直接貿易高と日本貨物の數量と又比例しないことが吾人の看過することの出來ぬ現象である。

日本に對する輸出品は從來米穀・砂糖・錫・鉛・麻袋・檀香木・器物・用木材其の他雜品で大部は支那商人の手に依り取引せられたるが砂糖・「アンペラ」・錫・鉛其の他雜品は漸次日本商人の手に移り輸出するもの增加するに至りたるは事實である。而して最近に於

ける重要輸出品を掲ぐれば蘭類・金属類・穀類「ガンニー」袋・石油・棉絲等であるが今年日本に對する米の輸出を著しく減退した爲に總額に於て前年に比し五百三十餘萬磅の減額を來した。其の重要輸出品の對照は左の如し。（單位千磅）

	一九一九年	一九二〇年
漢薬	三二	一五〇
金属類	二〇〇	六九
ケロシン油	一六三	一五七
棉製品	二〇五	一〇二
棉絲	一〇〇	二一
「ガンニー」袋	六〇	一三五
蘭類	四七三	二〇〇
牛皮	一六四	一四五
米穀	六、四〇一	一、三九九

日本よりの輸入品も由來東洋貨物大部を占むるが故に在留支那商人の手に係るもの多く從つて一昨年來の排貨の反響を受くること比較的少く約二百四十餘萬磅の增進を示して居る。重要輸入品中には綿絲布海產物紙類石炭等あり。其の對照を掲ぐれば左の如し。（單位千磅）

	一九一九年	一九二〇年
建築材料	六二	三〇
漢薬	一八〇	二五四
海產物	六九四	八二五
「コンデンスト ミルク」	一九六	一六八
金属類	五四三	五九三
棉製品	六六一	一、三三〇
棉絲	二、〇一九	五、三五二
紙類	四六五	四二四
衣服類	二三〇	五〇一
石炭	二、三九一（六九八、九七三噸）	二、四四二（六四五、五四八噸）
綿	六四	一〇七
粗糖	—	四二
精糖	—	二六〇

次に臺灣の對香港貿易を臺灣の調査より掲ぐれば左の如きものである。（單位千位）

輸出貿易（一萬圓以上ノ重要品）

品名		一九一九	一九二〇年
石炭	噸	二八七	二〇一
	圓	四、七六四	五、四一〇
落花生	斤	一、一八四	五七八
	圓	一九九	四五
乾筍	斤	四三三	三〇八
	圓	一一八	一一七
カーバイト	斤	一六七	—
	圓	三五	—
烏龍茶	同	五四	四八
	同	三〇	三二

品名	單位	一九一九年	一九二〇年
砂糖	斤	二四〇一	二一八四
	圓	五二七	五五三
阿片	斤	二	一二
	圓	四五六	五一三
パラフインワツクス	同	三八八	三四五
	同	一四三	一二九
ガニー袋	箇	二三六	六〇六
	圓	一三三	三二五
藥餌及藥鋼	同	三八六	—
	同	二一五	—
革類	同	一三二	一六〇
	同	一一四	一四五
人參	同	一一	一三
	同	一〇三	九四
黄麻	同	三〇七	三一〇
	同	八八	八五
籐	同	三五六	一五六
	同	八七	二九
錫塊及錠	同	四九	六一
	同	七八	九〇
包種茶	同	七	五〇
	同	三	三〇
燐寸	哥	二六	八
	圓	六	一〇
落花生豆油	斤	九八	一〇九
	圓	一六	四〇
鯣鯖	同	五	二
	同	一五	七
砂糖	斤	七	三〇〇
	圓	一四	一二五
綿織物	碼	七	一四
	圓	四	六三
其他	同	一四五	一五〇
合計	同	五三三四七八	六三三九

輸入貿易（五萬圓以上）

品名	單位	一九一九年	一九二〇年
機械油	箇	四四三	六〇七
	圓	二六	三五
當歸	同	七六	九九
	同	七三	九九
絹織物	方碼	二七	二九
	圓	六八	八四
白檀	斤	一四四	二〇九
	圓	六六	八〇
プランテー	利	一〇	二五
	圓	九九	六〇
コンデンスミルク	打	—	三〇
	圓	—	一七
豆素麺	斤	二一	二〇七
	圓	四七	八〇
鉛（塊及錠）	同	—	二八四
	同	—	七五
雲母	同	八	八七
	同	四七	五七
阿仙薬及其他	同	—	一〇七
タンニン越斯	同	—	五〇
其他	同	—	—
合計	同	八、四八八	一〇、三三五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

交趾支那の糖業的價値

（承前）

眞室幸敎

三　交趾支那の糖業

交趾支那の糖業は餘り世間に知られて居ないので、一向之に注目するものがない樣子であるが、之は此處の糖業者が頗る幼稚で其産額が州内に於ける土人の消費の一部に供せらるゝ位で、極輕微であるからであらう、併し今後之が如何樣に變化するか分らないから決して看過することは出來ない筈、乃で之を調べて見ると斯樣である。

（一）糖業の行はるゝ地方　本州内に於ける糖業地はジャーデン郡のアントウ、アンデイン、アンチー、チユトモ郡のビン、シャンタイニン郡のトランバン方面と、邊和郡の三福（福ヴインハ、福ヴイントラン、福ヴイントン）地方である、是等地方に於ける製糖場の數は幾何であるか確と判明しないけれども、土人の云ふ所を綜合すると大約二百個程ある樣である。

（二）製糖場の規模及組織　二百餘個の製糖場と云へば豪勢の樣であるけれども、其全部が舊式糖廍であるから大したものではない、特に此地の舊式糖廍の大部分は木輪糖廍と稱する極小規模のものである、木輪の壓搾能力は幾何であるかと調べて見ると、晝間作業で甘蔗五千五百斤、晝夜作業で一萬斤内外であるから、石車糖廍の能力の六分である、此木輪を二座、三座有するものもあるけれども、大部分は一座である、是等製糖場の中には共同經營のものが若干あるが、大部分は個人經營のものである。

（三）製糖場の機械設備　木輪糖廍の機械設備は（イ）壓搾裝置（ロ）煮沸裝置（ハ）打糖板の三より成る、而して壓搾裝置は一列に据付けられたる三個の木輪（三個で一座）と生汁槽より成る鐵架にて造られたる木輪は直徑六十五仙米突高七十二仙米突の圓筒形轉仔で、其頂部齒輪が付て居る中央の分に挽木を付ける廻轉さすと、此齒輪が喰ひ合て、左右の分を廻轉さすの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

である、木輪左側の地中に容量一石位の生汁槽が据付られてある、煮沸裝置は一個の大竈の上に三角形に据付られた三個の鐵鼎と、一個の離仔土桶より成る、鐵鼎の口徑の四十二吋位、皆口框が付て居る、三個の中後方の二個が清淨蒸發釜で、前方の一個が煮揚釜である、清淨釜に浮揚する汚物は絶えず汲んで離仔土桶に入れる、打糖板は幅四尺長八尺位の平盤で、此上に蓆を敷て砂糖を放冷堅固さすのである。

(四)製糖場の建設費　は幾何かと聞て見たが、確たることは分らぬけれども大約三四千弗掛ると云ふ、其内譯は機械器具に六百弗、壓搾兼煮沸室(容器庫、打糖室共)に八百四十弗、砂糖庫、職工室、炊事場、牛舍に七百五十弗、水牛十二頭八百四十弗、牛車三十弗、河綖九十弗及糖廍と蔗園間の排水兼灌漑兼運搬水路約六百弗、之を合計すると畑地の糖部で三千六十弗、水田の糖廍で三千七百二十弗と云ふことになるが、大部掛値がある様だ、水田の糖廍は此外に千二三百弗の耕作資金が入るそうであるから、所要資金は約五千弗となる。

(五)糖汁の搾出量及搾出率　木輪糖廍の糖汁搾出量や搾出率を調査に掛たが、何分甘蔗でも砂糖でも秤量したことがないのであるから皆目分らない、段々問答し居る内に、十二時間壓搾すると糖汁が百罐(約十石)採れると云ふことが分明したが、甘蔗の斤量が分らない、乃で後日秤器を持參して原料を秤量して壓搾さして見ると、六百三十二斤を一時間と二十一分で壓搾して糖汁十一罐半(一石一斗五升 三百六十三斤)と搾殻二百六十七斤を得た、此原料は大黃蔗である、さすれば木輪の大黃蔗に對する搾汁量は千斤當り一石八斗二升弱で、此斤量が五百七十三斤であるから、原料に對する搾出率は五七パーセント三である、比重計を所持しなかつたから糖汁の濃度を測定することが出來なかつたけれども、原料に對する砂糖の步留が九分一厘で、糖汁一罐(即ち千三十一斤半)に對する砂糖の步留五斤であるから、此糖汁の濃度はブリックス十五度半位であらうと思はれた。

(六)原料收得の方法　此地の糖廍は殆んど全部原料を自作して居るので、原料を買取することは極稀れなそうである、是は本州の糖廍は規模が小さいのと原料の作柄が良好であるから、自家栽培で充分やれるからである。

(七)原料の栽培　(一)栽培地　邊和郡の三瓶地方で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は甘蔗を畑地に栽培し、其他の地方に於ては之を水田に栽培す。

(二)甘蔗の品種　本州に栽培せらるゝ甘蔗は、竹蔗と土人が黄色蔗と稱する黄色の大莖種と紫色蔗と稱する紅蔗様のものと三種なり、後の二者の品種原名不明なり、畑作地方に於ては竹蔗を栽培し、水田地方に於ては主として黄色蔗を栽培し、紫色蔗少許を栽培するそうである、黄色蔗は長大にして莖圍四吋乃至五吋四分の三、莖長七尺乃至十五尺、依て予は之を大黄蔗と命名した。

(三)植付及收獲時期　甘蔗の植付時期は十二月より三月迄、收獲時期は十二月より四月迄を普通とする由なるも製糖の都合により五六月迄收獲することがある、予の見る所によれば土地に支障なき限り植付は十月より二月迄に繰り揚るを可とすべし、然る時は製糖期を十一月乃至三月に繰揚ぐることを得る故なり。

(四)栽培法　(イ)畑作地の栽培　畑作地に於ける栽培法は本島の畑地に於ける栽培法と同様で、整地中耕には主として牛耕を用ひ、他を人耕とす、畦幅は一般に百二十仙米突、株間四十八仙米突で、一佛町の植付株數は一萬六千二百内外で、植方は斜植なり、堆肥以外に肥料を施さず、整地より收獲に至る迄の所要勞力は牛耕二十七、人耕七十と見れば大差なき様である。

(ロ)水田に於ける栽培法　之は存外周約である、即蔗園は各其周圍に幅一米突、深七十五仙米突の環溝を有す、此環溝は蔗園と蔗園の間に開鑿せられたる灌漑兼排水溝(兼運搬水路)に連結せり、蔗園の内部は畦丈け五米突、毎に幅六十仙米突、深五十五仙米突の横溝が掘られてある、而して整地は爪哇のパチヨル(爪哇土人の用ふる鍬なり)よりも大なる、上幅一尺五寸、丈一尺五寸、柄丈八尺内外の大鍬にて、全面を深さ三十仙米突位堀り起し、更に之を切返して畦立するのである、畦幅はジヤーテン郡及チユドモ郡の各地に於ては八十仙米突乃至一米突、大寧郡のトランバン方面では百二十仙米突乃至一米突、株間はジヤーテン郡では四十仙米突、大寧郡トランバン方面では四十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八仙米突であるから、植付株數はジャーテン郡及チ郡及チユドモユドモ郡では二萬一千乃至一萬五千二百、大寧郡のトランバンでは一萬四千乃至一萬七千二百である、中耕除草培土等總ては人耕で、少しも牛耕を用ひない處は爪哇のレーノツ式そつくりである、一佛町に對する所要勞力は新植で七百五十人、株出で約三百人、平均四百四十人を要する勘定である唯だ爪哇と異なる點は株出を二回すること、堆肥以外金肥を施さぬこと、高地苗圃の苗を使用しないことの三點である。

(八)原料の栽培費　原料の栽培費を諸所で聞いて見たが頓と判明しない、耕作の各段に付所要勞力數を尋ね見たが多くは大約(チフヤウ)で當にはならぬが、之と蔗園の狀況、作業の模樣に照し、當方で推算して見ると、畑地に於ける栽培費は一佛町に付新植六十弗(地代七弗、苗代十弗、勞銀四十弗五十仙、其他二弗五十仙)株出四十弗(地代七弗、勞銀三十弗五十仙、其他二弗五十仙)位で新植株出の平均が五十弗内外の樣である、水田の方は栽培法が集約であるから、之に數倍する樣である、其算定は繁雜であるから左に之を表示することにする。

「水田一佛町當甘蔗栽培費」

科目	新植 數量	新植 金額	株出二回分 數量	株出二回分 金額	三箇年平均 數量	三箇年平均 金額
租石	一箇年	三〇・〇〇弗	二箇年	六〇・〇〇弗	一箇年	三〇・〇〇弗
蔗苗	二〇、〇〇〇本	二一・〇〇	—	—	—	七・〇〇
環溝	一三、[illegible]〇立方呎 六〇人	一八・〇〇	溝浚一六人	四・八〇	二五・三人	七・六〇
横溝	一八、四八〇立方呎 八五	二五・五〇	同 三二	九・六〇	三九・〇	一一・七〇
整地	(鍬起し返)八三、三三〇立方呎 四〇〇	一二〇・〇〇	株切溜間 一六〇	四八・〇〇	一八六・六	五六・〇〇
植付	二九、二〇〇本 二五	七・五〇	—	—	八・三	二・五〇
中耕、除草、培土	一四〇人	四二・〇〇	二八〇	八四・〇〇	一四〇・〇	四二・〇〇
剝葉	四〇	一二・〇〇	八〇	二四・〇〇	四〇・〇	一二・〇〇
其他	—	八・〇〇	—	一六・〇〇	—	八・〇〇
計	七五〇	二八四・〇〇	五六八	二四六・四〇	四三八・六	一七六・八〇

耕地の狀態や作業の現狀から見て前揭の通りに予が算定したのであるから、正確とは云へないが當らずと雖ども遠からざるものと思はれる、此算定によると三箇年平均の耕作費が、一佛町百七十六弗八十仙で、四百三十八人六分の勞力を要する勘定となる、是は新耕地の栽培費であるが、此後引續き此の耕地に栽培する(米なんどを輪作せずに)時には環溝横溝の掘鑿費が省か

れるから、此場合には新植費が三十六弗三十仙方安くなるので三箇年平均は百六十四弗七十仙となるそうである。安南人の耕作の現状によると、上掲の樣な計算になるが、我等日本人がやる時には、整地にトラクターを使用するから新植の整地費百二十弗を四十弗に減じ、所要勞力四百人を六十人に減ずることが出來るであらうと思はれる、併し整地費で輕減した費用は、監督費及其他の費用に充當するから、耕作費全體に於ては何等增減しないけれども、勞力丈は確に減ずることが出來る。

（九）原料の收穫高　上掲の栽培費を投じて耕作せられた甘蔗の收量は、畑作地方では六七萬斤、水田地方では十六七萬斤（十二―三萬より二十萬斤）である。

（一〇）原料の價格　原料の賣買は滅多にないそうであるから、原料の價格幾何かとの問に對しては、栽培費の千斤當りを以て答ふる外はない、其栽培費は畑地が五十弗で、水田が百七十六弗八十仙、收量は畑地六萬斤、水田十六萬斤とすれば、甘蔗千斤當りは竹蔗（畑作）が八十三仙三、大黃蔗（水田作、納蔗か、ラハイナか不明）が一弗十仙六となる、之に刈取運搬費の千斤當り畑地三十仙、水田五十仙を加へると、工場着原料費は竹蔗一弗十三仙三、大黃蔗一弗六十仙六となる、斯樣な低價の原料は爪哇や玖瑪にも滅多にない筈である。

（一一）砂糖の製造　砂糖の製造をなすには木輪一座に對し左記の人員を配置することを要す。

（イ）壓搾部	牛婆	晝夜作業の時	四人	晝間作業の時	二人	安南人
	趕牛	同	二人	同	一人	同
（ロ）煮沸部	司阜	同	二人	同	一人	支那人
	火夫	同	七人	同	四人	安南人
（ハ）雜役	飼牛	同	二人	同	一人	同
	雜役	同	四人	同	二人	同

製糖時期　每年十二月に始り翌年五月に終るが通例なるも、都合により七八月迄製造することあり。

作業期間及作業時間　は司阜雇入れの都合により伸縮す、卽ち司阜二人を雇入れ得れば晝夜作業して短期間に製造し、一人なるときは晝間のみ作業するにより製造期間永引く。

原料の壓搾高　一日の壓搾斤量は、晝間作業の時には五千斤（竹蔗）乃至五千五百斤（大黃蔗）晝夜作業の時には九千斤（竹蔗）乃至一萬斤（大黃蔗）內外である、一期間の作業日數は晝夜作業の糖廊で百日內外、晝間作業の所で百八十日內外であるから、一製糖期間の原料壓搾高は九十萬斤乃至百萬斤と見れば大差なき樣である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

糖汁搾出步合　原料千斤に對する糖汁搾出高は、大黄蔗で十八鑵一石八斗二舛(竹蔗は調べないから不明)即ち五百六十二斤半で、原料に對し五十六パーセント二五である。

煮沸結晶　搾出せられた糖汁は八鑵(八斗)を一釜(一煮沸)として煮詰めらる、一釜の煮詰時間は青糖(赤糖、板糖で)約五十分內外、煮詰られた濃厚汁は打糖板に移し、攪拌放冷又は放冷凝固せしむるのである。

砂糖の步留　原料に對する砂糖の步留は、青廍として大黄蔗に對し九分內外、竹蔗に對しては六分內外である、一製糖期間に於ける一糖廍の製糖高は、畑作地方では五百四五十擔、水田地方では九百擔內外だそうである。

(一二)砂糖の製造費　何處で聞ても不明であるが、聞き得たる材料により推算して見ると左の通りである。

砂糖製造費(木輪一座に對する一日の費用)

科目	畑地糖廍(原料は竹蔗)	水田糖廍(原料は大黄蔗)
原料壓搾高	九、〇〇〇斤	一〇、〇〇〇斤
砂糖出來高	五四〇斤	九〇〇斤
原料費	一〇、一九七(千斤一弗十三仙三)	一六、一五〇(千斤一弗六十一仙五)
燃料代	一、八〇〇(新十八擔 毎擔十仙)	四、二〇〇(新三十擔 毎擔十四仙)
工賃	九、〇五〇(司阜二弗四十二仙、牛婆二弗四十仙、其他四弗二十五仙)	一〇、三〇〇(司阜二弗四十仙、牛婆二弗八十仙、其他五弗十仙)
糖甕代	三、八五〇(一個五十仙 七個七分代)	六、五〇〇(同上 十三個代)
役畜費	一、〇〇〇	一、〇〇〇
雜費	一、〇〇〇	二、四〇〇
計	二六、八九七	四〇、五五〇
砂糖百斤	四、九八〇	四、五五〇

(一三)收支計算　糖廍一日の經費は畑地二十六弗八十九仙七、水田四〇弗五十五仙で、砂糖百斤當り生產費は畑地四弗九十八仙、水田四弗五十五仙、之が一日又は一擔に對する支出である、而して砂糖の賣値は如何と云ふに、昨年は餘程高價に賣れたる由なれども本年は餘程低落したから一甕(七十斤餘)五弗を唱へるけれども、買方は四弗五六十仙に付けるので、目下商談が出來ないと云つて居る、乃で假りに一甕四弗五十仙(百斤六弗四十仙)に賣るものとすれば其の收支は左の通りとなる。

收入支出

	畑地の糖廍 一日分	畑地の糖廍 一箇年分	水田の糖廍 一日分	水田の糖廍 一箇年分
砂糖代金	弗 三四・五六〇	弗 三、四五六・〇〇	弗 五七・六〇	弗 五、七六〇・〇〇
製糖費	二六・八九七	二、六八九・七〇	四〇・五五	四、〇五五・〇〇
差引利益	七・六六三	七六六・三〇	一七・〇五	一、七〇五・〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那や臺灣に於ける舊式糖廊は、何れも多少の損失を招きつゝある時に當り、斯の如き利潤を擧ぐるは畢竟原料が低價であるからである、木輪糖廊でさへ斯様な利潤を見るとすれば、新式製糖場を設立すれば一層多くの利潤が見らるゝであらう。

四　結　論

本州の狀況は概略上に述ぶる通りであるが、之を要するに本州は蔗作に好適せる幾多の條件を具へて居る、即ち

第一　本州は無颱風帶であるから、暴風雨の爲め蔗收を損ずる懸念がない。

第二　氣候が溫暖で、適順であるから甘蔗の生育が非常に旺盛である、詳言すれば氣候は臺灣、南支と同じく、乾濕二季であるけれども、乾燥期の平均氣溫が攝氏二十七度、雨期の平均氣溫が二十七度四分で臺灣、南支より遙かに高く、乾燥期の月別平均雨量が六十七粍米突、雨期の月別平均雨量が三百粍米突で、臺灣南支より遙かに分布狀態が善いから、溫暖適順と云ふのであるが、寧ろ濕熱と云ふ方善いかも知れぬ。

第三　土地が廣くて、地味が非常に豐沃であるから、甘蔗の連作が出來る。

第四　地代が安く、他の物價勞銀も低廉であるから、耕作費が割安となる。

第五　競爭作物の收入が僅少であるから、蔗作を脅威する憂がない。

本州は斯の如き有利なる條件を具へて居る、乃で土人が甘蔗を栽培しても栽培法當を得れば金肥を施さずして一佛町當り竹蔗(畑作)六萬斤大黃蔗(水田作)十六萬斤の收量を擧げ、而して其生產費が畑渡し千斤當り竹蔗で八十三仙三、大黃蔗で一弗十仙と云ふ低價となるのである、斯の如き低價の原料は爪哇玖瑪にもない筈である、故に予は本州を低價の原料を生產する有利の糖業候補地と認めたのである。

本州の原料生產費が、世界最有利の糖業地たる爪哇、玖瑪の原料生產費よりも低廉なりと云ふに關しては之を疑ふものあるべしと雖ども、這般は左の比較によりて自ら明瞭となるであらう。

本州と爪哇との比較

一、爪哇の借地料は一バウ五十布(一佛町五十六圓)以上なるも本州の小作料は耕地を買收すれば一佛町三十弗

内外貸下地を開墾すれば一佛町十六七弗となる。

二、爪哇は肥料代一バウに六十布（一佛町六十八圓）以上を要するも本州の耕地は之を要せず。

三、爪哇の蔗苗費は一バウ五十布（一佛町五十六圓）以上になるも本州の苗代は一佛町分二十一弗なり。

四、爪哇の耕作勞銀は一バウ百六十布（一佛町百七十七圓）以上なるも本州は（新植一回株出二回）平均して百四十弗なり。

爪哇に於ては株出を許さゞるが故に年々新植すれども、本州に於ては一植三收するも差支なし。

五、爪哇の甘蔗收量は一バウ當十二萬六千斤なるも、本州の水田は一佛町十六萬斤なり。

上掲の通りで爪哇の甘蔗栽培費は最低に於て一バウ三百二十布、一佛町我三百五十五圓二十錢を要するも本州の栽培費は一佛町百七十七弗となる、之を甘蔗の收量で除すれば、爪哇は千斤當り二布五四卽ち我二圓三錢となるも、本州は千斤當り一弗十仙強（我一圓十錢許）となるのである、併し本州に於ける甘蔗の收量十六萬斤といふのは實收統計にあらずして、予の算定である、それも全體に亘つた譯でなく、一部の蔗園丈の調査であるから、多少高見込となるやも計り難いから、之を十二萬斤位に下げて見る方が穩當かも知れぬ、假りに一佛町十二萬斤の收量と見ても、其栽培費が百七十七弗であるから、千斤當りは一弗四十八仙弱となる。

玖瑪より有利の狀態にある爪哇に比し遜色なしとすれば、玖瑪に對し遜色なきは勿論である、本州は斯の如く低價の原料を生産するに適してゐるから、此地に大規模の最新式製糖場を設立して製糖を開始すれば爪哇、玖瑪と同樣に、低價の砂糖を生産する筈であるから、充分爪哇、玖瑪に拮抗して行けるであらうと思はれる。

更に製品の處分に付爪哇と利不利を對照すると、

一、爪哇には砂糖輸出税がないけれども、本州には百基に付赤糖二法、白糖五法の輸出税がある。

二、爪哇糖は母國に免税輸入の特典がないけれども、本州の砂糖は母國に免税輸入の特典がある、母國の輸入税は百基に付粗糖五法半、精糖六法である。

佛國の砂糖生産高は戰前に於ては大約七十八萬噸で、其消費額七十七八萬噸に對し過不足なき狀態であつたが、大戰中に製糖場の大部分が破壞せられたので、現今の生産額は三十五六萬噸に過ぎない樣子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だから、如何に消費を節約しても二十萬噸位の砂糖を輸入せねばならぬ、乃で本州に製糖場が出來れば差し當り本國の不足分を補給すると云ふことになるであらうから、此分は毎百基五法半なり六法なりの保護が受けられるのである、本州の生產額が本國の需用を超過する樣になると、爰に始めて輸出税がかゝることになるので、それは遠き將來の樣である、さすれば輸出税の負擔もない代りに免税輸入の恩典もない爪哇糖よりは本州の砂糖の方が差當り有利の狀態にあると云て宜い樣である。

以上揭ぐる通りの次第であるから、予は本州を最も有利なる糖業候補地と認めたのである、併し計數的材料のない所で、僅々三週日に滿たざる短時日の内に一部の蔗園と數個の糖廍に就き、栽培、採取、製造の實況を調べた丈であるから、之を以て全豹を判斷するは甚だ早計の樣に思はれるから、之を動機として至急再往の調査を遂げらる樣切望するのである。

□交趾支那糖業的價値補遺

予は以上交趾支那の糖業的價値に於て該地の地味の豐沃なることを指摘して置いたけれども如何に豐沃なるかに就て詳細に之を説明し得なかつた。之れは土壤の分析を經て居なかつた故である、今回彼地で採取した土壤の一部の分析を終つたから玆に之を説明すると共に此土壤に栽培せる甘蔗の耕作法、耕作費收量及製糖に關する予の豫想を開陳することにした。

予が彼地で採取し携へ歸つた土壤は(一)大寧郡の富知の新開田、(二)駐屯郡米州近傍平富の田(三)嘉定郡安東平正の田(四)同郡同富隆の田(五)同郡安知潮州の田(六)同郡同會富の鳳梨畑(七)同郡チュドック北部の畑(八)邊和郡龍潭南福盛の田(九)東京州大原南口の原野(一〇)大原街道府余福の畑(一一)河内川泰街道に沿へる本村の畑(一二)同上座庄の田の十二箇所であるが分析したのは(一)(二)(三)及(五)の四箇所である。其の成績は左の通り。

□土壤分析試驗成績表

(臺灣總督府中央研究所分析)

試驗要項	第一號(富知)	第二號(平富)	第三號(平正)	第四號(潮州)
全窒素	○・五六五	○・一三一	○・三六二	○・三六四
燐酸	○・一二一	○・○九八	○・一三○	○・一七○
加里	○・○八六	○・一○九	○・○七一	○・一一五
石灰	○・四五一	○・二五九	○・六八四	○・三五九

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吸收係數 窒素	四四四・二八九	二一七・七四〇	二四六・〇七九	二一〇・七四一
吸收係數 燐酸	二、三六二・六二五	二、〇七九・〇五二	二、一九七・三二五	二、一〇〇・九六二
全酸度	五五・五二五	八〇・二〇五	七九・五五六	一五一・八〇八

前掲の數字は耕深三十仙迷の時一佛町の土壤が左の肥養分を含有することを示すのである。

	貫	貫	貫	貫
窒素	六、四二〇	二、六六四	四、三三四	四、三六八
燐酸	一、四六四	一、一七〇	一、四四〇	二、〇四〇
加里	一、〇五二	一、二四八	八五二	一、二六〇
石灰	六、四一二	三、一〇八	四、六〇八	七、一〇八

右に依れば石灰加里の含量貧弱なるも燐酸は普通にして高價なる窒素の含量の非常に豐富なることを示して居る。

前掲第二號平富の田は安南人が若干の堆肥を施しつゝ數十年間甘蔗を連作し來たつた地である。而も尙ほ前掲の成績を示せる事實で稽ふる時は他の新耕地も堆肥相當の肥養分を施用せば數十年間有利に甘蔗の連作をなし得やうと思はれる。

本州の土壤が如何に豐沃なるかは左に揭ぐる各糖業地の土壤の成分と對照すれば一層明瞭となるであらう。

要項	東爪哇	中西爪哇	ネグロス	布哇	ルイジアナ	本州(日本八萬千町)
全窒素	〇・〇九六%	〇・〇六〇%	〇・一四〇%	〇・二四五%	〇・〇九二%	〇・〇六七%
燐酸	〇・一二三	〇・〇五六	〇・一五〇	〇・一五六	〇・一〇七	〇・一一三
加里	〇・一〇三	〇・〇五三	〇・二〇〇	〇・三五六	〇・一五二	〇・一三二
石灰	二・二三六	一・三三〇	一・六八〇	〇・六〇六	〇・七七七	〇・八〇八

前掲の數字は耕深三〇仙迷の時一佛町の土壤が左の肥養分を含有することを示すのである。

	貫	貫	貫	貫	貫	貫
窒素	一、二五二	七三〇	一、六八〇	二、九一六	一、二一六	八〇四
燐酸	一、四七六	六七二	一、八〇〇	三、〇七二	一、三八四	一、四六四
加里	一、二三六	六三六	二、四〇〇	四、二六二	一、八二四	一、五八四
石灰	二六、七二二	一五、九六〇	一九、九二〇	七、二七二	九、三二四	九、六九六

備考(1)爪哇、布哇、ルイジアナノ土壤は千九百年以前の分析
(2)ネグロス土壤は千九百八―九年の分析
(3)本州土壤は千九百十二―三年の分析である。

爪哇の土壤は石灰に富んで居るけれども窒素の含量少く中西爪哇は三要素何れも貧弱である。それでも東爪哇は彼の土壤に窒素十六七貫丈けを中西爪哇は窒素十六七貫と燐酸加里若干を施用して甘蔗十七八萬斤を收穫して居る。

ネグロス島の土壤は石灰と加里に富んで居るけれども窒素の含量は本州の土壤より遙に少い。夫れでも金肥を施さずして五年七年乃至十年間も甘蔗を連作して町當平均五十英屯(八萬四千斤)餘の收量を擧げて居る。

布哇の土壤は三要素の含量豐富で極めて良好な狀態

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を示して居る。是れ同島に於ける甘蔗の連作が數十年の久しきに亙るも若干の窒素の補給により今尙ほ町當十萬斤(無灌漑)乃至二十六七萬斤(灌漑地)の豐收を擧げ得る所以であらう。

本州の土壤は燐酸と加里に於て布哇に劣れるも窒素に於て布哇に勝れり。故に五年や七年無肥料で耕作しても收量を減ずる樣なことはあるまい。然れども上の分折の結果から考へると燐酸と加里若干を施與すること、せば啻に收量を增すばかりでなく糖分を增加するから一層有利となるであらう。

本州の土壤は斯の如く豐沃である。然れども地價は極めて低廉である。農民の唱へ値は駐屯(チュトモー)郡のビンシヤン嘉定(シャーデン)郡の安東、安定、安知方面では河川運河道路に沿へる運搬至便の地で一佛町二百八十弗、其他は二百弗內外、大寧郡の富知方面では河岸より五百米突以內は一佛町二百弗、其他は五十弗內外である。之れは民有田の相場である、畑は更に低廉である。若し國有地の貸下を得て開墾する場合には森林地は林相により一佛町百五十弗より二百弗、低濕地は排水溝及道路の開鑿費を合して百五十弗位にて墾成することが出來るであらう。

氣象按配の良好な處で彼の如く豐沃なる土地が斯る低價で求め得らる、處は世界廣しと雖も他には滅多に有るまい。加之物價勞銀の低廉なるは氣候の良好土地の豐沃と相俟て甘蔗の栽培を有利ならしむるであらう。故に此地に大規模の製糖場を設立すれば爪哇玖瑪を凌ぐ程有利なる成績を擧ぐるであらうと思はれる。

製糖起業上幾多有利の條件を有する當地に於ける唯一の缺點は勞力の不足である。現下本州に於ける勞力の大部分は米作に、他は畑作に使用せられて居るから新規の栽培地に對する供給は米作地の農閑期(十二月より五月に至る)丈けである。此期間に於ける供給は豐富であるけれども六月より十一月に至る期間の供給が輕微である故新規に栽培を開始する場合には東京又は安南から若干の移民を招致せねばならぬ。

東京又は安南に於ける農村の勞銀は男子一日十八仙乃至二十仙女子一日十二仙位であるから之を招致するには男子一日三十仙女子一日十八仙支給することにすれば喜んで移住するさうである。移住に要する費用は小家掛料を合して一家族(老幼六人と見る)百五十弗內外多くも二百弗以內であるから一千戶の移

民を招致するとしても移民費は二十萬弗と見積り置けば充分である。此移民費は栽培費に負擔させて償却すればよい。卽栽培費に移民費償却の目を設け男一人に付一日十仙、女一人に付一日七仙宛支出するのである。右樣にすれば移民費の償却が濟む迄は栽培採取の勞銀は男一日四十仙、女一日二十五仙の勘定となるのである。勞力が不足だと云つても招致した移民の勞銀が右の程度であれば現時の爪哇の勞銀（男一日四十仙）と同樣であるから別段不利と云ふ程でない樣である。

一家族の勞働力は男一、女二の場合と男二、女一の場合とある筈故、予は之を男女各一人半と見做し內男女各半人は家庭の用事に從事する故外勤する者は男女各一人と見る。然るときは一家にて蔗園二町步を擔當するであらう。

予は別册に於て土人の甘蔗栽培法を掲げて置いたが小規模の栽培を爲す場合には彼の方法にても支ない樣なれど畑地の夫は粗放に流れ水田の夫は集約に過ぐる故、大規模の栽培をなす場合には別個の栽培法に依るを利益と考へる。而して予の採らんとする栽培法は

一、新墾畑地に於ては整地は牛犁式、施肥は爪哇式とし他は常法に依る。

二、新墾の田に於ては整地は機械式、施肥は爪哇式とし他は全部人耕とせんとす。

右の方法による栽培費の町當りは

（イ）畑作の時

費目	新植	株出	新植一回株出五回の平均
監督費	弗 二〇・〇〇	弗 二〇・〇〇	弗 二〇・〇〇
苗代	二九・二〇	—	四・二〇
肥料代	三〇・〇〇	三〇・〇〇	三〇・〇〇
耕作勞銀	七三・八〇	六〇・五五	六二・五九
雜費	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇
計	一六三・〇〇	一二〇・五五	一二六・七九

費目	新植	株出	新植一回株出五回の平均
監督費	弗 二〇・〇〇	弗 二〇・〇〇	弗 二〇・〇〇
苗代	二五・二〇	—	四・二〇
肥料代	三〇・〇〇	三〇・〇〇	三〇・〇〇
トラクター	二二・〇〇	—	三・六七
耕作勞銀	一〇〇・八〇	七二・五五	七七・二六
雜費	一〇・〇〇	一〇・〇〇	一〇・〇〇
計	二〇八・〇〇	一三二・五五	一四五・一三

備考（一）本計算に於て勞銀は男一日四十仙、女一日二十五仙、水牛一日四十仙としたり。社中使用の場合は此賃銀は飼料費に充當す。

（二）肥料代は過燐酸石灰五十貫二十弗、硫酸加里二十貫十弗

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とした。此外堆肥若干を施す見込なるも其代價は見積らず、これ自家産なるによる。
(三)社有地に栽培の見込故小作料は計算せず。
(四)苗代は包裝費運賃を合して萬本八弗四十仙とした。
(五)田の栽培には牛耕せざることゝし、勞銀を計算した。若し牛耕すれば新植に於て八弗、株出に於て十一弗二十仙の勞銀を減じ得る。

六箇年平均に於て畑百二十六弗七十九仙、田百四十五弗十三仙となる。他の糖業地の栽培費に比較すれば非常に小額の樣なれど物價勞銀の低廉な地であるから此れ位の栽培費を掛ければ充分と思はれる。

戰前に於ける玖瑪の甘蔗栽培費は一佛町當り新植百十九弗二十仙(米金弗以下同)株五十弗八十三仙、新植一回株出五回の平均六十二弗二十二仙であつて此時の玖瑪の勞銀は男一日一弗二十仙(佛弗の二弗四十仙)なりし。……プリンセンヘアリツヒー氏調査に依る。
又ネグロス島の甘蔗栽培費は新植九十八弗(弗銀)株出六十四弗、新植一回株出五回の平均六十九弗六十七仙であつて此時の勞銀は男一日銀四十仙、水牛一日五十仙なりし。……ハーバートゥオルカ氏調による。

上の栽培法に依る甘蔗の收量は畑平均十一萬斤、田平均十四萬斤以上の見込である。町當百三、四十弗の栽培費を以て十餘萬斤の收量を見込むと云へば町當五萬斤を豐收と考へねばならぬ。臺灣の糖業者は過大の見積の樣に思ふであらう。されど交趾支那と臺灣とは地味に於ても氣候に於ても大なる相違があるから決して過大ではない(上の分拆表參照のこと)のである。乃て此收量で上の栽培費を除ると甘蔗千斤當の生産費は畑産一弗十五仙二田産一弗三仙六となる。之に刈取運搬費の千斤當り五十仙を加へると工場着原料の價は千斤に付一弗五十三仙六及一弗六十五仙二となる。砂糖生産費の一半若は過半を占むる原料費が前掲の如き少額であれば當地に於ける砂糖の生産費は極めて低廉であらねばならぬ。

戰前に於ける主要糖業地の砂糖生産費、原料費、製造管理費を調べて見ると左の通りで生産費の多少は一に原料費の多少に基くもので製造管理費は各地略同樣で格段差異がない。故に原料費が少額なれば砂糖の生産費は低廉であらねばならぬ筈だ。

糖業地	砂糖百斤當生産費	内 原料費	内 製造管理費	調査者氏名
爪哇	円 四・六六三	円 二・六八一	円 一・九八二	眞室幸教
毛利斯	五・三五一	三・五一七	一・八三四	プリンセンヘアリツヒー氏
玖瑪糖	四・四九九	二・七七六	一・七二三	同
布哇	四・八五五	三・〇二一	一・八三四	同
ネグロス	三・二五一	一・四八三	一・七六八	ハーバートゥオルカー氏
獨逸	五・八〇四	四・一六七	一・六三七	ハンブルグ日本領事館
佛蘭西	六・二三三	四・八九九	一・三三四	ハーフル日本領事館

然らば此地に製糖場を設立して上の原料を以て砂糖を製造するとせば其生産費が幾何となり資本に對し幾何の利潤を齎すやと云ふに

假りに壓搾能力一千英噸の工場を設立し正味千六百佛町(水田)若くは二千佛町(畑)の原料を栽培し年々平均二十三萬俵の砂糖を製産するものとせば此製糖場に要する資本金は三百萬弗で砂糖の生産費は

費目	全生産高に對する金額	砂糖百斤當金額	
(一)原料費	弗 三四四、二〇八	弗 一・四九六	
栽培費	二三二、二〇八	一・〇〇九	
刈取運搬費	一一二、〇〇〇	〇・四八七	
(二)製造費	二八二、二四〇	一・二二七	
(三)管理費	四四九、七七六	一・九九九	
營業費	二六六、七七六	一・一九九	
販賣費	一八四、〇〇〇	〇・八〇〇	此中〇弗四五〇は輸出税なり
固定資本償却金	一〇〇、〇〇〇	〇・四三五	
計	一、一七六、二二四	五・一一三	

概約百十七萬六千二百二十四弗即ち俵當五弗十一仙二となる。砂糖百斤は糖蜜三十斤を副産す。乃て砂糖百斤の賣値を工場渡七弗二十仙、西貢舟乘渡八弗とし糖蜜百斤を工場渡四十仙とすれば其收入は

砂糖二十三萬俵代	一、八四〇、〇〇〇弗
糖蜜六萬九千擔代	二九、四〇〇
計	一、八六九、四〇〇

となる。此中より上の生産に要したる費用を差引たる殘額「六九三、一七六弗」は利益であるから資本に對する利廻は二割三分一厘となる。可なり割の好い利廻りである、砂糖の不況時代に之れ丈けの利潤が見らるれば先づ結構と云はねばならぬ。

併し之は生産の實績でなくて予の見込である。見込なるものは時として外れることがあるから當てにはならぬ。夫れ故若も大規模の製糖場を設立しようと思はゞ先づ以て此の豫想が實現し得らるゝや否やを試驗することが必要である。乃て予は別册に於て再往の調査を希望して置いた予の再往の調査と云ふは視察員を派遣して視察をさせと云ふのではない。二三屯位の小製糖場を設立して四、五百町歩位の蔗園を設け之に甘蔗を栽培して栽培に關する各種の試驗を行ふと共に栽培費、收量、産糖率、製糖費等の算定をなし起業の基礎的調査をなすことである。

右小製糖場の設立に要する資本金は概約六十五萬圓乃至七十萬圓で足るであらうと思はれる。其内譯は

一、製糖機械及工場建築材料　二〇〇、〇〇〇（大部分古機械を使用する時）
　　　　　　　　　　　　　　二五〇、〇〇〇円（全部新調する時）

一、基礎据付工場建築費　七〇、〇〇〇
一、蔗園購入又は開墾費　一〇〇、〇〇〇
一、倉庫宿舍其他諸建物　七〇、〇〇〇
一、軌條臺車線路築設費　六〇、〇〇〇
一、農具及家畜購入費　二〇、〇〇〇
一、運　轉　資　金　一〇〇、〇〇〇

此製糖場は第一年度に於て砂糖四萬擔、第二年度に於て五萬三千擔、第三年度以降は六萬六千擔を製出すべし。第一年度は原料の收量少く含糖量が低く機械が順調を得ないから所益を見ることは六ヶ敷からう。第二年度には原料の收量及含糖率稍や增加し機械も稍順調となるから豫定利益の七割を收むべく、第三年度以降には原料の收量及含糖量大に增加し機械も圓滑となるから豫定以上の利益を擧ぐるであらう此時に至らば明かに利不利が決定せらるゝであらうと予は信ずるのである。

スマトラ東海岸州の輸出貿易

總督官房調査課

スマトラ東海岸州の輸出貿易は逐年開發せらるゝ資源の利用と相俟つて漸增又漸增し、大正八年即ち千九百十九年度に於ては一億九千萬百四十八盾を算したり。而して重要貿易品は大部分農、林及び鑛產物にして護謨、煙草、茶、珈琲、ガンビヤ、木材、コプラ、檳榔種子、籐、胡椒、纖維類、木炭、プラチヤン、ダマール、石油及び乾魚類等とす。

千九百二十年度の其の輸出總額二億五千萬盾を突破せる記録を示せり。然るに同年の產業狀態にして千九百十九年と同一の步調を以て資源開發の機運にありしとせば恐らく輸出貿易額は三億を計算し得ること容易なりしなるべし。然るに昨年度に於ける同州產業は實に數年來繼續せられたる開發機運に一頓挫を來し歐米市場に於ける南洋物產の市價崩落、南洋經濟界の不振と相俟つて同州產業界は擧げて一修羅場然として土地維持難、開拓開發事業の中斷等實

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に慘然たるものなりき。

然るに善く輸出貿易額が如上の發展を爲し得られたるは是れ同州が土地豐沃にして資源の價値遙に馬來半島を凌駕せるを證するに依りあるべし。左に昨年度一九二〇年に於ける重要輸出品の統計を擧げ就中重要なる貿易品につき貿易情況、竝に斯品の産業概況をも敍述せんとす。

(一)主として歐米人の經營に依る産業の産出物に屬する輸出統計(單位盾、メダン商業會議所 Verslay の統計に依る)

品名	一九一九年度	一九二〇年度
護謨	八八、六九二、六二〇	五七、五三二、四二五
烟草	五二、一四八、三八七	一三三、四七四、六五四
ベンジン	二三、四六四、三六五	二三、六四七、四〇二
石油	一九、五四一、八〇二	二八、二四七、五〇三
茶	五、〇九九、四〇六	四、六一七、五二八
ロベスタ珈琲	四、五一五、四七一	一、一三九、七二〇
リベリヤ珈琲	一、二八四、一四一	五五四、四九七
纖維類	—	一、〇六三、七〇六
鑛油殘留物	一、五一三、七七七	一、三一一、〇五二
ガンピヤ	三、八六七、一六〇	六七〇、八八九
アスファルト	一八二、四〇〇	三三三、二九五
油椰子仁	—	二五一、九九七
塗料油	七三、七五三	一二六、三四四
合計	二〇〇、三六八、三九三	二五三、六四〇、〇一二

(二)歐米人の經營に依らざる産業の産出物に屬する輸出統計(土人産業)(單位盾、メダン商業會議所報告(Verslag)の統引に據る。)

品名	一九一九年度	一九二〇年度
鹽及乾魚類	三、〇〇〇、三一三	五、二八九、一二二
コプラ	二、九六六、三三一	二、九六九、八〇六
籐	三二九、三九三	四〇〇、六七九
	一、〇四一、七一六	一、三六四、九三二
甘薯	三八八、六一五	二五四、五四二
檳榔種子	三六六、八〇〇	三九八、〇六三
黑胡椒	五八五、四七五	二〇六、〇七三
木炭	三四、五七五	一三〇、〇二九
ダマール	一四三、五六〇	五九、四一一
鮮果	七、六六六	一〇、四〇五
樹皮	一三、三六八	三、九五〇
合計	八、九〇一、二七二	一二一三、四三五

●護謨　同州に於ける護謨産業は煙草栽培の歷史より遙かに近年に屬するものにして漸く今日の如き發展の境に進み正に煙草栽培より以上の重要なる地歩を占むるに到れりと雖も未だ馬來半島に於ける斯業に及ばざる所少なからず。斯く急速なる發展を齎し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たるは一つに同州の土地豊饒にして且つ生産費を比較的低廉にする事を得るが爲めなりと謂はる。試みに千九百十五年以後同州から輸出せられたる護謨輸出量と產額とを揭示せば、(單位基瓦)左の如し

年度	產額	輸出
一九一五	九七三二、七八六	九、〇八五、九四三
一九一六	一五、九七八、四六四	一四、五九八、五六三
一九一七	二三、二九二、一四〇	二〇、二五二、二一一
一九一八	二一、四九六、四二四	一九、四四五、四四七
一九一九	三三、六七七、一一七	三八、一八五、九三五
一九二〇	三六、九八四、四六〇	三二、六九四、七四五

如上の統計を窺ふに千九百十九年度迄は產額にあれ貿易額にあれ、栽培園の開墾と樹齡の關係上逐年增加し來れるに俄然昨年度に入るや千九百十九年より僅かに三、三〇七、三四三瓩の增加に過ぎずして若し十八年及び十九年の增收比例を以てせば少なくとも四千萬瓩以上ならざるべからざるも同年度に於ける護謨市場と護謨栽培の經緯を通閱せば增率遞減の理由を解する又難からざる可し。即ち護謨市價の崩落、取引の不振不味は勿論南洋經濟界の不振とは以て護謨栽培事業をして不安定たらしめ加ふるに昨年來提唱せられたる二割五分制限の如きは實に唯一原因として屈指せらる丶事を失はず。

試みに戰亂突發以後に於ける同州栽培面積概算を擧ぐれば(單位ヘクタール)

年度	植付面積	採收可能面積
一九一四	七五、〇九二	一六、五七九
一九一五	九八、三一三	三六、四五三
一九一六	一〇六、四一三	五一、八七四
一九一七	一二一、四九〇	七〇、四七一
一九一八	一三〇、三三一	七七、九六八
一九一九	一四四、九八五	九七、三九〇
一九二〇	一四九、六四九	一〇一、〇〇六

にして本統計を前記產額統計とを對比せば昨年度の增收遞下は實に經濟的根源に基因せるを說明して尙餘りありとす。更に各國投資面積及び此れが一箇年の採液量について見るに面積上に於ては英、蘭二國最も優勢にして我が投資面積は第六位內外に該當し、採液量について見れば英國、和蘭、米、白、佛の順にして我が投資面積に對する採液量は僅かに三八、一二三一瓩に過ぎず、試みにメダン商業會議所調査に據る統計をあぐれば、(單位ヘクタール)左の如し

國別	租借植付面積	採收可能面積	一九二〇年收穫
和蘭	四九、六八五	三七、三六一	瓩 九六、[illegible]、九四一
英國	四三、三五九	三三、一〇九	一三[illegible]、四〇[illegible]

蘭領土人	一〇、六六六	六、〇八〇	二〇、九六三
米國	二五、一五二	一七、七三〇	六、三二一、八八〇
白耳義及佛國	一七、〇八四	一三六、五一九	四、六三〇、四四八
日本	三六、四一〇	一、二一〇	三六八、一三一
獨逸	一、七二六	一、六五八	八五九、〇七八
瑞西	一、四二二	八一七	三〇三、八六六
支那人	三〇、七七	九二五	二九一、九二八
合計	[illegible]	一〇一、〇〇六	[illegible]

再び輸出状況に戻つて同州產護謨輸出國別に就て消長を觀察するに、主として彼南、新嘉坡兩市場に輸送せられて同地より需要地に再輸出せらるゝものゝ外直接需要に仕向けらるゝものあり、其の主なる地方を揭ぐれば北米合衆國、英本國、和蘭にして其の數量を示せば次の如き情況にあり。

國別	一九一九年度（瓩）	一九二〇年度（瓩）
英本國	四、九五九、二六四	四、二〇一、三九七
北米合衆國	一四、二二四、八四四	九、七五八、七九二
和蘭	三三、二二〇、五五三	三三、五六六、六八三
新嘉坡	一三六、八六八、〇九九	一三五、〇五四、八四〇
彼南	一、一三三、七五一	一、二二八、二七二
蘭領東印度	三七五、九〇六	四六一、四三五
伊太利	六一、一二〇	—
日本	九八〇	—
馬刺加	九、四四〇	七五、五八三
墺太利	一八三、九九〇	五、一七一
香港	一六六、九〇八	—
白耳義	—	一〇七、九五五
獨逸	—	七、六六〇
サバン港（スマトラ島アチエー州）	—	一六九、四六九

而して輸出港別について其の消長を睹るに「ベラワン」港を筆頭に「タンジョンバレ」港「ラブアンブリ」港「バンカランブランダン」港等此れに亞ぐ。

●煙草　煙草は同州產業中最も古き歷史を有し同州の今日の盛況を齎らせるは實に煙草栽培の適地として認められたるに基因する處尠なからず。其の地の產額及び輸出額を逃ぶれば（メダン商業會議所調査統計に據る）

年次	產額（瓩）	輸出額（盾）
一九一五	一八、六三二、八八〇	二〇、八〇一、八四二
一九一六	一九、五五〇、〇〇〇	二〇、七四〇、八六〇
一九一七	二〇、七六一、七五八	四四、四八七、八〇七
一九一八	二二、三八八、七二〇	三三、二〇九、八二三
一九一九	一一、六四四、〇〇〇	三七、二四八、八四八
一九二〇	一一、七二二、六〇〇	二〇、九七九、二〇九

而して如上の統計を一閲するに千九百十五年度以後輸出量が產額を超過せる現象あるも此は前年度在庫關係に基くものなることを添言す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同州煙草栽培の現況を見るに投下資本の過半以上和蘭人の資本に屬し從而同州煙草栽培は殆んど其の手足を和蘭人に握られつゝあり。因つて栽培情況を述ぶるも要尠なきを以て輸出趨勢の觀察に眼を轉ぜんとす。同州産煙草の輸出先は大部分和蘭本國に仕向けらる。此れに亞ぐもの白耳義、英本國、米合衆國等あれども其の數量極めて尠し。即ち

國別	一九一九年 瓩	一九二〇年 瓩
和蘭	三六、六三三、八六八	一八、七四一、八一七
新嘉坡	一、〇六六、四六八	六八、四九二
香港	四七、九六五	四、九五二
彼南	一、四五一、三〇四	四、三三〇
北米合衆國	二、三〇八、二八〇	—
墺太利	四一、五三〇	—
爪哇	八九、五四一	三四、七三〇
比利時	九、二八〇	—
サバン	—	七四、三四〇
丁抹	一七、六〇〇	—
英本國	二、九三六、四四四	—
白耳義	三、四六二、三二八	一、六〇〇、〇〇〇
英領印度	八、三三〇	—

にして二箇年に亙る輸出先別消長表あり。

因に同州に於ける煙草栽培會社名を擧ぐれば次の如し。

Deli Batavia Mij, Poeloe Romlang.

Deli Mij, Tanjong Selamat.

Furukawa Sumatra Estah Pangkatlan Zuid A.

Holland Sumatra Tobak Mij, Soengei Bamlam.

Holland Deli Compagnie, Dolok Mashool.

Senemkoh Mij, Ramoenia, Lobo Pakam & Sumah.

Soengei Lipoet Aultaur Mij, Martabing.

Shanghi Sumatra Tobak Co., Ltd. Tadjong Bringin

Tobak Aultaur Mij., Ludoigoburg.

Tobak Mij, Kospoh. Soengei Krapah.

Tobak Mij, Tjinta Radja. Kotari & Tjinta Radja.

● 茶　茶は東海岸州に於て護謨、煙草に亞ぐ重要貿易品として

年次	産額 瓩	輸出 瓩
一九一五	八〇四、九四八	六六八、〇七二
一九一六	一、八〇七、九一八	一、五三三、一六八
一九一七	一、七九一、四三七	一、七九一、四三七
一九一八	二、六八八、五九四	二、六八八、五九四
一九一九	四、三四九、五〇五	四、二四九、五〇五
一九二〇	五、七七二、二六八	五、一三〇、五八七

の如き年産額と輸出の狀態にあり。主として栽培事業は和蘭、英國、獨逸、伊、竝に蘭領土人の投資に

り其の栽培面積を投資國別に擧ぐれば次表の如し。

投資國別	植付面積（ヘクタール）	採集可能面積（ヘクタール）	一九二〇年の産額（瓩）
和蘭	二、七三七	一、三〇九	一、〇八六、八三二
英國	五、三九七	四、八八八	四、〇〇七、三五四
獨逸	六三六	五七〇	四八〇、九九五
蘭領東印度	五九二	三三二	二三七、四〇七
合計	九、三六三	六、九九四	五、七七三、二二八

同州産茶の仕向先は英本國を筆頭とし、和蘭本國、蘭領東印度、北米合衆國等とし本邦に輸入せられたるもの千九百二十包に八百二十五瓩ありたるのみ。其の輸出國別表を示せば、

國別	一九一九年（瓩）	一九二〇年（瓩）
英本國	一、七九〇、〇七二	三、六六三、七六四
和蘭	一、七二九、八七〇	一、一六五、七七九
新嘉坡	五四九、三三〇	三四九、八八二
蘭領東印度	九八、九二一	一三三、八三〇
北米合衆國	六四、〇〇〇	一八、三四四
彼南	二、六五二	二四、四三七
濠洲	一五、〇〇〇	一
日本	一	八二五
獨逸	一	六

而して昨年度ベラワン港より輸出せられたるもの四、六七二、四六三瓩にして其の他ダンジョンバレイ、パンカランブランダン、タンジョンブリンキング、バカンシアピアピの諸港よりも輸出せらるゝもベラワン港に及ぶ可くもあらず。

●●珈琲　同州の珈琲は主に Soengei Deli 及 Soengei Siak の上流地方に屬する高地に旺んに栽培せられ栽培珈琲の種類は「リベリヤ」珈琲及び「ロブスタ」珈琲とす。其の産額竝に輸出量は、

年次	産額	リベリヤ珈琲輸出	ロブスタ珈琲輸出
一九一五年	四、四〇〇、五〇〇	三、二七四、一〇六	一、二八八、六五二
一九一六年	三、七一七、〇〇〇	七八八、一六三	二、六〇〇、六〇五
一九一七年	四、〇三八、二三〇	一九七、二九三	二、九〇〇、六五三
一九一八年	四、五四七、五〇六	一四八、三六八	三、三〇二、五五四
一九一九年	二、三七三、七二七	一二八、一二八	四、四三五、九二四
一九二〇年	一、六九八、八五四	六二一、六一六	一、三六〇、八二七

にして其の栽培面積及收穫可能面積は、

年次	植付面積（ヘクタール）	收穫可能面積（ヘクタール）
一九一四年	一四、九九一	六、一六〇
一九一五年	一三、三〇八	七、四〇九
一九一六年	一一、三六六	四、三二三
一九一七年	九、六八三	四、〇三一
一九一八年	九、八〇八	四、七六八
一九一九年	七、六三八	五、一八九
一九二〇年	九、三〇七	五、二八七

なり。其の大部分は「ベラワン」港より輸出せらる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

其の仕向地の主なるものは和蘭本國、蘭領東印度及び新嘉坡にして此れに亞ぐもの英本國、彼南、白耳義竝に馬剌加等とす。千九百二十年度に於ける其の輸出數量次の如し。

國名	リベリヤ珈琲（瓩）	ロブスタ珈琲（瓩）
和蘭	一八一、七八四	九八〇、六五五
蘭領東印度	一三七、四〇五	九八八、九九四
新嘉坡	二〇八、九五四	七八一、二一八
英本國	—	一七、二〇〇
彼南	六六、三一〇	三一、六二〇
白耳義	二九、四六六	—
馬剌加	四、七七七	—
サバン港（スマトラアチエー州）	—	二一〇

●●●●●●鑛油及其の副產物　石油及び此の種の鑛油は多くアチエー州に近接せる地方に產す。其の主なる種類は石油、ベンチン、鑛油殘溜物、アスフワルト、及塗油等にして千九百十四年以後昨年度迄の輸出總額は、（單位瓩噸）

一九一四年	二二三、九八七	一九一八年	一七八、〇三七
一九一五年	一六一、八一九	一九一九年	一六六、二六六
一九一六年	一九一、四九二	一九二〇年	一五五、四五五
一九一七年	二九七、二三四		

なり。而して千九百十七年は過去六箇年間に於ける最大記錄として夫れより漸次輸出總額減退したり。就中千九百二十年度に於て顯著なるものありたり。之が原因に就て究明するに次表に依つて證するを得べし。卽ち千九百十九年度に於て石油の輸出は例年になき盛況を呈せる反動として千九百二十年度輸出總額が激減せるものあるべし。

品名	一九一九年輸出（リツトル）	一九二〇年輸出（リツトル）
石油	一三三、三五六、二八〇	九五、七〇五、六八四
ベンジン	九〇、三四七、六六三	一〇四、六二〇、三八一
鑛油殘溜物	二一、六一一、一〇四（瓩）	一五、一八八、八五八（瓩）
アスフアルト	二、四三五、〇〇〇	一、七一七、六九一
塗油	一八〇、一二三	三三三、四二一

●●●●ガンビヤ　同州に於ける千九百二十年度ガンビヤ輸出は近年に其の比を見ざる輸出大減退を釀し前年度より三百四十萬瓩餘の減退あり。數箇年間に亙る輸出總額比較を試みるに、（瓩）

一九一五年	三、二一四、九七九	一九一八年	三、五三二、八六九
一九一六年	二、三一三、六六八	一九一九年	四、八五五、九九〇
一九一七年	三、五五四、七二〇	一九二〇年	一、四五一、七七八

の如し。同州に於てガンビヤ栽培會社としては單に Goenoeng Melajoe Plantage-Gesellschaft あるのみにして該社は栽培地を Goenoeng Malajoe 及び Negaga に有す。其の以外は土人の栽培者しくは支那人栽培の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小規模なるものあるも特筆する價値を見ざるべし。因に前記G. M. P. G.の栽培面積は一九一九年度にては四千百五十七英反にして、一九二〇年度植附面積千八百ヘクタールなり。而して一箇年最少限度に見積るも一萬六千十八噸の粗製ガムビヤを產出し得と稱せらる。輸出港の輸出狀況を窺ふに同園所在地關係上主として、「タンジヨンバレイ」港より輸出せらる。其の數量次の如し。

	瓩
Tanjong Balei	一、二七六、二七五
Pakan Baroe	六一、三一三
Belawan	三四、〇九〇
Siak	九〇
Pankaran Barandan	五〇

仕向先は新嘉坡、英本國及び北米合衆國にして新嘉坡港に輸入せられたる同州產ガムビヤは再び歐米に輸出さる試に千九百二十年度仕向先別に就て消長を擧ぐれば、

	瓩		瓩
英本國	七三三、三六七	蘭領地	九、一八二
新嘉坡	三五六、七九九	和蘭	一、二七六
北米合衆國	二四九、二二五	ベンカリス島	一、九五九

●●●油椰子　油椰子產業は同州に於て最も新らしき栽培事業なり。這般歐洲戰亂突發後油脂用途の擴大竝に新用途の發見と相俟つて近時熱帶栽培事業として護謨栽培開始當初の如き勢を以て南洋各地に試植せられつゝあり。同州に於ける油椰子栽培は今より數年前試植せられ專門家の研究は同州の地味好適と認めたれば逐年急速度を以て栽培園は擴張されたり。其の栽培情況を示さんに

	植付面積（ヘクタール）	收穫可能面積（ヘクタール）
一九一八年	四、三八五	一、五一七
一九一九年	五、一二五	二、九一五
一九二〇年	九、〇七八	二、九八九

の如し。由是觀之如何に急速度を以て擴張されたるかを推察するかに難からず。一九二〇年度の植物面積は前年の約二倍弱なるも若し一九二〇年にして戰亂當初の如き經濟狀態が繼續せられつゝありしには恐らくより以上の植附面積數を見たりしなるべし。

更に輸出情況に就て觀るに收穫可能面積僅かに二、九八九ヘクタールに過ぎざるを以て又輸出量大ならざるも千九百二十年度に

	瓩
ベラワン港	一一三、八三八
タンジヨンバレイ港	二四六、一三〇
計	三五九、九六八

の輸出あり。其の仕向先きは左の如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

白耳義	一三六、二一〇斤	英本國	三三六、七六八斤
和蘭	八五、四〇五	北米合衆國	二〇
新嘉坡	八五、七〇五		

因に東海岸州の油椰子栽培會社を擧ぐれば次の如し。

Batoe Bahra Cocos Cie, Lima Laras.
Cie des Catoute de Padang. China Kasih.
Cultaur Mij., China Kashi, China Kasih.
Deli Mij., Tandgong Slamat.
Fransch Ned, Koloniala Cultuur Mij., S. moisaw.
Handelsver eeniging "Adam," Tondjowan.
Hawaii and Sumatra Planters. Ltd, Kwala Gaenoeng.
Huileries de deli, mata Pao & Tandjoug Boeloe.
Huileries de Sumtra, Poeloe Radja.
K. Sshalt (Euger) Tanah Hitaw Oeloe.
Marihat Sumatra Planters Co., G. M. B. H.
Mahanda Marihat Baris and Marihat Oeloe.

●●●纖維類　同州に於ける纖維植物栽培は主としてサイザル麻とす其の他野生的又は半野生的に産せらる、カポック棉あるも其の數量未だ大ならずして千九百二十年度に七一、七八〇二斤の纖維類總額を得たるのみなり。其の仕向先は過半和蘭本國にしてペラワン港を經由して輸出さる。

●●●コプラ（椰子仁）　同州に於ける椰子栽培情況を見るに歐米人經營に據るものと支那人若くば土著土人の經營に係るものとあり。歐米人經營に係る栽培面積は、

一九一五年	五、八四七ヘクタール	一九一八年	八、八六一ヘクタール
一九一六年	七、〇四一	一九一九年	八、九二七
一九一七年	八、四三四	一九二〇年	一〇、〇七三

にして一九二〇年度一、八八四、六二五斤ありと云ふ。
コプラの輸出高は次の如し。

國別	一九一九年輸出 斤	一九二〇年輸出 斤
新嘉坡	四、三二一、六九六八	三、〇五二、九四五
彼南	一、九七一、七〇二	二、七七四、七七七
和蘭	一四四、一一四	二一〇、一一〇
馬剌加	一八、四〇一	—
和蘭東印度	七九、六九〇	三四、五九二
英本國	—	二六、二五〇

此れが港別情況を觀るにペラワン港輸出量は第三位にしてタンジョンバレイ港を筆頭にタンジョンテイラム港之れに亞ぐ。而して其の他の諸港より輸出せる、數量に到りては未だ寥々たるのみなり。即ち次の如し。

港名	一九一九年輸出 斤	一九二〇年輸出 斤
Tandjong Balei	二,九二七,九九五	二,三八五,三三〇
Tandjong Tiram	一,五八二,一三八	一,四七三,三八二
Belawan	六九二,三三四	一,一二四,三六七
Tandjong Posin	四二〇,四八七	四〇八,一八五
Luboean Biik	三七〇,三五四	三一七,二四五
Bagan Si api api	二九一,九七二	二一九,四六五
Koealoe	一九〇,二四四	一三八,四二八
其の他の諸港	五〇,五六二	三二,〇六六

●檳榔種實● 同州は南洋に於て檳榔種實の產地として他の地方に冠絕し輸出額は、

一九一五年	四,〇二六,二八五斤	一九一八年	三,四六七,四一三斤
一九一六年	三,八二六,七一〇	一九一九年	五,四二九,六六五
一九一七年	三,九六八,八六九	一九二〇年	二,六五五,七五五

なり。此れに依りて明かなる如く年々輸出高減退し昨年度輸出量の如きは殆んど千九百十四年度の半に該當せる減退を呈せり。此れが原因に就ては未だ究明し得ざるも恐らく需要の減少にあらずして同州に於て該種實を越基斯し製品として單寧の輸出に變化せるものと思はる。

輸出先は主として新嘉坡、彼南兩港にして同港より再び印度地方に再輸出せらるゝもの、他同地に於て單寧原料としてカッチ製造の原料に使用せらる千九百二十年度の輸出港地次の如し。

新嘉坡	一,三九七,一三七斤	蘭領東印度	七五〇六斤
彼南	一,三四〇,〇九五	香港	一,八〇〇
馬剌加	七,二二五		

●籐類● 同州產籐の數量は未だ大ならずと雖も輸出總額は

一九一五年	四,五一七,四六二斤	一九一八年	一,八二三,三三九斤
一九一六年	二,八五一,二六一	一九一九年	二,七四四,九四四
一九一七年	二,八〇六,五五〇	一九二〇年	二,五〇四,二四八

にして輸出の過半數は新嘉坡に仕向けらる。其の輸出先の優劣は次表に示すが如し。

新嘉坡	二,一五〇,〇九九斤	馬剌加	二七,六二一斤
彼南	二九六,七四八	其他	八,九七六
ベンカリス	二〇,八一四		

如上の輸出先中ベンカリス港に輸出せらるゝものは同地に集まる乾魚類包裝に使用せらるゝもの多しと云ふ。輸出の旺んなる諸港を擧ぐればボロムダク、アロー、ラグアンビク、バカンシアヒアヒ、シアク、バカンバル、タンジョンテイラム等とす。

●ダマール● 同州產ダマールは大部分新嘉坡港に輸出せられ同港より歐米に再輸出せらるゝものにして其の數千九百二十年五四、七〇四斤にして昨年度輸

出總額は戰亂翌年千九百十五年と略同量に上りたるも千九百十九年度と對比せば半減の趨向を現したり。其の數字を示せば左の如し。

年次	盾	年次	盾
一九一五年	六四八、六九八	一九一八年	一〇一、六二五
一九一六年	二八〇、四二四	一九一九年	一五九、六〇五
一九一七年	一五二、四〇四	一九二〇年	八六、二八七

●●甘藷　甘藷輸出情況に就て過去數年間に亙つて趨勢を述ぶれば

年次	斤	年次	斤
一九一五年	七九六、八二〇	一九一八年	一、七七九、二八二
一九一六年	二、一五八、四六七	一九一九年	二、一五七、六二三
一九一七年	三、四六四、三一五	一九二〇年	一、八一八、一五四

にして千九百二十年度ベラワン港より一、七九四、一六〇斤を輸出し其の仕向先の主なる地は彼南及び新嘉坡とす。卽ち　千九百二十年度輸出國別は左の如し。

仕向先	斤	仕向先	斤
新嘉坡	八九一、四〇〇	蘭領東印度	四九五、五八〇
彼南	八六九、七七〇	サバン港	五、六〇〇

●●●●乾魚及鹽魚　東海岸州の海岸は魚類の棲息多く從而漁業旺んなり。就中ベンカリス島を中心とする海岸地方に然りとす。バカンシヤヒヤヒ港は自然乾、鹽魚の集散市場として名高く殊に同港に集せらるゝブラチヤンは爪哇馬來半島に輸出せられ南洋土人殊に爪哇人の嗜好物として其の額も亦侮り難し。試みに同州輸出乾、鹽魚類の數量を掲ぐれば

年次	盾
一九一八年	二六、八〇九、七一五
一九一九年	二七、二七九、六四四
一九二〇年	二六、一八六、二九一

にして其の價格の變遷轉化を親見するに年々漸騰性を有する事次の如し。（單位一擔）

年次	魚類（盾）	ブラブヤン（盾）
一九一〇年	七・〇〇	七・六〇
一九一一年	一六・八〇	七・八〇
一九一二年	七・五〇	八・五〇
一九一三年	八・〇〇	七・五〇
一九一四年	七・九〇	六・九〇
一九一五年	六・六〇	六・二五
一九一六年	八・八〇	八・〇〇
一九一七年	一〇・〇〇	八・七〇
一九一八年	一〇・〇〇	九・六〇
一九一九年	一〇・四八	九・一九
一九二〇年	一三・六六	一〇・六九

如上述べたるが如く乾、鹽魚は爪哇市場を唯一の顧客とするものにして多くは巴城、三保瓏、チエリボン、及泗水港を經て爪哇市場に現はるものにして其の輸入割合は

港別	一九一九年（盾）	一九二〇年（盾）
バタビヤ港	二三九、九五五	六二三、九五〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

チエリボン港	一、二五七、二四四		二、一六一、九九八
スマラン港	六八七、〇三三		一、三八一、六〇六
スラバヤ港	八七、〇〇五		二一〇、七三九

其の他英領馬來地方にも輸出さる卽ち左の如し

爪哇	二、六五三、八七五盾	彼南	八八二、五六八盾
新嘉坡	一、二四三、七六七	ベンカリス港	五三一、八四四
馬刺加	一、五九五、四五七		

上來敍述し來りたる處は貿易を觀察の中心として東海岸州の商業價値に付現況を概說したるものなるが未だ說述盡きざる處多かる可きも以下結論に代へて敍說せんとする馬刺加海峽商權轉化の問題は恐らく以て東海岸州の商業的價値ある證の端緒を得るに庶かゝるべし。

馬刺加海峽商權の轉化移

試みに馬來半島、スマトラ島、爪哇、ボルネヲ島、セレベス島を包含せる南洋地圖を繙いて商業的發達の經過と現況とを考察せば其最も旺盛を極めつゝある所として筆頭爪哇を擧げ馬來半島を爪哇に亞ぐものとして屈指するに躊躇せざる可し。此の二地方が斯く重要なる地位を占むる理由は歷史的の事情を除けば

一、歐亞交通要路に近接せる事
二、海岸線と島の中心と近接せる事
三、從而其の地味良否は暫時らく問題外に置くも
　其の開發に容易なりし事

等に歸結せらるべし。斯の如き見地より考察を廻らさんか、爪哇、馬來半島に亞ぎ開拓の第三候補たるべきもの恐らくスマトラ島なるべく就中同島中の東港岸州を除いて他に發見すること困難なる可し。

惟ふに同州は歐亞交通要路たる馬刺加海峽に面し其の海岸線の距離は英領馬來半島西海岸線と大差なくスマトラ島全島を一覽するも島幅狹く海岸線と島の中部とは接近し未だ斧鉞の入らざる經濟資源は恰も無涯の感あり。加ふるに蘭領東印度政府のスマトラ鐵道の豫定線は西北端コタラジヤに發し對岸の自由港たり且つ「コーリンステーション」たるサバン港との連絡を保ちつゝ南東ランボン灣に望むテレブトン港に達し爪哇島バタビヤ港との連絡に便する縱貫幹線は恰も同島の分水嶺の感ありて中央の經濟資源開發の樞軸をなせり。印度洋に面するバタン港に發する鐵道計畫はリオエンナンドレホールイツクヘテン（リオ及保設國）に屬するタルツクに到り上記中央

幹線を經て東海岸州メダン市に到る線とシボルガに發する豫定計畫線は東海岸州ラサウに於て中央幹線に合す。ベンクーレン港に發する豫定線もパレンバン州ムアヒクリンギに於て中央幹線に合す。島の東南岸パレムバン港に發する支線計畫はプラムブサに於て中央幹線に合する計畫なりと云ふ。以上說述したるスマトラ島鐵道政策は幹線となるべき豫定計畫中の重要なるもの、みを擧げたるに過ぎずして支線分岐線の豫定計畫は事の繁雜を避くる爲め除外したりと雖も以上の鐵道政策及び第六項東海岸州交通機關中鐵道に就て述べたる機關車々輪關係等より觀察し來りたる時はスマトラ島及び馬來半島の將來に關し容易に其の優劣を推斷し得らるべし。

而かも中央幹線の海岸に接近せる地方は東海岸州及びアチェー州にして東洋岸州は中央幹線の約三分の一內外を占めメダン市は以て將來スマトラ中央縱貫幹線の樞驛たるべしと思惟さる。殊に中央縱貫幹線の既設線は東海岸キサランより海岸に接近してチチェー州コタラジャに到るを思へばスマトラ西北部の貿易品は此の海岸鐵道線沿線に集まるか或は南東及び南西部の貿易品はテレブヒン港を經てバタビヤ港に由らざる可からざる可し。前者の地方に於て今日の現況より將來馬剌加海峽に於ける重要貿易港たり得る地位にあるもの一つはベラワン港他は北端の孤島サバン港を指示せざるを得ず。然れ共サバン港の現狀より推せば或は「コーリングステーション」たり得んも能く對岸馬來半島の物貨の吸集に當るには困難なる可し。然るにベラワン港は馬剌加海峽を離て彼南、馬剌加に相對する遠きにあらず。從而馬來半島北部貿易品をして同港に集せしむる敢て難事にあらず。殊に東海岸州西北部タバノイル州との州境に介在する大湖水トバ湖の水利を以てせる水力電氣事業は未だ微々たるも行く／＼は同州資源の開發竝に物資の加工、製造事業は勿論凡百の事業方面に稗益するポテンシャリチイを有する事到底馬來半島の望み得ざる所なりとす。

顧みてベラワン港の現況を見るに、未だ大洋海運の大船巨舶の寄港に不便あるも著々工業進捗しつゝある新港灣の築港計畫は遠からずして（尙完成迄六七年を要すと云ふ）優に大船巨舶の出入を容るゝに到るべし。殊に近來話題に上りつゝあるベラワン港（ベラワン河口の小島にあり）自由港區問題と關聯し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て同港に囑望するもの多きが如し。若し自由港問題にして實施せられざるも如上の大港灣計畫にして數年後完成の期に到らんか著々開發せられつゝある經濟資源と相俟つてスマトラ島北東部乃至北半の貿易物資は同港の後方商業地たるメダン市に於て集散せられ而して彼南港より馬來半島北部の物資をも集め彼南、馬剌加の兩港を凌駕し優に新嘉坡港と對峙する馬剌加海峽の重要貿易港たるは勿論歐亞交通の重要貿易港として現實せらるゝ日も恐らく甚たしき遠き將來にあらざるべし。若し夫れ本邦歐洲航路汽船にして彼南港に寄港せず同港に寄港すとせば本邦對スマトラ北東部直接貿易を助長する外同港より歐洲向け煙草、護謨、茶、珈琲の如き物産の積荷をも得る點は恐らく彼南港に寄港するより遙かに優るとも劣る所なかるべく思はる。

（參照）南洋經濟時報第三卷第一號第二號及び同第三號所載スマトラ州東海岸州の商業的價値概說
（新嘉坡商品陳列館永井久一郎調査南洋協會報告）

布哇の教育及人種問題と日本人

商業學校教諭　智念昌永譯

九

布哇領内は到る處民衆教育の維持に力め、加之幸にして同領内の官吏は所謂永住者にして民衆教育事業に彼等の興味を傾注するの傾あり。アラスカ、ポルトリコ、フイリッピン群島にありては該地方の統治者は非永住者にして家庭的の利害關係を自ら他に存するものあり。然れども布哇にありては然らずして知事は織組的法（アクト）の下に正眞正銘の住民ならざる可からず。且つ布哇は居住を極めて重要なる統治者の資格と認むるものなりと云ふも、アラスカ、ポルトリコ又はフイリッピンを統治すべく任せらるゝ卓越せる米人に對しては決して誹謗するものに非ず。

現布哇知事「ワレース、アール、ファリントン」氏はメーヌに生れ、故郷の公立學校及び及大學に學び、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一八九四年來、布哇の住民なりし爲め其の業務上及び家庭上の興味は領内の利害と一致す。彼は一教育者の子に生れ、曾て幾多の偉大なる米國人を造り出したる公立學校組織の下に教育せられ、多年居を布哇に構へて、其の間、島内男女兒童に對する民衆教育の有力なる唱導者たり。其の教育事業に精通する點は領内一般生活に精通する點に負ふ所多く、爲にハーヂシグ大統領の嘱目する所となり、竟に選ばれて知事の椅子を占むるに至れり。彼の知事在任中は布哇に於ける民衆教員は必ずや進運に向ふべしと云ふも敢て過言にあらざる可し。

布哇の知事は先づ民衆教育監督官及び領内學務委員會を組織する民衆教育管理委員を任命す。委員は各島より之れを出し、首府ホノルヽを監督官所在の本部とし、委員は同地に集りて定期會合を開く、教師の任命、移動、昇進其他全組織の各種事務は總てホノルヽなる一局之を掌るものとす。

右は極めて中央集權的の組織にして監督官知事の任命する所なるを以て己の政黨員を以て之に充つることある可しとて屢々非難されたるも從來の經驗に見るに學校事業に黨派的色彩を帶びたる事殆んどなかりき、現監督官「ヴォーガン、マクコーゲー」氏の任命の如きも政黨的處置に依りしに非ず氏は民主黨知事に依りて布哇大學教授中より選抜せられしに拘らず現共和黨のファーリントン知事も引き續き彼をして其地位を保たしめつゝあり。現在知事の先任者たる民主黨のチャールスジエー、マクカーシー知事は敏腕家にして全然黨派的色彩を加味せずして公立學校組織の改善に努力せり。

十

布哇商業界の基礎は農業にして多くの副業は主として二種の主要農業に賴る即ち粗糖及びパイナップル罐詰の製造これなり。商業界は極めて集中的にして且つ其の數にも制限あれば數千の布哇靑年をして書記、速記者、販賣人、帳簿掛等に雇ひ入るゝ機會比較的少くして甘蔗パイナップル栽培地等の熟練を要せざる勞働を除き、最も必要とするは、機械技師、大工、石工、其の他の熟練せる工匠なり。同地の職業に對する要求と其の機會に順應させんが爲め今日職業教育は漸次發達しつゝあれど前途遼遠にしてこは以て十分なりとなす能はず今日ファリントン知事と民衆教育局とは布哇少年少女の職業教育の促進に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

努力しつゝあれば今後十年ならずして群島內に大なる發展を見る可きは疑を容れざる所なり。設立尙ほ新たなる布哇大學も既に糖業に必要なる技術家機械技師を養成せるが其の精練されたる技能は諸耕地に於て大なる價値を認められつゝあり。

本領內敎育指導者の固く抱きて理想とする所は、布哇靑年をして「體力勞働の權威と價値を認め」しめんとするにあり、斯る亞熱帶國にて白人の陷り易き習慣は（農場の勞働は勿論）大抵の家庭內、庭園、厩、自動車庫の仕事に至る迄奴僕に委せて以て生活の安逸を貪ることなり。從つて、若き日本人、支那人、朝鮮人、比律賓人、ポルトリコ人等の內心に起る反動も亦同樣に避く可からざるものにして彼等は其の父母が奴僕階級を造るを見、斯る階級より脫するを以て彼等が生來希望となし居れり、余が主筆たる新聞を贊扶したる布哇公立學校諸敎師は家庭及び校庭辯論年會に於て數多の事件を擧げて、幼き東洋人に學校の附近又は何所か公共の場所に於て體力勞働に從事するに於ては地位を失するか如き事なかる可きことを信せしむるに極めて困難なるを立證せり、而して最良の議論としては模範を垂るに如くはなく敎師自ら鍬犂を手にし、校庭を掃くを見て生徒は始めて、代表的米人と雖も體力勞働を恥ぢざるを悟るに至り、而も一旦これを覺れば復之を忘るゝことなかりき。世界大戰中布哇の食糧生產を助くる目的を以て編成されたる校庭軍は日數、事業、耕作法に於て目覺しき發達を遂げ亦現知事は小年勞働豫備隊を組織し之が指導の任に當りたるが同隊は數千の勞働者が出征する時に際し、勞働者不足の急を告ぐる農園經營者に物質上の助力を與ふるを得たり。

布哇學生の工業敎育のより以上迅速なるべき發達を妨ぐる主たる原因は校舍裝置、及び敎師の缺乏なりしと雖もこは畢竟するに事實之れに要する資金の缺乏なり。畢竟布哇に於ける種々雜多の人種よりなる小兒等は手腕と頭腦を以て働く可きことを敎導し得可きを知る可し。

十一

敎師の移動は布哇にては驚くべきものありて一九二〇年に發表せられたる聯合敎育局の調査を見るに最近十年間に官立學校敎職に就きし敎師一七八五人にして其の內一〇一四人は職を辭したり、尙は其約三割は在職僅に一年、又八三八人は初期の三年以內に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

辭職したり(布哇にありては結婚率高き故ならんか)年々米本國より官私立學校敎師として渡布する者數百に及べども就職後直ちに職を退く者の割合も此等米本國人に最も大なり。就職二年以内に職を退く敎師は本土より來る者其の半數以上を占め之れに反し、布哇敎師の缺くる者同じく約三六%なり敎授力の不安定は一校より他校へと度々の轉任に依り益々其の度を加へ學年始めに於て特に甚し。

斯く安定せざる根本原因は兎も角本土敎師は多くの場合意外の寂寞を感ずるありと云ふを得可し。布哇の僻地にありては中流の白人なく　米人の團體生活てふ興味極めて稀なり。新來敎師は遠くホノルヽを去る學校卽ち未知の者のみならず。他國人と其子弟より成る社會へ配せらるゝを普通とす。敎育局は斯くの如き社會にありては特に良好なる敎師の宿舍を設けて之を好遇し、其の俸給も亦良きにも拘らず、米本土より遙かに離れたる群島の位置其の物と親しみのなき風景、氣候は新來者をして名狀すべからざる旅愁を抱かしむる可し。此の一事を以てカリフォルニヤ、ワシントン、イオワ、イリノイス等より來れる年若き女敎師の(中には東洋、フイリツピンへ赴く者もあれど)一學年末にもなれば直ちに鄕里に歸還さる事を首肯し得べし。

十二

太平洋に平和來りて日本人間に帝國主義の精神の誘起するが如き勞働扞格なきに於ては次代に於ける人種混合の布哇人は敎育的社會的に著しき發展を見る可し。今日此の「特殊の坩堝」より如何なる物體の出現を見るかを述ぶることは未だ早し、極めて帝國主義なる日本人すら、其の小兒が言語習慣の點に於て彼自身より離れつゝあるは現に目擊する所なれは兩國語の物體が出現すべしとも思はれず、そは體格は著しく東洋的ならんも氣候、食物に米人の如き服裝をなし米人の如く見せんとする慾望に左右せらるに至る可し。

今後五十年百年にして布哇に於ては如何なる程度迄人種の混交を見るかを斷言し得る者なし、現今東洋人及び西洋人間には極めて堅牢なる人種的城壁ありと雖もこれとても漸次取り去らるゝに至る可く少數ながらも有意義にして驚異に値すべき雜婚が米、布哇、支那系住民の間に行はるゝ實例あり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

凡そ百年も之を傍觀し布哇に於ては内亂ともなり勝ちの彼の太平洋上の人種競爭もなきものと假定すれば吾人は漸くにして此の「坩堝」より型として極めて東洋的の特徴を備へ而も米國の言語思想を持てる小兒の出現するを見る可し、布哇の温和なる氣候食物六代に亙る職業の影響を受け東洋人は廣島又は廣東にありし其の祖先に比し背丈も高く眞つ直に延び腕力も優れたり而も彼は依然彼の東洋勞働者商人に見る御し難き不屈の勤勉性と不撓の忍耐力とを確守し居れり。

一方純粹の米人も尙は存し、數に於て徐々と增加し他の混血市民との間に判然たる區別を持てり。

混合の新型は數量上の絕對威力を以て政治を左右し、著々と流れ行く氷河の如き勢を以て大なる島內の事務を覆ひ其の下を潜り中に入り込みて根底を築きつゝあり。米人として生れ米人として訓練せらるゝも此の新型の者は東洋人の血多き爲め米本土に生れたる如何なる者とも異る可し。而して學校其の他の機關にして現に豫約なしつゝあることを實行せんか此の新型の米人は絕對に忠實なる米人となる可し。（完）

噫雉本博士

雉本朗造博士の死は誠に悲むべき事であつた。此人は臺灣の立法には大分功勞のある人で岡松博士を助けて臺灣私法の立案には隨分と努力された人だ。博士は彼寬限令（臺灣の破産手續の慣例）の立案を初め人事相續案の調査、家產法（ホームステッド）其他數知れぬ立案や調査もされたので、寘々の中に臺灣法制界の恩人であると言ふて可い。佐々木惣一博士は此人の死を墜落に歸したいと言ひ、船會社は然らずと主張すと聞くが、一は情誼に出で、一は會社の利益に出づる處誠に興味ある問題である、雉本博士の死因が何に在るとも博士の眞價を傷くるには足らぬ。比較的正直の人であつたから或は自分の指示した處が案外他に損害を與へたことなど苦に病んだかも知れぬ。併し昔から明月清江に吹笛を弄び、天地の美感に觸れて投水したといふ話もよく聞く、瀨戶內海の月明の夜に博士が水に入つたのも或はソンな影響もありはせぬかアノ人の温和な容貌は今も眼の前にチラ付く噫。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

攝政宮殿下御盛德の一端

＝加藤直士氏講演の一節＝

大阪每日記者加藤直士氏が攝政宮殿下の御渡歐に隨從して殿下の御盛德を承り得た事に就て、此の間、臺北城南小學校の大講堂に於て講演せるもの〻中次のやうな事があつた。

殿下が頗る情誼に御厚いといふ事の例として新嘉坡に御上陸の節、加藤氏は此地を見舞う日本人の何人もが必ず購ひ歸るを例とする同地名產の籐のステツキが、殿下御買上げ品中に未だ無かつたことを發見し、氏は早速其の二本を購ひ得、侍從を經て之を殿下に獻上した。然し其の二本といふ數に就ては別に意味も無かつたのであるが、後にて侍從から承れば殿下は早速其の一本を閑院宮殿下に分れたといふことで、同宮殿下からも加藤へ宜しくとの御言葉があつたといふのを承つて非常に恐縮したと同時に、攝政宮殿下の御補導役殿下に對せられて常に情誼の御厚くあらせられることを窺ひ知り得たといふことである。

それから又た或る時、殿下が閑院宮殿下と自働車に御同乘で御出かけになつた所を加藤氏がカメラに撮つたので、早速其の寫眞を一枚、殿下に獻上に及んだ所が、殿下はそれを御覽になるや「閑院さんに上げる分は何うしたの」と御尋ねになつたには實に恐縮して「只今作つて居りますから出來次第に獻上致します」と御答へして下がつたが、殿下が事每に御補導役殿下に對する御思召の厚くあらせられるには誠に感激に堪へなかつたといふことである。

殿下には獨り閑院宮殿下に許りではなく一般に對せられても同じく御仁慈の情に富ませらる〻次第であるが、印度洋航行の折、或る時御召艦の火夫が三名、炎熱と火氣の爲めに汗もシトヾとなつた上に煤煙を被つて丸で黑ン坊のやうになつて、艙口の所で風を入れて居た、所へ何時の間にか殿下が夫れへ御出でになつて居られたので、火夫共は大いに恐縮して逃げ出さうとした。所が殿下には「待て〱」と仰せられるので火夫共は止むなく氣を附けの姿勢で夫れへ控へると、殿下には忽ち其の黑ン坊のやうな人間をカメラに收められた。此の事が艦內に知れ亙ると、忽ち通報板の上に、光榮ある三名の火夫と題して其の氏名と事由とが揭げられた。恐らく此の者共の姿は殿下の御座右なる桐の御紋章の附いた寫眞ブツクの中に這入ることであらう。三人の火夫は勿論、一同深く殿下の御仁心に感銘した次第であつた。

之も印度洋航行中のことであつた。或る時、御召艦の機關に故障があつて死傷者を出したことがあつた。然し機關の破損は間もなく修繕して進航したが、其の事あつて以來、何時又たドンな危險がある事やらと人心頓に阻喪した。恰も此際、殿下には一日其の機關部を御實見相成るべき旨を仰せ出された。侍從長は之を承つて驚いて色を失つた。然し殿下は海軍少佐であらせられるのであるから艦內は何時でも御見學は出來るので。之を御止めする事が出來ない、ソコで殿下を初め侍從の者も例の就業服を纏ひ、百三十度もある。高熱度の機關部を御實見に相成たのである。そして殿下は其の損傷のあつた機關の前で暫く御佇立あらせられて御視察になつたのである。此の事が全艦に傳はると孰れも皆な非常に感激して士氣大いに振ひ、難なく航海を繼續した云々。

と、聞くさへ詢に畏こき極みである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣經濟界の狀勢

本年三月一日臺灣銀行第四十五回定時株主總會に於て本島並に同行關係地方の經濟界の狀勢に關し中川頭取の演述せるもの本文の如し

本邦經濟界は尙整理時期を脫せず大體に於て市況萎靡沈滯の裡に推移し一般事業界不振を極め其解散減資せるもの前年同季に比し約二倍に達し諸事業概ね不成績を示せり、金融市場は前季來資金の需要減退により金融益々緩漫となり遂に八月上旬に於て第二回の預金利子引下げを見るに至りしも遊資の證券化貿易の逆調財界前途に對する不安等の影響相錯綜し九月に入り金融の大勢一轉化を示し歲末に近くに從ひ益々緊縮し季末に於ては豫想外の逼迫狀態を呈して越年せり。

臺灣に於ける昨年中の貿易總額は二億八千六百餘萬圓にして內輸移出一億五千二百餘萬圓輸移入一億三千三百餘萬圓なり而して之を前年に比較すれば輸移出は砂糖樟腦及石炭等の減少により輸移入は鐵道建設用材料及木材等の減少により結局貿易總額に於て一億二百餘萬圓の減少を示せり。

次に臺灣重要物產の消長に就て述ぶれば砂糖は十年度產糖額四百二十一萬餘擔にして之を前年度に比すれば五十萬餘擔の增收なり而して輸移出總額は四百三十四萬九千餘擔にして前年に比し約四十八萬五千餘擔の增加を示したるも金額に於ては糖價下落の爲却て五千五百餘萬圓を減少せり米は第一期米收穫高に於て栽培面積減少したるに拘らず天候適順の爲前年同期作に比し十三萬四千餘石の增收を見二百五十萬九千餘石を示し第二期米は未だ實收高判明せざれども約二百四十五萬五千餘石の豫想なり十年中移出米は百一萬五千餘石に上り前年に比し三十萬石の移出增加を見たり茶は各茶園の衰微降雨不足及品質改善の爲十年度產額は前年度に比し約四割方の減產にして約千三百萬斤なれども同年輸出高は昨年度に比し二百六十一萬餘斤を增加し千二百四十一萬七千餘斤に上り爲に滯貨を一掃するを得たり樟腦は生產高前年度と大差なく約百八十萬斤なれども腦油は幾分增加し約五百萬斤なり輸移出は樟腦數量十四萬四千

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

餘斤金額二十八萬餘圓に上り腦油は數量五百餘萬斤金額三百四十九萬餘圓にして前年に比し前者百三十六萬一千餘斤金額四百五萬餘圓減少し後者は數量に於て三十一萬九千餘斤增加せるも金額に於て百三十五萬圓を減少せり石炭は出炭制限に基因し十年產出額は前年より約十萬噸を減じ九十八萬七千餘噸金額に於て九十四萬六千餘圓を減少し七百八十七萬餘圓となり、輸移出合計は百一萬四千餘噸金額七百十六萬餘圓に上れり酒精は砂糖增產の關係上前年に比し約一萬九千餘石の生產增加にして六萬八千餘石を算せり而して移出は前年に比し數量に於ては增加を見たるも金額は相場下落の爲却て減少し數量五萬五千六百餘石金額五百八十萬餘圓を計上せり輸出は販路を上海及對岸各地に開きたる爲前年に比し數量金額共に增加し數量一萬七千八百餘石金額五十七萬餘圓に達せり金は前年度に比し數量九十二貫餘金額四十六萬二千餘圓を增加し數量二百三十二貫餘金額百十六萬一千餘圓を示せり。

日本勸業銀行代理貸付は米茶等價格稍恢復したるも不況時に受けたる瘡痍未だ容易に癒へざる爲農家の金融逼迫し資金の需要漸增せるを以て本年中の貸出高は九百三十餘口五百七十萬餘圓の多きに上りしが其用途は大半舊債償還にして他は開墾家屋建築埤圳工事等なり而して當季末現在貸付高は口數四千九百五十九口千七百七十二萬八千餘圓となれり之れを昨年末殘高に比すれば九百七十餘口五百七十萬餘圓の增加なりとす。

本島經濟界は重要物產たる米糖の不味に基因し地方農民一般購買力の減退となり他面新設事業會社は槪ね一般財界不況の影響を受け經營困難のもの亦尠からず當行は之に應じ必要資金の融通を計り貸出金回收を適度にし極力金融の疏通に努め季末銀行劵發行高は四千百九萬餘圓に上り之を前年末發行高に比すれば八十四萬餘圓の增加を示せり而して昨年中の重要產放資額は五億四百萬餘圓にして前年に比し約二千萬圓を減少せるは主として放資物產價格の下落に依るものなり。

轉して隣邦中華民國の狀勢を見るに中央地方共に政爭尙依然たるものあり一般民力疲憊し財政の窮乏極度に達するあり且銀價は多く低調を辿り四圍の狀勢沈滯して一般購買力の減退甚しきものあり剩へ十一月中旬北支那に於ける主要銀行の取付起るや不穩

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の形勢忽ち中南支各地に波及し金融は一層逼迫し歳末接近と共に愈其勢を加ふるに至れり從て本邦對支貿易の如きも總額(香港を含む)五億三千九百餘萬圓を示し前年に比し一億六千五百餘萬圓を減少せり。

更に南洋及印度方面を見るに各地財界不振に依り本邦品に對する需要減退せるに反し獨逸其他外國商品の輸入漸次旺盛となり本邦貿易の頽勢甚しく關係貿易業者の困難大なるものあり卽ち海峽殖民地及暹羅との貿易は護謨米の輸入により增加せるも綿織物の輸出不振により前年に比し半減し英領印度に對しては燐寸及絹綿織物等の輸出半減と棉花の輸入三分の一に減少せるとにより總額に於て半減を來し蘭領東印度に對しては輸出燐寸綿織物等各半減し輸入砂糖亦二割を減少し比律賓に對しては砂糖の輸入一割を增加せるも綿絲綿織物等三分の一以下に減少し佛領印度亦輸出綿織物及銅等約一割に激減せる外輸入米半減せる爲總額三分の一に減少し結局本邦對南洋印度間貿易總額は五億三千五百餘萬圓にして前年に比し三億六千三百餘萬圓卽ち四割の減少を示せり。

國際爲替に付きて述ぶれば前季末より低落步調にありたる英米爲替は一方英國罷業問題解決せると他方米國の英歐諸國に對する輸出貿易は期待せられたる程に振はざるとにより九月初旬より漸次恢復に向ひ加ふるに華盛頓會議の近づくに從ひ之れが樂觀材料ともなり十一月中頃には四弗に及び更に該會議の進捗に伴ひ昂騰の勢を强め季末は四弗二十一仙八分の一を以て結へり銀塊相場は九月下旬頃支那方面の需要により一時四十三片八分の三の上騰を見たるも其後漸落し爾後三十七八片臺に保合ひ英米爲替騰貴の爲更に一段の下落をなし季末に於ては三十四五片を往來せり從て對支爲替は變動少からざりき日米爲替は依然輸入超過の趨勢改まらざるに他方本邦生絲輸出爲替の出廻り捗しからざる爲季初四十八弗見當を保合ひしも漸次軟調を呈し季末に於ては四十七弗八分の五を示せり日印爲替は印度輸出貿易不振の爲め七八月頃は最も上騰を告げ一時二百十二留比を示せるも印度農產物豐作と他方米棉不作の報あるとにより次第に下押となり百七十留比前後を往來せり日瓜爲替は糖價依然として引立たず季上半三箇月は百五十盾內外を往來せしが本邦貿易の逆調英米爲替擡頭等により十月頃より下押に移り終に百三十三盾半となれり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を要するに當季は内外經濟界不振の影響を承け各種事業の萎靡沈滯は勿論一般の商況不振を極め就中貿易の衰頽最も甚しく國際爲替の變動亦著しきものありて頗る多事多端の裡に終始せり。

金融概況

—大正十一年一月中—

財務局金融課

本島金融市場は昨年末、米糖資金及商取引の決濟資金の需要著しく增加して幾分逼迫の狀態を現出したるも、銀行側に於て救濟資金の放出ありたると、財界尚沈衰の狀態を脱し得ざりしを以て、例年に比し概して靜穩裡に迎年したり。

當一月の金融は大取引決濟後とて流石に閑散なりしも本島人側の取引決濟期に當たれるを以て稍々活況を見たり。

先づ新春の米界を見るに昨年末十九圓臺に低落したる儘保合の狀態にて取引頗る鈍狀を呈し加之移出向も、外米輸入を見て閑散を極め資金の需要亦沈衰の狀態なり。各銀行の放資金額は千二百十五萬餘圓にして、前月に比し五百七十一萬餘圓前年同月に比し百餘萬圓の減少を示せり。

糖界は外糖の活氣を受け氣配稍々持直の狀態にあり目下各製糖會社は製糖及來期植付に全力を注ぎ居る關係上賣手の取組さ共に、製糖資金の需要あり銀行の放資額は前月に比し百四十萬餘圓、前年同月に比し千二百十萬餘圓の減少なり。

重要物産に對する放資總額は四千三百四十八萬餘圓にして前月に比し千八百四十七萬餘圓前年同月に比し千三百九十萬餘圓の減少なり

株式界は依然沈衰の狀態を脱せず貿易亦激減し從て金融平凡閑散裡に越月せり。

當月の手形交換高は臺北及臺南を合して四萬一千餘枚千五百二十二萬餘圓にして前月に比し一萬二千枚五百二十三萬餘圓の減少を示し前年同月に比しては、一千餘枚八十萬餘圓の減少なり。

銀行預金は當月末殘高七千八百八十五萬餘圓にして、前月に比し二百九十七萬餘圓の增加を見、前年同月に比しては五百四十餘萬圓の減少なり。

昨年末營業の認可を得たる臺灣貯蓄銀行は本月四日より開業したりしが、貯金吸收の成績極めて順調にして、月末殘高二十二萬九千餘圓を示せり。

貸出金は月末に於て二億一千八百五十七萬餘圓を示し前月に比し八百八十六萬餘圓前年同期に比し八百萬圓の增加なり。

信用組合貯金は七百六十三萬餘圓にして前月に比し九十萬餘圓の增加を見たり、貸付金は二千二百四萬餘圓にして前月に比し十五萬餘圓の減少を示す。

前月末、金融緩和の目的を以て制限外發行を見たる臺灣銀行券は當月末發行高三千六百八十三萬餘圓にして、市場流通高三千四百八十三萬餘圓を示し、制限外發行高八百五十三萬餘圓にして漸次收縮を見つゝあり。

臺北物價は當月平均指數二〇一・八七を示し前月に比し一・四六の騰貴率に當る、卽ち白米、綿布、日本紙、洋鐵、煉瓦、板硝子、セメントに於て騰貴を見、小麥粉、砂糖、鷄卵、杉板、鉛、銅、燐寸は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

低落せり、物價は昨年五月以降逐月騰貴を見たりしが、前月末に於て稍其趨勢を阻止せられ軟調に轉ずるに非ずやと思はれたりしも、當月の物價を見れば物價は當分騰貴の一路を辿るものの如し。

手形交換月表

所在場所	年月次	枚數	交換高	交換尻
臺北	十一年一月	二二、〇四一	一〇九、三三三、二四四	三六、六七〇、七
	十年十二月	二六、八七四	一四八、七〇四、三三三	四〇、七五三、〇〇三
	十年一月	二八、七三三	一二三、六三三、四九〇	四四、八六三、六六七
臺南	十一年一月	一五、六三三	四三、四四四、三九九	一二、一七一、一七〇
	十年十二月	一九、一〇〇	五六、六三三、九三三	一四、八〇〇、六〇六
	十年一月	一六、四四〇	四六、六七九、三三三	一一、三七八、三三七

臺灣銀行券發行高及流通高表

年月次	銀行券發行高	國庫在高	市場流通高	準備並保證 準備	準備並保證 保證	制限外發行高
十一年一月	六六、八五五、四六〇	二二、〇〇三、〇〇〇	四四、八五二、五八〇	三〇、九六六、五三〇	二一、五五六、八六〇	一五、六四一
十年十二月	四〇、六六一、〇〇〇	三三、五六〇、九六〇	三八、四八六、二四四	一八、〇五三、四〇四	二二、八〇八、四〇〇	六、〇八〇、〇〇〇
十年一月	三八、〇〇〇、〇三三	四、〇〇〇、四六〇	三三、六五五、九〇〇	二三、七九〇、五〇〇	一五、九六〇、〇〇〇	—

大正十一年一月末預金貸出金殘高及金銀在高表

銀行名	預金	貸出金	金銀在高
臺灣銀行	三六、六七一、六六九円	一五一、六七四、〇三三円	三七、三三六、七円
華南銀行	二七、七五一、〇〇六	一三、〇六八、六六六	二、三三〇
新高銀行	六、七七四、七三三	一一、六八四、九六九	二四、二九五
彰化銀行	八、九六二、九三六	一三、〇四六、三四一	一五三、三九三
臺灣商工銀行	一三、七八八、八六九	一四、四九六、〇三〇	二八、九六九
嘉義銀行	五、〇八四、五六〇	七、〇三〇、一〇四	三〇、〇〇〇
三十四銀行支店	八、二八七、六〇八	八、七七七、二九五	一五七、八〇一
臺灣貯蓄銀行	二三九、七〇四	—	一、七一八
合計	七九、〇八一、一〇三	二三六、八七八、一五七	四四二、一〇〇
前年同月	八四、二八五、六五九	二一〇、五七四、九八〇	四、七六六、六一八

大正十一年一月中重要物産ニ對スル各銀行放資額

銀行名	區分	米	砂糖	茶	樟腦	金塊	酒精	石炭	計
臺灣銀行	放資額	八、八七〇、四七〇円	二〇、二四三、六八六円	三六八、八四五円	一四九、三五二円	六七七、九八一円	一七四、八一六円	三五〇、八三六円	三四、六六二、四二〇円
	月末殘高	一六、三〇一、〇一	四一、四三八、四七〇	六七八、九〇一	一七四、九一三	三六七、七四〇	八五三、九四二	五五、一七六、四九	六七、八五一、三六九
華南銀行	放資額	一、三四八、二〇五	九六八、六六〇	八九七、二五四	—	—	—	九六九、三〇〇	四、〇七〇、六二四
	月末殘高	九〇七、七七八	一、一二三、七六九	八〇一、九〇〇	六〇〇、〇〇〇	—	—	九六九、二〇〇	四、四〇二、三四一

新高銀行　放資・月末殘高額	六六五、二一九 一、〇三〇、四八〇	一〇三、八三四 五九四、五〇一	六一九、六五六 一、〇五六、九七八	二〇、七一〇 三六、七〇〇	四〇、九七四 二一、二四三	五〇、七三五 三八、八八五	二〇一、八二五 二九一、六五〇	一、六九三、六五一 三、〇七八、四二五
彰化銀行　放資・月末殘高額	四[illegible]、[illegible]四〇 一、一〇一、四七七	一、三〇〇、〇九九 四〇一、七〇六	— —	— —	— —	— —	— —	五六七、五八九 一、九〇〇、三九三
華南商工銀行　放資・月末殘高額	二、九八二、八八一 三七八、四七八	四〇六、七五一 一、二五六、二七〇	二、六〇〇 三七、八八〇	— —	— —	— —	二九七、八〇六 六五〇、六六〇	一、三〇六、四一八 二、三二四、一六七
嘉義銀行　放資・月末殘高額	七、一九八 一八四、三六七	一七、六五三 三〇一、二七四	— —	— —	— —	— —	— —	二五一、九一八 四八六、七〇五
三十四銀行支店　放資・月末殘高額	五九六、八二七 八九六、八〇一	六一〇、〇〇七 一、〇三三、八三三	五八四、〇〇〇 九二、六〇〇	— —	— —	— —	— —	一、三三四、二六四 二〇八、三三三
合計　放資・月末殘高額	二、三二二、[illegible]四七 二、〇七一、[illegible]三三	二、一九二、六九七 四七、一〇一、〇〇七	一、九六六、八八三 二、六四六、四二七	一、四七四、一四一 二、四三〇、六三三	一〇八、七六八 三八九、〇二七	二二八、九七一 八九二、八二七	五〇〇、七六五 七四二、一五九	四、三四八、四三八 八、一六二、八六〇
前年同月　放資・月末殘高額	一、三六六、四六七 二、一七〇、六八〇	三四、六二八、四三〇 四八、七〇二、五一六	二〇六、四八〇 二九二、五七一	二、六八一、三四六 三、九九八、四七一	五七、七三三 一六一、六三一	二六三、九〇五 六五四、六一八	四、六二六、二三三 八、九七七、八〇六	五、七六八、三〇六 八、三六九、一四一

臺北物價指數表　大正十一年一月末

品目	本月	前月	前年同月
白米	(十)二六八・九〇	二六八・八三	二三〇・九三
玄米	一九二・三六	一九一・三三	一四〇・二二
清酒	二六〇・七九	二六〇・七一	一九六・八三
麥酒	一八一・六〇	一八一・六〇	一八一・六〇
紅酒	一八〇・五六	一八〇・五六	一四七・三三
澤庵漬	三五三・三三	三五三・三三	一八八・八九
小麥粉	(一)一六八・四九	一六三・二六	一六四・二一
砂糖	(一)一三七・三六	一四〇・六六	二二九・七八
鰹節	三〇九・〇九	三一〇・〇九	二六四・六六
綿布	(十)一三三・九五	一二六・九八	一四〇・八八
洋紙	二六〇・八七	二六〇・八七	二六六・六六
日本紙	(十)三二三・三三	三〇〇・〇〇	二七〇・〇〇
杉板	(一)三三三・三三	[illegible]	三一九・二六
杉材	(一)三二一・六八	三三九・〇五	二六六・七四
洋鐵	(十)二一五・七八	二〇九・三三	二六八・四二
鉛	(一)八九・五八	一〇九・六八	一二〇・〇〇
銅	(一)一一〇・三〇	一一七・六四	一一三・一四
煉瓦	(十)二七八・二六	二六〇・八七	二七八・二六
味噌	一五三・八五	一五三・八五	一六八・四六
醬油	二二一・三六	二二一・三六	二〇六・八二
鴨卵	(一)一四六・三〇	一四二・九〇	二二七・一四
火油	一三六・三六	一三六・三六	一五六・八六
鹽	一四〇・九一	一四〇・九一	一三六・〇〇
煙草	一六〇・〇〇	一六〇・〇〇	一六〇・〇〇
烏龍茶	九二・〇八	九二・〇八	—
包種茶	一一〇・三四	一一〇・三四	—
白木綿	二〇六・三九	二〇六・三四	二〇六・三六
日本瓦	一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一九〇・〇〇
板硝子	(十)二六八・七五	二六六・二六	三二六・〇〇
セメント	(十)一八二・三五	一七六・四七	二七九・四一
燐寸	(一)二六六・六七	二七一・六〇	二六六・六〇
石油	一九二・〇七	一九二・〇七	二四二・〇七
石炭	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	二〇〇・〇〇
木炭	一六六・六七	一六六・六七	二三三・三三
薪	二〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇	二四一・九六
平均	(十)二〇一・八七	二〇〇・四一	二一六・五四

備考　本表は戰前卽大正三年七月の物價を一〇〇として計算したるものなり
同表中(十)印は騰貴(一)印は下落を示す

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

平均指數五箇年對照表

月次　年	大正十一年	同　十年	同　九年	同　八年	同　七年
一月	二〇・八七	二一五・一四	二七一・五五	二〇九・八六	一七八・五六
二月	—	二二一・四一	二八六・〇八	二〇八・七七	一八二・五七
三月	—	二〇六・二九	二八六・九九	二〇四・六八	一八七・四七
四月	—	一九八・五〇	二六一・五〇	二〇一・八九	一八二・一六
五月	—	一八九・八三	二七二・五四	二〇〇・七九	一八五・九六
六月	—	一九一・〇五	二六〇・四	二〇八・二一	一八七・六八
七月	—	一九二・四六	二五五・六八	二二一・二七	一九五・四九
八月	—	一九二・六六	二四八・二〇	二三九・七〇	二〇五・五六
九月	—	一九七・三三	二四四・七七	二五五・六七	二〇九・〇三
十月	—	二〇〇・七八	二四〇・二六	二四二・六六	二二五・一九
十一月	—	二〇一・一〇	二三五・八六	二四八・〇一	二二一・六〇
十二月	—	二〇〇・四一	二三七・五〇	二六四・四九	二一九・六一

各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十一年十二月	十年一月	九年一月	八年一月	七年一月
本月平均	一〇〇・七五	九五・六六	七一・八〇	九八・四二	一一五・一七

臺灣商況

—大正十一年一、二月中—

殖産局商工課

●米　內地米相場左の如し

	定期米一月限 東京	定期米一月限 大阪	正米標準相場（中米） 東京	正米標準相場（中米） 大阪	內地米本島相場（石） 肥前米	內地米本島相場（石） 豐前米
一月五日	円 三六・七三	(六日)円 三六・七二	円 三六・六〇	(六日)円 三九・〇〇	円 四一・七〇	円 五〇・〇〇
同　十日	三六・一八	三六・六〇	三六・二〇	三九・二〇	四二・六〇	四九・六〇
同二十日	三六・八二	三八・〇九	三六・九〇	三九・〇〇	四四・五〇	四八・六〇
同三十日	三五・六〇	三七・七五	(三十一日) 三六・五〇	(三十一日) 三八・八〇	四四・五八	四八・六〇

	定期米二月限 東京	定期米二月限 大阪	正米標準相場（中米） 東京	正米標準相場（中米） 大阪	內地米本島相場（石） 肥前米	內地米本島相場（石） 豐前米
二月一日	三六・一五	三八・五六	三六・六〇	三八・八〇	四四・五〇	四八・二〇
同　十日	(九日) 三六・二三	三八・四〇	(九日) 三六・六〇	三八・二〇	四四・二〇	四八・二〇
同二十日	三六・〇七	三八・六八	三六・二〇	三八・八〇	四五・七〇	四八・五〇
同廿八日	三四・〇〇	三六・四〇	三四・五〇	三八・一〇	四五・七〇	四八・五〇

前年末に於ける不振の後を受けたる期米は年初一向乘氣薄にて外米續安の報を入れ或は暮正切迫して處分的の安値物現はるゝ等其他西國の情勢は米界に悲觀の暗影を投したるを以て前途益々不安に襲は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れ結局當年第一月は不味に越月し續て二月は初旬多少の波瀾を示せり而して地體定期の大順鞘なるより観れは先高を豫想せらるゝも買方か集散地在米の消化に先ち政府の大正十年度實收高（卽ち五千五百十八萬餘石）增收發表（第二回豫想高に比し五十七萬餘石）に會し直ちに奮闘せしを以て暴進中は相場氣丈なりしも買物漸減さ共に軟化し遂には賣方の乘する所さなりて波瀾を惹起せしか恰も東北路を殆め地廻も亦賣物を加へたるを以て正米は益々期米を脅威し月末期場は實に慘落を極めたり次に本島米の商情を窺はんに一月取引は至極閑散を告け相場は北部玄米十九圓七十八錢に釘付さなりしか二月に入りては市場在米薄なるも地方筋が賣急かさる爲め中旬相場は滅切硬化して二十圓臺に上れり然るに一面內地市場にては輸入外米安の影響を蒙り本島移出米市價も著しく低落し本島相場の下鞘を示せり此月島米の內地移出積戾品及外國產米にして神戸及那覇より移入を見たるか稍々此間の消息を語るものにして月末には遂に十八圓八十六錢さ一圓餘の慘落を告けたり糯米も殆んさ前年中に移出を了せるか二月中旬には在米薄の爲め丸糯三十九圓五十六錢を唱へ移入向は小口取引に過ききりき。

本島米相場竝に外米相場左の如し

	北部玄米	白米一升	長糯	丸糯
	円	錢	円	円
一月一日	一九・七八	二四	二四・八四	三一・八九
同十日	一九・七八	二四	二四・八四	[illegible]
同二十日	一九・七八	二四	二三・六九	三三・五八
同三十日	一九・七八	二四	二三・二三	三四・五〇
二月一日	一九・七八	二四	二三・二三	三四・七三
同十日	二〇・一四	二五	二四・五八	三八・六四
同二十日	二〇・〇一	二五	二四・四六	三九・五六
同二十八日	一八・八六	二四	二四・八四	三九・一〇

二月末外米相場（一袋に付百五十斤）

安南白硬米	円 一三・八〇	蘭貢糯米	一六・五〇
蘭貢小加米	一三・一〇	シャム占米	円 一四・〇〇

●砂糖●　一月の糖況は舊冬末殆んさ釘付的保合相場なりしも中旬に至り外糖高を受け氣配强硬 分蜜糖保稅月初相場より四十錢高精糖には分蜜糖の高値を眺めなから健調てふ而已にて相場變らさりしも下旬に入るや爪哇糖大暴騰の入電に接し近來見さる活況を呈し頗る躍進裡に越月せり卽ち爪哇糖白双一月渡十二盾二十五仙月末最高二十盾卽ち七盾七十五仙高、玖馬糖月初紐育ＣＦ一月渡一弗八十八仙月末二弗二十五仙卽ち三十七仙高分蜜糖保稅三四月渡月初十四圓三十錢月末十五圓三十錢卽ち一圓高を示せり而して二月は內糖外糖共に氣勢冴へす一高一低軟弱氣味を辿り至極閑散裡に保合の商狀に終れり氣配さしては內地市場最終取引三四月渡分蜜糖保稅十四圓三十錢四五月渡十四圓五十五錢精糖現物稅込値段二十五圓五十錢、爪哇市況入電現物直積物庫渡十八盾半五六月渡十三盾半玖馬糖紐育「シーエフ」二弗三十七仙の唱へなりき島內市況亦た內地市場の不勢を移し一般の買氣昂まらす相不變分蜜糖現物各驛貨車渡十九圓二十錢ＥＫ白糖二十五圓丁度精糖二十六圓七十錢見當なりき。

●麥粉●　麥粉は舊冬來海外共に何等の變化なく依然保合ひ二月に入りては內地原料小麥の不引合さ外國小麥の不廻りに會社側强硬を構へ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たるも一方各地在荷薄に相場昂まり稍や活況を呈したるも需用者側一般買控へ氣味にて之れに不應一部當用實需筋への取引を見たる而已なるより亦た又沈靜となれり月末氣配として龍印四圓四十五錢赤牛印四圓四十錢綠ダイヤ四圓三十錢赤貝印四圓二十錢見當にして小硬りなりき。

●●**綿布**　綿糸の初相場は舊臘末より何れも三、四圓安に始まり綿短全解後の影響も少く保合狀態を持續せしが月末生糸の崩落、原棉の續落に保合下放れし春高人氣は全く裏切られたる感あり本島市場としては鈍狀を呈しつゝ越年せしが目先脩正を控へ小口取引漸次增進し中旬に至りては相當の荷動きを見たり其後の氣候温暖に過ぎしと月末綿糸ジリ安の爲め冬物賣行に一頓挫を來し賣買共に見送りの狀態にて市場沈靜に歸したり舊慣に依る本島人間の決濟は穩健なる商狀を辿り來りし爲め平穩を了り一般に舊正明好氣勢を期待しつゝ經過せり二月に入りては新甫市場の氣乘薄も米綿市場稍立直りし傾向を示し存外底堅く見られしも相場は尙浮動のものに屬し大勢未た回復の機運に至らす引續き一張一弛尙軟弱を脱せす印綿依然冴へす紗亦不味を繼續せるに實需の方面は內外期待を裏切られ加ふるに前月中の對外貿易入超益々增加の傾向を見せ在外正貨の續減を報ずる所人氣は更に軟化せんとしつゝ月末に偶々株式期米の混亂を移し人氣は頓に惡化し當限納會安に終了せり本島市場も一昨年の財界恐慌に基く整理今尙完了せさるに於て內地市場の鈍重と本島主要物產の底落は金融界を益々惡化し景氣と共に購買力低減不賣旁々先行不安に驅れて必需さへ手控ふるに至り卸商筋の賣焦を來し月末相場益々下鞘に走れり市況沈靜にして更に活氣なく目先現狀にて推移するものゝ如し一、二月末成行左如のし。

品名	一月相場	二月相場
駱駝六百番	円 一五・二〇	円 一四・八〇
同　五百番	一二・四〇	一二・二〇
象兒、細布	一〇・八〇	一〇・〇〇
五福祥竝布	九・六〇	九・二〇
龍C粗布	九・八〇	九・一〇
三輪C天竺	三・八〇	三・六〇
尺一白木綿(三八〇目付)	二・六〇	二・四〇
同　(二六〇目付)	一・六〇	一・一五
大尺布(五八〇目付)	三・六〇	三・一五
黒無地朱子目	〇・六七	〇・六二
黒無地ポプリン	〇・八五	〇・八五
紋ポプリン	〇・九五	〇・九五
黒光輝ジンス	一三・八〇	一三・三〇
紺小倉	一七・八〇	一六・七〇
縮小倉	一七・八〇	一六・七〇

●**鐵**　概れ依然弱氣配風調を辿れるか中にも釘類は其後愈々反動安を演出し浪板は北國筋に於て需要激増せしより東京相場に釣られ當市場相場も勢ひ高値を免れさりき。

品名	一月末相場	二月末相場	品名	一月末相場	二月末相場
丸鐵四分(貫)	円 〇・六九	円 〇・六六	亞鉛引浪鐵板三十番(七尺)	円 一・六五	円 一・七〇
同　五分(同)	〇・六六	〇・六六	同　(八尺)	一・八〇	二・〇〇
同　六分(同)	〇・六七	〇・六七	亞鉛引鐵線八十番(一丸八四斤)	一五・六〇	一五・〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	一月	二月
釘類六分(百斤)	二二・〇〇	一九・二〇
同一吋半(同)	一九・〇〇	一六・二〇
同二吋(同)	一八・〇〇	一五・二〇
亞鉛引平板(一枚)鐵二十八番	一・七五	一・七五
同三十番(同)	一・五五	一・六〇
同浪鐵板三十番(六尺)	一・四五	一・三五
同十六番(同)	一六・九〇	一六・九〇
瓦斯管内徑一吋(一尺)	〇・二四	〇・二四
同二吋(同)	〇・六〇	〇・四六
鑄鐵管四吋水道用(一封度)	〇・八五	〇・八六
レール十二(噸)	三六・〇〇	三六・五〇

●石炭● 昨年下半期以降頓に活氣を帶び來れる本島炭界は改曆と共に一段の月醒數的狀振を見るべかりしに彼の海員同盟罷業勃發の爲め香港廣東方面への輸出杜絕の浮目に逢ひ稍々其の幸光を挫かれたる の感あり乍去馬尼剌には前年來引續き輸出せられ又内地方面は相不變名古屋及大阪に對し一等粉炭の活躍益々顯著となるもの丶如く一面島内の狀況を窺ふに本年は兎角貨車廻不足の爲め南部への送炭圓滑を缺き製糖會社中二、三工場の如きは燃料難より作業休止せしものあるやに傳へられ氣配としては存外强硬なりき然り而して香港恢復の曉は廣東製糸業開始と共に必すや反動的需要を喚起すへく馬尼剌方面に對しても今年度第一回新規契約成立せりと云へは向後の炭界相當繁忙を見るならむ乎一二月末相場左の如し。

		一月	二月
一等炭(四脚亭)	塊	一五・〇〇	一五・〇〇
	切	一三・〇〇	一三・〇〇
	粉	一〇・〇〇	一〇・〇〇
二等炭(大武崙)	塊	一三・〇〇	一三・〇〇
	切	九・五	[illegible]
	粉	六・〇〇	六・〇〇
三等粉炭(南港)	塊	一〇・五〇	一〇・〇〇
	切	七・〇〇	七・〇〇
	粉	五・〇〇	六・五〇

●木材● 一月は前月値を支持せしも二月に入り内地材は商動不活潑ストック漸增せし爲め五分方の安報を見たるか新宮材は本年より爲替取引に改められたるを以て自然見越移入の如きは出來難くなれり。又不相變人氣の集中せる福州杉は内地材安及銀相場安の關係より之亦二月五分方を値下せりと云ふ而して從來本島にても假嫌せらるたる米國材中メリケン栂のみは内地材及福州材の長尺もの丶代用として近來島内木材界に跳梁しつ丶あり一、二月末相場左の如し。

●內地材●

	一月	二月
杉板四分一坪	三・八二	四・〇二
杉(長二間巾二寸)貫(七分厚六分)一丁	〇・六七	〇・七〇
杉柱(三寸分角)一本	三・七四	三・九三
杉(正一寸八分角)一本	一・一三	一・一八
同(四寸角)一本	四・八四	五・〇八
杉板六分一坪	五・〇八	五・三三

●福州材●

			一月	二月
福州杉丸太長十二尺末口	自二寸五分至六寸	一才に付	〇・〇八	〇・一〇
同十四尺	同	同	〇・一一	〇・一三
同十六尺	同	同	〇・一一	〇・一三
同十八尺	同	同	〇・一四	〇・一九
同四分板七寸以上		一坪に付	三・六八	三・八四
同六分板六寸以上		同	三・五七	三・七五
同挽角濱類		一才に付	〇・二三	〇・二四
同板割		一才に付	〇・二一	〇・二五

●紙 和紙は近來市場品薄を訴ふる模樣なるが之れ全く生產減に因るものにして紙業者は意外に鼻息荒く例之土佐紙業者の如きは二月より原價の一割五分値上を唱へたるか大阪問屋側は之れを認容するの止なきに至りしか如き從來問屋側に對する生產者の態度は一變せり

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さ云ふ相場は松脂紙（ロール紙又はインキ止めさも云ふ）著しく騰貴し二月末相場一丸（九千六百枚）五十五圓乃至六十五圓美濃紙中物一丸（九千六百枚）四十三圓半紙中物一丸（一萬二千枚）四十圓所を唱へたり。

洋紙昨春來生產者側は三割の操短を斷行したる所外國輸入品殺到の聲に脅威せられ一時は悲觀せられたるも米國筋の買付ありし爲め本邦への入荷多からず、加ふるに市場の滯貨も減少せしより玆に紙界回復の機運來りしものゝ如く二月十五日より一般二割の操短に減縮せられたるが之れ四月聯合會にて操短全廢せらるゝの前驅さ見るを得へしさ云ふ二月末相場は(B)模造紙一封度二十六錢新聞ザラ七圓五十錢並ざら六圓五十錢なり又ボール紙は本島に於て八オンス乃至十六オンス迄のもの需要多く噸に付百五十圓乃至百六十圓見當なりき而して當市場は概して在庫品豐富に市況平凡裡に越月せり。

●肥料　豆粕は原料大豆の需要增の爲め相場漸騰し一月二圓四十八錢二月二圓五十三錢を唱へたるが本年に入りても依然農會の買入少く隨て大口取引さては皆無なりき。

過燐酸石灰は近來基隆東亞肥料會社の製品㊉印は旺に各製糖會社に使用せらるゝに至れり而して內地移入品は市場投買續出せし爲め一月一圓七十錢より二月一圓五十五錢に激落せりさ云ふ硫安は島內需要至って尠く百六十五圓より百七十圓見當を往來せり。

●燐寸　年末以來內地市況引續き軟弱二、三製造家の安値賣拔きの餘波を蒙れる島內は愈々問屋手持を控へて買氣消沈一月に入るも依然不勢先安氣構之折柄偶々爪哇市場消費稅引上け見越の入電俄然炭期近もの引合の聲蘇生の感ありしも是れさて一時的現象に終り下旬に至り早くも一段落を告けぬ時恰も舊正前後に臨める當市場は一層の氣乘を見す手合せ尠々たり。

二月に入るや初旬孟買方面大口手合せあり馬尼剌亦買進南支、香港市場の引合開始に內地は沈靜の裡にも稍々活氣を見るに至れるが其何もなく印度關稅增額具體化せむ形勢を見るや早夫々引合困難を報し爪哇南支等亦更に商談の見る可きものなく再ひ重頭傍觀袖手の體なり荷闘に窮せる製造家は切りに手許資金融和を企て在庫雜牌を競つて臺灣に流出せる爲め當地は玆に2/3等品の混戰場裡に化し形勢逐日惡化市價亦一圓方低落の無止に至れり一、二月末相場左の如し單位一噸（三箱）に付

	一月	二月		一月	二月
月琴	五七円	五六円	珊瑚	四八円	四七円
鯛	四五	四四	白桃	四八	四七
鷄	四六	四四	白龍	四五	四四

●セメント　內地市況は一般期近もの引合進み來れるさ罹災の創痍未た癒へさる淺野の供給難に刺戟せられたるさにより氣配頗る強く最も人氣ある小野田品の如あ大阪市中卸相場七圓二、三十錢向注文殺到の活況を呈し居れるに反し本島北部方面は未た雨期に際し諸工事手控への狀態にあるを以て氣配更に引立たす從つて相場は內地活況さ全く沒交涉を持續し淺野基隆渡五圓六、七十錢日本、佐賀略々同樣の足取りを保持せるか小野田品は上述事情により常に荷繰難に追はるゝ好況にありしが爲め獨り六圓九十錢に高止り超然たる姿にあり本月中日本、佐賀の基隆入荷絕無なりしさ淺野高雄工場品の島外輸移出頻繁たりしさは一面當地セメント界未た不振の域を脫せさるを語るものならんか越ゑて二月に入りたる處內地に於ては市況益強腰の情勢にありしを以て初旬迄に大阪同業會の一圓値上を見倣いて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中旬九州同業會に現率一割の値上實施を發表するに至り愈々市況先强の感を深からしめたるか當地市場月初に於ては依然たる沈靜裡に彷徨しつゝあり內地よりの移入も僅かに佐賀の五百樽小野田の二千樽を見たるに過きす日本其他更に入荷なく各社共競ひて安値賣拔に汲々たる有樣なりしさは云へ月末に差懸り土木局、鐵道部等官廳入札の發表あり一般小賣方面に雨期明け需要喚起を强制されたるさ上述內地値上さに影響せられてか淺野を筆頭さして各社さも約五十錢の値上を實施基隆渡六圓二十錢を唱ふるに至れり因に本島產品輸移出狀態を窺はんに一月中は前年末門司淺野工場燒失の爲めクリンカ一二萬樽セメント六千樽の特別移出をなせる外上海八千袋（九十七封度入）及四千五百樽廈門百樽汕頭四百樽、香港廣東方面四千二百五十袋（二五〇封度入）二月青島五千樽大阪三千樽上海一千九百五十樽廈門百五十樽等にして尙大連に大口五萬樽の契約出來たりさ云ふ。

●工業藥品　株界の不味一般不景氣に左右せられ工業亦一向不振を免るゝ能はす原來工藥品は生產費を割りたる底値に落込みたるもの多く從つて回復も容易ならさるもの﹅如し。

一、二月を通して着目せらるゝは硫酸及苛性曹達なるへく前者は淸涼飲料製造上に必需品たる關係上追々需要季節に向ひたる爲め相場は幾分上進し又工藥界の花形たりし苛性曹達は輸入品安の爲め一時の高値より一圓方の低落を報せり一、二月末の相場左の如し。

品名		一月	二月
六十六度硫酸	二〇〇磅一箱	円 一四.八〇	円 一五.〇〇
六十五度同	同	一三.五〇	一三.八〇
二十度鹽酸	一二〇磅同	一三.八〇	一三.八〇
四十度白硝酸	一四〇磅同	二五.六〇	二六.五〇
苛性曹達	一箱	一四.〇〇	一四.二〇
硫化曹達	一箱	八.九〇	八.九〇
晒粉（カルキ）	百個	一四.〇〇	一四.〇〇
月印曹達灰	同	九.九〇	九.九〇
洗曹達	一樽	三.八〇	三.八〇
月印重曹	同	一〇.二〇	一〇.二〇
硫酸曹達	百斤入一俵	四.八〇	四.八〇
ムスメ印粉末石鹼	六貫目入一箱	—	八.二〇
氷醋酸	二十キロ入	（百）三四.〇〇	一五.〇〇
苛性大曹	百廿	一三.八〇	一三.八〇
硫化大曹	百廿	七.七〇	七.七〇

●海產物　內地輸出筋は昨年末來兎角積勢勝なりしも新春に入らは好轉すへしさ期待したるに事實は之を裏切り對支商談捗々敷からさりしのみならす搗て香港方面の海員罷業に災せられ慘憺たるものあり飜て島內に於ける干物竝に鹽物の商狀を窺ふに前者は一月初に於て取引多少見るへきものありしも舊正手當さして例年に比し賣行殊に不良さ申すへく追々產地元の下値殺を入れては商資料を抱へたる移入商も之れか賣拔き難を喞てりさ云ふされは二月の如きは著しく軟落相場を示せり後者にありては鮭は內地安の爲め其後續々移入せられたるか一面米國鰊も依然さして入荷を見茲に鮭對鰊戰は愈々白熱化し二月末鮭七圓鰊八圓五十錢所を唱へたり因に一月乃至二月の相場を示せは左の如し。

品名	一月	二月	品名	一月	二月
鯣（排）	円 六六	円 六二	干海老（機械）	円 七〇	円 八七
干貝（角）	九〇	九六	五島鮑	四〇〇	—

千䲂　六五　六五　櫻海老　一・五五
鱆鱒　八・三〇　七　鰊　九・二〇　八・五〇
太力魚　一　三

●●苧麻　昨冬以來頗る强調裡に推移しつゝある島產麻（一名ラミー）一月愈々品薄の爲め目星しき商談なく而も氣配は中々侮るへからさるものありしか果して二月に入り宜蘭四水物出廻りたるに實に出辨三十九圓てふ稀に見るの珍高値を唱出せり乍去時節は對岸向さしての需要旺盛の折柄なれは頓さ意に介せられさるものゝ如く取引活潑なりしか此分にては眼先一段の上伸を免れ難からん二月末に於ける相場左の如し。

●宜蘭出苧　百斤　三十九圓　苗栗三水上物　三十七圓

●●芭蕉實　久敷下値に叩かれたる芭蕉實も追々さ出廻薄を告けたるより年變りさ共に一月には久振に相場の頭擡を見續て二月には一層上騰せるか恰も本年は彼の平和博手當用さしても相當商內あるへく殊に四月よりは內臺船の增配も決定せるやの模樣なれは天候の適順を得たる芭蕉實はその增產さ相俟て出廻旺盛期に入らは定めし取引も括目に値すへきのあるへしさ觀測せらる一月及二月の相場左の如し。

一月　臺中一等品　八圓　員林物　七圓　臺北物　六圓
二月　同　九圓　同　八圓五十錢　同　六圓五十錢

●●木炭（臺北）　一月は既に需要期に入り乍ら商狀極めて平凡裡に經過し相場も前月値に比するさきは想思雜木各十錢方を下落し兎角木炭界は悲觀せられ其の爲にも依らんかなれさ又一面には二月に入り舊正關係より農家は營業休止したるに引續き茶手入其他田植準備等に追はれたるものにや市場入荷頓に思はしからさりしを以て頃來の貯炭も減切減少し斯界漸く生氣を帶ひ來たる模樣なるか目先製茶期を控え居ることゝて相場はグッさ硬化し月末想思炭三圓二十錢雜木炭二圓さ前々月値に回復し尙先行上向氣配を示せり。

●●野菜類（臺北）　蔬菜類は爰兩三箇月以來降雨の適順を得て各種類續々さ出廻豐富に賣行も亦極めて活潑市場殷賑を告けたり各月相場左の如し。

品名	一月 月初	一月 月末	二月 月初	二月 月末
	円　円	円　円	円　円	円　円
大根	三・五〇—四・五〇	三・五〇—四・五〇	三・〇〇—四・五〇	二・二〇—四・〇〇
里芋	七・〇〇—八・〇〇	八・〇〇—八・五〇	七・〇〇—七・八〇	八・〇〇—一〇・〇〇
葱	二・五〇—三・〇〇	二・五〇—三・〇〇	二・〇〇—二・五〇	二・〇〇—二・八〇
大枝葱	九・〇〇—一〇・〇〇	九・〇〇—一〇・〇〇	九・〇〇—一〇・〇〇	八・〇〇—九・〇〇
玉菜	二・五〇—三・〇〇	二・〇〇—二・五〇	二・〇〇—二・五〇	一・二〇—一・五〇
蓮	七・〇〇—八・〇〇	七・〇〇—八・〇〇	八・〇〇—七・〇〇	六・〇〇—七・〇〇
新菊	二・五〇—三・〇〇	二・五〇—二・七〇	二・〇〇—三・〇〇	二・〇〇—二・五〇
芹菜	一・八〇—二・二〇	一・七〇—二・〇〇	二・二〇—四・〇〇	二・〇〇—三・〇〇
モヤシ	三・〇〇—四・〇〇	四・〇〇—五・〇〇	三・〇〇—四・〇〇	三・五〇—四・五〇
長玉菜	六・〇〇—六・五〇	四・〇〇—六・〇〇	四・〇〇—五・八〇	二・二〇—二・五〇
人參	五・〇〇—	三・〇〇—五・〇〇	二・〇〇—五・〇〇	三・〇〇—五・〇〇
豌豆	九・〇〇—一〇・〇〇	一三・〇〇—一四・〇〇	—	—
牛蒡	七・〇〇—八・〇〇	五・〇〇—五・五〇	五・〇〇—六・〇〇	四・五〇—五・五〇
ホレンソ	二・〇〇—二・五〇	二・〇〇—二・二〇	二・〇〇—二・五〇	三・〇〇—
南部キウリ	三・〇〇—四・〇〇	七・〇〇—九・〇〇	三・〇〇—四・〇〇	七・〇〇—九・〇〇
孟宗筍	二〇・〇〇—二五・〇〇	一八・〇〇—二六・〇〇	二〇・〇〇—二四・〇〇	一一・〇〇—一三・〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜俎

征臺史上に顯はれし山縣公の外征三策

蕉鹿夢

明治七年に於ける、臺灣蕃地領域の疑義に關して、日清兩國政府の間に交渉を累ねられし懸案は、近時の山東問題などに較ぶれば、より多く波瀾紛糾を極めたる、外交史上の難題であつた、そして清政府の底意がツマリ依違不斷を以て、事を左右に寄せ、遷延時日を推移せしめんとするに在りし如き傾きあり此奥の手を觀破したりし日本政府は、茲に最後の明斷速決を以て、局を結ばねばならぬといふ、廟算を確定するの餘儀なきに至つた。此難局の切迫と共に、六月三十日、當時陸軍中將たりし山縣公(有明)は、擧げられて陸軍卿た補せられ、次で七月九日に、陸海軍兩卿に對し、三條太政大臣の名を以て、「臺灣蕃地處分につき、精々兩國の和親を破らざるやう、談判に及ぶべく候へども、若し彼より釁隙を設け候哉も計り難く、止むを得ざるに出づれば、戰爭にも及ぶき旨、廟議一決候」との、緊張的なる内達を發せられた、此際に、山縣公の致されし、外征三策なるものは、言ふ所竟に行はれざりしと雖も、其見地自ら超然遠大なるものであつた、そこで該策の冒頭に、先づ公が平素の抱負を披攊して曰ふやう。

臣有明謹上、今日國家の事、遂に爰に至る、痛哭流涕た亦及ぶなし、神武創業二千五百有餘年の天下、日本生靈三千萬の期望、一朝にして岌々の危に至る、豈痛憤の至りならずや、臣等何の面目ありて、祖宗に地下に見えん、死も亦天壤に容るゝ所なし、然れども、事既に爰に至る、生を萬死の際に求むるの外、別に他策なし、臣既に職を陸軍の總務に奉ず、縱ひ己が素志の許す所ならざるも、此際に至り、亦譴責の辭すべきなし。

其責任を自重するの確乎觀念、死も紙外に躍如としてゐる、斯くて『今の計を爲すに、唯三策あるのみ』と言ひ、乃ち白へらく。

其第一策は、蓋し既に遲きに屬するも猶は或は及ぶべきならん、廟謨決然臺灣の兵を引き、我れ生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

釁の罪を討ずる、彼れ罪に服して止む、別に他故なきを以てし、外務の應接に賴りて、其後を收調す、此の如くんば、事或は罷むに近からん、臣案するに、淸國必ず開釁を欲せず、唯事理止むべからざるに因りて、勢爰に至るあらんとす、故に我れ既に師を引く、彼れ必ず大軍を興して、我れに對するに至らず、卽ち彼我相構するも、猶は以て後を議するに足る、是れ一策なり。

失れより直ちに筆鋒を第二策に進めつゝ曰つた、

然れども、此策既に時機を失して、淸と兵を構ふるに及はゞ、我れ前辭を踐みて屈せず、廟謨を決して、淸と釁を開くにあり、此の如くならば、臣請ふ、三數萬の兵を率ゐて、江蘇を蹂躪し、機に乘じて直隸に上らん、唯軍の成敗利鈍に至りては、必ず期すべからざる者ありと雖も、三數萬の兵、一擧にして殲くべきに非ざれば、頗る時日を遷延すべし、而して廟堂外諸國と交際間に於て、交和居間の策を講ず庶幾くは、聲焰を殞すことなく、事止むに至るべし、若し幸にして、我れ果して勢を得ることあらば、直に天津を突き、我れ城下の盟を要せんのみ、其出兵區處に至りては、臣素より胸算あり、爰に之を論ぜず。

後に明治三十七年十一月二十四日、日露戰爭方に酣ならんとして、旅順半載の攻圍、尙ほ功を一簣に殘すの砌、山縣公は、參謀總長として、計を帷幕に運らし『昨夜夢陷旅順城。有作。遙寄。供乃木將軍一粲』と題し『百彈激雷天亦驚。包圍半歲萬屍橫。精神到處堅於鐵。一擧直屠旅順城』といへる、一大傑作を試みられたと聞くが、此熱烈なる發露は、昨の過去も亦然りであつて、讀んで此策を味ひ來れば、一擧直屠四百州の槪があるのである、斯くて第三策に論旨を說き及ぼした。

其第三策は、事爰に出でず、決然釁を開くこと能はず、苟且以て援兵を臺灣に出すにあり、是れ事の尤も姑息に出づる者、果して此の如くならば、國家何を以てか立たん、萎微何の時にか振はん、臣寧ろ詔を奉せざるなり。

其侃々諤々の態度、蓋し王臣匪躬の蹇々が、眼前に彷彿するかに思はれる、そして最後に『今謹んで三策を陳し、第一策を首とす、然れども、事若し機會に及ばずんば、第二策に止るべし、第三策の如きは、兵家の尤も忌む所、臣死するも、聖明のために、此

下策に出づること能はず」と結んでゐる。

之を要するに、其第一策は、樽俎折衝の間に、勝利を未だ戰はざるに制するを主とし、其第二策は、止むを得ずして、事を干戈に決するに及ばゞ、直ちに進みて清の本國を突き、天津を陷れて、北京城下の盟を爲さしむるに在り、其第三條として、僅に兵を臺灣に派し、區々たる生蕃の地を爭奪せんとする如きは、最も姑息の下策と爲すといふのであつて、山縣公の卓越せる面目が、此點に於てほのみゆる心地する、そして立策の趣に雲泥の差こそはあれ、其骨子の大體に於て、當時清國側臺灣防務の總辨として欽差せられし、船政大臣沈葆楨の主張意向と、或る一致點の見出さるゝのも、面白い好箇の對照である、さても今年に入り、遂には臺灣蕃地事務局長官として大隈侯を失ひ、幾もなく時の有力なる立言者としての山縣公を喪へるのは、轉た今昔の感慨切ならざるを得ぬ。

瑯嶠

仙俗居士

▲局面一變

今にも火蓋を切らねば成らぬかと、安き念ひの無かた清國官民は、西郷軍の全部引揚と聞て、胸撫で下したわけであるが、臺灣を從前の其儘にして置いては、何時又た何國から、難題を持掛られるかも知れない、ソレには是迄化外の民として、扱つて來た蕃境に手を入れ、純然たる版圖の中に收めねば成らぬ、斯う思ふて案出されたのが開山撫番の計畫である、ソコデ支那本土の一般人民に、渡臺入山の禁を解きたるのみか厦門、汕頭、香港の三箇所には招墾局を設けて移民の募集に著手し、其の移民は主として瑯嶠方面に配付されたのである。

瑯嶠に恆春縣城を築かれたが、地勢は舊に仍て離島の如く、隣縣鳳山との陸上聯絡は、まだ取れて居ない、彼の楊友旺が琉球難民を護送するに、舟にて楓港に至り、夫より陸行せるに觀ても解かる、此の通路は移民開墾の擧と共に作成されたが、何を言へ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

海と山とに挾まれたる一條の道、それが蜿蜒として我が十里以上にも亘るのである、一たび蕃人の出草に遭はんか、逝け隱れの場所が無い、此の懸念よりして、枋寮車城間に若干の防蕃塞を設け、之に守兵を置き、ソシテ行人を保護すること、成つた、是に於て西海岸の道路は始めて全通を告げたのである。

東海岸の經營は、謂ゆる開山撫蕃の主要目的である、乃ち先づ中央山脈を横斷して、四條の道路を作成するに在る、此計畫の下に、著々歩を進め、赤山庄より卑南に至る一百七十五清里、同知袁聞拆之を擔任し、射寮より同じく卑南に至る二百十四清里、總兵張其光之を擔任し、林圯埔より璞石閣に至る二百六十五清里、統領吳光亮之を擔任し、蘇澳より奇萊に至る二百清里、統領羅大春之を擔任したが、孰れも踏査不充分の深山を剣戟と鋤鍬に頼り、多大の犧牲を拂ひつゝ、數年を經て、漸くに遂行したものである、ソシテ先づ埔里社と卑南を、新に行政區域に入れ、撫民理蕃を主義とするの廳署を置いたのある。

清國の制度は縣を普通行政、廳は特種行政とし、府の監督を受けて居るやうであるが、同治十三年（明治七年 1874）の本島は、唯一の臺灣府に、臺灣、鳳山、嘉義、彰化の四縣と、淡水、噶瑪蘭の二廳があつたのである、其の淡水廳は、大甲溪より怨嶺までを管轄するのであるから、區域は極めて廣い、而かも咸豐十年（萬延元年 1830）以來は、開港場としての雞籠、滬尾を包容し、石炭、茶、樟腦など、外國人關係の事業が、既に十餘年來萌芽しつゝある、ソシテ廳署は竹塹（今の新竹）に在り、例の特種行政の其儘といふのである、北部一帶を等閑視することは實に甚しい、此に見るありて光緒元年（明治八年 1875）新に臺北府と淡水縣を艋舺大稻埕の間に開き、彼の淡水廳を新竹縣、噶瑪蘭廳を宜蘭縣とし、共に始めて普通行政に編み入れ、雞籠には別に基隆通判を置かれた、此は恒春縣及び埔里社、卑南二廳の設置と、殆ど同時に屬するのである、斯る事柄は、官制の擴充と地名の改稱に過ぎぬやうではあるが、爲に人心を新にし、文教を進め、多年閑却されつゝあつた地方に向て、大に發展を促すやうに成つて來たのである、然る上に福建巡撫が、夏秋は省城に、冬春は本島に移駐すること、爲つたので、臺灣に取ては一層の重みを加ふること、成つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た、實に是れ淸朝領有一百九十年來に、類の無き革新にして、人々が局面一變と歎稱したる所以である。

如上は主として沈葆楨の方寸に出でたものである葆楨は西鄕軍の引揚げ後に、專ら善後事宜を講じたものであるが、善後は卽ち創始なりと叫んで居る、綠營といふは、駐屯兵の名であるが、太平には良民を苛め、有事には何等の役にも立たず、之を裁減し、別に民壯を以てするの團練を設けたるも、葆楨である、臺灣を福建より離して、獨立の一省たらしむべく、最初の建議者たりしも葆楨である、獨り鵝鑾鼻燈臺の建設は、リジャンドルが副島大使を通じて、北京政府に迫りしに原づくも、而かも之が實行上の參劃者は、矢張り葆楨である、徒に事功の結果を見て、論評するもの或は有らむかなれども、其の責任は後繼者に在りとす可く、葆楨には一點の非難すべき無しである、乃ち臺灣の文明が葆楨に負ふところのもの、實に尠からぬのである、偶々上海近刊民國十年の中國人名大辭書を看るに。

沈葆楨は侯官の人、字は翰宇、一字は幼丹、道光の進士なり、咸豐の時、洪楊の兵起る、至る所の城邑は、官吏皆な風を望んで逃潰す、時に葆楨は廣信府に守たり、夫人林氏と、身を以て殉せんと誓ふ、林氏指を刺し血書を作り、援を玉山鎭總兵饒廷選に乞ひ、七戰して城圍遂に解けたり、此を以て江西巡撫に薦擢せられ、後ち兩江總督に官たり、卒して文肅と諡す。

一言臺灣の事に及ぶなしである、坊主憎けれど袈裟までとやら、今の漢人は臺灣を失ひたるの故を以て、前人の功を沒するものでは莫らうか、去れど鳳山城外なる昭忠碑の一節に。

日本は蕃の雜民を戕ふを以て辭と爲し、同治甲戌の春を以て、臺の南に入犯す、詔して今の尚書沈公をして、師を視ひしむ、旗鼓嚮指し、號令明肅なり、日本は敵すべからざるを度り、成らぎを請ふて退く。（鳳山采訪册）

斯う頌揚さるゝに至ては、葆楨たるもの、蓋しくすぐつたからざるを得まい。臺灣は後ち劉銘傳を得て更に面目を一新したのであるが、爰には琅嶠役直接刺激の結果と、見るべきものだけ擧げて置く。

▲琅　嶠

明治七年（同治一三 1874）琅嶠役に於ける原因と結果は、既に

其梗概を述了つた積りであるが、當年の日本人をして、今少しく臺灣の歴史に通曉せしめたらむには、北京談判にも一人の腰強きものあり、二十八年（光緒二一 1895）の馬關條約を俟たずして、夙くに天照皇大神御領分たるの實を、明にして居たかも知れないと思ふ筋がある試みに之を略敍しやう。

和蘭人の入島は寛永元年（天啓四年 1624）である、最初の略取手段として一話柄がある、先づ牛皮一枚大の地を借らむことを求め、其の承認を得るや、巧みに細く長き縷に剪みて、之を大きく引延しゼーランヂャ城（安平）を築いたといふが其れである、ソシテ其の結かれた相手は、誰あらう日本人だとは、漢人の記錄に載する所である、去れど其後人頭税を課せらるゝに及んで、獨り日本人は、先住者たるを理由として之を拒み、官吏亦た之を强ひ得なかつたとある、同八年（崇禎四年 1631）濱田彌兵衛を先手にゼーランヂャに入り、柏原太郎右衛門が匕首を長官ヌイツの喉に擬しつゝ、强談判に及んだといふ活劇がある、此は長崎の朱印船が、福州より歸航の途次、和蘭人より積荷を掠奪せられ、乘組員が虐待を受けた其の報復であるが、談判中に、拘禁の土蕃十一人と、漢人通事を釋放せよと迫つて居るは、味ふべき一箇條である、是よりして日本人眼中、復た和蘭なしの勢であつたらしいが、幾もなき同十三年（崇禎九年 1636）は、徳川幕府の鎖國斷行であり、一旦外國に出づれば、復た入るを許されぬ掟とは成つた、此島に居殘つた日本人が、漸次反動的抑壓を加へられたことも、想像せらるゝのである、明暦三年（永曆一一 1657）甲螺郭懷一の、プロヴィデンチャ城（臺南）夜襲事件がある、目的は和蘭人を全滅させて、取て代らむとするに在る、豫て開墾に資産を作り、義俠に衆望を博したる懷一の煽動であるから、贊同者も多數であり、戰線も相當に擴大したが、和蘭人は歸從蕃人の力を藉り、漸くに勝を制し得たのである。

漢人居レ臺者始レ自二顏思齊一とさへ傳へられて居る、其の顏思齊、鄭芝龍等の入島は、天啓元年と傳へらるゝも、此は和蘭と同年、若くは其以後と、解せねは成らぬ、何故となれば、渠等が日本に於て同盟を結びたりといふは、寛永元年（天啓四年 1624）鄭成功出生の其年なるを以てゞある、然らば兩者衝突の聲を聞かさらしは、何故かとの疑問もあらう、此は和蘭が安平

に居り、顔思齊等は北港に據り、主人不相識で過ごしたからと見るべきである、而かも北港に據ることとの多人數であり、且つ短期で莫かつたならば、必ず衝突も免れぬであつたゞらう、看よ西班牙は雞籠、淡水に據ること1626乃至1641十六年の長期に及び、遂に和蘭人から、逐はれて了つたではないか。

是より先き平戶田川氏の外孫福松が、七歲にして父鄭芝龍の許に引取られしは、寛永七年崇禎三年1630の自由渡航期であつたが、福松が國姓爺成功と出世して、母田川氏を泉州に迎へたのは、正保三年隆武元年1646既に鎖國後の十年目に當る、此時は大陸に於ける明淸の戰鬪中であるが、其後芝龍も、成功も德川幕府に向て援兵を請ふた、成功の請に對しては、諸侯中に同情者も固より多く、彌々の場合に我こそはと、先鋒爭ひまでも演せられたのであるが、內政の點より言へば、危險思想の侵入を防遏し、忠孝敬愛の國民性を涵養せんが爲に、前後三十萬の切支丹信者を犧牲にしてまでも、斷行したるの鎖國制度である、朝令暮改は威信に關はる、情は諒とすべきも、禁は弛め難い、ソコデ幕議としては、單に或る物質上の援助に止められたのである、既にして成功は晉みて、延平郡王の位に在りたるが、甲螺何斌の勸告を容れ、寛文元年永曆一五1661を以て、和蘭人を逐ひ、新に此島の主權者と成つたのである、ソシテ日本人に對しては、特に禮遇を加へたといふことであるが、惜むべし成功歿後の二十二年、即ち天和三年康熙二二1683に至り、終に淸軍の爲に覆へされたのである。

淸廷は既に滅明の目的を達したのである、同時に本島を放棄し、軍隊と共に漢人全部をも、引揚げさせる積りであつたが、將軍施琅より、以ての外と抗議あり、遂に沙汰止みと成つた、此時既に我が寛永鎖國の四十七年目、憐はれ多數の俊寬も、是に至て漢人化し、若くは蕃人化するの外なかつたであらう。

甲螺とは日本語の「カシラ」を漢字に當いたばかり、謂ゆる頭目の義である、郭懷一も、何斌も、別に和蘭式の姓名を持て居るが、甲螺の稱あるは皆な、日本人であらうと我等は信ずる、小野妹子が隋に蘇因高であり、安陪仲麿が唐に朝衡である如く、處變れば名も變るに、不思議は無は、胡蝶陣八幡船の冒險者たりし其人及子孫が、林道乾にも、顏思齊にも、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一味として潜任しあることには、漢人史家の夙に看取する所である、況んや縁故あり、義兵である鄭氏の軍には、武士道的鍛錬を經たる若干の軍師が、必ず之に投し居たるべきは、彼の規律嚴明にして徹頭徹尾、日本式なるに見て解かる、開山神社（延平郡王祠）に詣づるの人は、左右兩廡の神位にも、其心を以て一禮あり然るべしである。

日本の古記錄は、本島をタカサゴと稱したもので、今も名殘を航海家の大目標とする、打鼓山（タアコオサン）に留めつあるが、居住地名を姓とするの一人高砂德兵衛は、寛永三年（天啓六年 1626）を以て、東印度に至り貿易したることが載せられてある、此は和蘭入島の二年後であり、互に惡意となりしより、遂に此浦舟に帆をげて、バタビヤ指したること、想はるゝが、彼の牛皮交渉の日本甲螺こそは、何となく此の德兵衛では莫からうかとの感じがする。

德兵衛の前に村山等安がある、等安は元和元年（萬曆四三 1615）其子と共に、特に高砂行としての朱印船を仕立て、視察に來たのである、德川家康より本島經略の内命あり、兵三千をも附けらるべき筈であつたのに、翌年薨去あり、遂に沙汰止みと成つたと云ふ。

等安の前に山田長政がある、長政は慶長九年（萬曆三二 1604）に渡來し、去て暹羅に向つたは其の翌年である、當時雞籠、小琉球にも、日本人が居たとある。

長政の前に原田孫七郎がある、孫七郎は文祿二年（萬曆二一 1593）呂宋行の途次を以て、豐臣秀吉より高山國（タカサゴ）宛の、書翰を携帶して居たのであるが、多分主權者らしき者を看出さなかつた爲め、書翰は渡さず仕舞であつたことゝ想はる。

その翌年秀吉は、天正初年（萬曆元年 1573）の頃より小琉球に居住しつゝあつた納屋助左衛門が、呂宋に渡り、新に堺浦へ歸著したと聞かれ、之を召見せられて居る、助左衛門は呂宋土産の傘、蠟燭各一千挺、活麝香二匹、茶壺五十箇を献したるに、御意に適ひ、價數千金を賜ひたりとの記錄がある。姓名の判然せるは以上の數者であるが、漢人側には林道乾といふ先客がある。

道乾が官軍に追はれて、鹿耳門に潜り込んだのは永祿六年（嘉靖四三 1563）である、何時しか陸上を、打鼓山に遁拔けて居るのであるが、利用する積りの日本人より、却て利用さるゝの恐があるから、大泥（[illegible]）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

へ落ちて行つたといふのである。

知るべし無名の日本人は、此の先客よりも更に先客として、既に此島に住んで居るのである、并は住んで居る筈である、謂ゆる胡蝶陣八幡船の根據地なりしが故である、八幡船は彼に在て、之を倭寇と呼ぶのであるが、倭寇は其の昔し元寇に對するの報復である、但し元寇が大汗の命に出づる國家的侵略なるに反し、倭寇は一部邊民の私的行動である、日本が後ち官許の朱印船を設けたるは、此の私的八幡船を取締り、之に區別せんが爲と想はるゝが、去とて朱印船以外、皆な八幡船なるわけでは無い、海禁なき時代、私營的貿易船も、固より無數である、蓋し支那大陸よりしては、世に落漈と謡はるゝ難水道を越へて、わざに來なければ成らぬに反し、日本との間には、潮流の自然が之を導くのであり、殊に呂宋其他の南洋往返には、清水燃料の補給所として好位置に在るから、タトヘ發見は漢人を早しとしても、居住は日本人が先なりし所以では有まいか、我等は是等先住民の姓名と事歴を、明にするの日の必ず有るべきを信ずる者であるが、遺憾ながら今は、未だ其の資料を握り得ない、ソコデ本島を目撃したることの、最も早き第一人者を擧げ、一千餘年の昔しよりして、其の紀念繪圖すらも、傳はりありしを紹介することにしやう、譚は颱風に舞ひ戻る。

三井寺の開祖たる圓珍は、仁壽三年(大中七年 853)を以て福州に入り、開元寺に寓して中天竺の僧般若怛羅(ハンニャタラ)に逢ひ、梵字悉曇(シッタン)の章を學はれたことのある人であるが、其の入唐の際である、北風俄に起て、舶は流求國に漂ふた、戈矛を持ちたる數十人の、岸邊に立つが遙かに見へる、流求だ、啖人國だ、我等は噉(くは)れてしまうのだと、僉(みな)が曰ひ合へるの時、ひとり圓珍は閉目して不動尊を念せられた、スルト金色の人あり、忽ちに舳に立たれた、舟中の人の悉くに其れが見へた、須臾にして順風と爲り、翌日は無事に福州へ著くを得た、是に因て三井寺一流の、不動尊は金色である。(和漢三才圖會)

謂ふ勿れ、是れ琉球ぢや無いかと、然り此の流求といふは、卽ち今の臺灣である、今の琉球は自ら中山國と號して居たのを、明の洪武年間(洪武一六 1383)船の勘合符を授くるに方り、泉州の東に當るの海島、ソレならば琉球だとの概念からして、其名を中山國に與へて了つた(琉球藩の條、隋が其王を殺す云々は、中山國に非らずと知るべし)次に永樂年間(1403 1424)遠征の擧の有りながら古の琉球とは氣附ないから、單に東番呼はりして居

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る、ソコデ此の無名島、ホナ失名島に對し、日本人はタカサゴと呼び、歐洲人はフォルモサと名づけた、獨り漢人方面には一定の名が無い、北の漸くに注意を拂はられたる天啓(1621—1627)以後の文書に於て、臺員、大灣などの宛字が見へ出した、而かも顔思齋一派は北港を稱し、鄭氏の若きは、東都又は東寧と號して居る、其の臺灣なる宛字を用ふるに至つたのは、實に皆な康熙以後康熙元年(1662)の筆に初まるもの、乃ち臺灣なる名稱は、清朝に至て始めて確定と知るべきである、顧ふに此タイワンは、南音東番(タンファン)の轉訛であるが四角な字は行り過ぎても、假名の無いカナしさは、斯ういふ變つた意味の文字に現はれて來るのである、亦た以て漢人が此島を閑却することの、年久しかりしを知るに足るのである、借て外來部族は斯く思ひ〳〵に命名して居るが、土著蕃人みづからは、何と稱しつゝあるであらうか今は僅に南半島の一角に止まるやうではあるが、ロンキォの名が殘つてある、隋の發見時代大業元年(605)に聽取て、之を文字に現はしたるが琉球であり、鄭氏經營時代永曆一九(1688)に聽取て之を文字に現はしたるが瑯嶠である、瑯嶠海上むかしながらの小琉球あるは、這般の消息を、おのづと物語るものではないか。(大正十一年二月擱筆)

長江感慨

ぼつり〳〵

G　S　生

七　何ぞ新聞政策を執らざる

新聞政策が對支政策上如何に必要であるかは支那内地に暫く足を留むるもの、直ちに思ひ及ぶ所であつて、某國等が之を以て愚民の心理を操り輿論の趨向を意の如くせんとしつゝあるに比し、我が國の之を等閑視し偶、貧弱な邦字新聞雜誌等あるも、一小天地で互に誹謗し中傷する位の仕事で、所詮支那人の輿論に與かる程の勢力は無は。支那人が事大思想に富み附和雷同を好み、言論を弄び辭令に巧みなことは新聞政策の等閑視すべからざる所以である。國家的の後援を得られないならば、須く各會社銀行等が合同して此等の方面に力を注ぎ、英字新聞なり漢字新聞なりを發刊し、國家的觀念を以て日支提携を唱導し、邦人の發展に資する樣永遠の策を建てることは、是れ軈ては各會社銀行其れ自身の大發展を促進

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する途に外ならない。

八　言論辭令の支那人

支那人は言論辭令に長じて居る。且つ外交的頭腦は仲々發達して居る樣だが、總て幼稚で拙劣で見え透いた事をやる。喧嘩を見るに多くは議論である。何と言つて居るのか良くは分らないが、兎に角激烈な口調で相手を痛快に罵倒するかの如き樣子で、その時の態度が又兩手を空中に打振り、頭を振り身振り足取り、果ては地團駄を踏む。相手が目の前に居ても之を毆ることをせぬ。對手は又此の言論に依る無形の痛罵に依つて非常に激興し、我々が毆られたよりもより以上に口惜しがるらしい、そこで又之に對する反駁的罵詈暴言を吐く。遂には相互が顔と顔とを距離正に二三寸に突き附けて、悲憤悲愴なる顔付で負けず劣らず名句を吐いて口論をやつて居る圖は我等の屢見受けた所で實に一偉觀である。又時には舟と舟とで船頭の喧嘩が始まる。五六間の距離だから勿論手出しは出來ない。こんな場合の言論戰と來たら又格別の壯觀で、身振り足取りは例の調子で加ふるに有り合せの捧片を以て自分の舟の屋臺を力に任せて打ち据ゑる。調子に乘つて來ると舟の屋根を見事に叩き壞す。茶舘と云つて茶飲み客が澤山集まる所がある。議論が盡きず互に勝負の數定まらぬ時には、遂に此の茶舘に行つて公衆の前で更に議論を再開する。以て茶舘客一同に審判をして貰ふ。要するに支那は言論の國である

新聞紙なるものが又唯の報道を普通の文章で正直に書いた丈けでは一向人氣が無い。一寸した事でも針小棒大に書き立て、悲憤慷慨し、刺激的挑發的な文句を連ねて置かなければ新聞紙たるの價値が無い。事實の不確實とか報導の不敏速等は左迄の權威に價せぬ。それ故新聞紙に排日記事を掲げるにも眞から國家の前途を思つて排日せざるべからずと言ふのでは無く、當時外界の形勢に乘し迅速に自家の勢力を發展せしめ、發行部數を擴張せんとする一種の商策上の立場から、熱烈なる文章を作るに都合良き樣事實を枉げて記事を構成する場合が多い。

我等は支那を研究するに當り、支那人の辭禮に巧みなる事を忘れてはならぬ。支那に赴任早々某督軍を訪問したことがある。その督軍は―後から分つたが少々「アルコール」を召して居た―日支親善の必要

を說き、兩國が一體となれば天下に恐る可きもの無く、兩國和親は目下の急務で、彼は一日たりとも是を思はぬ日は無い、と如何にも熱心に口角泡を飛ばして滔々と論じ立て、日支親善は彼一手販賣の主義であるかの如く見えたので自分は非常に感激した。所が彼は寧ろ排日主義者であること、その議論が唯一時の出放題の御世辭であつたこと、彼を訪問する時は常に同じ意味の出放題を言ふ事等を、後で人から聽かされて全く呆れてしまつた。又或る時ケー氏と共にある日本人を訪問して夜に入つて歸るので、その內の召し使ひの十歲位の支那人が提灯を持つて河岸迄送つて來たことがある。ケー氏が何程かのチツプを與へようとした時、彼は「不要々々」と如何にも自分は禮等は受けぬと云ふ殊勝な心掛けを示す樣に大聲で呶鳴つた。無論附近には客待ち「サムパン」の船頭や人足等が澤山居た。自分も之を見て仲々感心な者だなと思つて後でケー氏に話したところが氏は曰く「何あれが支那人の常套手段だよ、口では立派なことを言ひ乍らソツと提灯の陰から手を出して金は確かに受け取つて行つた。あんな小供でさへ奈邊の掛引きは實に甘いものだ」と云はれた

九　外人の學校病院政策を觀よ

學校病院政策も亦歐米人が巧みに利用して支那人を心服せしめつゝある所である。一般支那人が百の甘言よりも歐米人の一〇の美辭に對して、より多くの親しみを感じ、より大なる尊敬を拂ふのは、蓋し邦人の個人的德望の缺けて居る爲でもあらうが、尙歐米人が早くから是等慈善的博愛的美名の下に學校病院政策を利用して、彼の巧猾なる宣敎師輩が無智の民に施せる恩惠の至す所である。然るに現今支那在住外人中、數に於て第一位にある我國人が此等の施設に一向手を出さないのは何う云ふものか、病院の事業は慈善であつて、病苦から救ひ出されて危い一命が助かつたと云ふ事になれば如何に忘恩性の支那人でも之を信用するに至る事は又格別である。又憐れむべき孤兒を收容して立派に保育敎養し、手藝を敎へ自國語を授け、成長するに及んで男子には相當の生計の道を與へ、女兒は立派な家庭に嫁がしめる時、それ等の家庭は必ずや恩愛の羈絆に繋がれ、救主乃至救主の國に對し敬信の誠を表はすに相違ない

之が歐米人の這り口である。

十、日本留學生反感の三理由

我國に留學する幾千の支那學生が、日本遊學中に受けた冷遇に對する反感を、皈國の後勃發して邦人に不利なる態度を執るに至ることは、歐米留學生がその留學國を尊敬し、歸國後親歐米主義を皷吹するに至るのと比較して見る時、その結果に寒心すべき關係あるは言ふまでも無い。

支那は現在新舊思想の衝突時代であり、新思想が次第に舊思想を征服せんとしつゝあるが、その新思想は之れ總て歐米又は日本留學生が指導するものと云つて可い位であるから、留學生の勢力と云ふものを無視することは出來ない、而して日本留學生が日本に好意を持たないと云ふ事は如何にも不都合なことで、我國民一般の深く反省改善しなければならない所である。その原因には色々の事情があるだらうが、自分は次の三點を直接の近因と思ふ。第一彼等の遊學中日本人一般から受ける冷遇に對する反感、第二卒業歸國の後日本語を利用する事業に關與する機會なき事、第三支那に於ける英語の勢力偉大にして日本語の價値無き事等である。支那人が日常の起居やら食物乃至風俗言語の異なる日本へ行つて窮屈な目に合ひ、不自由を忍んで勉學するに際し、下宿屋からは特種扱ひされ、學校同僚からは疎外され、四つ五つの小供等にさへ「チャンコロ」の惡罵を浴せられる時、何うして良い氣持ちを持つて歸れやう。我等は憐むべく親しむべき彼等留學生に滿腔の同情を捧げると共に切に我國民の覺醒を望んで止まない。

支那在住邦人が非常な數であり、隨分各種の事業をやつて居ながら、支那人の留日學生を利用する事を殆んどしないのは何ういふものか。日本の會社商店銀行等では支店長から店員に至る迄、一切日本人計りを使つて居る。此れで仕事が出來ると云ふ事は邦人の一大特點であるが、又一方から云ふと大なる缺點と見ることが出來る。誰でも自分が知つて居る語學を活用し得る地位に就き度いと云ふのは自然の情であつて、若し彼等留學生が歸國後日本語を使つて勤める職業に在り附き得るならば、定めて現狀とは全然異なつた對日感情を持つ樣になるであらう。けれ共彼等には今では日本語の有難味が少しも無い。從つて日本語を輕視し、折角流暢に話せた者も次第

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に忘れて行く。又日本文も殆んど見る機會が無いから此又不知不識の間に縁遠くなつて、總て日本語なるものに沒交渉となり、隨つて我日本國をも輕蔑する樣になる。

十一　支那は英語化せり

然るに英語を解するものは極めて有利な事業に有り附く事が出來る。少し英語の讀み書きが出來れば、歐米人の會社や商店に傭はれる。郵便電信局員や船員等さへ英語か出來なければ仕事が出來ない。殊に戰後の新世界に於て英米二國の勢力が政治的にも經濟的にも益々著しく增大すべき事は明かな處であつて、從つて英語の勢力範圍は一層擴大せられるに至るべく、而して語學の侵入は精神的一種偉大なる征服力を伴隨するものであつて、殊に相互の國力及文化程度の懸隔が大なる程、征服力は偉大なる效果を表はすもので、支那に於ける英語の如きは好適例である。最近に於ける支那人は異狀なる速度を以て英語化されつゝある。

支那學生のある者は曰く「上海の支那人は素より、天津北京及び南方重要都市が英語化されつゝあるは驚くべき程である。識者青年の英語に熟達して居るのは勿論、小學校に通學する十歳前後の兒童は已に自由に英語を使用して用を辨じ、外人の小供の間に接して嬉戲して居る有樣である。商人も勞働者も英語に熟達することを以て生存の一要素なりと考へる樣になつた。今後益此の傾向が強くなるであらう」と同文同種と稱して居ても支那ではこんな調子で同文の日本語は全く顧られて居ない現狀では心細い次第である。

十二　宗教家何ぞ奮はざる

支那に在つて痛切に遺感を感ずるのは耶蘇教の勢力に比較して我國の宗教家の無爲なることである。元來支那では儒教佛教が國教とされて居たのであつて、古來孔孟の教を以て立身治國の基幹とし、又名僧智者輩出して大寺院名刹を建立して民衆の信仰を集めて居たものである。然るに近世是等諸教は次第に衰微して又振はず、獨り耶蘇教の勢力は日と共に隆盛に向つて居る。之には種々の原因もあるであらうが、耶蘇教なるもの、教義が佛教等に比して文明的合理的である事と、之が傳導者の獻身的努力に加

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふるに信仰を與へる手段が學校病院等の慈善事業を利用して行はれる、と云ふ事が一大理由である樣に思はれる。日本に於ても近代青年で佛敎の熱心な信者と云ふものは殆んど見受けない。それでは日本人は宗敎心に乏しいかと云ふに耶蘇敎信者になつた者は皆深い信仰を持つ樣になる。我等は耶蘇敎を以て最も進步せる良宗と認定するのではないが少くも今の佛敎は我等が信仰すべく餘りに舊式である。文化が進むにつれて偶像崇拜宗では承知が出來なくなる。是非共現代の靑年にも信仰を與へ得る丈けの進步した宗敎を得たいものである。兎に角我國の宗敎は今に於て一大改革を斷行しなければ我國民は宗敎的に亡びるであらう。耶蘇敎を採るか、佛敎を現代的に改革するか。或は他の日蓮宗なり儒敎なり我等が合點し得るものを與へるか。我等は宗敎を以て日支兩國を結合し得るものと信ずる。彼我古來の宗敎的關係から言つても同文同種である點から言つても、之は我宗敎家の當に遂行せざるべからざる責務であり且つ特權ではあるまいか。醒めよ我が敬愛する宗敎家よ卿等の善男善女は實に日支五億の民衆ならずや

盤谷所見

總督府囑託　田澤震五

▲お寺の多い暹羅

佛敎は暹羅の國敎で、國王は法の守護者であるから國民の大多數は佛敎信者である。其の宗派は、「マハニカイ」派と「タマユチカー」派との二つに大別せられ、此の國の男子は、生涯中必ず一度は僧侶となるの慣習を有するを以て、お寺の數は殆んど萬を以て數へられ、坊主の數も十萬内外と稱せられて居る。盤谷でも、何方を見ても殆んどお寺許りと言つた風に、お寺の數が非常に多いのである。盤谷にあるお寺の、大きのになると、一寺の中に三百人からのお坊さんが居る處もある。此等の坊さん共は、皆一樣に黃色の衣を纏ふて居る。之れ即ち暹羅が「黃衣の國」とも唱はれて居る所以である。此の國の國民は、王樣や、政府の事よりも、お寺の方が大切でお寺の事とさへ言へば、其れこそ貧乏を質に置いても、隨喜の淚を流して喜捨すると言ふ。扨て是等のお寺を見物すると、木佛あり、金佛あり、或は又土

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

偶佛もあつた。金佛の中には黃金製のものもあつて、嘗ては日本人で此等の佛を持ち歸つて金儲けをした人もあつたと聞いたが現今では是等上等の佛樣は一々國寶として政府の帳簿に登錄せられ猥りに持ち出すことの出來ない樣に取締られる事になつたと言ふ。一々斯うしたお寺を見物して廻つたら、何年かゝる事か分らぬが、予は其の中代表的の二箇寺のみを見物した。一は國王所屬のもので之が建築材料の全部は、伊太利から態々取り寄せたと言ふ大理石で出來て居る。廻廊に竝列された金佛は、何れも身の丈け五尺許りな男女樣々の佛樣で、其の數は凡て五十體許りもあつたらうか、顏面表情等箇々實に巧みに現はされて居た。それから更に中央の佛殿に這入つて、驚いたのは、其の殿內の輪奐の美であつた。實に金銀珠玉を眩き迄に鏤めたる光景は之を華麗と評さうか、莊麗と言はうか。實地を見たものでないと、一寸想像がつかないであらうが、本尊佛の前面を廻らす欄干が、高さ二三呎、徑三吋程の瑪瑙の棒であつたと言へば、其の結構さの一斑を推察するに足るであらう。今一つの寺では、釋迦の寢像が本尊で長さ何十間、高さは三丈の余もあつたであらう、素敵に大きなものであつた。目下修繕中とやらで顏から肩のあたり丈け金箔がついて居たがあとは皆剝げて居た。

▲數億圓の盤谷の遊覽道路

盤谷の市街は左して感心した街でもないが、夫れでも暹羅には善過ぎるやうなものであるから足一歩郊外へ踏み出すと丸で天地が違つたやうで、外の國へでも一足飛びに飛んで來たのかと思はれる程、全然趣が違うのである。暹羅の遊覽道路と言へば、先王陛下が英國人の從遊に依つて造られた道路であると言うが、其れは三線道路になつて、中央が車道、兩側は人道に劃られて居る。車道と人道との中間に植ゑられた竝木は、タマリンドや其の他種々な樹種であるが、道筋が違ふと樹種も亦異つてゐる。道路は坦々砥の如く、それが單に一本道でなく、四通八達して、何れも鬱蒼たる街路樹に被はれ、恰も綠の隧道の樣である。此の下を自動車で飛ばす氣分は得も言へぬ好い心地である。予は嘗て爪哇の道路の立派なのに驚いたが、此所のは更に美しく、一層完全であつた。併し一度田舍に足を入れると、交通は多

く小舟で辨じられ、陸には道と言ふ道がなく、多くは馬背に依るの外策がないと聞いたが、只此の盤谷の遊覧道路丈けは素敵に立派なものである。但し之を建設する爲めに先王は英國から數億圓の借款をせられ、現政府は今日尚ほ此の借款の爲めに苦しんで居ると言ふ。

遙かに王宮も拜したが、其の屋根が種々の色彩で飾られてゐる工合など兎に角他國では一寸見られぬ圖であつた。

▲珍妙な暹羅の風俗

此の國の女が斷髪であるのに先づ一寸驚かされた一見男か女か區別が付かぬのである、角刈頭で水色か何かのサロンを、其のまゝに腰に捲くのではなく、前方の垂れを股の間から後方に持つて行き、背中の中央に挿んで居るのである。其の恰好たるや實に珍妙で、後方から見ると恰度六尺褌をしめた樣でもあり又お稻荷樣の前の白狐の尻尾を立てゝ居る樣である。女としては誠に見ともない風俗だ。如何なる別嬪でもこんな樣子をして居ては何んだか氣狂にでも接する樣な氣持がして頗る感じが惡い。此のサロンを捲く方法は男女共同一で、近來高襟な男子は上衣は多く白の洋服を用ゐて居るが、其の後姿でサロンの恰好を見ると愛想が盡きる。近來女子に於ても髪を長くし、又サロンを普通に捲くの風が大いに流行し出したと聞く。扨て、女子の斷髪に就いては次ぎのやうな傳説がある。昔時暹羅は隣邦カンボチヤと常に睨み合つて居たが、或る同暹羅の若者が悉く野に働きに出た不在中に、敵は機に乘じて攻め寄せて來た。城中では女子供許りで、頗る危なかつたが、中に一人の賢婦人が居て城内凡ての女子を其場に斷髪せしめ、武器を取つて一勢に城壁に出動せしめた所、男子の不在に乘じた積りの敵兵は案外にも多數の壯丁が現はれ出たのを見て不思議に思ひ、躊躇して居る間に暹羅の男子が歸つて來て大いに敵を打破つたと言ふ。爾來此の國の女子が斷髪の風を逐ふに到つたのださうである。

山田長政、其他の日本人が往時既に暹羅國と關係の深かつた話は、普く人の知る所であるから、予は茲に其等の事蹟を書く事は止めて置く。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣地方自治法令研究

臺灣地方自治法令の研究に就て

內務局內自治法令研究會

臺灣に地方自治制度の實施せられてより既に一年半を經過せり。此の間發布せられたる關係法令は決して鮮しとせす。而して其の規定する處、往々多岐錯綜を極むるものあるか爲、時には難解の點もあり、專問執務者をして尙亡羊の歎を發せしむるなき能はす。又地方自治團體は同時に一箇の獨立經濟團體たるの關係上、從來多く經驗せさりし豫算の編製及決算を要し、職を斯務に奉する者は今日尙多くの疑問を有せらるゝか如し。我等淺學菲才なりと雖、職を官府に奉するの關係上敢て自ら揣らす、同志を糾合して率先、此等自治法令及豫算決算の研究に當らむと欲し、本誌の餘白を借りて玆に其の研究を發表せんとす。事固より公務の餘暇に出てたるものにして十全を期すへからさるは勿論なりと雖、關係の法令通達及豫算決算事項中重要なる研究資料は成るへく此の一欄に掲け、併せて博く地方執務者の質疑に對し研究の結果を應答せむとす。蓋し斯の如きは臺灣の自治制度の促進に對し聊か貢獻せむとする我等同志の微衷に外ならす。地方自治團體の關係諸賢、冀くは我等の此の微意を諒せられ、自治法令及豫算決算に關する質疑は記名たると匿名たるとを擇はす。續々內務局內自治法令研究會宛寄せられむことを。

質疑應答

（問）豫算追加と豫算更正との區別如何

（答）豫算追加とは總豫算成立後に於て新科目を設置して其の金額を見積り又は既定科目の金額を增加する等要するに既定豫算の總金額を增額するを謂ひ豫算更正とは既定豫算の總金額の範圍內に於て各科目の金額を彼是增減するを謂ふ

（問）州稅、使用料、手數料の課率を增額せす單に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自然增收を財源として豫算の追加更正を爲すも協議會に諮問を要するや

（答） 課率を變更せされば稅金又は料金に增減なし從て問の如き場合は協議會へ附議するを要せずと存

（問） 豫算外の支出に對し款內項の金額を流用して支辨し得るや

（答） 豫算外の支出は豫備費を補充して支辨するは格別假令費目に剩餘金あるも之を以て流用支辨することを得ず

（問） 費目流用は年度內に限り之を爲すを要するや

（答） 費目流用は豫算の追加更正にあらず單に支出の方法に過ぎざれば年度を經過するも妨なし但し豫算は年度內に其の實行を要するの關係上流用に關する監督廳の認可は年度內に於て豫算實行前之を受けらるを要す

（問） 豫算不足の場合は費目流用して之を支辨すべきや將又豫備費を補充して支辨すべきや

（答） 豫算不足の場合に於て款內項以下の金額を流用して支辨するも將又豫備費を補充して支辨するも何等差支なし但し豫備費は博く豫算全體に通じ補充し得べきものなれば可成之を保留し先つ款內項以下の金額を流用して支出するを豫算の經理上便利なりと存ず

（問） 豫算に計上なき歲入は收入し得ざるや

（答） 歲入豫算は單純なる金錢の見積表にして何等拘束力なきものなれば豫算に計上なき歲入と雖之を收入するは何等妨なしと存ず但し之を收入するには收入科目の新設を爲し整理を要するは勿論なりとす

（問） 借地料の滯納者に對し滯納處分を爲し得るや

（答） 借地料の如き公課にあらざるものに對し所謂滯納處分を爲し得ざるものとす

（問） 不均一賦課と一部賦課との區別如何

（答） 不均一賦課とは住民の受くる利益の厚薄等に從ひ賦課の程度を異にしたる課稅を爲すを謂ひ一部賦課とは住民中利益を受くる數人又は一區域に限り課稅し他に及ばさゞるを謂ふ故に例へば住民全體を通じて戶稅を賦課し更に其の一部に對し戶稅を課する場合に於て此等の課稅を一課稅と看做すときは勿論不均一課稅なるも此の課稅は各々目的を異にしたる二箇の課稅なるか爲一部に課稅したる分を一部賦課と稱し其の取扱も一般課稅と區別するを要す

（問） 協議會へ諮問せずして理事者に於て專決し得

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る所謂急施を要し協議會へ諮問する暇なしと認むる場合とは如何なる場合なるや

（答）傳染病蔓延の時に於ける豫防費豫算又は非常災害に際し之か防禦費豫算を編成するが如き其の事件か一日二日を爭ふ最も狹義の場合を指稱したるものと存

（問）款內項の豫算更正は適當なるや

（答）款內項の金額は規定により之を流用支辨するを得れば敢て豫算を更正するの要なしと存

（問）金庫事務取扱の銀行より徵する州金の擔保は州金の全部に相當するものを徵すべきや將又一部相當のものにて可なるや

（答）州金の擔保は契約履行の保障として提供する保證金の如きものにあらずして萬一の場合に處する擔保なれば州金の全部を保障し得る擔保なるを要すと存

（問）協議會の會議を開くには會員の半數以上出席するを要するの規定に於て協議會定員奇數なる場合其の半數計算に生したる端數は一人として切上るや將又切捨るや例へば會員數三十五人の半數は十七人五なるに付十八人以上の出席者を要するの類なり

（答）協議會員の半數計算に生したる端數は總て一人として切上るを普通の計算例と存

（問）州制施行令第五十六條の繰越使用の經費は更に翌年度に繰越使用を爲し得るや

（答）豫算所屬の翌年度に限り繰越使用を爲し得べきものにして更に翌年度卽豫算所屬の翌々年度に繰越使用するは法の許さゞる處なり

（問）豫算外の義務の負擔とは如何なるものなるや二、三の例示を望む

（答）翌年度以降に係る雇外國人、借家、借地又は新聞雜誌の購讀等を今日に於て繼續して契約し又は今日に於て向二年以上繼續支出に係る補助若は寄附の指令を發する如きは世間普通の實例なり

（問）內地又は外國に於て生する生產は戶稅の賦課標準に算入するや

（答）日本の國籍を有せざる者の外國に於ける資產營業又は職業より生するもの竝州戶稅規則第十一條に該當するもの以外の生產は總て算入すべきものと存

（問）州制施行令第三十六條の免稅と戶稅規則第十三條の免稅とは其の意義を異にするや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（答）州制第三十六條の「免」とは一旦賦課したる州税則ち賦課の效力發生せる州税の徴收を特免するの意義なり之に反し戸税規則第十三條の「賦課セサルコト」とは課税外に置き初めより州税を賦課せざる所得不課税の規定にして全然其の意義を異にするものなり

（問）金庫事務取扱の銀行より徴する擔保は國債證劵に限るや

（答）地方自治團體に於て徴する擔保は國債に限らす地方債は勿論其他確實なる有價證劵なれば可なり但し營利會社の株式は價格の變動劇甚なるものなるに付成べく之を避くるを要す

（問）過怠金を徴したる場合は其の收入所屬如何

（答）知事の懲戒處分なるときは州歳入の雜收入中に收入すべきものとす

（問）州制第二十九條第一項の借入金中に借入の年度に於て償還すべき金額を算入して差支なきや

（答）借入の年度に償還すべき分は州制第二十九條第二項の一時借入金なれば同條第一項の借入金中より之を控除し手續を爲すべきものと存

（問）協議會員の任期二年は如何に計算するや

（答）任命の翌日より起算し翌々年の當該月日の前日に終る例へば大正九年十月一日に任命せられたる者は同十一年十月一日に於て任期滿了す卽曆に依り計算するものとす

（問）工事監督小屋其の他材料品格納小屋等の如き一時的假設物は不動産と認めざるや

（答）御見込の通と存

□マニラ市の改修事業と其經費

マニラ市の各種方面に亙る四箇年計畫の改修事業は今回ファーナンデッツ市長よりウッド總督に宛てたる書面に依れば、架橋、埋立、建築、街路其他雜費にて合計四、六〇二、五六四比（一比は我約九十八錢）の經費を要するものゝ如く之が爲め該計劃案提出に就ては市長は新税源の案出と一部税率の引上げを行はんとするの意あるものと觀測せらる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南支那及南洋其他
海外重要記事
臺灣總督官房調査課

(D. E I A. Dec. 10, 1921, Vol. IV, No. 69, P. 2193.)

蘭印對スエーデン商業關係

Commercial Relations between Sweden & Neth, India. (D. E I. A. Dec. 10, Vol. IV, No. 69, P. 2188.)

蘭印商業の宣傳

Propaganda for Indian Commerce. (D. E. I. A. Dec 25, 1921, Vol. IV, No. 70, P. 2201.)

濠洲の對東印度貿易

Australia Trade with the East. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2218.)

インドの砂糖栽培

Sugar-Growing in India. (T. T. E Nov. 1921, P. 312.)

蘭領東印度に於ける日本の護謨栽培と產業

Japanese Rubber Cultivation and Industry in the Dutch East India. (D. E I. A Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2221.)

蘭領東印度の絹業

Silk Industry in the Dutch East India. (D E I A. Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2223.)

蘭印對米國關係

The Indo-American Relation. (D. E I. A. Dec. 25, 1921, Vol. IV, No. 70, P. 2202.)

ジヤワの富

The Wealth of Java. (T. d. I. No Dec. 6, 1921, P. VIII.)

ジヤワに於て發見せる原人

- in Urmenschen-Fund auf Java. (D E Dec. 8, 1921, Nr. 2204 (37) P. 3934.)

—:前號の續:—

新聞雜誌略號一覽表

C. P.	China Press.
D. E I. A.	Dutch East India Archipelago.
E.	Economist.
D. E.	Das Echo.
E. E.	L'Eveil Economique.
J. C.	Journal of Commerce de L'Indochine.
M. T.	Manila Times.
N. M. R.	National Municipal Review.
N. S.	New Statesman.
Ol.	Outlook.
R. F. E.	Review of Far East.
R I.	Le Revue Indochinoise.
S.	Statist.
S. A.	Scientific American, Monthly.
Stm.	Statesman.
T. d.	Times, London, daily.
T. d. I. No.	do. Indian Number.
T. E. S.	Times, Educational Supplement.
T. T. E.	Times, Trade Supplement, Engineering Section.
T. T. S.	Times, Trade Supplement.
W. W.	World's Work.

南洋諸島

蘭領東印度諸島及ニユーギニア

東印度の諸問題

East India Problems. (T. d. Dec. 6, 1921, P. VIII.)

蘭領東印度に於ける婦人

Die Frau in Niederlandisch-Indien. (D. E Dec. 15, 1921, Nr. 2005, P. 4017.)

蘭印に於ける日本人

The Japanese in Neth. India. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol IV, No. 71, P. 2217.)

蘭領東印度の貿易不況

Trade Depression in the Dutch East India.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スマトラ煙草に對する米人の觀察
An American's Views on Sumatra Tobacco. (D. E. I. A. Dec. 25, 1921, Vol. IV. No. 70, P. 2210.)

スマトラの發達
The Development of Sumatra. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2220.)

セレベスの農業及產業
Agriculture and Industry in Celebes. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2220.)

獨領ニューギニアの衰滅
Der Niedergang Deutch-Neu-Guineas. (D. E. Dec. 8, 1921, Nr. 2004 (37) P. 3333.)

オーストラリア

濠洲の輸出管理
Australian Exports-Stringent Regulations (T. T. S. Dec. 17, 1921, Vol. IX, No. 180, P. 265.)

濠洲の機會
Australia's Opportunity. (T. d. Dec. 20. 1921. No. 42908, P. 11.)

濠洲內閣の改造
Australian Cabinet Reconstructed. (T. d. Dec. 22, 1921, No. 42910, P. 9.)

濠洲の對外貿易
Australia's External Trade; Seeking Fresh Markets. (T. T. S. Dec. 24, 1921, Vol. IX, No. 181, P. 285.)

豐富なる石膏及褐炭の鑛床を有する南濠洲
Gypsum and Lignite Rich South Australian Deposits. (T. T. S. Dec. 24, 1921, Vol. IX, No. 181, P. 285.)

空疎なる大陸と移民政策(濠洲)
The Empty Continent Unity in Emigration Policy. (T. d. Dec. 27, 1921, No. 42912, P. 5.)

空疎なる濠洲

ジャワ民のスマトラ移住
Migration of Javanese to Sumatra. (D. E. I. A. Dec. 25, 1921, Vol. IV, No. 70, P. 2204.)

ジャワ土民勞働者
The Native Workmen. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2224.)

ノースクリフ卿の來爪
Lord Northcriffe in Java (D. E. I. A. Dec. 10, 1921, Vol. IV, No. 69, P. 2190.)

ジャワの織物
Textile Goods in Java. (D. E. I. A. Dec. 10, 1921, Vol. IV, No. 69, P. 2194.)

棉花栽培
The Cotton Culture. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol IV, No. 71, P. 2222.)

ジャワ及スマトラの種茶飼育所
Tea Seed Nurseries of Java & Sumatra. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2222.)

護謨と茶の現在と將來
Positon and Prospects of Rubber & Tea. (D. E. I. A. Jan. 10, 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2221.)

濠洲貿易代表團
Australian Trade Delegation. (D. E. I. A. Dec. 25, 1921, Vol. IV, No. 70, P. 2203.)

日本の蘭國及蘭印貿易
Japanese Trade with Holland & the Neth. Indies. (D. E. I. A. Dec. 25, 1921, Nol. IV, No. 70, P. 2210.)

ジャワ鐵道の電化
Electrificaton of Railways. (D. E. I. A. Dec. 10, 1921, Vol. IV, No. 69, P. 2197.)

マヅーラ島民の商業
The Native Trade in Madura. (D. E. I. A. Jan. 1922, Vol. IV, No. 71, P. 2219.)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

partment. (T. E. S. Dec. 31, 1921, No. 350, P. 584.)

歐洲

一般

賠償と失業

Reparation and Unemployment. (T. d. Nov. 17, 1921, No. 40880, P. 10.)

歐洲の恢復

The Restoration of Europe. (T. d. Nov. 28, 1921, No. 42889, P. 11.)

歐洲の財政

Finances of Europe. (Stm. Dec. 21, 1921, P. 7.)

歐洲の砂糖生產復舊

Europe's Recovery in Sugar Producting. (J. C. Dec. 24, 1921, Vol. 113, No. 8662, P. 11.)

佛 伊 白

佛國に於ける鮭の養殖

Salmon Culture in France. (T. d. Nov. 19, 1921, No. 42882, P. 9.)

佛國鐵道運賃改正

French Railway Rate Revision. (T. T. S. Dec. 24, 1921, Vol. IX, No 181, P. 287.)

佛國の海外貿易(一九二一年十一月末日迄)

French Foreign Trade. (S. Dec. 24, 1921, Vol. XCVIII, No. 2287, P. 1121.)

伊國對獨貿易の增進

Italy's Trade with Germany: Great Improvement. (T. T. S. Dec. 24, 1921. Vol. IX, No. 18 , P. 287.)

ベルジユームの石炭缺乏

Shortage of Belgian Coal. (T. T. S. Dec. 24, 1921, Vol. IX, No. 181, P. 286.)

ベルジユーム鋼鐵業の進步

Advance in Belgian Iron & Steel. (T. T. S. Dec. 31, 1921, Vol. IX, No. 182, P.

Empty Australia. (T. d. Dec. 29, 1921, No. 42915, P. 10.)

西部濠洲產業開發を目的とする開發評議會の新設

Western Australian Industries; Development Council Formed. (T. T. S. Dec. 31, 1921, Vol. IX, No. 182, P. 305.)

濠洲租稅に關する聯邦委員會の提案

Australian Taxation Meth d; Royal Commissions Proposals. (T. T. S. Dec. 31, 1921, Vol. IX, No. 182, P. 303.)

濠洲に於ける銀行の合同

The Latest Australian Fusion, Banking Notes. (T. T. S. Dec. 32, 1921, Vol. IX, No. 182, P. 302.)

タスマニアの水力電氣計畫

Tasmanian Hydro-Electric Undertaking. (T. T. S. Dec. 32, 1921, Vol. IX, No. 182, P. 305.)

西部濠洲の硝子

Western Australian Glass (T. T. S. Dec. 31, 1921, Vol. IX, No. 181, P. 305.)

ニユージーランド

ニユージーランドの觀たる華府會議

New Zealand Views of Conference. (T. d. Nov. 15, 1921, No. 42878, P. 9.)

ニユージーランドの水電計畫

Hydro-electric Plans in New Zealand. (T. T. E. Dec. 17, 1921, P. 337.)

ニユージーランド改正關稅

Revised New Zealand Tariff. (T. T. S. Dec. 24, 1921, Vol. IX, No. 181, P. 285.)

ニユージーランドの獸肉管理

Trade Reguration: New Zealand Meat Control. (T, T. S. Dec. 24, 1921, Vol. IX, No. 181, P, 296.)

ニユージーランド教育部の報告

New Zealand; Report of the Education De-

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Water-power for British Industry. (S. Dec. 17, 1921, Vol. XCVIII, No. 2286, P. 1075.)

英國の資産たる錫鑛
Tin Ores; An Imperial Asset. (S. Dec. 24, 1921, Vol. XCVIII. No. 2287, P. 1130.)

英國のドイツ投賣妨止策
Protest against German Dumping; Opening of Official Inquiry, Fabric Gloves & Glassware. (T. T. S. Dec. 17, 1921, Vol. IX, No. 180, P. 271.)

十一月の海外貿易(英)
Overseas Trade in November 1921. (E. Dec. 17, 1921, Vol. XCIII, No. 4086, P. 1057.)

英國領事と貿易
British Consuls and Trade. (T. d Dec. 30, 1921, No. 42915, P. 9.)

日本實業代表團
Japanese Commerce Mission. (T. d Dec. 21, 1921. No. 42909, P. 13.)

日本實業團の見學
Japanese Trade Mission. (T. d. Dec. 21, 1921, No. 42909, P. 14.)

日英の交誼(ロンドンに於ける日本實業團)
Anglo-Japanese Friendship, Business Mission in the City. (London) (T. d. Dec. 29, 1921, No. 42915, P. 10.)

ロンドン及シドニー間航空郵便
An Empire Air Mail from London to Sydney. (T. d Nov. 8, 1921, No. 42872, P. 13.)

アイルランド問題協約の條目
Full Text of the Agreement. (Conference on Ireland.) (T. d. Dec. 7, 1921, No. 42897, P. 1.)

アイルランドの對イングランドに於ける對等地位
The New Equality of England & Ireland. (N. S. Dec. 24, 1921, Vol. XVIII, No. 306.)

イギリス

英國統治と印度の混亂
British Raj and Troubled India. by P. W. Wilson. (Ol. Dec. 28, 1921, P. 698.)

駐外英國領事に對するノースクリフ卿の批判
Our Consular Services, Northcliffe's Criticism. (T. d Dec. 27, 1921, No. 42913, P. 9.)

駐外英國領事の職責
Our Consular Services. (T. d Dec. 28, 1921, No. 42914, P. 9.)

領事の職責
The Consular Services. (T. d. Dec. 28, 1921, No. 42914, P. 9.)

駐外英國領事の職責
Our Consular Services. (Td. Dec. 29, 1921, No. 42915, P. 9.)

一親友の觀たるロイド、ジョーヂ論
An Intimate View of Lloyd George. (W. W. Jan. 1922, Vol. XLIII, No. 3, P. 252.) P. W. Wilson.

戰時の英國海運
British Shipping in The War. (T. T. S. Nov. 1921, P. 317.)

一九二二年度英國造船界及船舶界大觀
Shipbuilding & Shipping Outlook for 1922. (S. Dec. Dec. 17, 1921, Vol. XCVIII, No. 2286, P. 1074.)

英國産業界のトラスト運動(一)
The Trust Movement in British Industry. (S. Dec. 10, 1921, Vol. XCVIII, No. 2285, P. 860.)

英國勞働組合の努力
The Strain of The Trade Union. (N. S. Dec. 24, 1921, Vol. XVIII, No. 454, P. 339.)

英國工業に要する水力

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

More Time is given to Germany to meet Debts. (C. P. Jan. 15, 1922, P. 1.)

ドイツ化學藥品貿易

German Chemical Trade. (T. T. S. Dec. 31, 1921, Vol. IX, No. 182, P. 306.)

獨印貿易の躍進

Indian & Germany; Rapidly Advancing Trade (T. T. S. Dec. 31, 1921, Vol. IX, No. 182, P. 304.)

オーストリーの窮乏

Oesterreichs Not. (D. E Dec. 15, 1921, Nr. 2005. (38) P. 4007.)

ロシア及チェッコスロヴーク

ロシアの形勢

The Plight of Russia, by J. P. Goodrich. (Ol. Jan. 11, 1922, P. 66.)

明日のロシア

The Russia of To-morrow, by N. D. Avksentiev. (Ol. Jan. 11, 1922, P. 69.)

チェッコスロヴークの對露貿易

Czecho-Slovak Trade with Russia. (T. T. S. Dec. 24, 1921, Vol. IX, No, 181, P. 287.)

■ ア フ リ カ ■

エヂプト其他一般

エヂプトの危機

The Egyptian Crisis. (T. d. Nov 21, 1921, No. 42883, P. 11.)

エヂプトの擾亂

The Trouble in Egypt. (T. d. Dec. 27, 1921, No. 42913. P. 8.)

エヂプトの擾亂

The Troubles in Egypt. (T. d. Dec. 29, 1921, No. 42915, P. 9.)

エヂプトの不安

Egypt Unrest. (T. d. Dec. 29, 1921, No. 42915, P. 10.)

454, P. 336.)

ドイツ及オーストリー

ドイツ化學工業の脅威

Bedrohung der Deutschen Chemischen Industrie. (D. E Dec. 1, 1921, Nr. 2003 (36) P. 3831.)

ドイツ都市の財政窮乏

Das Finanzelend der Deutschen Staedte. (E. E Dec 8, 1921, Nr. 2004 (37) P. 3932.)

ドイツの自由港開設希望

Der Wunsch nach den Freihafen. by Dr. R. Endmann. (D E Dec, 8, 1921, Nr. 2004 (37) P. 3950)

ドイツ化學工業に對する爭鬪

Der Kampf gegen die Deutsche Chemische Industrie (D. E Dec. 8, 1921, Nr. 2004, (37) P. 3952.)

ドイツ鋼鐵業の殷盛

German Iron & Steel Boom; Further Expressioions in Engineering Works. (T. T. S. Dec. 17, 1921, Vol. IX, No. 180, P. 266.)

ドイツの人口

Deutschlands Bevoelkerung (D. E. Dec. 22, 1921, Nr. 2006 (39) P. 4105.)

八ノ十月間(一九二一年)のドイツ對外貿易

Der Deutsche Aussenhandel vom August bis Oktober. (D. E Dec. 15, 1921, Nr. 2005. (38) P. 4035.)

マルクとドイツの海外貿易

The Mark & German Foreign Trade. (J. C. Dec. 24, 1921, Vol. 113, No. 8662, P. 6.)

ドイツの都邑に於ける危機

The Critical State of the German Towns. (N. S. Dec. 24, 1921, Vol. XVIII, No. 454, P. 340.)

ドイツの債務履行更に延期

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

R. Jan. 1922, Vol. XI, No. 1, P. 27.)

シカゴに於ける森林保存法
Chicogo's Remarkable System of Forest Preserves, by Robert H. Moulton. (Ol. Jan. 4, 1922, P. 26.)

一九二〇年カナダ漁業の減獲
Canada's Fisories; Reduced Yield in 1920, (T. T. S. Dec. 31, 31, 1921, Vol. IX. No. 182, P. 304.)

米國の燃料資源
America's Fuel Resources, Robort G. Skerrett. (S. A. Feb, 1922, P. 86.)

アラスカ鑛產の富
Mineral Wealth of Alaska. (T. T. E. Dec. 17, 1921, P. 339.)

アメリカ諸邦對外貿易の進暢
The Growth of Foreign Trade of the Nations of America. (E. Dec. 24, 1921, Vol. XCIII, No. 4086, P. 1152.)

中　　南　　米

メキシコ鐵道の收入
Mexican Railway. (S. Dec. 24, 1921, Vol. XCVIII, No. 2287, P. 1118.)

ブラジルの機械業
Engineering Works in Brazil. (T. T. E Nov. 1921, P. 315.)

南米の製紙業
Paper-making in South America. (T. T. E. Nov. 1921, P. 315.)

ペルーの鑛業法
Mining Code of Peru. (T. T. E Dec. 17, 1921, P. 339.)

ペルーの石炭埋藏量
Peru's Coal Deposit. (S. Dec. 24, 1921, Vol. XCVIII, No. 2287, P. 1123.)

アルゼンチンの水力
Water Power in Argentina. (T. T. E Dec 17, 1921, P. 339.)

アフリカの鐵道布設
Railway Buildings in Africa. (T. T. E. Nov. 1921, P. 313.)

獨人と南阿聯合
Die Deutschen und die Zud-Afrikanischen Union. (D. E. Dec. 8, 1921, Nr. 2004 (37) P. 3932.)

■ 南　米　大　陸 ■

北米合衆國及カナダ

米國の電話事業
Telephone Line Work in America, (T. T. S. Nov. 1921, P. 307.)

ハーデング大統領の對議會教書全文
Pres. Harding's Complete Text of Message to Congress. (J. C. Dec. 17, 1921, Vol. 113, No. 8647, P. 3.)

英炭の合衆國市場侵入
Welsh Coal Winning U. S. Market. (J. C. Dec. 17, 1921, Vol. 113, 8656, P. 1.)

カンサスとシカゴに於ける同盟罷業
Strike News from Kansas & Chicago. (Ol. Dec. 28, 1921, P. 680.)

北米合衆國郵便事業の發達と郵便貯金計畫
Post Office Progress in U. S. A. New Saving Bank Scheme, (T. T. S. Dec. 31, 1921, Vol. IX, No. 182, P. 306.)

ニューヨーク州下二郡に於ける地方自治
Home Rule for two New York Counties, by Robert Moses. (N. M. R. Jan. 1922, Vol. XI, No. 1, P. 5.)

ニューヨーク市管理に要する新收入（財源委員の報告）
New Revenues for City Government; Report of Committee on Sources of Revenue. (N. M. R. Jan. 1922, Vol. XI, No. 1, P. 7.)

北米合衆國に於ける都市經營論
A Review of City Planning in the U. S. 1920-1921, by Theodor Kimball. (N. M.

詞苑

壬戌舊花朝瀛社創立十五週年紀念作　洪以南

十五年前當此日。盟成瀛社逸園開。逸園亭榭今何處。瀛社鷗盟舊有才。大雅共扶望桃竹。群英聚會契岑苔。吟餘笑爲百花壽。速合千秋酒一杯。

祝瀛社十五週年　陽歐　兆璜

海國文章幾夕陽。幸從瀛社吐光芒。一聲提倡全臺應。諷詠謳吟步有唐。一週憶昔會龍山。屈指年華十四彈。欣我同人多健在。還期卅載更聯歡。

瀛社十五週年賦誌　倪炳煌

憶昔花朝節。聯吟賦柏梁。詩盟猶繼續。人世幾滄桑。韶華千秋任。文光萬丈長。閱年經十五。祝酒共傾觴。

張家坤

百花香氣滿樓臺。十五年逢勝會開。驚聞忽傳今昔感。依然故我幾追陪。

祝瀛社十五年紀念　鄭永南

百花稱壽日。瀛社紀元時。十五年如駛。三千客詠詩。樓臺供嘯傲。身世感推移。桃竹聯兄弟。同傾酒一巵。

祝瀛社十五週年並謝諸君子　逸霄　王子鶴

騷壇旗鼓喜重張。十五年前仿柏梁。兩度花朝增韻事。一時仙侶詠霓裳。青霞白雪追濂洛。翻鳳探螭溯漢唐。我愧無緣陪末席。心香遙自祝餘慶。風騷壇坫命耆英。重續當年鷗鷺盟。四座同傾欣酒熟。百花競放賦春晴。定多謝眺驚人句。應有孫郎擲地聲。腸斷江湖時作客。擷香低首葵傾同。

黃水沛

舊題記詠閏花朝。春好鏞瀛筆共描。島外十年征戰苦。吟邊幾見李桃夭。波雞人海鷗猶戲。語傍珠簾燕亦嬌。何不文場傷久困。功名無分羨班超。

吉岡知事視察敝會惠金感呈一律申謝悃　鄭國樹

廉泉清見底。冠冕鎮南州。施政如膏霖。同仁視海陬。來官談亦々。爭聽感優々。更受兼金餽。情深愧莫酬。

春日遊北郭園　澤谷　星樹

帶草堂開北郭園。巍然亭古跡猶存。我來將及花生日。入座春風笑語溫。

謁臺灣神社

鯤海長留百世名。巍然廟貌北宮清。斜陽松響爽吟關。回首當年萬感生。

題倣浪吟草　劉振傳

浪跡乘槎去。中原萬里遊。片山如太古。風景入新秋。酒奠瑩諸葉。詩吟王粲樓。此行眞不負。佳句錦囊收。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

敬次星橋詞兄見過瑤韻　鄭幼香

小壺天外避喧園。三徑就荒松菊存。今日論交重話舊。一樽酒為故人溫。
筵開北郭小林園。帶草家風愧尚存。風雅如君能有幾。才名不讓八叉溫。

招學愚出山過新店渡　王少濤

出山攜手共談心。樹影模糊月色陰。閱盡許多人事幻。千秋不改此灘音。

漫遊紀錄　鵠仙　王寶藏

延平郡王祠觀梅

香凝南國自漫々。數點寒梅最可誇。骨瘦難開紅杏蕊。長依國姓插双欄。

入關子嶺途次作示忠滿弟

躑躅長途客思深、亂山過盡又叢林。風光到處皆堪賞。却笑窮途阮籍心。

家居自適

數椽老屋敝風塵。舞劍彈琴此樂身。棠棣方榮欣孝友。萱椿正茂喜慈仁。
閑中剪韭留佳客。墻下蒔花得好春。莫道爭名與爭利。繁華富貴等秋塵。

送蔡庄長乃誠東渡觀光　蔡如生

內國風光快壯遊。錦帆破浪渡神州。正逢吉野櫻花盛。著意選君眼底收。
飄然借劍問扶桑。蓬嶽琶湖入望長。恨我無緣難附驥。心香一瓣祝安康。

同上　周水生

健翮鵬飛萬里遙。未能附驥愧無聊。神州三月櫻花燦。折寄一枝慰寂寥。
上國觀光壯遠遊。錦帆春水向神州。此行藏有江淹筆。好寫蓬萊景色幽。

同上　蔡清容

閱歷滄桑志不休。會逢博覽上神州。櫻花萬朵華成錦。笑逐行旌快壯遊。
桃花逐浪片蓬飛。萬里觀光志不違。風月都城憑手記。新詩如錦滿囊歸。

同上　粘維澄

欲覽風光晉帝州。忍拋鷗鷺別家樓。多君具有逍遙志。不到崗山不肯休。
東渡觀光萬里遊。乘風破浪到神州。名區勝跡君須記。到處新詩速寄郵。

同上　吳標

班生快意海東遊。萬頃波濤一葉舟。此去前程山水好。風光無限錦囊收。
唱驪能歌惜別情。梅花香裡送文旌。此行莫患無鷗鷺。知己欣迎滿帝京。

同上　蔡自明

多年宦海拔群英。得意觀光上帝京。此去清風香嫋袖。歸來詩錦滿囊盛。
三載陽關萬里遙。旌歌數處過雲飛。前程且喜多鷗侶。酬唱新詩去復歸。

同上　王老清

輕舟一葉渡蓬萊。萬里觀光眼界開。聞道東京名勝地。遊人任發莫徘徊。
春風花雨送征塵。一棹仙槎入攝津。遙憶行經櫻井驛。知君應弔故忠臣。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

臺灣に於ける藥用植物

臺灣藥友會の社會奉仕的な最も新しい試みとして三月五日の日曜日、北投の自然界を利用した野外供覽會（アウト、ドア、デモンストレーシヨン）を催した事は本誌の時報欄にも掲げてあるが、當日は日曜にも拘はらず朝來の曇天に午前の中は大した人出も無く、北投の溪谷地は最もしめやかに却て俗塵を拂つたやうな心地もせられた。新北投驛を下りると早や眼の前にエナメル塗りの立札が其所此處の樹間に見えて、觀覽者の數がチラホラと眼に入る。驛前の廣場から左へ公共俗場の前を行くと、山腹や路の側に例の說明札が立てられて一木一草皆な是れ貴重な藥學上の資料たるを知ることが出來る。地獄谷から星の湯、養生館下、偕行社から松濤園に至る迄、隨所の草木竹石が意外の藥用藥品たるを敎へられて科學的興味をゆ覺ることが尠くない。參考の爲に其の中の數十を擧げて見ると。

草木の名	藥用となる部分
ばんじらう	葉
ぶつさう花	花
げつきつ	葉、根、皮
がづまる	氣根
せんたん	葉は書籍に挿むべく、果皮根は煎じて害蟲を驅除すべし
あかう（榕）	葉
みさほの木（キナの類）皮	
なんきんはぜ	果は油と蠟を取るべく皮は藥用とすべし
てんにんぐわ	葉、根
しゆろ	皮、實
うすべににがな	葉
ちゝこぐされごき	葉、莖
くちなし	實
そばのはつた	葉、根
もみぢばわさがほ	根はコンフオルプリシ
にほびたぶ（楠）	皮
たいわんゑのき	葉、皮、果實
のあざみ	根
ゐのこづち	根、莖
しろばなのせんだんぐさ	根
めなもみ	豨薟と云ふ漢藥
のぼたん	根、幹
蓬萊うめもどき	葉
臺灣いちご	莖、根
しらたまかづら	同
ほうらいむらさき	葉
きんごじくわ	莖、葉
あかめがしわ	葉
ひさつばはぎ	根
しまくわ	
はすのはかづら	
しさう	葉、皮、根
かぢの木	實は若返りの藥
たいわんぼたんづる	葉
ふう（楓）	樹脂は楓香脂又は白膠香とて貴重な漢藥、若葉は香料、葉はテグスを取る蠶を飼ふべし
にしきはりなすび	根

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もゝ(桃)	葉、核
なかはらつゞじ	莖
ほらしのぶ	葉、根、莖
香水がや	根は藥、葉より香料を取る
ひかげのかづら	石松子と云ふ藥を取る
りんさう	花から香料を取る
げつたう	香油を取る、根と葉は藥用
てりばざんせう	莖、葉
さんきらい(山歸來)	土茯苓
むらさきなつふぢ	莖、根
りうきあをき	根、葉
いんさがんぴ	葉、根
たましだ	球、塊、莖
かきばかんこのき	葉
やきもち石	古昔藥劑とす
ひらみかんこ	葉
からすさんせう	莖、葉
ざぼん	花から香水を取る
まきばくさぎ	根
あをつゞらふぢ	根、莖

觀來れば北投の一小區域尙は藥用植物の取つて以て人間に益すべきもの如何に多きかを思うて感興自から湧き來るのを覺える

講演の數々

臺南同志會は二月十九日臺南公館に於いて講演會開催▼二月二十五日心友會創立紀念講演會を臺北陸軍偕行社に開く▼臺北獸醫畜產學會は二十五日陸軍偕行社に講演會を開く▼大每野球團其他一行の講演會は一十六日榮座に於て開かる▼臺灣農友會の地方講演會は十一日臺中に開かる▼三月四日組合教會に於いて原口竹次郎氏の南遊雜感と題する講演あり▼七日日本基督教會に於て賀川春子女史のイエスの女弟子と題する講演ありたり

諸集會

高等商業校友會言論部主催學生辯論大會は二月十八日城西小學校に開かる▼十九日總督府に於てポスター展覽會を開く▼臺南酒造業協議會は十八日臺南公館に開かる▼製糖研究會は十八日臺南公館に開かる▼臺灣醫學例會は二十五日臺北醫院講堂に開かる▼二十五日嘉義郡巡查教習所に於て嘉南大圳總會開催▼臺灣藥友會は三月四日江山樓に總會を開く▼各街團體長會議は三月一日西門會事務所に開かる▼臺北州立第一高女校は三月三日尙齒會を開く▼教育會主催國語演習大會は五日臺北師範學校に開かる四日總督府に於て臺北市の町名改正會議を開く

編輯雜記

▼エム氏廣東香港の視察を了へて歸り、彼地の本情を語る詳かなり、船員盟休が一般の同情罷工となり、市場は閉鎖せられ、兵士がピストル片手に獸肉の切り賣りを爲せし狀態、戰時そのまゝなりしと。又た廣東には六萬人の勞働者あり、問題解決の日、交涉委員の歸廣を歡迎せる騷ぎは實に非常なものなりしと、談頗る實情を得たり

▼オー氏大新尖山を踏査し旅囊頗る重しとの報あり歸北の日の家つごを待つ。

▼水越委員堤委員去月中上京せらる。

臺灣日誌

二月

▼十七日

□臺灣神社祈年祭　同社にて執行、幣帛供進使總督代理として末松内務局長參向す

▼十九日

□ポスター展覽會　東洋協會の事業援助の爲め募集したる平和博出陳臺灣宣傳ポスターの展覽會を總督府内に開く

三月

▼四日

□町名改正會議　臺北市の町名改正準備に就き總督府に會議を開く

▼五日

□全島國語演習大會　臺灣教育會主催同會を臺北師範學校に開く

□野外供覽會　臺灣藥友會主催野外供覽會（アウト、ドア、デモンストレーション）を北投に催す

▼六日

□献穀田田植祭　臺北州七星郡士林庄有留員山仔脚なる新嘗祭献穀田に於て田植祭を執行す

▼十日

□陸軍記念日祝賀會　臺北偕行社に於て官民合同開催

人事消息

▼角源泉氏　二月十七日上京

▼川崎卓吉氏　二月二十日在上京中名古屋市長に任ぜらる

▼吉田平吾　二十一日上京、三月七日歸臺

▼倉岡彦助氏（醫學博士）　上京中三月十三日臺北醫院長に任ぜらる

▼藤生誠之氏　四日歸臺

▼後宮信太郎氏　七日歸臺

▼三村三平氏　七日上京

▼岡本農學博士（前臺灣總督府技師）　本島各地視察の爲め七日來臺

▼高橋信吉氏　十日内地へ出張

▼花井卓藏氏　十一日刑事々件辯護の爲め來臺

▼大島久太郎氏　十一日歸臺

任命

大正十一年二月中

▼一月三十日

總督府技手　佐藤通橋

任總督府技師土木局勤務ヲ命ス

總督府屬　篠原早一郎

任州理事官、臺北州内務部勤務ヲ命ス

▼一月三十一日

總督府技師　野呂寧

參事官　鼓包美

醫院藥局長　鹿沼留吉

（各通）

上京ヲ命ス

内務局長　末松偕一郎

總務長官賀來佐賀太郎不在中代理ヲ命ス

▼二月二日

法院檢察官　芝沼榮作

補臺南地方法院檢察官

法院檢察官　中山孝一

補臺北地方法院新竹支部檢察官

▼二月三日

專賣局書記兼總督府屬　花香伯貢

任專賣局腦務監督官

▼一月三十一日

醫院藥局長　鹿沼留吉

東京、京都及大阪ノ三府下へ出張ヲ命ス

▼二月三日

土井季太郎

任總督府技師、殖産局糖務課勤務ヲ命ス

▼二月五日

州警視　杉本[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京及鹿兒島ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス

▼二月六日

州警視　赤堀鐵吉

臺南州警務部理蕃課長兼務ヲ命ス

▼二月七日

事務官　川村直岡

内務局地理課長野呂寧不在中代理ヲ命ス

▼二月八日

中央研究所技師　萩原昌二

支那廣東、福建、江蘇、安徽、湖北ノ各省及英領香港ヘ出張ヲ命ス

▼二月十日

醫學專門學校教授　津田誠次

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

▼二月十三日

州技師　中谷哲二

東京、兵庫、長崎、静岡、山口及高知ノ一府五縣下ヘ出張ヲ命ス

▼二月十四日

郡守　永田綱明

東京及鹿兒島ノ一府一縣下ヘ出張ヲ命ス

郡守　松村儀十郎

東京、京都、大阪、廣島及福島ノ三府二縣下ヘ出張ヲ命ス

郡守　安倍利三郎

東京、宮城、廣島及三重ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス

總督府技師　安達誠三

英領香港、支那海南島及佛領印度支那ヘ出張ヲ命ス

▼二月十七日

法院判官　谷野格

東京及大阪ノ二府下ヘ出張ヲ命ス

殖産局長　川崎卓吉

東京、廣島、兵庫及福岡ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス

郡守　遠藤所六

東京、大阪、静岡、福井及長崎ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

總督府技師　東舘昇道

一時歸府ヲ命ス

▼二月十八日

總督府技師　倉岡彦助

上京ヲ命ス

州理事官　百束春香

東京、岩手、福岡及長崎ノ一府三縣下ヘ出張ヲ命ス

州理事官　首藤章

東京、大分及宮崎ノ一府二縣下ヘ出張ヲ命ス

▼二月二十日

總督府技師　田賀奈良吉

土木局土木課長ヲ命ス、電力株式會社監理官ヲ命ス

總督府技師　池田季苗

土木局土木課長ヲ免シ土木課勤務ヲ命ス

山口縣玖珂郡長　陰山登

任總督府州理事官、新竹州内務部勸業課長ヲ命ス

州理事官　堀内林平

新竹州内務部勸業課長兼務ヲ免ス

▼二月二十二日

總督府事務官　佐藤勤

殖産局長川崎卓吉不在中代理ヲ命ス

總督府技師　兼田兼雄

任州技師兼總督府技師、臺北州内務部土木課長ヲ命ス

醫院書記　酒井愛次郎

兼任中央研究所事務官

總督府技手　陰山萬藏

任總督府技師、土木局營繕課勤務ヲ命ス

州技師　梅田清次

依願免本官

内務局長　末松偕一郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

學校教授要目取調委員長ヲ命ス
編修官 小川尙義
師範學校長 太田秀穗
編修官 古山榮三郎
師範學校教諭 鹽谷伴造
公立女子高等普通學校 田川辰一
編修官 丸井圭治郞
視學官 田中友二郞
（各通）
事務官 生駒高常
師範學校教授 平塚佐吉
師範學校教授 河瀨半四郞
視學官 小野正雄
公立女子高等普通學校教諭 廣松良臣
師範學校教授 橫山鐵太郞
師範學校教授 杉本重治
農林專門學校教授 野田幸猪
公立女子高等普通學校教諭 大橋捨三郞
學校教授要目取調委員ヲ命ス
遞信局長 吉田平吾
佐世保鎭守府竝熊本遞信局管內へ出張ヲ命ス

▼二月二十四日

州技師 市川和市郞
東京、佐賀、福岡、埼玉、茨城ノ一府四縣下へ出張ヲ命ス
郡守 田丸直之
東京、大阪、千葉、群馬、三重ノ二府三縣下へ出張ヲ命ス
州理事官 宇敷敬一
東京、大阪及兵庫ノ二府一縣下へ出張ヲ命ス
總督府技師 永田春生
一時歸府ヲ命ス
總督府技師 霜新八郞
東京、茨城、熊本ノ一府二縣下へ出張ヲ命ス
總督府技師 島田彌市
東京、大阪、千葉、熊本ノ二府二縣下へ出張ヲ命ス
醫院醫官補 大井司
上京ヲ命ス

▼二月二十五日

總督府技師 三宅勉
福岡、岡山、神奈川、兵庫、東京、北海道ノ一府一道四縣下へ出張ヲ命ス
市理事官 佐藤矢
厦門、汕頭、香港及廣東へ出張ヲ命ス

寄贈書目

書名		發行所
東亞經濟研究	同	其社
實業之臺灣	同	其社
臺法月報	同	其社
糖業	同	臺灣糖業研究會
臺灣教育	同	其社
極東公論	同	其社
大鵬	同	拓殖新報社
臺灣貿易表	同	臺灣總督府稅務課
朝鮮	同	朝鮮總督府
支那	同	東亞同文會
臺灣鐵道	同	其社
青島商報	同	其社
臺灣農事報	同	臺灣農友會
稅務月報	同	稅務職員共慰會
博愛	同	臺灣博愛社
貿易	同	日本貿易協會
臺灣鑛業會報	同	其社
臺灣警察協會雜誌	同	其社
南洋協會雜誌	同	其社
海事新報	同	帝國海事協會
週報（上海貿易）	同	上海日本商業會議所
東洋	同	東洋協會
南洋經濟新報	同	新嘉坡商品陳列館
偕行社記事	同	陸軍偕行社
海友	同	大連海務協會
大陸	同	大陸社
地方行政	同	帝國地方行政學會
內外情報	同	外事課調查課
臺灣パック	同	臺灣パック社
高砂パック	同	高砂パック社
統計學雜誌	同	統計學社
遞信協會雜誌	同	遞信協會
滿蒙實業彙報	同	大連商業會議所
會計	同	明治大學出版部
統計集誌	同	東京統計協會
一味	同	本願寺臺灣開教々務所
極東	同	極東社
對岸時報	同	福井縣對岸實業協會
國際經濟	同	國際經濟協會
產業事報	同	日本產業協會
臺灣醫學會雜誌	同	醫學專門學校
臺灣金融事項參考書	同	臺灣銀行
臺灣會社摘要	同	同行
煙草通信	同	專賣局煙草課
日印協會々報	同	日印協會
臺政新報	同	臺政新報社
大亞	同	大亞義會
まこと	同	臺灣三成協會
大陸	同	大陸社
月報	同	小樽商業會議所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢文欄

關于新教育令實施田總督諭告

諭告第一號

本總督襲拜　大命　而莅茲土　先宜明其統治之方針　惟以臺灣構成　帝國領土之一部關之於實施　固期不謬緩急矣　爾來奉體我朝廷一視同仁之　聖旨　與蒼生撫育之精神又鑒世運之進轉　與本島民衆之實情　深察教育普及之急務　早經一部其學制之試練爰改正教育令　撤去內臺人間之差別教育全達均等地步　是本總督洵所爲欣快也夫若區別小公學校於初等教育　但因于本島民衆之大部　未常用國語　即是一時權宜耳文運進步　教化普及　信能見其效果　則當然歸于混一者矣　恭惟明治大帝　宣布教育　勅語　蒙示學制之根本義　眞是千古不磨之　聖訓　帝國臣民者其孰不服膺之　本島民衆深致思于此　毋以徵文教之大義　抑謂均等　又謂無差別苟非雜然個個相對峙之謂也　維持社會秩序對于國家社會　遵于共存公道　能盡其義務者　是謂也　惟本總督去歲革新地方制度之際　普告民衆以捐私殉公　小而隣保相佑大而義勇奉公　今方于本令實施　復以此言　切望民衆　要在一致協力以資國運發展焉　庶幾克體得此精神　各應其分　得使子弟啓發智能　成就德器　渾然融化於母國文明　則本令發布之趣旨不容也

大正十一年四月一日

臺灣總督　男爵田　健治郎

就新教育令之要旨

內務局長　末松偕一郎

業經本年二月初四日頒布新定臺灣教育令擬自四月初一日起實施惟查新教育令之精神悉廢從前臺灣之差別教育法。本由內地延長主義徹底而行於臺灣文化之施設上者也是係田總督之一大英斷也不待言矣蓋爲前年地方制度革新即於臺灣統治史上可劃一新紀元文化政策之實行而內地延長主義內之彰明于制度之上。洵可謂臺灣統治之一進展矣。今次新教育令。與之相對而謂之當表新時代文化政策之雙璧亦可也新教育令之趣旨。以內臺人共學起見。統一內地臺灣之學制。以圖其聯絡者也其立法之起因。鑑於戰後文化生活之世界的欲望順應時勢。見機會而如此斷行改正。豈非當局之明斷善謀耶。

二

要之同化政策實現之本開發臺灣之文化。速與內地同一制度之下。在乎內臺人爲融和是所以教育之普及當爲急務也。若今次改正之臺灣教育令。發現徹底的一視同仁之趣旨而其間不惟毫無差別之待遇乃小公學校卒業生。暫時雖有學力差異認爲同一資格。故不無不條理無差別主義批難。然欲爲同化政策實現則所有各種文化的施設必要以進步之誘導啓發爲主義。由此觀之今回之改正教育令眞乃一代盛事而其一視同仁之善政。以爲可誇于世界者矣。

三

按教育令立法之路徑。佐久間總督悅意欲與內地中學校爲同一程度。遂不能達其目的。初由本島重要人士呈請總督在中部臺灣設立中學校。總督容納其請籌辦于中部中學校之設立。然中央政府。顧於與朝鮮教育令之權衡。有不能遽行同一學制之事情。方得設置現今之高等普通學校。嗣後總督府。仍竭力于教育令之制定。然與朝鮮教育令之關係。大正八年一月。猶依內臺人有

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

差別之敎育主義。卽舊敎育令頒布。於是乎循照舊法則。高等普通學校畢業者。不能得與中學校畢業者同一資格。又公學校卒業生。不能得與小學校卒業生同一資格。尙欲向上受高等敎育本島人志願者。卽於舊法之下。不能得學校之聯絡。故不得已而遠遣其子弟于內地小學校或中學校或大學校入學、其不便而飮泣徒歎者。不可勝算。故就此等救濟之法在督府。有所硏究現總督最爲憂慮。姑爲之救濟法。卽於舊法之下。實行其學法。然旣係其制度與內地殊別。則縱或如何試彌縫策。非由根本撤廢差別敎育主義。焉能達到其目的。此乃去年以來在督府。改正敎育令之議起。而所以進調査之步也。偶然昨夏朝鮮敎育令之改正案。提出內閣。卽於該案審議之際。必爲波及臺灣敎育令等語。接到法制局移知。以致趕緊提出臺灣敎育令改正案。因此結果大概臺灣敎育令。據照其案、小學校公學校除另外制度之下敎育外。其餘學校卽與內地同一制度。而依撤廢差別敎育之主義焉。尙分小公學校則假有依民族而異待遇之感。故該規條文內「內地人之字。改爲常用國語者。」又臺灣人之字。改爲不常用國語者之字。於是乎新敎育令。全爲通過矣。

四

照上所云。新敎育令。勿論內地人及臺灣人。毫無差別。卽如常用國語者之普通初等敎育是。在小學校。不常用國語者之敎育在公學校。卽如此定規雖本島人子弟。常用國語者。可能收容小學校。又雖內地人子弟不常用國語者。理應收容公學校之法意也。但地在邊陬。過有公學校而已之地則雖內地人子弟收容于公學校。又非常用國語者而略曉國語者。與從來之共學一樣。酌入小學校等。倘遇有如此特別事情照臺灣總督所定。以便通融辦理。玆當留意者。對小公學校卒業生。關于上級學校入學。均爲同一資格之理由。本來公學校生。較于小學生學力低劣。有所不免。雖公學校生若在家庭國語普及之時。則亦當漸次進步。且優秀公學生。比劣等小學生。有學力充足之處。故論制度則。兩校卒業生。俱爲同一資格。惟關于實在上級學校入學。特對公學校卒業生。令其入學公學校高等科或補習科。以便入學之準備。故本島人子弟之父兄。當爲留意一事。凡小公學校卒業生。則均爲同一之資格。若欲入學于上級學

校則。非再爲修業高等科一年或二年或補習科則。公學校卒業生。較諸小學校卒業生。恐有不得合式考試之難。此不可不記憶焉。

至於師範教育。與內地制度稍有不同之處。即在師範學校內。設置小學師範及公學師範逈有特別事情則。惟可置小學師範部。或公學師範部而已。而此小學師範部。專爲養成做小學校教員者。其師範部修業年限。男子部則。共爲六年。而普通科五年演習科爲一年也。女子部暫停設置。若按規定。普通科則。短縮一年。修業年限爲五年得能入學於師範學校普通科者。尋常小學科之畢業者。或依臺灣總督所定認爲與之有同等以上學力者。至于女子教員之養成則。即與女子高等普通學校之上。尙爲加置師範科一年相同。改正高等女學校之後。仍置演習科一年而教育也。又師範學校內。置女子部則高等女學校四年之卒業生。可入得其演習科。總而言之。無論若何。絕無以內臺人之別。資格有差異之事。尙對前記師範教育。在內地則。由高等小學校接續。故尋常小學卒業後。受七年間之教育。而方爲師範學校卒業者矣。由之觀之。在臺灣。爲一年之短縮。又臺灣師範卒業生。在內地。應得教員資格之件。現與中央政府。正在交涉也。

五

關於學校聯絡問題則。各學校卒業生。與內地相當學校卒業生。認爲同一資格之事。現與文部省。正在磋商。料想該省亦當同意。因本令實施之結果。而從前專爲本島人所設各種學校。與爲內地人所設各種學校。均爲同一名稱施于同一程度之教育。其卒業生。亦爲同一待遇。此等凡幾新教育令之。爲顯著特色者焉。

總而言之新教育令。即於本島人文上係爲一大革新而能適應新時代之要求。而卓絕之文化施設。爲之實施。乃臺灣教育令固勿待言。並且臺灣統治上爲國家。不勝慶賀。余在法制局以來。主張此教育令實施不渝。故其關係不淺。今見實施。余爲個人。亦不勝欣喜。然欲使之圓滿發達。並貫通法令之眞髓則。務宜內臺人互相扶助。我母國人及本島人則。俱念及于茲。發揚世界稀有制度之眞義。努力以收同化主義內地延長主義之完全美果。切望不已矣。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN